

社会医療法人 **かりゆし会** 年報 第28巻 2021年度
(2021年4月1日～2022年3月31日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.28 2021 (April 1,2021-March 31,2022)

年報発刊によせて



新型コロナウイルス感染症は2年以上続き第7波を迎えました。オミクロン BA.2 株は感染力が高く、1日の陽性者数は2,702人と第5波の3.34倍ですが、一方で致死率は低く、重症者は0～6人/38人、中等症IIは73人/328人です。しかしながら、職員の感染や濃厚接触者等で自宅待機を余儀なくされた結果、職員の欠勤が多くなり診療現場に支障を来し診療制限も生じています。沖縄県のワクチン接種率は全国より15%低い(特に若い世代)状況が続いていますが、社会福祉施設等の入院の対象となりやすい感染リスクの高い高齢者の4回目ワクチン接種をさらに進めて行くことが望まれます。また、新たな変異株はオミクロン BA.2 株より感染力も重症化率も低いことを強く願います。

ハートライフ病院の医療圏は中部と南部に跨り、中城村・宜野湾市・西原町・与那原町・南城市の領域で、人口は県下でも増加している地域です。今後10年、医療を必要とする人口は1.4～1.5倍に増加し、介護を必要とする人口は1.7～1.8倍程度に増えて行くでしょう。この医療圏における医療機関の動向を見ると、琉球大学病院が2024年度末に西普天間住宅跡地に全面移転し、中程度で全身麻酔の必要な疾患は増えるであろうと予測しています。一方で浦添総合病院(2023年9月完成予定)は近隣に移転してくるため、競合と連携が進む可能性があります。与那原・南風原バイパスは西原町から県庁への時間が短くなり、その間の医療機関へのアクセスが容易になるかもしれません。しかしながら、患者の受診動向において大きな変化はないでしょう。

コロナ禍でも医療制度は刻々と変わりつつあります。外来機能報告制度、紹介受診重点病院そして、急性期充実体制加算を取得する病院のみが高度・急性期病院に機能分化しつつあります。第8次医療計画では、5疾病5事業・在宅医療及び医療と介護の連携に加え新興感染症対策事業などが検討されています。また、医師の働き方改革の動向も注視し、適切な対応が望まれます。

ハートライフ病院にとって今一番大切な事は、医療の質の向上でしょう。特に外科・外科系の医師確保と医師の育成を含め、外科・外科系の充実がここ3～4年間の大きな課題であり、診療部門・医局を初め職員一丸となって対策を講じなければ成りません。

急性期充実体制加算を取得することが一番大きな目標でしょう。即ち、中南部東海岸の急性期病院として継続して行くために、全身麻酔件数2,000件/年を4年間で実現したいものです。

社会医療法人かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて	2	産婦人科	84
ハートライフ病院 2021年度 年次報告	5	皮膚科	86
年報発刊によせての挨拶	7	放射線科	87
病院概要	8	麻酔科	88
組織概要	8	血液浄化部	90
施設概要	8	口腔ケア科	92
診療体制	11	救急総合診療部	94
2021年度(令和3年度)ハートライフ病院 事業計画概要	12	病理診断科	98
患者統計	15	医局年度総括	100
外来・救急外来	15	看護部	101
入院	18	外来	105
医療の質 Quality Indicator (QI)	24	手術室・中央材料室	113
ハートライフ病院 DMAT	32	ICU	115
ハートライフ病院 財務状況推移	34	HCU	117
社会医療法人かりゆし会 財務状況推移	35	東館4・5階病棟(産科・婦人科・女性混合)、 産婦人科外来	119
医 局	46	3階病棟(整形外科・脳神経外科・眼科・ 形成外科)	122
総合内科	53	4階病棟(外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)	125
呼吸器内科	56	5階病棟(消化器内科・小児科)	127
循環器内科	57	6階病棟(血液内科・総合内科)	129
消化器内科	59	7階病棟(呼吸器内科・循環器内科)	132
肝臓内科	61	内視鏡センター	134
血液内科	63	看護部 年度総括	136
小児科	65	医療技術部	139
心療内科	67	放射線科	139
外 科	68	臨床検査科	148
整形外科	72	臨床工学科	152
形成外科	74	栄養科	159
脳神経外科	76	薬局	162
眼 科	78	リハビリテーション科	164
耳鼻咽喉科	80	医療技術部 年度総括	169
泌尿器科	82	医療安全管理室	171
		感染対策管理室	174
		栄養サポート室	178

内視鏡センター ……………	181	糖尿病内科……………	268
予防医学センター ……………	186	内科……………	273
患者総合支援センター ……………	193	小児科……………	275
地域医療連携室 ……………	194	附属施設……………	276
入退院支援室 ……………	196	疾病予防運動施設 Ryuew-ZA (リューザ) ……	276
医療福祉相談室 ……………	200	ヘルシーカフェ ohana……………	279
がん相談支援室 ……………	203	ハートライフ地域包括ケアセンター	
患者サポート窓口 ……………	204	2021年度 年次報告 ……………	281
事務部……………	205	年報発刊によせての挨拶 ……………	283
財務・経理課 ……………	206	施設概要……………	285
人事課 ……………	207	はーとらいふ保育園	
診療支援室 ……………	209	2021年度 年次報告 ……………	289
附随業務部門 食堂とまと ……………	212	年報発刊によせての挨拶 ……………	291
法人事務局 年度総括 ……………	215	施設概要……………	292
医事課 ……………	218	組織概要……………	292
管財課 ……………	220	新型コロナウイルスへの対応 ……………	295
管財課用度係 ……………	220	かりゆし会の1年 ……………	304
管財課施設管理係 ……………	223		
経営企画室 ……………	228		
電算係 ……………	231		
診療情報管理室 ……………	234		
総務課 ……………	236		
事務部 年度総括 ……………	237		
委員会活動……………	239		
ハートライフクリニック			
2021年度年次報告 ……………	257		
年報発刊によせての挨拶 ……………	259		
クリニック概要 ……………	261		
施設概要……………	261		
患者統計……………	263		

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院 2021年度 年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2021



理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 安全で質の高いチーム医療を提供する
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）を実践する
3. 24時間体制の断らない救急医療を提供する
4. 患者が満足し、納得する医療を提供する
5. 社会に認められる人材を育成する
6. 健全な医療経営を実践する
7. 社会の変化に対応できる組織作りをする

年報発刊によせての挨拶



当院は1988年に開院しましたので、2021年度は34年目にあたります。2021年度は昨年以上に新型コロナウイルス感染が蔓延し、年間で3回予定手術を制限せざるを得ませんでした。特に8月に流行したデルタ株は猛威を振るい、多い時には36名のコロナ患者さんが入院しました。県内の多くの病院が救急診療を制限する中、当院は職員の頑張りで救急を制限することなく乗り切りました。コロナ対策本部を中心とした感染対策の徹底と職員一人一人の理解と協力があったことと感謝しています。

リーマンショックで日本全体が不況になった頃、労働環境が劣悪な企業、いわゆるブラック企業が問題になりました。その後、経済や雇用状況が改善し、ブラック企業は淘汰されつつあります。医療においても労働環境を改善させることは重要で、医師を中心とした働き方改革が取り上げられるようになりました。今は医療界で働くどの職種においても人員不足が深刻になりつつあります。限られた人員でより質の高い、より安全な医療を実践することが求められます。そのためには業務の無駄を省き、より効率的に仕事をする体制作りが必要です。働き方改革は生産性の向上を伴うものでなければなりません。医療の質と安全性を担保しながら、効率的に業務を遂行するためにはチーム医療の強化、推進が求められます。チーム医療にとってお互いの信頼関係が重要で、メンバーは各々の専門領域のスキルを高め、責任をもって業務を担当してもらう必要があります。毎年事業計画を作成しますが、それを基にPDCAサイクルを回し、その成果として年報を作成し、次年度の業務に反映させていただきたいと思います。

2021年度の当院の医業収益は事業計画の97.6億円をわずかに上回って(98.2億円)達成しました。一方で、医業利益は115万円と事業計画を僅かに下回りました。しかしながら、新型コロナ関連の補助金で当期は9.3億円の黒字になりました。これらの実績も職員一人一人の頑張りのお陰と感謝しています。

2022年度は引き続き新型コロナウイルスとの闘いになるでしょう。厳しい状況が続きますが、個々人が健康に留意して十分な感染対策をとりながら、より良い成果を上げるよう最善をつくすしかないと思われます。患者さんが納得し、満足してもらえる医療を提供するようこの1年も全職員が力を合わせて頑張ってください。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
院長 佐久川 廣

病院概要

(2021年4月1日時点 / データ作成 総務課 富里)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里 哲 好	副院長	秋元 芳 典	事務部長	當 銘 秀 之
院長	佐久川 廣	医局長	阿 嘉 裕 之		
副院長	西原 実	看護部長	古波倉 美登利		
副院長	普天間 光 彦	医療技術部長	宮 城 竜 也		

施設概要

許可病床数

308 床 (開放病床 22 床)

敷地面積及び建物概要

敷地面積 22,225.09㎡

< 本館・西館 >	構造	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下1階付き9階建
	のべ床面積	23,920.55㎡
< 東館 >	構造	鉄筋コンクリート造地上5階・地下1階
	のべ床面積	7,551.31㎡
< 別館 >	構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
	のべ床面積	542.16㎡
< 立体駐車場 >	構造	鉄骨造陸屋根4階建 (駐車場)
		鉄筋コンクリートブロック造陸屋根平屋建 (機械室)
	のべ床面積	3,365.76㎡ (駐車場)
		34.00㎡ (機械室)

職員数

総数 995名

職種別

(2021年4月1日時点 / データ作成 総務課 佐和田)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	80	臨床検査技師	42	管理栄養士	7	医師事務作業補助者	26
研修医	10	臨床工学技士	18	救急救命士	3	クラーク	28
保健師	6	臨床心理士	1	歯科衛生士	2	施設技術者	5
助産師	29	言語療法士	5	社会福祉士	6	司書	1
正看護師	414	作業療法士	9	診療情報管理士	7	一般事務	113
准看護師	10	理学療法士	20	保育士	1	その他	18
看護補助者	68	放射線技師	21	調理師	12	職員数 総数	995
薬剤師	21	視能訓練士	3	調理補助	9		

指導医・専門医・認定医・その他認定など

(2022年3月末時点 / データ作成 総務課 佐和田)

資格名	人数	資格名	人数
AMO Advanced Femtosecond Laser	1	日本集中治療医学会専門医	1
Best Doctors in Ianan 認定	1	日本循環器学会専門医	6
ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター	1	日本小児科学会専門医	1
IEK Certification	1	日本小児外科学会指導医	1
POCUS (Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター	1	日本小児外科学会専門医	1
ハワイ-沖縄医学教育フェローシップ certified	1	日本消化器がん検診学会認定医	4
検診マンモグラフィ読影認定医	5	日本消化器外科学会指導医	2
小児慢性特定疾病指定医	1	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	2
精神保健指定医	1	日本消化器外科学会消化器がん治療認定医	2
全日本病院協会および医療安全管理者	1	日本消化器外科学会専門医	1
全日本病院協会医療安全管理者認定医	1	日本消化器内視鏡学会指導医	4
日本アレルギー学会専門医 (小児科)	1	日本消化器内視鏡学会専門医	9
日本がん治療認定医機構暫定教育医	4	日本消化器病学会指導医	3
日本がん治療認定医機構認定医	6	日本消化器病学会専門医	6
日本ペインクリニック学会認定医	1	日本消化器病専門医	1
日本医学放射線学会診断専門医	2	日本食道学会認定医	1
日本医師会認定産業医	5	日本心血管インターベンション治療学会認定医	1
日本外科学会指導医	2	日本心臓リハビリテーション学会指導士	3
日本外科学会専門医	6	日本神経内視鏡学会技術認定医	1
日本外科学会認定医	2	日本人間ドック学会認定医	1
日本感染症学会 インフェクションコントロールドクター (ICD) 認定医	1	日本腎臓学会腎臓専門医	1
日本感染症学会インフェクションコントロールドクター	1	日本整形外科学会リウマチ認定医	1
日本感染症学会指導医	1	日本整形外科学会運動器リハビリテーション医	2
日本感染症学会専門医	1	日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医	1
日本肝臓学会指導医	1	日本整形外科学会専門医	4
日本肝臓学会専門医	1	日本精神神経学会指導医	1
日本眼科学会専門医	1	日本精神神経学会専門医	1
日本救急医学会救急科専門医	1	日本専門医機構 (及び日本内科学会) 内科専門医	1
日本血液学会指導医	1	日本体育協会公認スポーツドクター	2
日本血液学会専門医	3	日本大腸肛門病学会専門医	1
日本呼吸器学会インフェクションコントロールドクター	1	日本東洋医学会認定医	1
日本産婦人科学会専門医	2	日本透析医学会専門医	2
日本手外科学会認定手外科専門医	1	日本透析医学会認定医	1
		日本内科学会指導医	3
		日本内科学会総合内科専門医	8
		日本内科学会総合内科認定医	1

資格名	人数
日本内科学会認定内科医	16
日本内視鏡外科学会技術認定医	2
日本乳癌学会認定医	1
日本脳神経外科学会専門医	2
日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本泌尿器科学会指導医	1
日本泌尿器科学会専門医	2
日本病院総合診療医学会認定医	1

資格名	人数
日本病理学会病理専門医	1
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医専門医	1
日本腹膜透析医学会認定医	1
日本麻酔科学会指導医	3
日本麻酔科学会専門医	3
日本麻酔科学会認定医	1
麻酔科標榜医	5

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. (財)日本医療機能評価機構一般病院2 認定第GB97-5号
5. DPC 対象病院（標準病院群）
6. 地域災害拠点病院
7. DMAT 指定医療機関

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》
9. 原爆医療法指定医療機関
10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）《てんかん》
11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》
12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》
15. 身体障害者福祉法指定医療機関（更正医療）
18 歳以上、肝臓に係わるもの
16. 児童福祉法指定医療機関（育成医療）

施設認定一覧

1. マンモグラフィー検診施設画像認定
2. 非血縁者間造血幹細胞移植認定施設（認定診療科：血液内科） カテゴリー：2
3. 非血縁者間骨髄採取認定施設
4. 人間ドック検診施設機能評価認定施設
5. 日本小児外科学会教育関連施設 B
6. 日本臨床細胞学会施設
7. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
8. 日本病理学会研修登録施設
9. 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
10. 日本脳神経外科学会認定研修施設
11. 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
12. 日本乳癌学会関連認定施設
13. 日本内科学会認定教育関連病院
14. 日本透析医学会教育関連施設
15. 日本大腸肛門病学会関連施設
16. 日本整形外科学会専門医研修施設
17. 日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設群
18. 日本食道学会全国登録認定施設
19. 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
20. 日本消化器病学会認定施設
21. 日本消化器内視鏡学会指導施設
22. 日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設
23. 日本消化器科外科学会専門医修練施設

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 24. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 | 35. 日本肝臓学会認定施設 |
| 25. 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設 | 36. 日本感染症学会研修施設 |
| 26. 日本産科婦人科学会専門研修連携施設 | 37. 日本眼科学会専門医制度研修施設 |
| 27. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設（連携型） | 38. 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関認定施設 |
| 28. 日本呼吸器学会関連施設 | 39. 日本医学放射線学会画像診断管理認証施設 |
| 29. 日本血液学会専門研修施設 | 40. 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設 |
| 30. 日本血液学会血液研修施設 | 41. 健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設 |
| 31. 日本外科学会外科専門医制度修練施設 | 42. 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認定施設 |
| 32. 日本形成外科学会認定施設 | 43. エキスパンダー実施施設（二次再建） |
| 33. 日本救急医学会救急科専門医指定施設 | 44. インプラント実施施設（一次二期再建・二次再建） |
| 34. 日本がん治療認定医療機構認定研修施設 | |

診療体制

標榜診療科目

- | | | | | | |
|--------|---------|----------|--------|--------|------|
| ●内科 | ●リウマチ科 | ●食道外科 | ●脳神経外科 | ●放射線科 | ●歯科 |
| ●呼吸器内科 | ●人工透析内科 | ●血管外科 | ●産婦人科 | ●麻酔科 | ●精神科 |
| ●循環器内科 | ●心療内科 | ●大腸・肛門外科 | ●泌尿器科 | ●リハビリ | |
| ●消化器内科 | ●小児科 | ●膵臓外科 | ●眼科 | テーション科 | |
| ●肝臓内科 | ●外科 | ●整形外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●救急科 | |
| ●血液内科 | ●乳腺外科 | ●形成外科 | ●皮膚科 | ●病理診断科 | |

その他、センター・専門外来など

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| ●予防医学センター
（人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診） | ●不整脈外来 |
| ●内視鏡センター | ●甲状腺外来 |
| ●人工透析センター（昼間・夜間） | ●生活習慣病外来 |
| ●無菌治療センター | ●睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来 |
| ●ヘルニアセンター | ●スポーツ関節鏡センター |
| ●患者総合支援センター | ●通院治療室（外来化学療法） |
| ●胸やけ外来 | ●小児アレルギー外来 |
| | ●心臓リハビリテーション |

24 時間救急指定病院【内科・循環器内科・外科・整形外科・脳神経外科】

受付時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 12:00～16:30 |
| 土曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 休診 |

診療時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 9:00～12:00 | 午後 14:00～17:00 |
| 土曜日 | 午前 9:00～12:30 | 午後 休診 |

休診日 救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

2021年度(令和3年度)ハートライフ病院事業計画概要

1. 2020年度(令和2年度)の振り返り

2020年度は新型コロナウイルス感染対策を行いながら診療する特別な1年でした。

年度の初めから県内で新型コロナウイルス感染者が増加し、4月10日から感染者を受け入れました。世界的な感染の流行で流通が機能不全に陥り、衛生材料や手術用の診療材料が調達できない状態になり、予定手術を制限せざるを得ませんでした。また、人間ドックを一時的に休止しました。その後、管財課の努力で材料の確保に目途がたち、6月から手術が通常通り行えるようになり、人間ドックも再開できました。6月以降は手術をほぼ制限することなく、コロナ禍の中で診療を継続していきました。

コロナ禍で入院患者は大きく減少し、病床稼働率は昨年度との比較で11.5%減少しました。しかしながら、入院の日当額が6.5万円(昨年度:5.9万円)と増加したことより、入院診療収益は2.3%の減少に留めることができました。外来患者数も同様に9.3%減少しましたが、日当額が1.59万円(昨年度:1.45万円)と増加したことより、収益減はマイナス0.6%に抑えられました。

2020年度は診療報酬改定がプラス0.55%で、この中に働き方改革関連の加算として地域医療体制確保加算があり、確実に取得できる体制作りをしました。また、「夜間100対1看護補助体制加算」を算定できる体制を作りました。

重症度、医療・看護必要度が一般病床において34.5%で、急性期一般入院料1の基準をクリアしました。2019年度に初期研修医マッチングが3名であった反省から研修医の獲得に力を入れ、2020年度はフルマッチを達成しました。また、長年の懸案事項であった腎臓内科の常勤医を大学から派遣してもらえらることになりました。

2020年度の医業収入は93.7億円で、医業利益はマイナス1.5億円でした。入院の日当額6.5万円、外来の日当額は1.59万円で、何れも昨年度と比較して増加しました。

2. 2021年度事業計画の概要

2021年度も急性期一般入院料1(7対1)の基準をクリアすることが大前提になります。そのためには救急患者の受け入れ態勢の強化、手術件数の増加、後方連携の強化をはかる必要があります。また、国が進める働き方改革への取り組みとして医師及び医療技術職の人材の確保、更に医師事務作業補助者や看護助手を増員し、業務の効率化と時間外勤務の短縮に努めます。

病棟運営の3指標

2021年度も引き続きコロナ禍での診療を継続することになります。いまだ収束が見通せない状況ですので病棟運営の3指標を暫定的に前期と後期で分けることにしました。病棟診療会議での検討をもとに前期の3指標を下記のように設定しました。

指標	2021年度目標	2020年度目標	2020年度実績
新規入院患者数	750人/月	810人/月	681人/月
病床利用数	260床(84.4%)	285床(92.5%)	247(80.2%)
平均在院日数	10.5日	10.7日	11.0日

2021 年度ハートライフ病院の目標

1. より安全な医療とより質の高い医療を実践する
2. 健全な医療経営を行い、コロナ禍の中で利益率 3%以上を達成する
3. 全職員が 36 協定を順守できるよう労働環境の整備を行う
4. 業務の無駄を省き、効率化を推進する
5. 患者満足度の向上を図る
6. 必要な人材を確保するために積極的な情報収集、情報発信を行う
7. チーム医療を強化し、ワークシフト・ワークシェアリングを推進する
8. AI（人工知能）、ICT（情報通信技術）などの新しい技術を積極的に導入する
9. 初期研修医のフルマッチを達成する

利益率 3%以上を目指した経営戦略

2021 年度の医業収入は 97.6 億円、当期利益 3.8 億円（利益率 3.9%）を目指します。今年度もコロナ禍の状況が続くと考えられます。十分な感染対策をしながら収益増と経費節減に努力する必要があります。入院診療単価（日当額）は 6.5 万円を目指します。

入院診療単価を構成するのは DPC、手術料、入院料（入院基本料、特定入院料、入院料加算）です。DPC 機能評価係数 II を上げる取り組み（救急医療管理加算の算定数を維持する。副傷病名ありの患者を増やす等）を今年度も継続します。手術症例が多く含まれる予定入院患者数を増やし（予定入院の目標：350 人 / 月）、手術室の稼働率を上げる取り組み（看護師の確保と ME 及び看護助手の活用）を強化します。入退院支援加算を始めとする各種加算が取れるように対策します。2016 年から取り組んでいる「落穂ひろい活動」を継続しています。

外来診療単価を上げる対策として、紹介患者を増やし、外来診療単価 1,500 円未満の患者の割合を減らすよう努めます。紹介患者を増やす対策として、院長・副院長による病院・診療所への訪問をこれまで以上に強化します。

地域医療支援病院の基準要件は、紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上です。2020 年度は紹介率 71.0%と昨年度より 0.1%減少し、逆紹介率 78.5%と昨年度より 8.6%増加しました。今年度は紹介率 81.2%、逆紹介率 75.8%を目指し、新規入院患者増に繋がります。

地域の健康増進に対する貢献

急性期病院として死因の多くを占める癌、脳卒中、心筋梗塞の専門医療を強化します。沖縄県は、癌患者に占める割合が高い 60 歳以上の年齢層が今後急激に増加します。癌の早期発見のために自治体や企業と協力して検診受診勧奨に努めます。そのために市民公開講座、出前健康講話等の機会を有効に活用します。沖縄県のがん登録の資料によりますと、当院での登録癌患者の沖縄県全体に占める割合は 4.8%（2019 年）で同規模の急性期病院と比較すると少なく、今後は癌診療をより強化する必要があります。脳卒中に関しては、血管内治療による発症予防と t-PA による重症化予防の体制を強化して行きます。そのためには脳卒中専門の内科医確保が重要と思われます。心筋梗塞を主とした突然死対策として救急医療のより一層の充実を図っていきます。診療所の要請に応じてドクターカーを出動させ、新しい攻めの救急医療を実践していきます。

高齢者の自立は健康長寿のカギになります。衰えた機能を回復させるために整形外科、泌尿器科、形成外科、眼科、耳鼻科領域の診療を充実させる必要があります。

職員の働き方の見直し

職員がいきいきと健康的に働ける労働環境の整備に取り組みます。医師の時間外労働に関しては、月80時間、年間960時間以内のA基準を満たすように取り組んでいきます。また、医師や看護師の業務負担を軽減させるために医師事務補助者と看護助手の増員を行います。

人材の確保と育成

現在、早急に確保する必要があるのは救急専従医、産婦人科医、脳外科医、乳腺外科医です。これらの人材を確保するために病院全体で情報収集を行っていきます。もちろん他の領域でも不足している医師の確保は重要です。また、看護師、医療技術職員、事務系職員の確保及び育成は重要であり、病院の魅力度をアップさせ、選んでもらえる職場に変えていく必要があります。また、昨年度に引き続き初期研修医のフルマッチを目指して研修医教育に力を入れます。

結び

今年度は急性期一般入院料1（7対1）を死守することが、経営上最も重要な課題になります。幹部職員はそれを念頭に置いて病棟運営をして頂きたいと思います。

患者さんが納得し、満足する医療を提供し、心と心を結ぶ信頼される医療を実践するとともに地域の健康長寿に貢献できるよう皆で力を合わせて頑張りましょう。

ハートライフ病院
院長 佐久川 廣

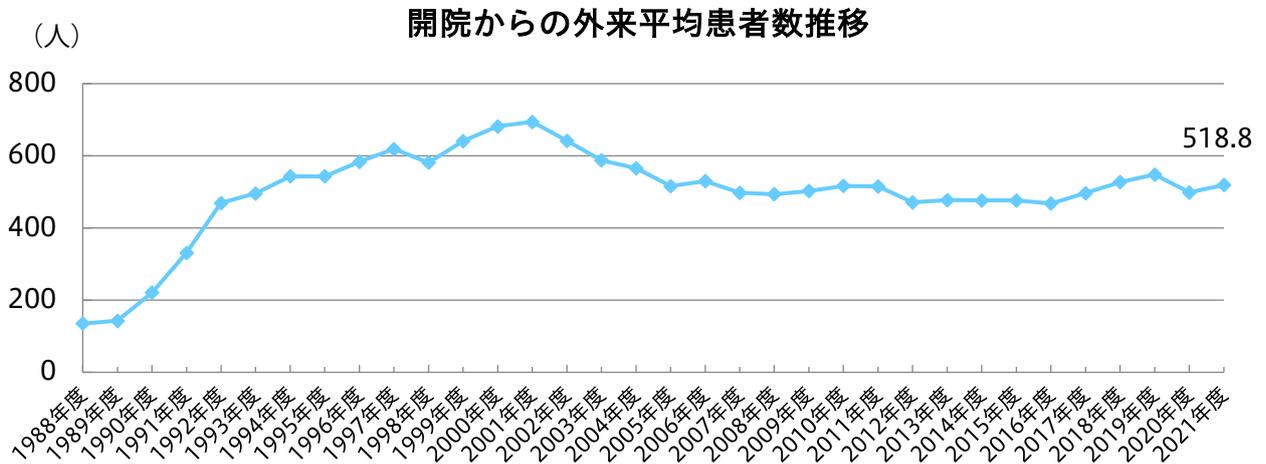
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

(データ作成: 医事課 桑江)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2016年度	447.6	469.5	457.7	464.2	453.9	477.1	455.0	487.5	484.1	475.8	473.0	466.0	467.6
2017年度	465.0	498.2	474.9	494.7	492.3	485.1	504.6	505.1	514.6	511.1	505.7	504.7	496.3
2018年度	500.0	525.8	497.5	517.6	514.9	531.2	519.7	533.8	542.3	547.7	546.8	543.0	526.7
2019年度	533.1	542.5	532.0	552.6	531.2	574.8	557.7	540.1	554.3	565.5	540.0	546.6	547.5
2020年度	446.4	427.0	483.8	535.9	461.4	495.4	497.6	533.3	511.4	508.3	533.4	544.1	498.2
2021年度	534.2	515.0	484.9	517.2	508.3	514.5	508.4	562.8	539.7	508.6	512.4	519.5	518.8

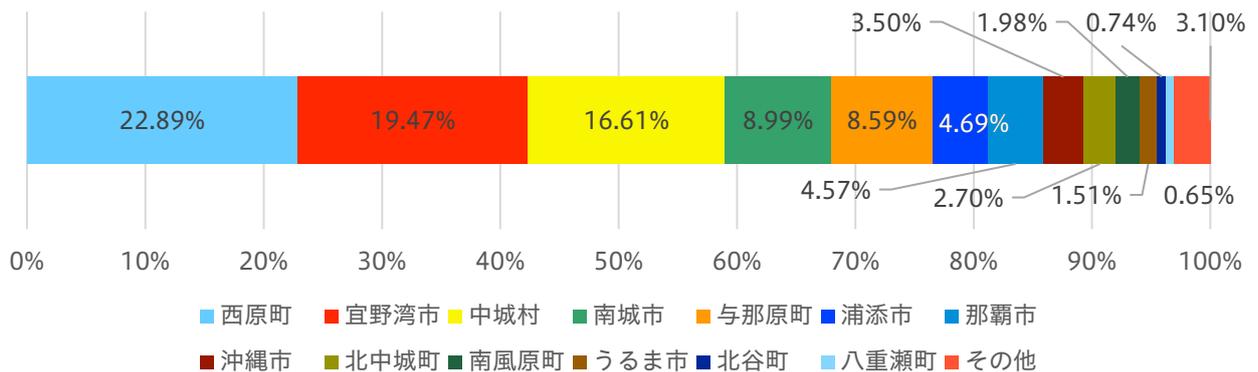


地域別外来患者数 (延べ患者数)

(データ作成: 広報係 仲田)

地域	患者数
沖縄本島 (橋で接続されている島を含む)	155,429
離島	620
県外	559
その他	447
合計	157,055

沖縄本島内 外来延べ患者構成比



救急搬送件数推移と救急患者の入院数

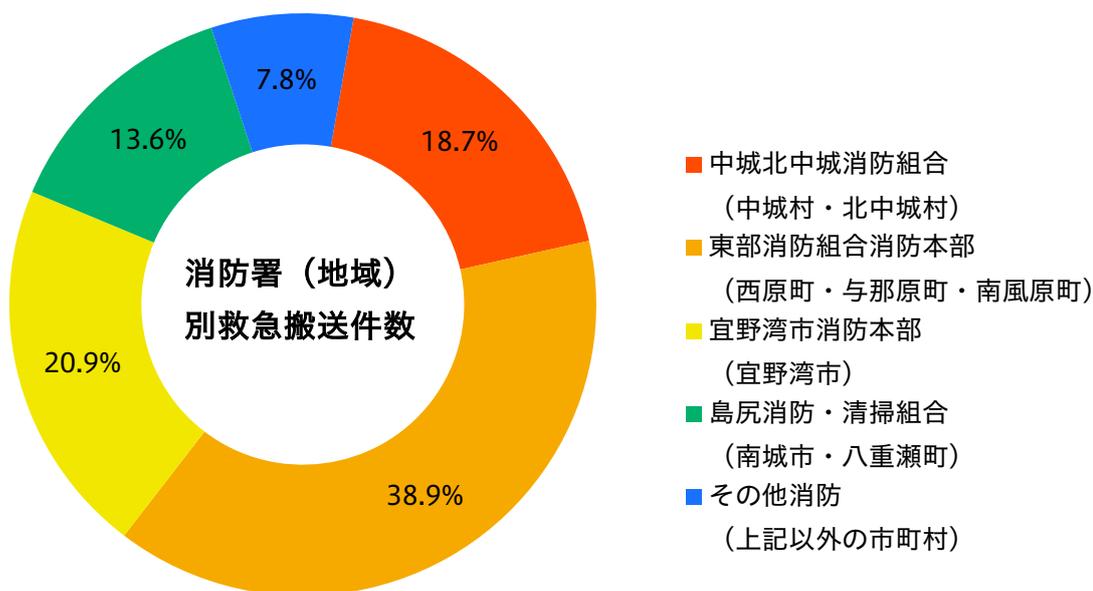
(データ作成：地域医療連携室 金城)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
2012年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	211.9	
	うち入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1,245	103.8	49.0%
2013年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
2014年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%
2015年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	104.2	49.9%
2016年度	搬送人数	201	221	225	239	226	219	238	200	241	265	224	266	2,765	230.4	
	うち入院数	104	116	119	105	107	116	120	92	122	130	100	136	1,367	113.9	49.4%
2017年度	搬送人数	228	229	246	258	286	221	217	216	287	260	269	235	2,952	246.0	
	うち入院数	131	105	113	112	114	92	88	94	129	122	131	129	1,360	113.3	46.1%
2018年度	搬送人数	222	240	208	265	232	209	221	198	231	273	230	236	2,765	230.4	
	うち入院数	98	110	109	117	109	100	99	102	98	136	100	95	1,273	106.1	46.0%
2019年度	搬送人数	239	219	252	315	287	255	268	219	280	274	234	224	3,066	255.5	
	うち入院数	108	116	124	144	127	127	125	89	129	138	99	105	1,431	119.3	46.7%
2020年度	搬送人数	226	225	212	241	254	238	233	265	283	301	232	331	3,041	253.4	
	うち入院数	96	98	94	111	107	112	107	116	144	142	115	155	1,397	116.4	45.9%
2021年度	搬送人数	304	318	253	320	326	307	235	277	252	306	265	300	3,463	288.6	
	うち入院数	133	127	99	143	136	125	113	121	107	145	131	144	1,524	127.0	44.0%

消防署（地域）別救急搬送件数

(データ作成：地域医療連携室 金城)

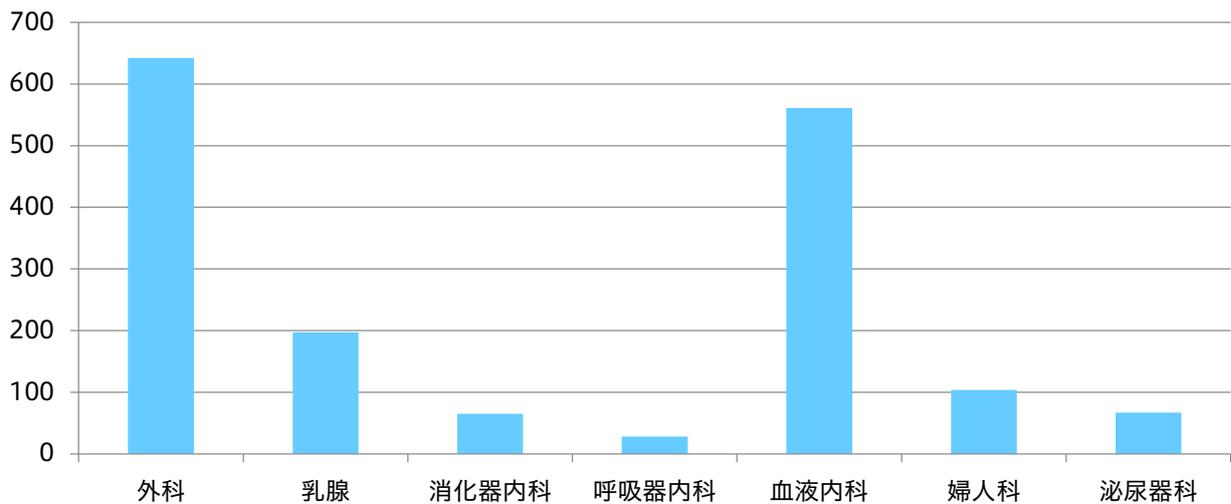
	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	648	404	62.3%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1348	873	64.8%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	724	477	65.9%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	472	300	63.6%
その他消防（上記以外の市町村）	271	140	51.7%
合計	3463	2194	63.4%



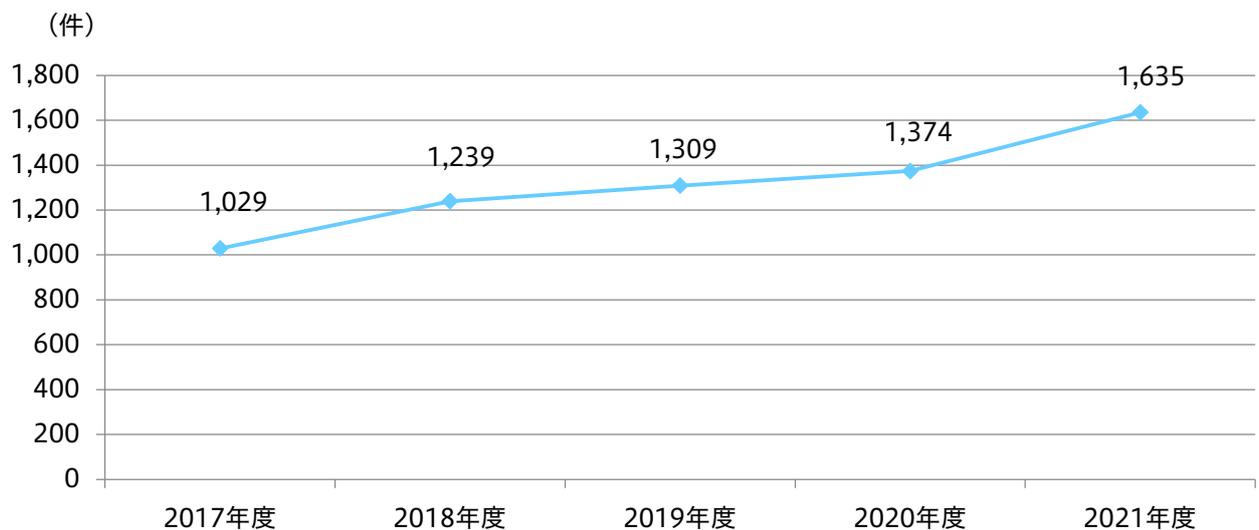
外来化学療法室施行数内訳

(データ作成：看護部 外来 山内)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	48	55	67	51	64	56	49	42	44	47	49	70	642
乳腺	15	14	18	12	17	17	15	18	15	19	17	20	197
消化器内科	6	5	5	6	5	8	6	5	3	5	4	7	65
呼吸器内科	0	0	0	1	1	3	4	6	4	5	2	2	28
血液内科	50	43	49	44	41	40	45	51	52	47	37	62	561
婦人科	9	9	8	8	7	9	8	15	12	8	8	3	104
泌尿器科	5	5	4	5	5	2	1	2	3	2	2	2	38
合計	133	131	151	127	140	135	128	139	133	133	119	166	1,635



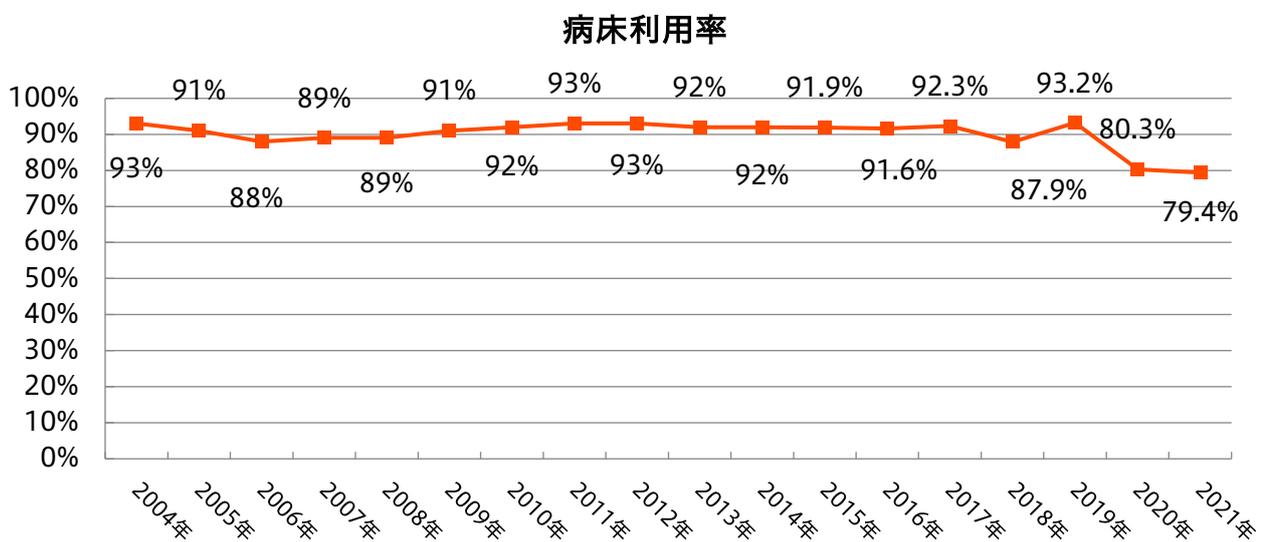
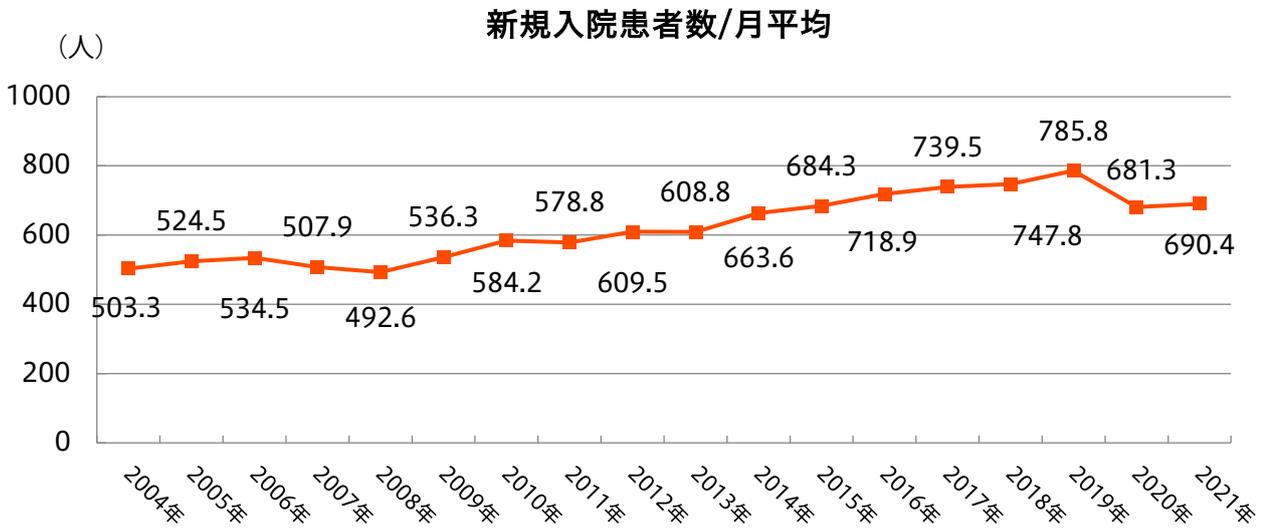
外来化学療法加算の件数年次推移



入院

3 指標

(データ作成：地域医療連携室 金城)

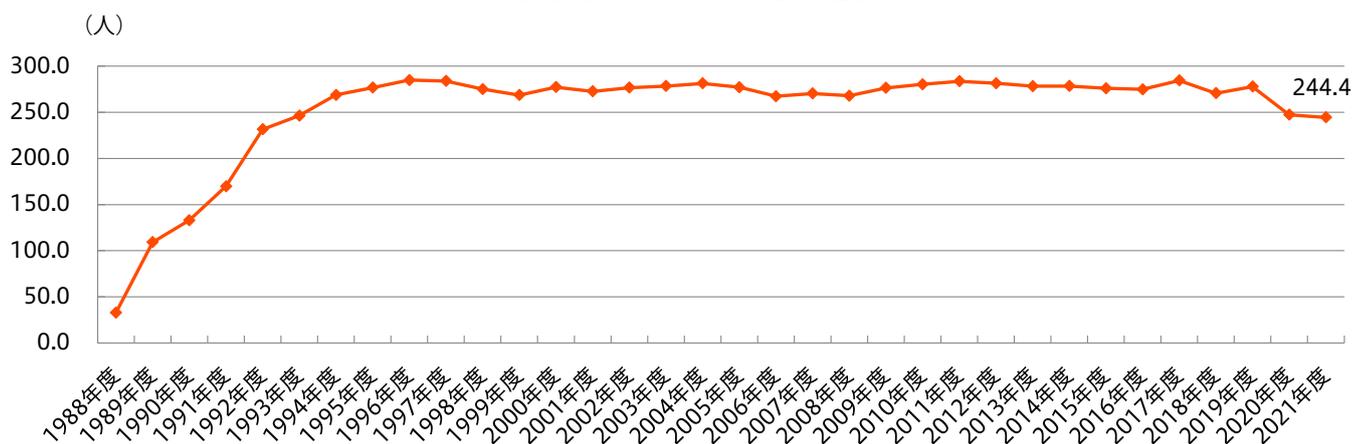


入院1日平均患者数推移

(データ作成: 医事課 宮城)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
2017年度	291.7	288.9	291.5	288.3	289.9	280.1	266.9	272.8	272.0	278.9	298.8	294.1	3,414.0	284.5
2018年度	280.0	252.7	260.8	279.1	279.6	270.0	270.2	275.0	262.5	273.0	281.2	264.3	3,248.5	270.7
2019年度	265.1	274.3	272.8	297.4	290.2	288.6	272.6	252.4	264.4	276.3	295.9	283.6	3,333.5	277.8
2020年度	235.8	223.5	246.5	256.9	242.4	229.7	244.3	254.1	244.9	266.0	265.8	259.2	2,969.0	247.4
2021年度	260.9	267.6	228.2	237.3	247.5	230.4	241.2	260.6	243.6	234.0	232.8	249.1	2,933.1	244.4

開院からの入院平均患者数推移

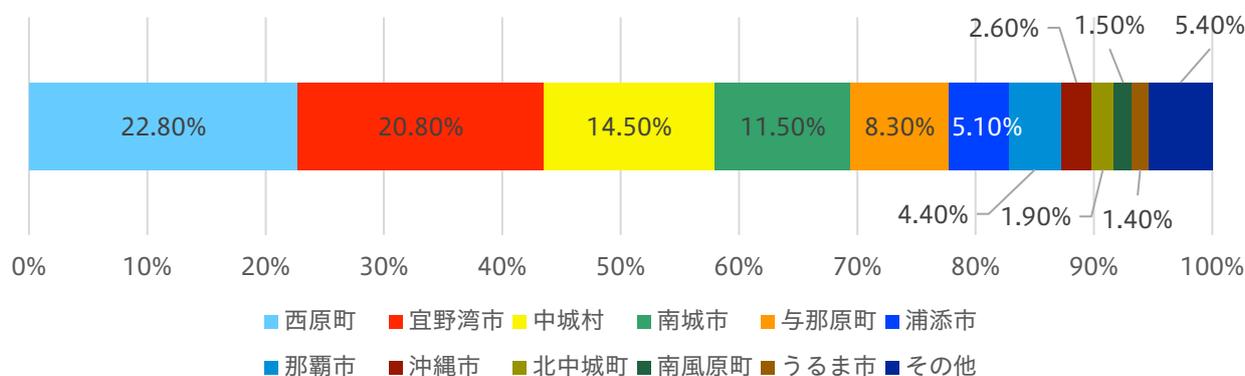


地域別入院患者数 (延べ患者数)

(データ作成: 広報係 仲田)

地域	患者数
沖縄本島 (橋で接続されている島を含む)	89,947
離島	586
県外	605
その他	143
合計	91,281

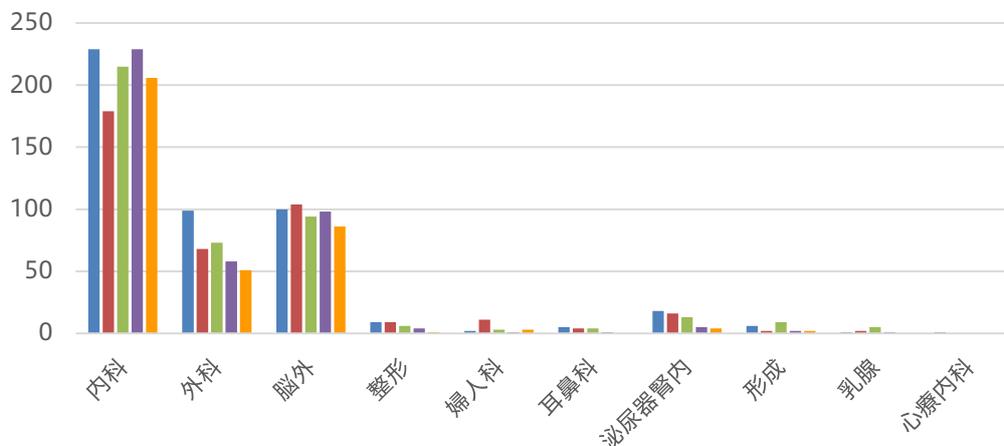
沖縄本島内 入院延べ患者構成比



ICU 患者統計

(データ作成 ICU 内間)

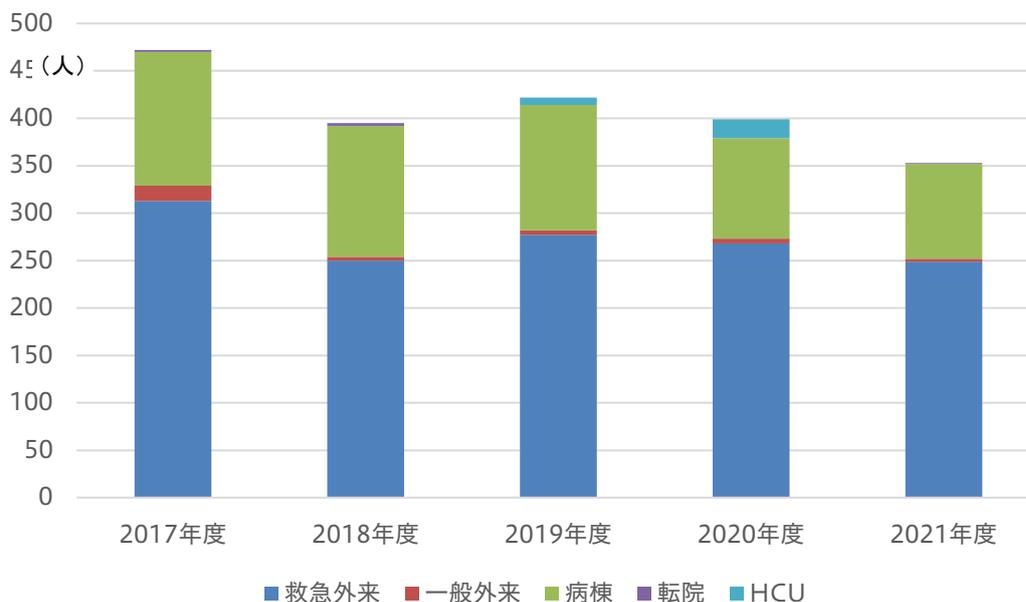
科別入院患者数



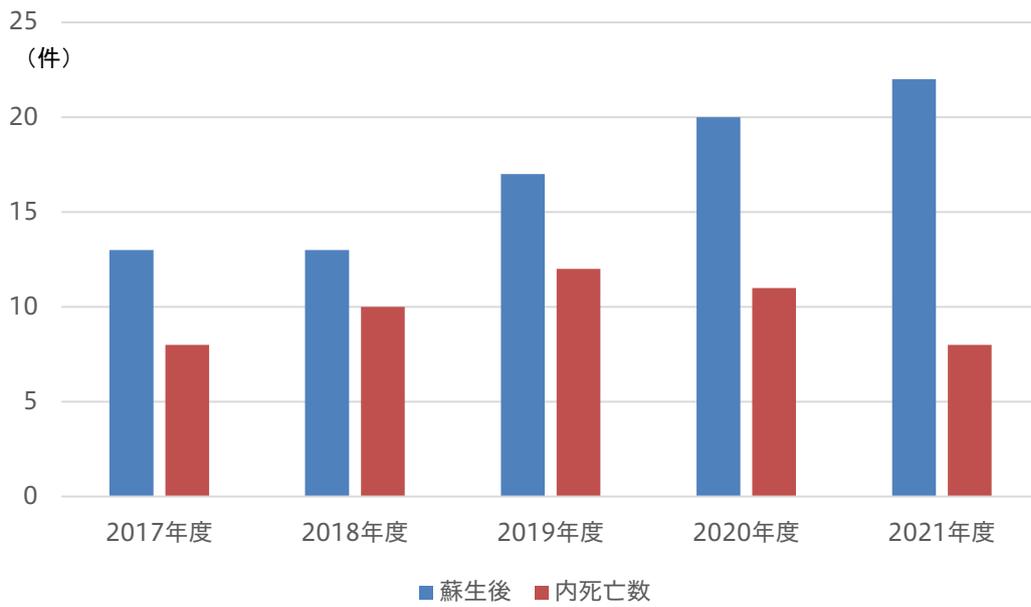
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
内科	230	179	215	229	206
外科	95	68	73	58	51
脳外	102	104	94	98	86
整形	10	9	6	4	1
婦人科	3	11	3	1	3
耳鼻科	5	4	4	1	0
泌尿器	19	16	13	5	4
乳腺	6	2	9	1	2
形成	1	2	5	2	0
心療内科	1	0	0	0	0
総数	472	395	422	399	353

※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

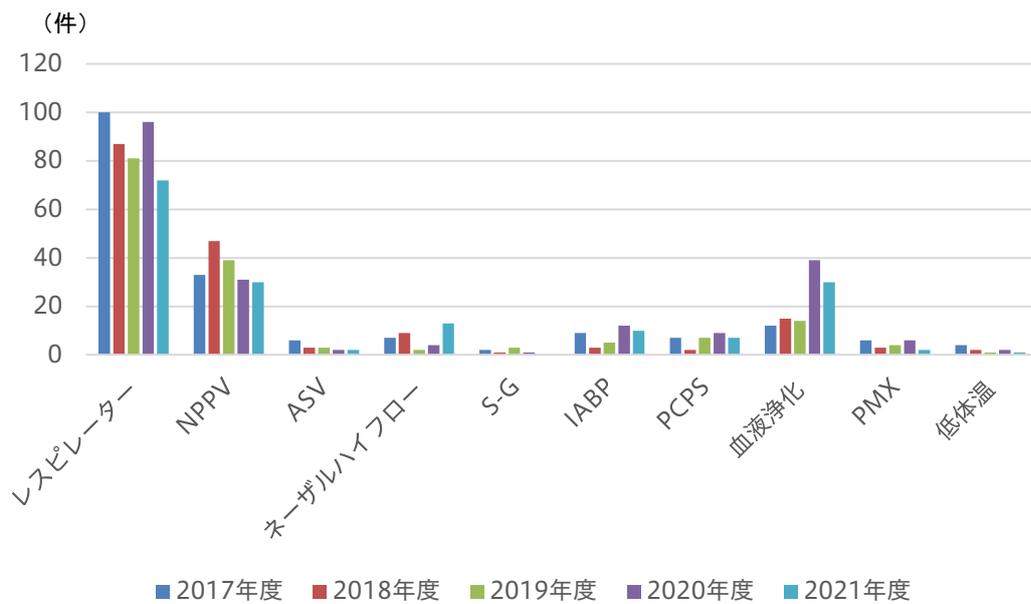
入室経路



CPA 件数（死亡数）動向



特殊治療の動向



退院患者疾患別（病態）分類

(データ作成：診療情報管理室 我如古)

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	形成外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
I. 感染症及び寄生虫症 (A 00- B 99)	男	65	3	3	1			1	1	7			1	82
	女	65	7	3	1				1	8			5	90
	計	130	10	6	2			1	2	15			6	172
II. 新生物<腫瘍> (C 00- D 48)	男	340	218	39	5		10	1	11					624
	女	144	182	6	4	2	3		7		1	100		449
	計	484	400	45	9	2	13	1	18		1	100		1,073
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D 50- D 89)	男	15	2	1					2	1				21
	女	19	3							3		4	1	30
	計	34	5	1					2	4		4	1	51
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患 (E 00- E 90)	男	33	1	3	1					1			3	42
	女	26	1	2	1							1	10	41
	計	59	2	5	2					1		1	13	83
V. 精神及び行動の障害 (F 00- F 99)	男	2					1						2	5
	女	1												1
	計	3					1						2	6
VI. 神経系の疾患 (G 00- G 99)	男	32	3	1	5	16			9	1			6	73
	女	22	5		15	12			15					69
	計	54	8	1	20	28			24	1			6	142
VII. 眼及び付属器の疾患 (H 00- H 59)	男	2					4	162						168
	女						7	186						193
	計	2					11	348						361
VIII. 耳及び乳様突起の疾患 (H 60- H 95)	男	7							17	2			1	27
	女	7							24				2	33
	計	14							41	2			3	60
IX. 循環器系の疾患 (I 00- I 99)	男	327	10			93	5			1			56	492
	女	241	5	2		66	10			2		2	30	358
	計	568	15	2		159	15			3		2	86	850
X. 呼吸器系の疾患 (J 00- J 99)	男	325	17	7					20	29			8	406
	女	188	6	4					21	28			3	250
	計	513	23	11					41	57			11	656
XI. 消化器系の疾患 (K 00- K 93)	男	423	346	3					3	1			4	780
	女	294	236		1		2		1			3		537
	計	717	582	3	1		2		4	1		3	4	1,317
XII. 皮膚及び皮下組織の疾患 (L00-L99)	男	17	7		8		34		1				1	68
	女	15	7		4		27		1					54
	計	32	14		12		61		2				1	122
XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00-M99)	男	15	2	1	120		21		1	2			1	163
	女	11	3		132		8			1			1	156
	計	26	5	1	252		29		1	3			2	319
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患(N00-N99)	男	71	5	69			7		3	7			4	166
	女	142	5	62			1		4	4	1	88	6	313
	計	213	10	131			8		7	11	1	88	10	479

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	形成外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
XV. 妊娠、分娩及び産じょく<褥>(O00-O99)	女										675			675
	計										675			675
XVI. 周産期に発生した病態(P00-P96)	男									9				9
	女									8				8
	計									17				17
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常(Q00-Q99)	男		5				1		1	1				8
	女				2		2		3	1				8
	計		5		2		3		4	2				16
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(R00-R99)	男	1												1
	女								1					1
	計	1							1					2
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)	男	37	17	3	241	35	20	1	3	104			5	466
	女	22	6	4	311	21	15	2	3	82	1	3	7	477
	計	59	23	7	552	56	35	3	6	186	1	3	12	943
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用(Z00-Z99)	男	132	123	5	64				1	260				585
	女	64	70	1	35	1				285	0	37		493
	計	196	193	6	99	1			1	545	0	37		1,078
XXII. 特殊目的用コード(U00-U89)	男	215		5									19	239
	女	208	2	2	1						4		10	227
	計	423	2	7	1						4		29	466
総計		3,528	1,297	226	952	246	178	353	154	848	683	237	186	8,888

医療の質 Quality Indicator (QI)

(データ作成：診療情報管理室 柳、経営企画室 安里)

当院は、2013年4月から日本病院会主催の「QIプロジェクト」へ参加しています。「QIプロジェクト2021」では、日本病院会が指定する40項目以上の指標について、全国の参加病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し、医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

患者満足度調査

外来と入院の患者さんに対し、「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問に対し、「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の5段階評価をしていただき、「満足 / やや満足」とご回答をいただいた割合です。

外来

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
外来	93.0%	91.5%	91.9%	93.3%	92.4%
入院	92.5%	96.5%	97.4%	94.1%	96.8%

※外来の調査期間：2021年10月4日～10月5日（2日間）回答数：231件

※入院の調査期間：2021年10月4日～10月9日（6日間）回答数：99件

外来及び入院の患者満足度の「満足 / やや満足」の割合は、2017年度以降、5年間連続して9割を超えました。

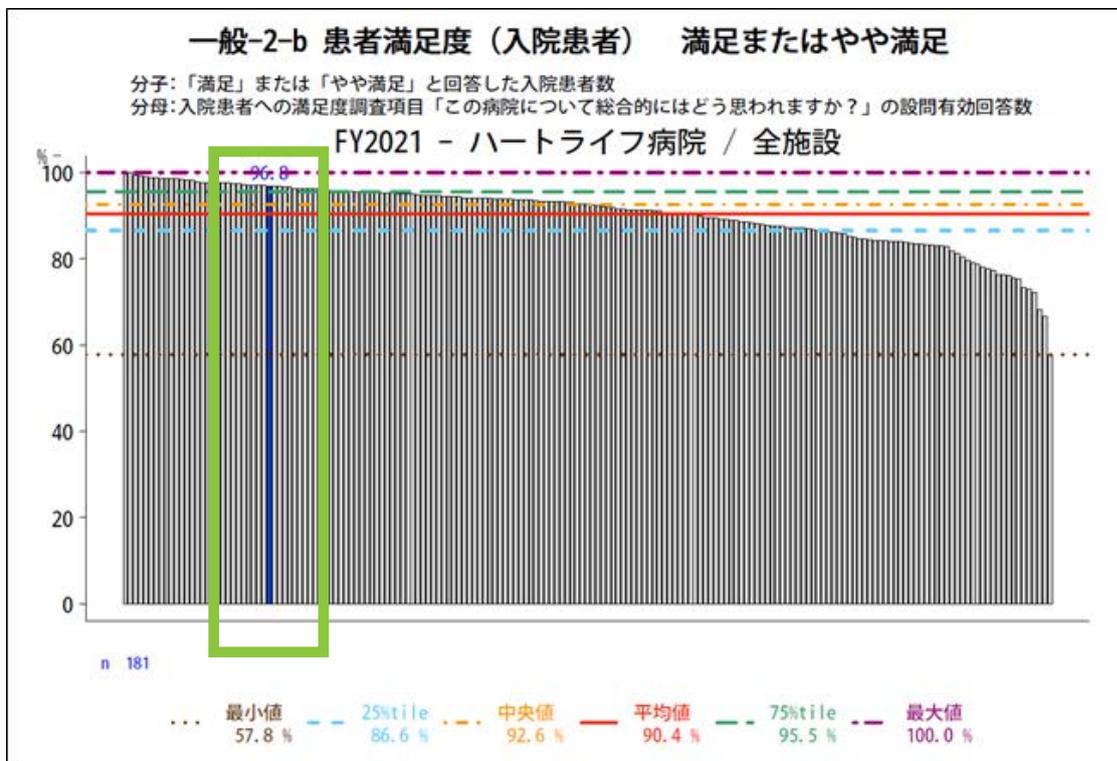
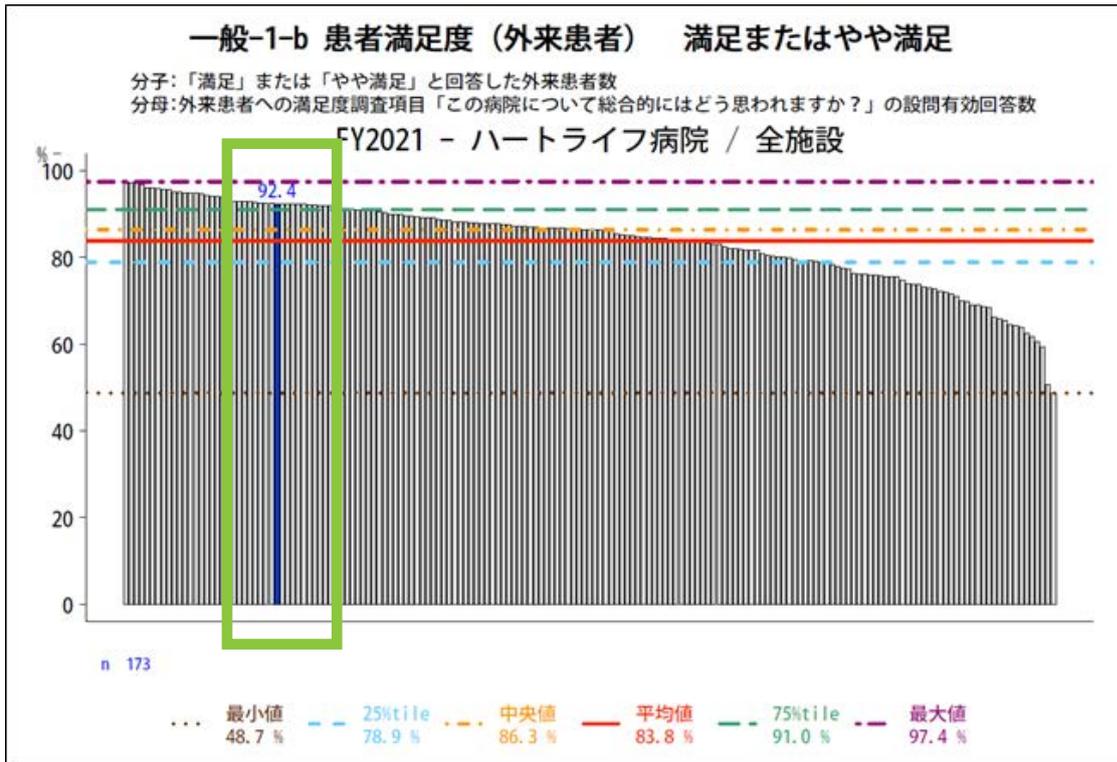
外来

当院の外来の「満足またはやや満足」の割合は92.4%と、全国平均値（83.8%）より高い状態を維持しています。昨年度と比較し、僅かではありますが、0.9%減少しました。新型コロナウイルス感染症の外来治療との併存や、院内における感染対策の厳格化で、待ち時間が延長したり、スペースが狭くなるなど総じて影響していたのだと思います。「とてもお世話になっています。ありがとうございます。」や「wifiがどこでも使えるのはありがたいです。待ち時間が気にならないです。」といったお褒めのお言葉を頂きました。その一方で、「今日は待ち時間が短かったのですがいつもだともう少し待つことがあるので、予約の時間帯で受診できるともっとよいと思います」といったご指摘も頂戴しました。

入院

当院の入院の「満足またはやや満足」の割合は96.8%と、全国平均値（90.4%）より高い状態を維持しています。昨年度と比較し、2.7%増加しました。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の入院治療も併存しており、厳格な感染対策や面会制限、入院延期などで、平時と比べて入院患者さんに多くの不便をおかけすることとなりました。「医師や看護師さんが話しやすく、とても感じがいい。」や「お世話になりました。少しの変化も気にかけて下さって安心しました。ありがとうございました。」といったお褒めの言葉も頂戴しました。その一方で「トイレはウォシュレット付の方が良いと思います。」といった施設・設備に関するご指摘も頂戴しました。

引き続き、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。



入院患者の転倒・転落発生率

患者さんが入院中に、何らかの原因で転倒・転落した割合です。

患者さんが転倒・転落に至る原因は、療養環境（建物・部屋の構造など）によるものや、患者さんご本人の疾病・治療・手術の影響によるものなど、原因はさまざまです。次ページ上のグラフはすべての入院患者さんのうち、転倒・転落に至ったインシデント・アクシデント報告件数の割合を原因の別なく示したものです。単位はパーミル（‰）で、「1,000人あたり何人いたか」を示します。

当院の「入院患者の転倒・転落発生率」は2.3‰（1,000人あたり2.3人）と、全国平均値（2.7‰：1,000人あたり2.7人）より低い値でした。

一方で、次ページ下のグラフは、転倒・転落した入院患者のうち、転倒・転落が原因で何らかの治療が必要となる「損傷レベル2以上」として報告が上がった件数を、同じく1,000人あたり何人いたか、という割合で示したものです。

当院の損傷レベル2以上の転倒・転落発生率は1.5‰（1,000人あたり1.5人）で、全国平均値（0.7‰：1,000人あたり0.7人）を超えていました。

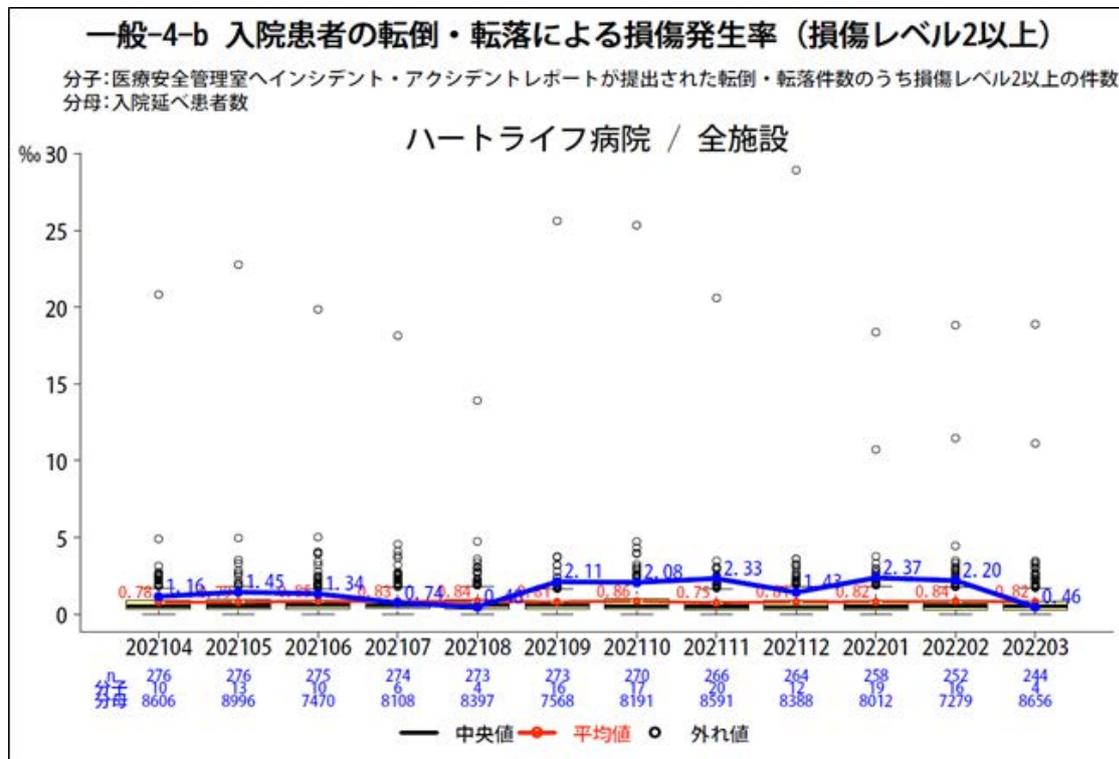
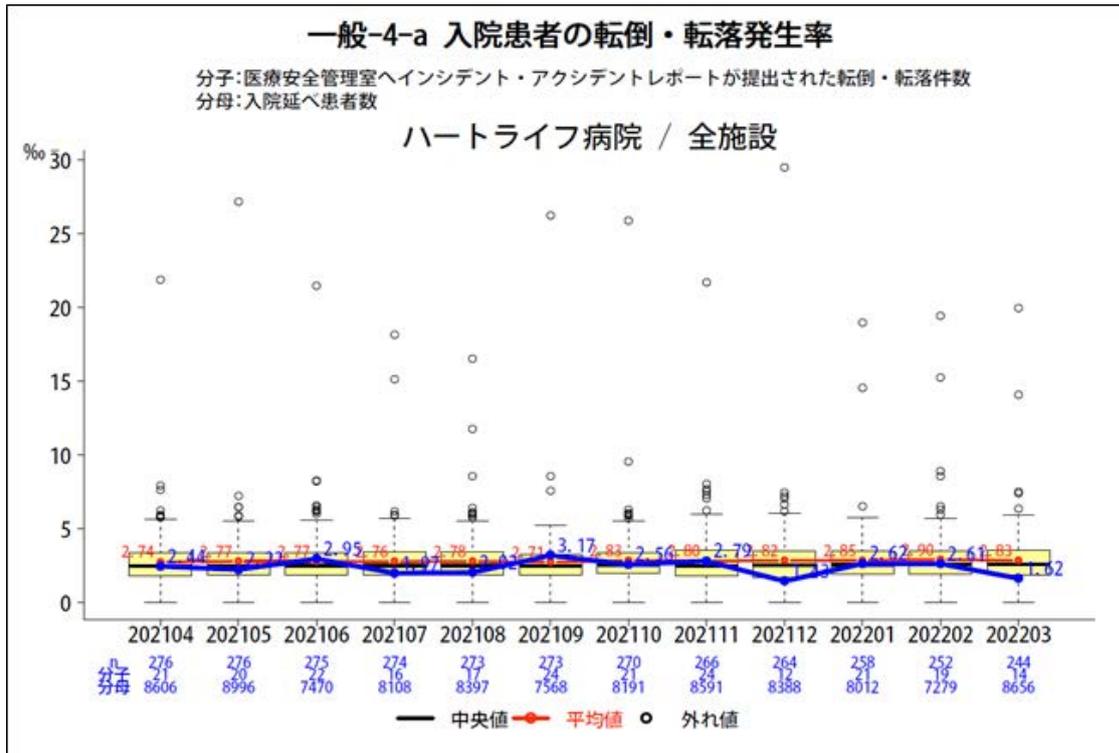
この2つのグラフからは、「全国の他病院では転倒・転落が発生しても損傷レベル2以上に至らないようにフェイルセーフ[※]面で安全策を実施している」、「当院では全国と比して、転倒転落が発生すると、治療を要する状態になりやすい」ことが示唆されます。

当院は、より病状の重い患者さんを扱う救急告示病院であることに加え、患者さんの高齢化（認知症の有病率の高さ）も相まって、転倒・転落に至ると、なんらかの治療を要する状態に至りやすいことを示唆しています。そのため、転倒・転落を防止するために、当院では医療安全管理室を中心として、下記の活動に継続的に取り組んでいます。

1. 自立患者、認知機能低下・せん妄など事象発生時の患者状態を安全管理室として分析しています。その上で、部署の判断と照合し、要因と対策の適性話し合っています。
2. 発生時間、排泄に関連しているかなど患者行動を分析しています。分析から、事前のトイレ誘導など転倒防止策について検討する場を部署と設けています。
3. 看護部を中心に転倒、転落事象低減を目標に環境管理強化に取り組んでいます。
4. 高齢化に伴い、履物選択指導を継続しています。高齢化に伴い事象レベルが高くなる傾向もあり、継続して転倒転落防止における教育を行なっていきます。

当院では、患者さんの転倒・転落を防止するために、転倒・転落が発生したらすぐに医療安全システム（インシデント・アクシデント報告システム）に報告入力し、原因を分析して改善する流れに力を入れています。今後もリスクアセスメントを推進して、転倒・転落に至らないための工夫を続けます。

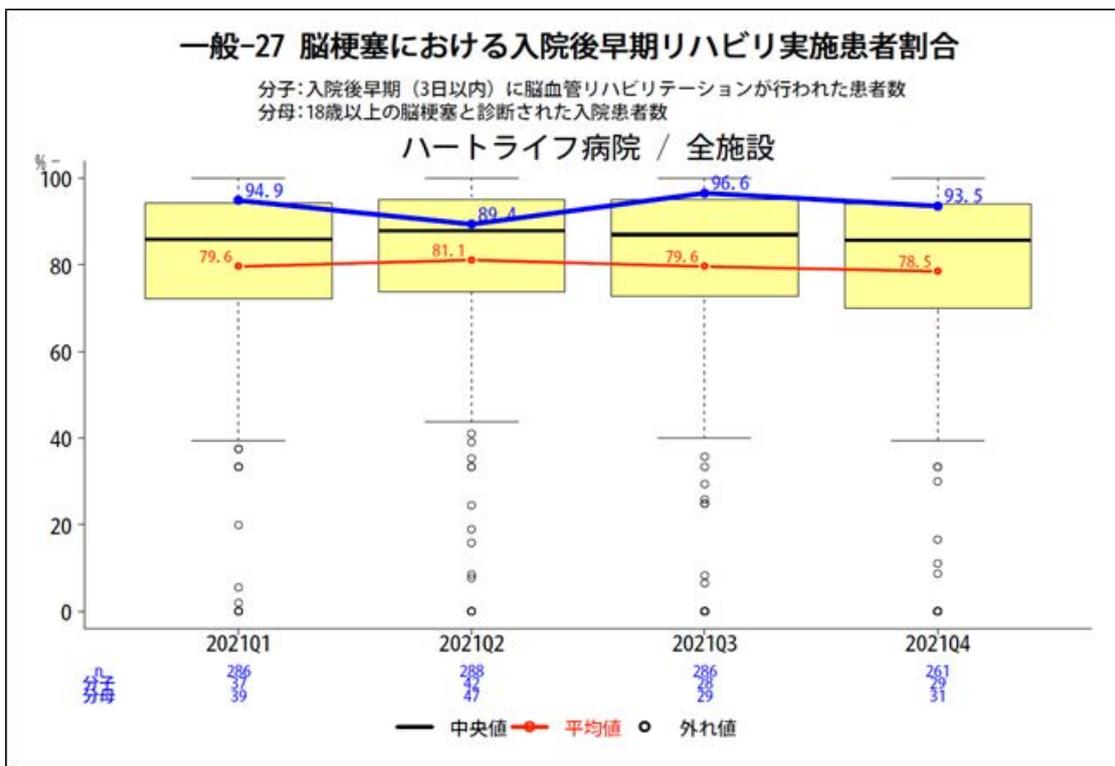
※フェイルセーフとは「問題が発生しても、それに伴うリスクを最小限に留める対策」のことを指します。



脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合

近年、脳卒中患者における急性期リハビリテーションの有効性が明らかになっています。脳梗塞では、急性期治療を行いつつ、できるだけ早期にリハビリを開始することで、ADL（日常生活動作・活動）機能の早期回復や低下抑制につながるということがわかっています。

当院の「脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合」は、93.2%で、全国平均値より高い状態を維持しています。



地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率・逆紹介率

地域医療支援病院承認条件：紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上

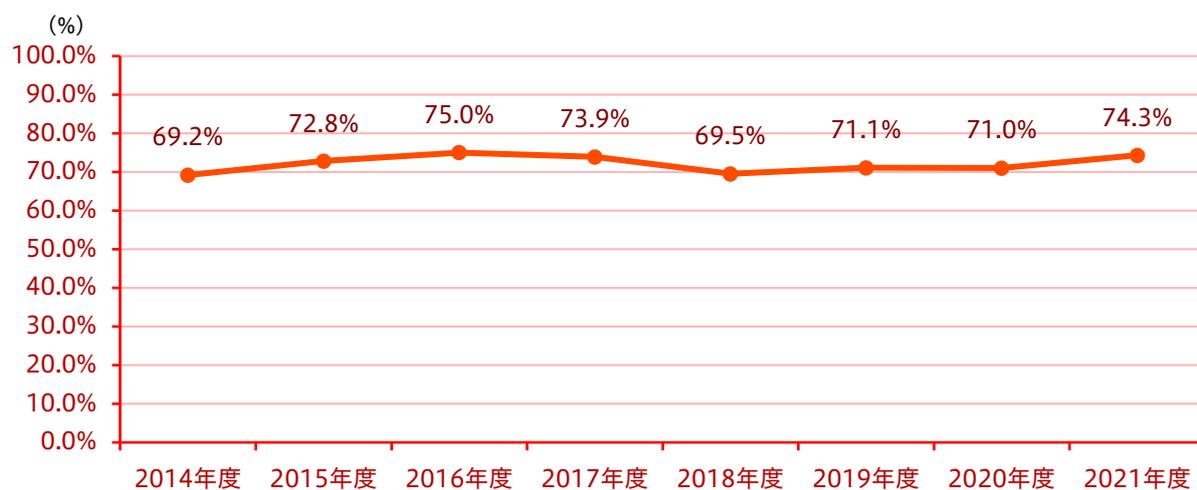
ハートライフ病院目標 紹介率 81.2% / 逆紹介率 75.8%

(データ作成 地域医療連携室 金城)

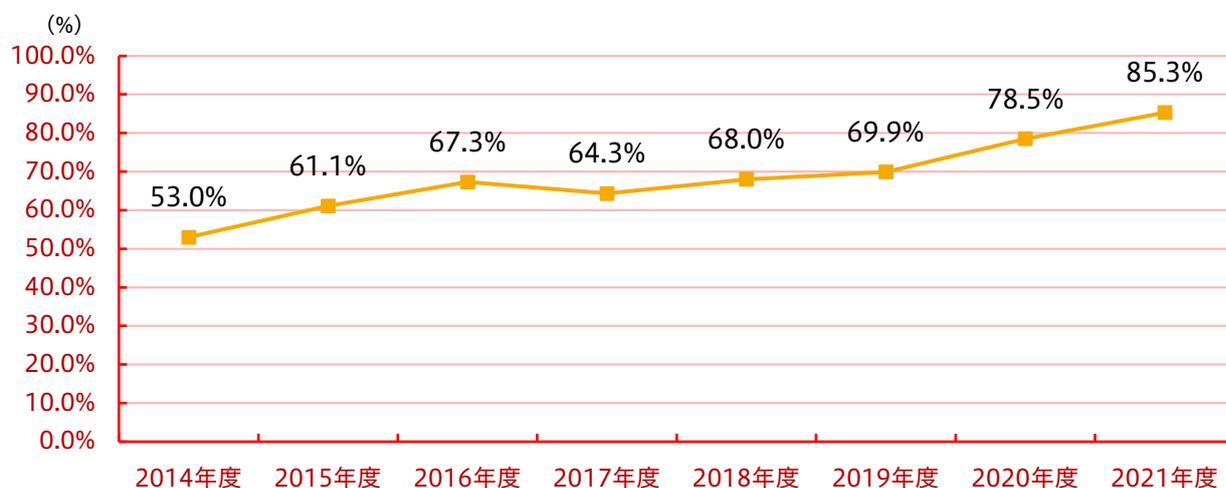
紹介患者状況

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	患者数 (人)	月平均								
紹介患者数	8,645	720	8,402	700	8,872	739	7,636	636	8,323	694
初診患者数	18,703	1,559	18,816	1,568	19,828	1,652	15,564	1,297	16,682	1,390
救急初診患者数	7,149	596	6,506	542	7,032	586	4,394	366	5,011	418
時間内初診救急搬送件数	624	52	658	55	772	64	749	62	807	67
逆紹介患者数	7,528	627	8,214	685	8,711	726	8,442	704	9,558	797
紹介率	73.9%	-	69.5%	-	71.1%	-	71.0%	-	74.3%	-
逆紹介率	64.3%	-	68.0%	-	69.9%	-	78.5%	-	85.3%	-

地域医療支援病院紹介率の実績 (基準値 65% 目標値 81.2%)



地域医療支援病院逆紹介率の実績 (基準値 40% 目標値 75.8%)



共同利用

(データ作成 地域医療連携室 金城)

年度別 登録医状況

	登録医数	登録医療機関	備考
2009年度3月	292		
2010年度3月	303		
2011年度3月	307	303	
2012年度3月	304	300	
2013年度3月	299	294	
2014年度3月	297	290	
2015年度3月	300	292	

	登録医数	登録医療機関	備考
2016年度3月	322	313	
2017年度3月	323	314	
2018年度3月	324	315	
2019年度3月	322	313	
2020年度3月	313	304	
2021年度3月	310	301	

2021年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数
北部医療圏	11
中部医療圏	102
南部医療圏	168
宮古医療圏	12

医療圏	件数
八重山医療圏	7
その他医療圏	1
合計	301

開放病床の共同利用状況 (開放病床 22 床)

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2014年度	8,950	115.1%
2015年度	8,843	110.0%
2016年度	10,521	131.2%
2017年度	9,196	114.4%

	延べ利用患者数	年間平均利用率
2018年度	9,352	117.4%
2019年度	8,919	110.4%
2020年度	7,551	94.2%
2021年度	7,275	90.5%

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
2011年度	総件数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利用率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
2012年度	総件数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2,049
	利用率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%
2013年度	総件数	3,964	11,547	307	13,094
	紹介件数	689	1,055	49	2,156
	利用率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
2014年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
2015年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884
	紹介件数	667	1,134	46	2,270
	利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%
2016年度	総件数	3,780	12,230	202	11,677
	紹介件数	782	1,340	35	2,435
	利用率	20.7%	11.0%	17.3%	20.9%

		MRI	CT	RI	超音波
2017年度	総件数	3,822	12,253	283	11,636
	紹介件数	733	1,306	73	2,595
	利用率	19.2%	10.7%	25.8%	22.3%
2018年度	総件数	4,503	12,397	287	11,887
	紹介件数	939	1,247	42	2,793
	利用率	20.9%	10.1%	14.6%	23.5%
2019年度	総件数	4,758	13,667	285	12,248
	紹介件数	965	1,513	49	2,881
	利用率	20.2%	11.1%	17.1%	23.5%
2020年度	総件数	4,581	14,708	285	11,623
	紹介件数	849	1,505	45	2,953
	利用率	18.6%	10.2%	15.8%	25.4%
2021年度	総件数	2,910	9,144	140	6,946
	紹介件数	651	903	24	1,568
	利用率	22.4%	9.9%	17.0%	22.6%

研修

(データ作成 地域医療連携室 金城)

内訳	回数	症例件数	参加人数		
			院内	院外	合計
救急症例検討会	1	4	44	125	169
消化器系症例検討会	0	0	0	0	0
その他講演会等	0	0	0	0	0
合計	1	4	44	125	169

救急救命士実習実績

(データ作成 地域医療連携室 金城)

気管挿管病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	1
中城北中城消防本部	2
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	2
沖縄市消防本部	1
金武地区消防衛生組合消防本部	1
合計	7

ビデオ喉頭鏡病院実習

消防本部名	人数
金武地区消防衛生組合	1
宜野湾市消防本部	1
沖縄市消防本部	2
うるま市消防本部	2
合計	6

薬剤投与病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	1
島尻消防組合消防本部	2
合計	3

気管挿管及びビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
沖縄市消防本部	3
宜野湾市消防本部	3
うるま市消防本部	2
中城北中城消防本部	2
合計	10

就業前病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	1
中城北中城消防本部	3
島尻消防組合消防本部	1
合計	5

気管挿管認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
うるま市消防本部	3
金武地区消防衛生組合	1
宜野湾市消防本部	1
沖縄市消防本部	2
東部消防組合消防本部	21
合計	28

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMAT は、大規模災害や多数傷病者事案など防ぎ得た災害死を減らすため、厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で多くの会議・協議会・実働訓練・学会、講習会等に参加、実績を残し、平成26年にDMAT 隊員養成研修を受講、正式にハートライフ病院がDMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後も、各種訓練、講習会に参加しつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、平成28年に起きた熊本地震では沖縄からの最先着隊として被災地に入り、令和2年の熊本豪雨災害にも出動し、本部活動を含め被災地の復興のために活動してきました。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療部 救急部長	医師(内科系)
国吉 史雄	外科副部長	医師(外科系)
兼本 愛美	救急外来 主任(救急看護認定看護師)	看護師
山田 義長	救急外来 副主任	看護師
野原 剛	臨床工学科 技師長	ロジスティクス(事務・調整役)
安里 健二	事務部企画室電算係 副主任	ロジスティクス(事務・調整役)
森元 一晟	救急外来 ER-Aide(救急救命士)	ロジスティクス(事務・調整役)

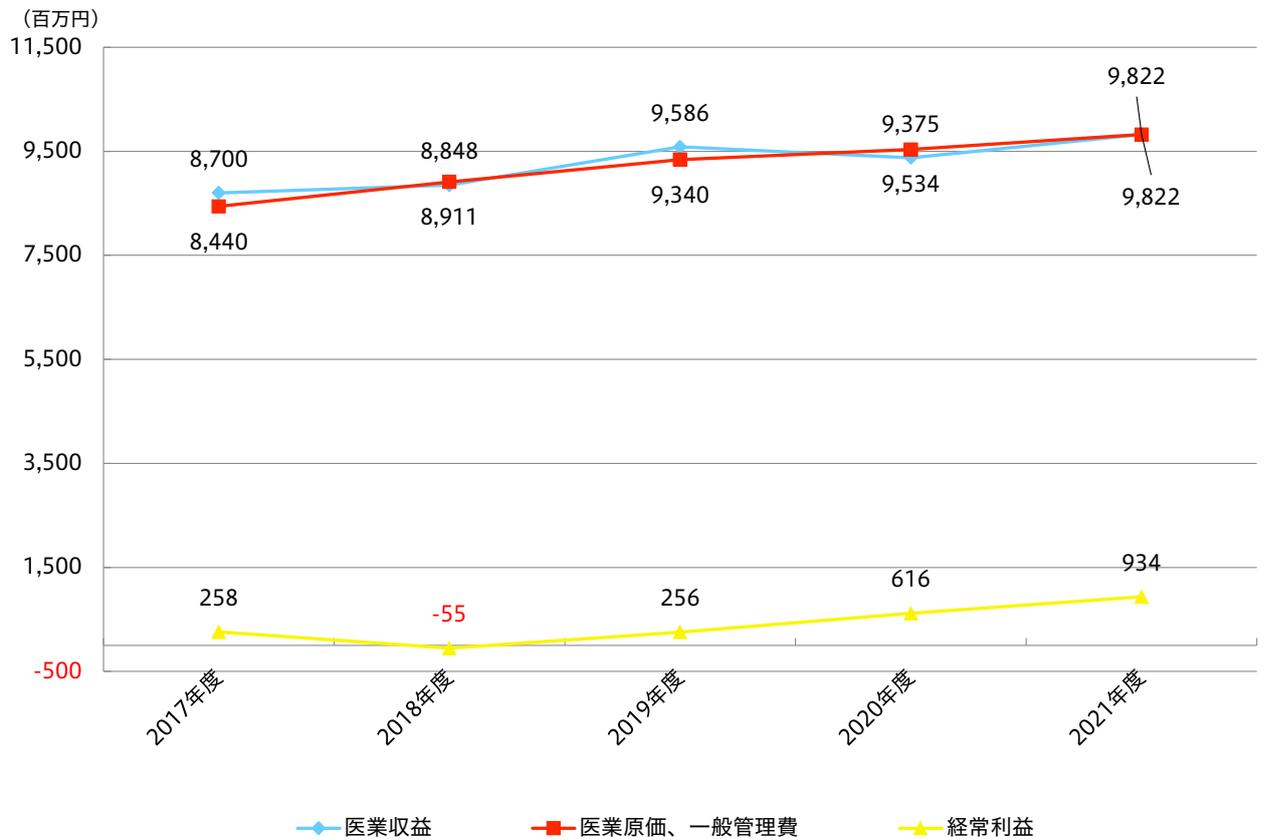
活動報告

種別	名称・参加者
県庁派遣	沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部総括情報部への職員派遣
災害訓練	院内災害対策訓練の実施
事務局活動	C19 災害対策本部会議 ハートライフ DMAT 委員会 (DMAT 隊員、企画室、臨床工学科、管財課)

令和3年2月 院内災害対策訓練

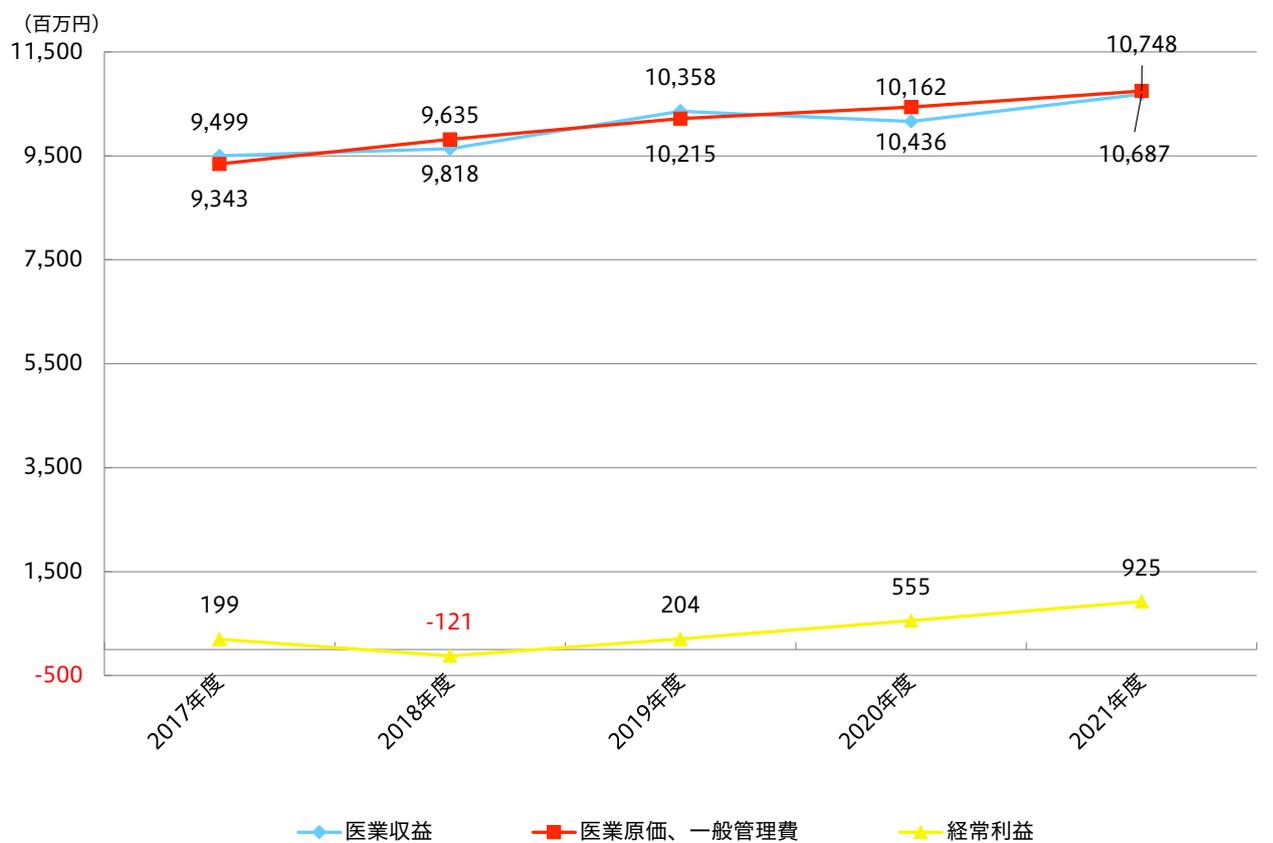


ハートライフ病院 財務状況推移



(データ作成 財務経理課 大山)

社会医療法人かりゆし会 財務状況推移



(データ作成 財務経理課 大山)

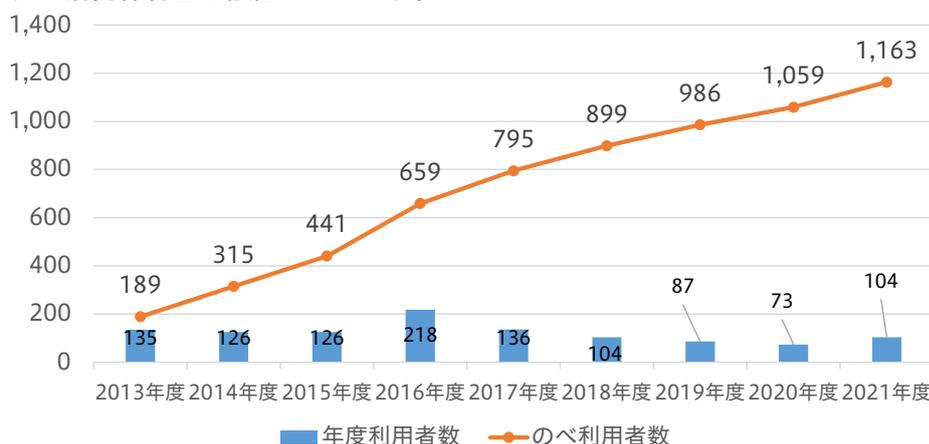
社会医療法人かりゆし会 2021年度の活動実績

(データ作成 総務課 富里)

年月日	名称
2021年4月1日	入職式・新入職員オリエンテーション
2021年4月5日	中部地区医療従事者 新型コロナワクチン接種(4月～8月)
2021年4月7日	職員対象 新型コロナワクチン接種
2021年4月8日	
2021年4月9日	
2021年4月26日	職員・委託業者対象 新型コロナワクチン接種
2021年4月27日	近隣市町村住民 新型コロナワクチン接種(5月～10月)
2021年5月10日	
2021年5月19日	
2021年5月21日	職員・委託業者対象 新型コロナワクチン接種
2021年7月5日	院内献血
2021年8月3日	健診受診者向け 健診結果の閲覧サービス開始
2021年8月22日	ハートライフ病院 開院33周年
2021年9月9日	麻酔科相談役の久場 良也が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞
2021年9月12日	新型コロナワクチン 職域接種
2021年10月4日	患者満足度調査【外来部門・透析室・予防医学センター・内視鏡センター：10/4～10/5 入院部門：10/4～10/9】
2021年10月10日	新型コロナワクチン 職域接種
2021年11月1日	かりゆし会理事長の安里哲好が日本医師会最高優功賞を受賞
2021年11月3日	保安業務を担当している糸数 秀一が危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章 警察功労を受賞
2021年11月3日	元予防医学センター科長の川上 国男氏が令和3年秋の叙勲 瑞宝双光章 保健衛生功労を受賞
2021年12月16日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2021年12月17日	
2021年12月22日	
2021年12月24日	
2022年1月4日	院内成人式
2022年1月7日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年1月20日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年1月21日	
2022年2月10日	災害訓練(第一部 机上訓練、第二部 特別講演)
2022年2月10日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年3月18日	職員満足度調査(3/18～3/31)
2022年3月24日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年3月24日	卒後臨床研修医第17期 研修修了式

かりゆし会病児保育室 利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成24年8月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



2021 年度 患者満足度調査

(データ作成 患者満足度向上委員会 富里)

当院では、患者サービス向上を目的に「患者満足度調査」を実施しております。以下に 2021 年度に実施されました調査結果をご報告致します。アンケートにご協力して下さった皆様に心より感謝を申し上げます。

今後は、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

調査場所 2021 年 10 月 4 日(月) から 10 月 5 日(火) の 2 日間(病棟のみ 10 月 4 日(月)～10 月 9 日(土)までの 6 日間)

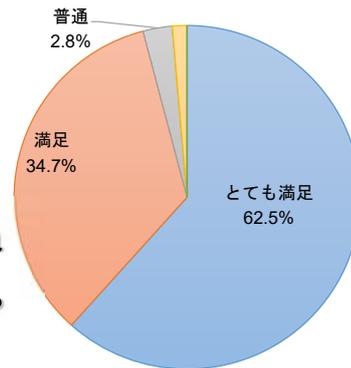
調査場所 ハートライフ病院 外来・各病棟・透析室・予防医学センター・内視鏡センター

**内視鏡
センター**

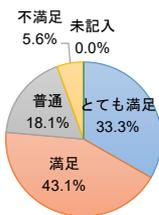
アンケート回答数
72件

【総合評価】 内視鏡での検査に 満足できましたか？

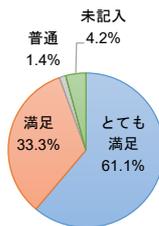
満足以上が97.2%と概ね
良い評価となっています。



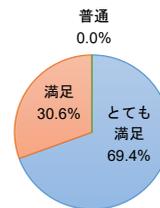
内視鏡での待ち時間



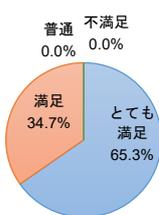
医師の言葉遣いや態度



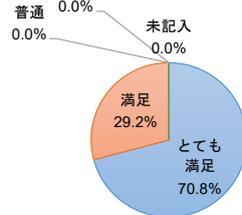
看護師の言葉遣いや態度



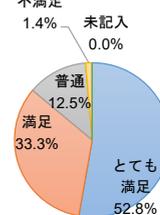
受付事務の言葉遣いや態度



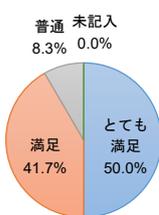
看護師の対応



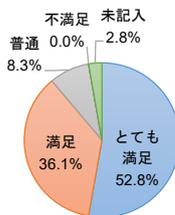
待合室の設備はいかがでしたか



検査室・麻酔部屋の雰囲気



検査後は十分に休めたか



＜コメント＞

喉の麻酔がゼリーとなったので、飲み易かった。

いつも丁寧な対応有難うございます。利用して20年くらいになります。

待合室は少し狭い感じはこのご時世のせいでしょうか。特に大意はありません。

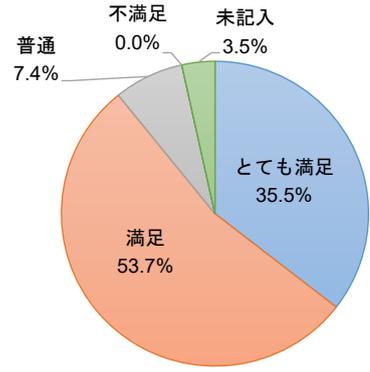
胃カメラ検査までの待ち時間が長かったです。しかし、無事すべての検査が受けられてお世話になりました。有難うございます。来年も宜しく糖尿病なので、低血糖になった人の為の飴かチョコがあれば、良かったと思います。

外来

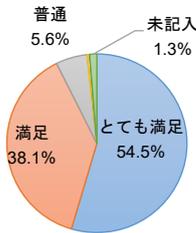
アンケート回答数
231件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

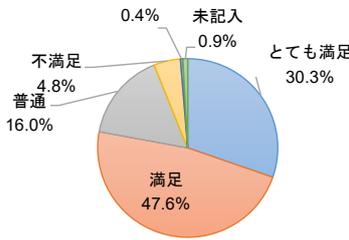
満足以上が89.2%と
概ね良い評価と
なっています。



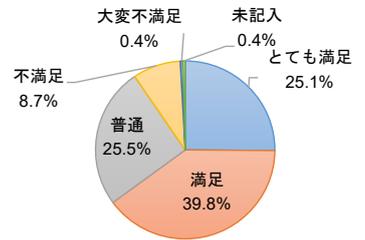
医師による診察内容は分かり易かったですか？



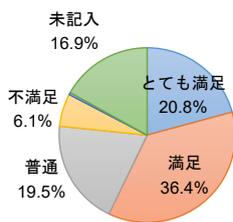
受けの待ち時間はいかがでしたか？
大変不満



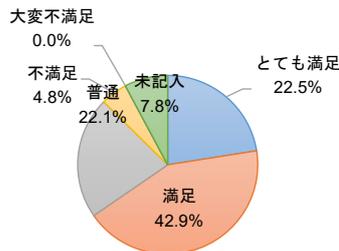
診察の待ち時間はいかがでしたか？



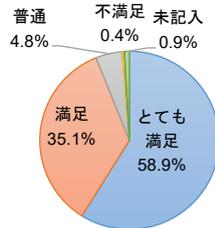
検査の待ち時間はいかがでしたか？



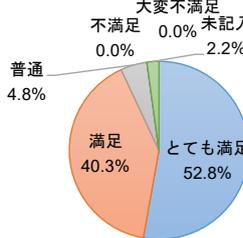
会計の待ち時間はいかがでしたか？



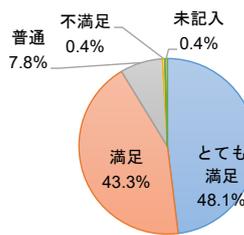
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



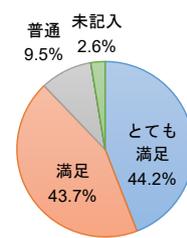
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？
大変不満



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



<コメント>

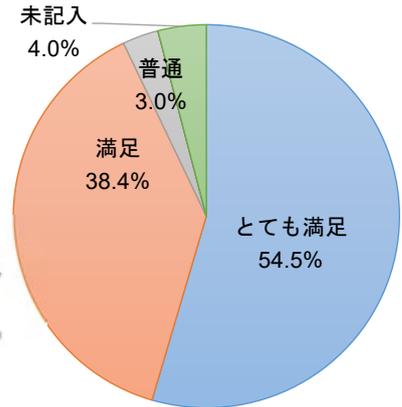
- 今日は待ち時間が短かったのですがいつもだともう少し待つことがあるので、予約の時間帯で受診できるともっとよいと思います
満足しています(入院時もとてもよくして頂きました)
15年以上通院しているから私は良いと思います
- wifiどこでも使えるのはありがたいです。待ち時間が気にならないです。
- 前回、会計番号が掲示板に表示されるのを伝えてくれず長い時間、席にすわっていた。ひとこときちんと教えてほしい
- 駐車場がいつもいっぱい。駐車場をふやしてほしい

病棟

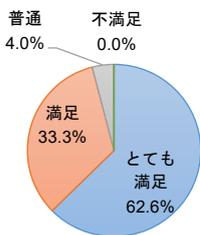
アンケート回答数
99件

【総合評価】 この病院での診療に 満足していますか

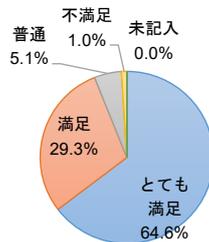
満足以上が92.9%と概ね
良い評価となっています。



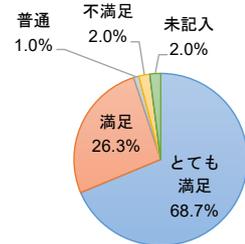
医師の病気や治療による説明はいかがですか



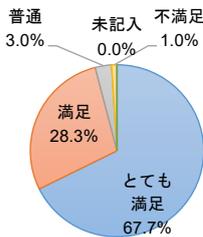
看護師の説明や対応はいかがですか



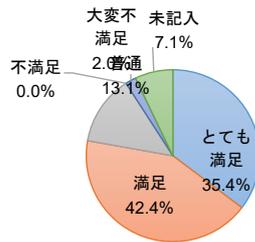
医師・看護師は話を聞いてくれますか



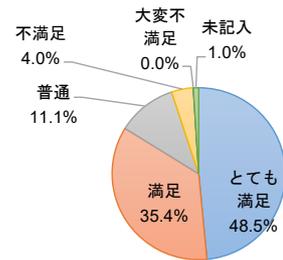
職員の言葉遣いや態度は良かったですか



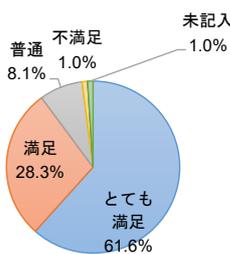
食事について(味・内容・量)はいかがですか



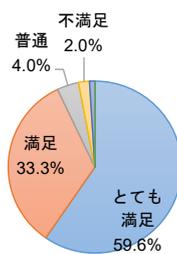
静けさは保たれていますか



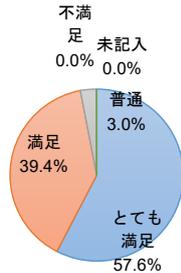
病棟・病室・トイレはきれいでしたか



病室・廊下の明るさはいかがですか



室内の温度調整はいかがですか



<コメント>

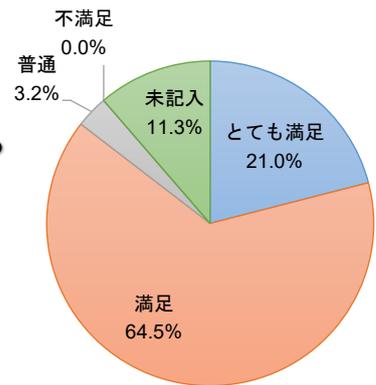
医師や看護師さん話しやすく、とても感じがいい。
”7日間の入院期間中、大変お世話になりました。唯の一度も不愉快な思いもする事なく、身体だけでなく心のケアまでして頂き感謝です。お顔を見る事が出来なかったお食事担当のスタッフの皆様、美味しく温かい食事をありがとうございました。麻酔科、手術室のスタッフの皆様、元気に退院します。ありがとうございました。”
コロナ禍で立ち合いや面会ができず残念でしたが、ギリギリまで調整して下さり有難うございました。緊急手術となり不安でいっぱいでしたが側にいてくれ、励ましの声かけがとても嬉しかったです。あの時は不安と心配で周りがみえてみえませんでしたでしたが振り返ると迅速な対応、無事に出産できたのもスタッフ皆さんへ感謝です。
”個室のトイレの床がレトロすぎて少し怖かった。コロナ禍で、普段より大変だと思いますが、丁寧に对应して頂き感謝しています。新垣先生、3階の職員の方々、有難うございました。”
コロナ禍の中、大変だと思いますが頑張って下さい。
食事はまだ食べてないのでわかりません。夜中、大声を出す方がいたので、部屋に入ってこないか心配でした。後から聞くと大丈夫との事。事前に心配無用等の説明あれば安心します。
どなたも対応が良く、全体的に良かったです。師長さんも話しやすく方で安心しています。

予防医学 センター

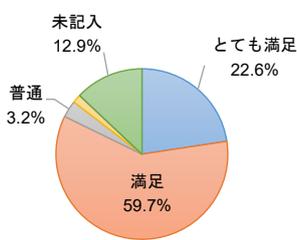
アンケート回答数
62件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

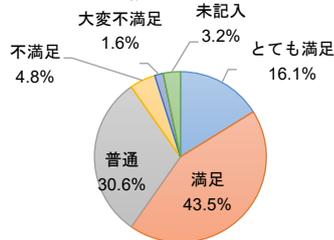
85.5%が満足以上の
評価となっています。



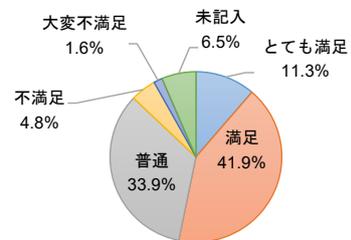
医師による診察内容は分かり易かったですか？



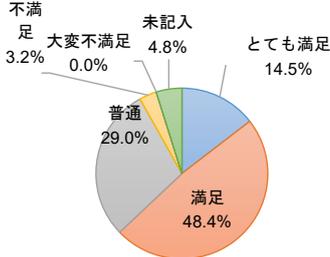
受付の待ち時間はいかがでしたか？



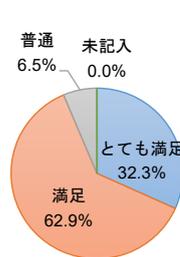
診察の待ち時間はいかがでしたか？



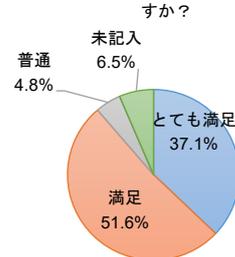
検査の待ち時間はいかがでしたか？



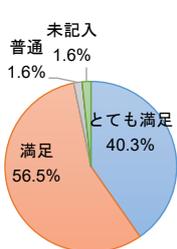
会計の待ち時間はいかがでしたか？



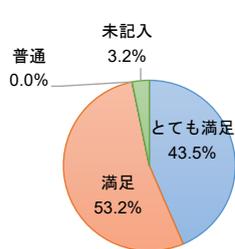
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



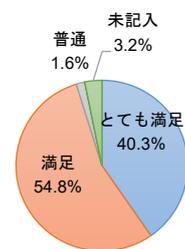
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



<コメント>

古い病院だと思いますが、健診ルームはとてもきれいでした。スタッフの皆様も沢山いらっしやったので、他の病院よりもスムーズに流れている様に感じました。(同じフロアで全て出来るのはとっても良いです。)

健康サンダル(スリッパ)が足の指に当たって赤くヒリヒリして痛い。歩くのに苦労した。サンダルが固すぎる。ロッカーが小さすぎる。

胃カメラの予約数をもっと増やして欲しい。3~4か月前でも予約が取れなかった。

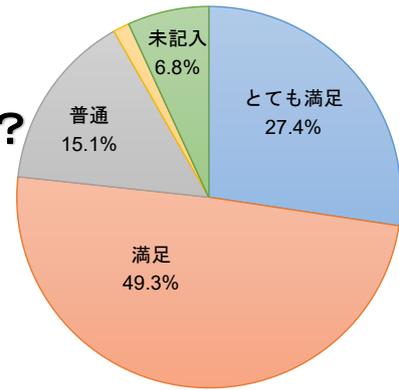
毎回、胃カメラを希望したい。

透析室

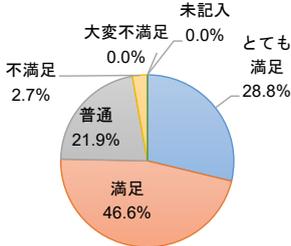
アンケート回答数
73件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

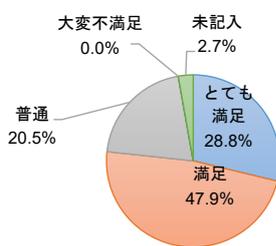
76.7%が満足以上の
評価となっています。



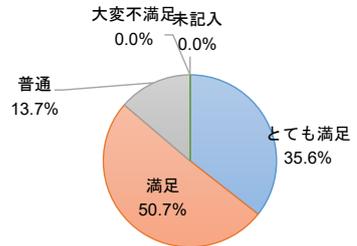
医師の病気や治療による説明はいかがですか



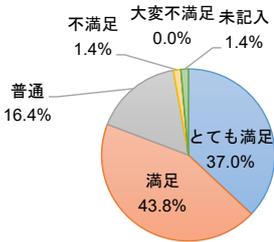
看護師の説明や対応はいかがですか



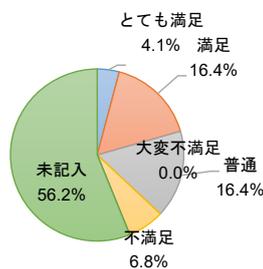
医師・看護師は話を聞いてくれますか



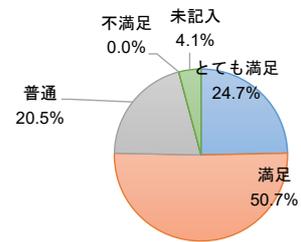
職員の言葉遣いや態度は良かったですか



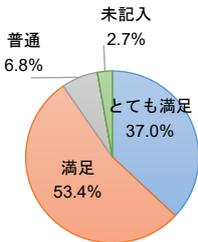
食事について(味・内容・量)はいかがですか



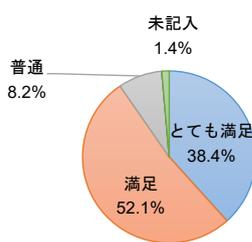
静けさは保たれていますか



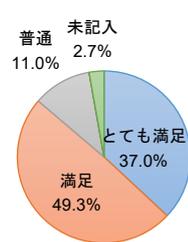
トイレはきれいでしたか



廊下の明るさはいかがですか



臭気はいかがですか



<コメント>

いつも感謝しています。有難うございます。コロナで職員さんも大変だと思いますが、これからも宜しくお願いします。

大変お世話になっており、感謝しかありません。病気・治療の説明に関しては本人は理解が難しいらしいので付き添いの家族に説明して頂き、家族としては理解が充分できています。いつもありがとうございます。

最初の人が入ってもあとの人が先になるからそれをなおしてほしい。

敷パットが汚れる(血液、消毒液)ことがあるので、その部分にビニールシートで汚れないようにして欲しいです。消毒液はおとりにくいです。全館において冷房が冷え過ぎると思います。

2021年度職員満足度調査

(データ作成 事務部 比嘉)

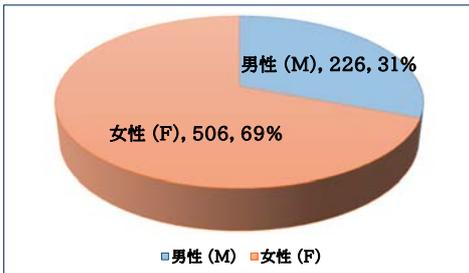
かりゆし会では、毎年職員満足度調査を行い、このアンケート結果を職場改善の材料とし、職員が働きやすく、働き甲斐のある組織運営の実現に向けて取り組んでおります。

調査概要：職員数 1,119名 (2022.3.1時点) 回答数 732 回答率 65.42%

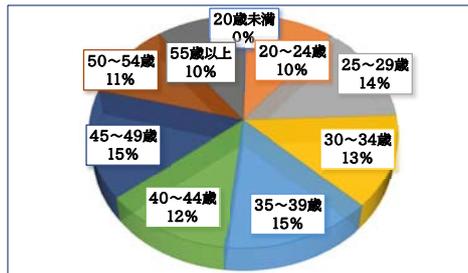
調査日時：2022年3月18日(金)～2022年3月31日(木)

調査方法：グループセッション(グループウェア)を利用した調査票への入力

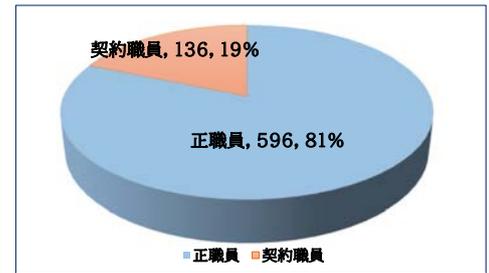
設問1 性別



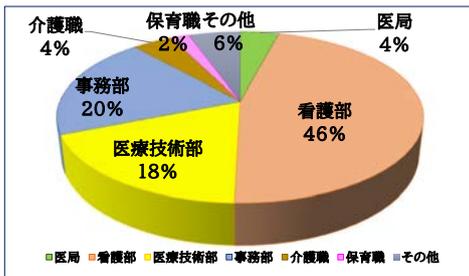
設問2 年齢



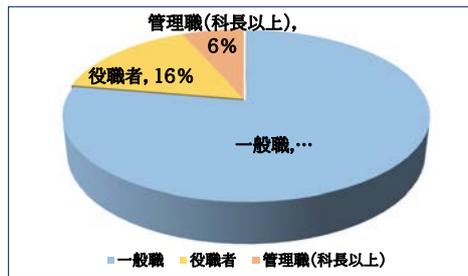
設問3 雇用形態



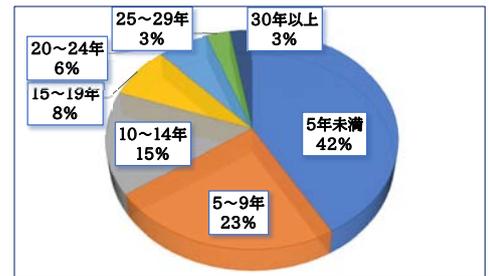
設問4 職種



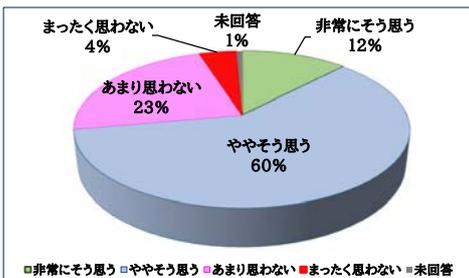
設問5 役職



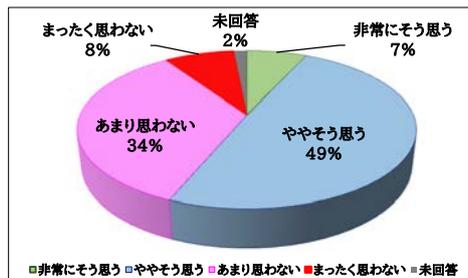
設問6 勤続年数



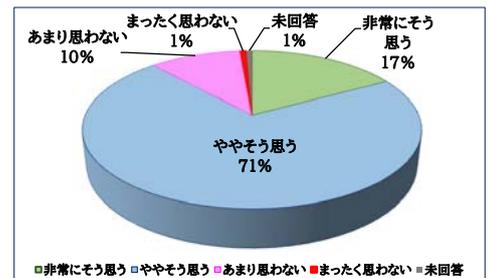
設問7 今の職場でこれからも働きたいと思えますか



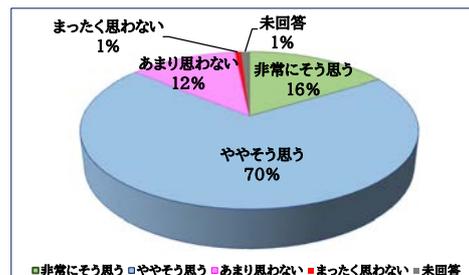
設問9 今の職場を職場として知人に勧めますか



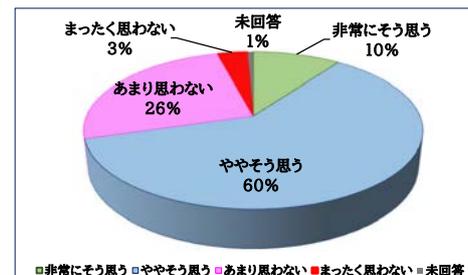
設問11 病院の理念・方針・目標などを理解していますか



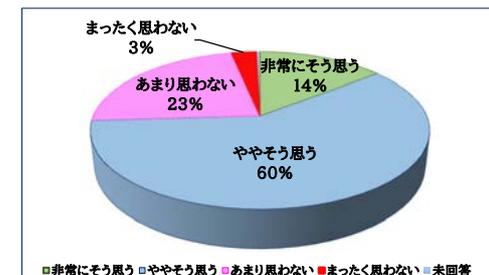
設問13 病院は理念や使命に沿った活動をしていると思えますか



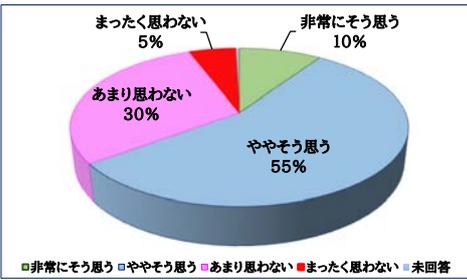
設問15 今の仕事が自分の能力にあっていると思えますか



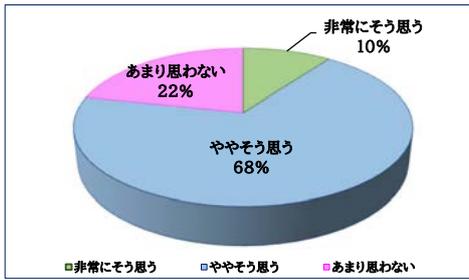
設問17 今の仕事にやりがいを感じていますか



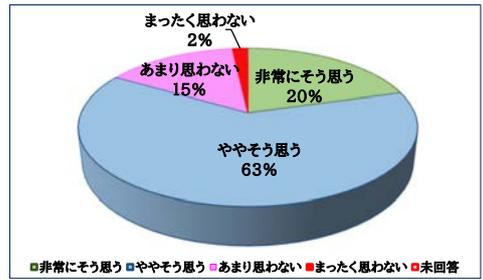
設問19 仕事の成果が正当に評価されていると思いますか



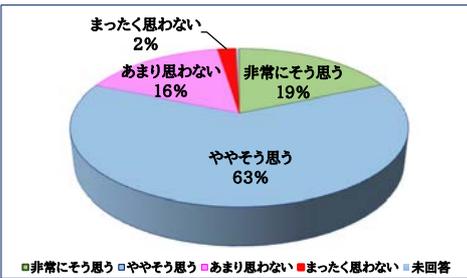
設問21 あなたは自己成長に繋がる努力をしていますか



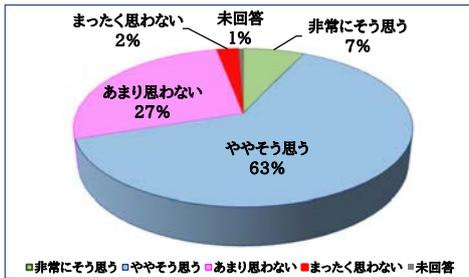
設問23 あなたの上司と仕事上の関係は良いと思いますか



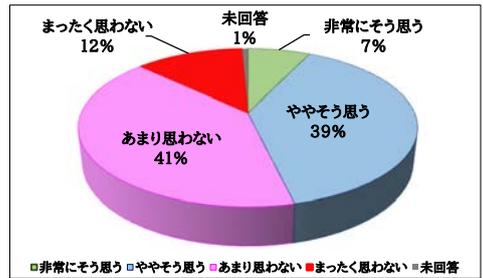
設問25 同じ職場同士で互いに協力出来ていますか



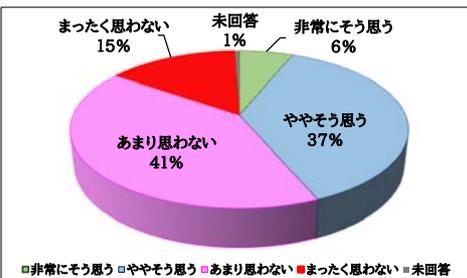
設問27 他部門との連携はスムーズですか



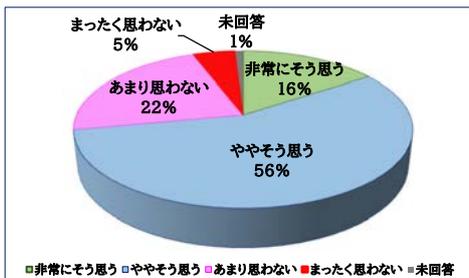
設問29 現在の福利厚生制度に満足ですか



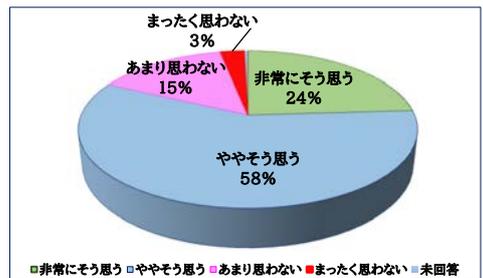
設問31 現在の報酬に満足ですか



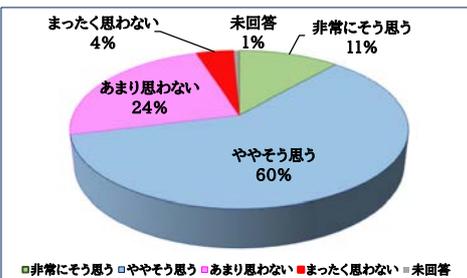
設問33 職場環境(空調・照明・作業空間)は適切ですか



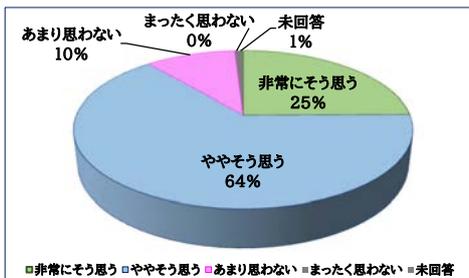
設問35 あなたの上司は仕事のサポートを良くしてくれますか



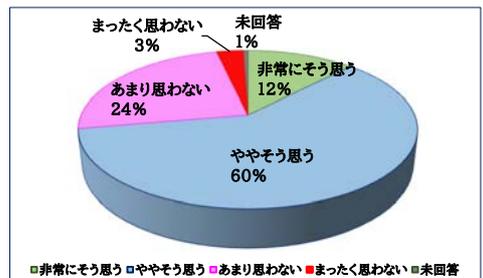
設問37 仕事のスケジュールは適切だと思いますか



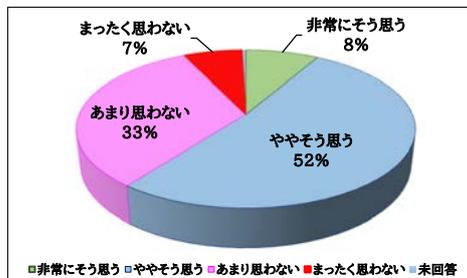
設問39 職場のメンバー同士で互いに協力出来ていますか



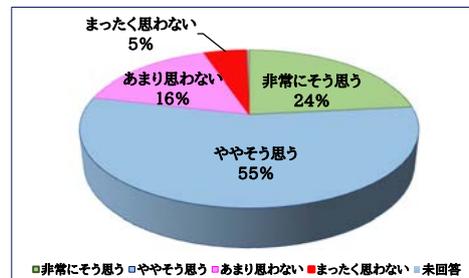
設問41 個々の向上に役立つ学習の機会が与えられていますか



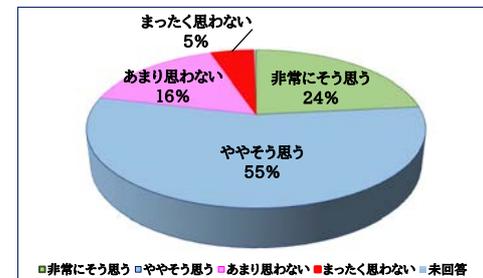
設問43 精神的な不安を感じることなく仕事が出来ていますか



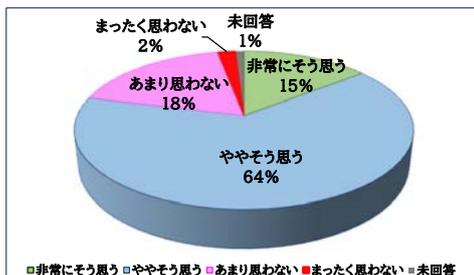
設問45 休暇を取得しやすい職場ですか



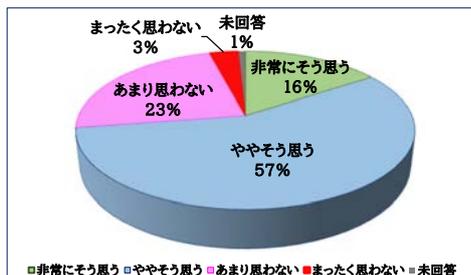
設問47 病院は、職員の安全に配慮していると思いますか



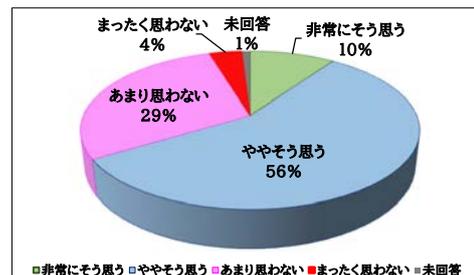
設問49 職務遂行に必要な権限を与えられていますか



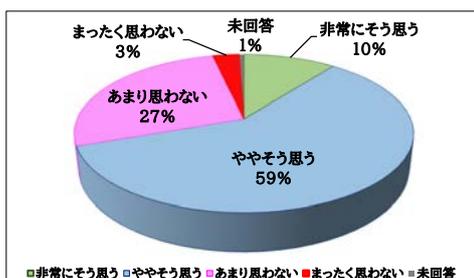
設問51 指示系統で困ることはないですか



設問53 患者として、当院を利用したいと思いますか



設問55 当院を患者さんや知人に勧めますか



統括

回答率は、対象者 1,119 名に対し 732 名の回答で 65.42% となりました。(対前年度 0.84 ポイント UP)

「非常にそう思う」・「ややそう思う」合わせた評価比率で対前年 2 ポイント以上増加が見られた項目

自己評価 [あなたは自己成長に繋がる努力をしていますか] (78%) + 3.5 ポイント

直属の上司との関係 [あなたの上司と仕事上の関係は良いと思いますか] (83%) + 2.6 ポイント

働きやすい環境 [あなたの上司は仕事のサポートを良くしてくれますか] (82%) + 2.4 ポイント

働きやすい環境 [職場のメンバー同士で互いに協力出来ていますか] (89%) + 3.4 ポイント

「非常にそう思う」・「ややそう思う」合わせた評価比率で対前年 2 ポイント以上減少が見られた項目 >

報酬 [現在の報酬に満足ですか] (43%) △ 5.4 ポイント

安全面への配慮 [病院は、職員の安全に配慮していると思いますか] (79%) △ 5.1 ポイント

部署別業務実績

医 局

部門紹介

2021年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科27名(内科初診担当2名、総合内科1名、呼吸器3名、循環器5名、消化器10名、血液5名、腎臓1名)、外科10名、麻酔科6名、整形外科5名、産婦人科6名、小児科4名、脳神経外科2名、泌尿器科2名、眼科2名、形成外科1名、耳鼻咽喉科2名、放射線科3名、救急科2名(1名は兼任)、心療内科1名、人間ドック4名、病理診断2名、初期研修医11名の計90名となっていました。

また、初期研修医11名、専攻医7名の指導に加え、年間50名程のクリニカルクラークシップ(琉球大学医学部生)に対応しています。

医師数(常勤)

(2022年3月1日現在)

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	人工透析	形成外科	病理診断科	合計
全医師数(研修医除く)	27	10	2	4	6	5	2	2	2	2	3	1	6	4	0	1	2	79
うち各種学会認定・専門医数	77	43	8	3	6	9	4	5	0	3	3	3	15	5	0	0	3	187
うち臨床研修指導医数	19	6	2	1	2	2	2	2	1	1	1	1	3	0	0	0	1	44
専攻医	1	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
初期研修医	1年目:8名 2年目:3名																	11

医局方針

1. 患者の安全・QOLを第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性確立のため学会活動などの自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 他科との緊密な連携により、患者にとって最高の医療提供を目指す。
4. 他部署との交流・院内各行事への参加を積極的に行う。
5. 地域の医療機関、保健・福祉施設との連携を積極的に行う。
6. 研修医をはじめとする若い医師および他部署への教育、指導を積極的に行い、自身の能力向上につなげる。
7. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club (抄読会 / 毎週水曜日 8:00 ~ 8:30)

年	月日	担当者	演題名
2021年	4月14日	野澤 圭	口腔機能低下症と口腔ケア
	4月21日	金子 侑暉	急性巣状細菌性腎炎
	4月28日	眞榮城 明里	当院小児科で行われた臨床研究の紹介
	5月12日	仲舂 拓	食道静脈瘤
	5月19日	崎原 徹裕	食物アレルギー発症予防の歴史 SPADE スタディの紹介
	5月26日	新垣 珠代	肺結核
	6月2日	秋元 芳典	深部静脈血栓症の予防について
	6月9日	佐藤 直行	当院の研修医採用戦略
	6月16日	堀本 直幹	脳におけるエストロゲンの見えざる作用
	6月23日	島袋 泰	レミマゾラム 新しい静脈麻酔薬
	6月30日	宮崎 優樹	子宮内外同時妊娠
	7月7日	宮城 敬	TAFRO Syndrome
	7月21日	奥島 憲彦	食道アカラシア
	7月28日	末吉 健次	通常の脳梗塞?何かおかしい?
	8月4日	大濱 昌代	多発性骨髄腫
	8月11日	友寄 未希	Bacillus Cereus により多発脳膿瘍
	8月18日	菅野 善一郎	コロナ病み
	8月25日	花城 直次	後腹膜脂肪肉腫の1例
	9月1日	仲村 義一	～ EVT ～ 修行から現在に至る
	9月8日	渡慶次 学	テニス肘(上腕骨外側上顆炎)
	9月15日	折田 均	糞線虫症について
	9月22日	高良 誠	膵管癌の画像診断
	9月29日	武田 理	カルボプラチン脱感作療法後に再度過敏性反応を来した再発卵巣癌の1例
	10月6日	池村 真輝	便秘薬について
	10月13日	小林 史文	小児虐待の画像診断
	10月20日	平良 志子	局所麻酔中毒
	10月27日	佐久川 廣	原発性胆汁性胆管炎
	11月10日	仲里 翔太	不顕性大腿骨転子部骨折の1例
	11月17日	比嘉 建介	心サルコイドーシス
	11月24日	普久原 智里	Insights into Salt Hanging and Blood Pressure
12月1日	又吉 博紀	めまいの対応～ BPPV を中心に～	
12月8日	山田 圭介	CD 感染症 /CDI CD 関連腸炎 /CDAD	
12月15日	白瀬 統星	持続洗浄について	
12月22日	赤嶺 希	ワクチン接種によるアナフィラキシーの診断基準と初期対応	
12月29日	上原 知也	医療費について	
2022年	1月5日	上原 ゆうか	気管支喘息～発作時の対応～
	1月12日	城間 瑞萌	腸閉塞
	1月19日	長野 真佑子	アルコール依存症
	1月26日	本坊 美喜子	貧血
	2月2日	銘苅 康太郎	発熱性好中球減少症
	2月9日	新垣 勝男	DISH を合併する椎体骨折
	2月16日	上笹 航	脳卒中ガイドライン 2021 より
	3月2日	古謝 将之	以前に体験した1例について
	3月9日	比嘉 章子	亜急性甲状腺炎
	3月16日	仲吉 博亮	血液培養結果の解釈について
	3月23日	嘉手苅 由梨	肥満患者の挿管
	3月30日	普天間 光彦	肺結核の現状

院内 CPC (臨床病理検討会)

症例	発表者	日付	参加者
アルコール性肝硬変に進行大腸癌を合併した症例	本坊 美喜子 (研修医)	2021年7月14日	本坊美喜子、佐久川廣、鶴田裕真、青山肇、宮城純、秋元芳典、折田均、仲本学、新垣珠代、宮城敬、宮平工、中江正和、池村真輝、仁藤寛文、赤嶺希、上原知也、上原ゆうか、城間瑞萌、赤嶺日菜、医学生4名 計23名
再燃を繰り返した原因不明の血球貧食性リンパ組織球症	上原 ゆうか (研修医)	2021年8月11日	上原ゆうか、狩俣かおり、古謝景輔、青山肇、宮城純、佐久川廣、宮城敬、中江正和、佐藤直行、新垣珠代、大瀨昌代、大城義人、友寄未希、池村真輝、眞榮城明里、赤嶺希、上原知也、銘苅康太郎、医学生1名 計19名
再発難治の成人T細胞白血病(ATLL)の症例	赤嶺 希 (研修医)	2021年9月29日	赤嶺希、宮城敬、古謝景輔、青山肇、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、秋元芳典、折田均、狩俣かおり、大城義人、友寄未希、中江正和、城間瑞萌 計14名
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATLL)経過観察中多発性脳梗塞・CFAの著明な上昇を認めた一例	銘苅 康太郎 (研修医)	2021年10月27日	銘苅康太郎、宮城敬、古謝景輔、青山肇、宮城純、佐久川廣、普天間光彦、狩俣かおり、大瀨昌代、新垣珠代、山田圭介、友寄未希、池村真輝、鶴田裕真、野澤圭、赤嶺希、上原知也、本坊美喜子、桑田涼香、伊波絵里奈 計20名

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘した講習会も行っています。

	月	火	水	木	金
8:00 ~ 8:15	ミニ救急症例検討会				
8:15 ~ 8:45	総合内科カンファ		抄読会		総合内科カンファ
12:30 ~ 13:00		画像診断レクチャー		手技レクチャー	ケースカンファ

画像診断ミニレクチャー

毎週火曜日 午後 12:30 ~ 13:00 (医局にて)

呼吸器内科

胸写	正常	気胸	肺炎	腫瘍	胸水
日付	4月27日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日
担当医	仲吉医師	仲吉医師	仲吉医師	仲吉医師	仲吉医師
胸部CT	正常	気胸	肺炎	肺腫瘍・喀血	縦隔腫瘍
日付	1月6日	1月13日	1月17日	1月24日	1月31日
担当医	新垣珠代医師	新垣珠代医師	新垣珠代医師	新垣珠代医師	新垣珠代医師

循環器内科

心電図	正常	虚血性心疾患	除脈性不整脈	頻脈性不整脈	心不全
日付	6月15日	6月22日	6月29日	7月6日	7月20日
担当医	三戸医師	三戸医師	三戸医師	三戸医師	三戸医師

放射線科

腹部画像	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	7月8日	7月15日	7月29日	8月5日	8月12日
担当医	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師

診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日
担当医	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師	高良医師

整形外科

骨単純 (骨折・脱臼)	下肢	上肢	大腿骨	椎体	骨盤
日付	10月12日	10月12日	10月19日	11月2日	11月9日
担当医	新垣和伸医師	渡慶次医師	仲里医師	新垣勝男医師	白瀬医師

脳神経外科

頭部画像	正常	SAH・脳出血	外傷	脳梗塞	脳腫瘍
日付	11月16日	11月22日	11月30日	12月6日	12月14日
担当医	末吉医師	上笹医師	末吉医師	上笹医師	末吉医師

基礎的手技（毎週木曜日 午前 8:15 ~ 8:45 医局にて）

内容	日付	担当
夜間当直の流れ	2021年5月20日	研修医
A採血、Aライン	2021年6月3日	研修医
院内急変	2021年6月17日	研修医
心エコー・RUSHプロトコール	2021年7月15日	循環器内科
大動脈解離	2021年7月29日	循環器内科
グラム染色の検鏡所見	2021年9月2日	呼吸器内科
JATEC	2021年9月6日	救急
救急外来における鼻出血止血方法	2021年11月4日	耳鼻咽喉科
耳鏡の見方と異物除去（鼻腔・耳腔・咽頭・気管）	2021年11月18日	耳鼻咽喉科
骨折と福木固定	2021年11月25日	整形外科
直腸診・肛門鏡の取り扱い	2021年12月2日	外科
機械的人工呼吸方法	2021年12月9日	呼吸器内科
眼底の見方とその所見	2022年1月20日	眼科
緊急ペースメーカー挿入と設定の仕方	2022年1月27日	循環器内科
熱傷	2022年2月3日	形成外科
中心静脈カテーテルの挿入方法・中心静脈圧の測定方法	2022年2月8日	麻酔科
胸腔穿刺とトロッカーカテーテルの挿入方法	2022年2月10日	呼吸器内科
腰椎穿刺の実際	2022年2月15日	麻酔科
腹腔臓器破裂・損傷	2022年2月17日	外科
輸血の適応	2022年2月22日	血液内科
気管切開法と輪状甲状間膜穿刺法	2022年3月3日	救急
眼内異物と眼外傷	2022年3月10日	眼科
スワッグカテーテルの適応とその解釈	2022年3月17日	循環器内科
気管支鏡の適応とその前処置	2022年3月24日	呼吸器内科

ケースカンファレンス（毎週金曜日 午前 8:15 ~ 8:45 医局にて）

内容	日付	担当
夜間当直の流れ	2021年4月30日	研修医
JPTec	2021年5月7日	研修医
縫合・包帯・シーネ	2021年5月14日	研修医
喘息発作・人工呼吸器	2021年5月21日	研修医
救急でやりがちな失敗	2021年5月28日	研修医
身体所見の感度・特異度	2021年6月4日	研修医
抗生剤の使い方①	2021年6月11日	呼吸器内科

内容	日付	担当
抗生剤の使い方②	2021年6月18日	呼吸器内科
頭痛	2021年7月2日	脳神経外科
気胸	2021年7月26日	呼吸器内科
小児科疾患	2021年9月10日	小児科
抗菌薬③	2021年9月17日	呼吸器内科
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	2021年9月24日	耳鼻咽喉科
脊髄損傷について	2021年10月15日	整形外科
認知症①	2021年10月22日	心療内科
認知症②	2021年10月29日	心療内科
肺血栓塞栓症	2021年11月5日	循環器内科
多発骨折	2021年11月19日	整形外科
肺炎	2021年12月17日	呼吸器内科
せん妄	2021年12月24日	心療内科
急性膵炎	2022年1月7日	消化器内科
救急でみる眼科疾患	2022年1月14日	眼科
死にたいと打ち明けられた時の接遇	2022年1月21日	心療内科
多発性外傷	2022年1月28日	外科
高カルシウム血症	2022年2月4日	血液内科
見落としやすい骨折	2022年2月18日	整形外科
腰痛	2022年2月25日	整形外科
急性肝炎	2022年3月4日	消化器内科
アレルギー	2022年3月11日	小児科
卵巣捻転	2022年3月18日	産婦人科
痛風発作	2022年3月25日	整形外科

外部講師による教育回診

教育回診・講演会名	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(65歳女性 発熱、意識障害、腰痛)	群星沖繩プロジェクト	2021年4月15日	野澤圭、金子侑暉、眞榮城明里、上原知也、上原ゆうか、城間瑞萌、長野真佑子、本坊美喜子、銘苺康太郎、佐藤直行先生、池村真輝先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	徳田先生による特別講演	群星沖繩プロジェクト	2021年5月6日	野澤圭、眞榮城明里、赤嶺希、上原知也、城間瑞萌、長野真佑子、銘苺康太郎、比嘉リキ、佐藤直行先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(64歳女性 発熱、悪寒戦慄)	群星沖繩プロジェクト	2021年5月20日	城間瑞萌、長野真佑子、赤嶺希、上原知也、上原ゆうか、本坊美喜子、野澤圭、眞榮城明里、比嘉リキ、琉大クリクラ5名
感染症コンサルタント 青木眞先生による教育回診	症例検討(51歳男性 発熱、意識障害)	群星沖繩プロジェクト	2021年6月7日	上原知也、赤嶺希、上原ゆうか、城間瑞萌、長野真佑子、本坊美喜子、銘苺康太郎、金子侑暉、野澤圭、眞榮城明里、琉大クリクラ4名、佐藤直行先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(81歳男性 発熱、歩きにくさ)	群星沖繩プロジェクト	2021年6月17日	上原ゆうか、城間瑞萌、赤嶺希、上原知也、長野真佑子、本坊美喜子、銘苺康太郎、金子侑暉、眞榮城明里、琉大クリクラ3名、佐藤直行先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(33歳男性 発熱、寒気、全身に紫斑)	群星沖繩プロジェクト	2021年7月1日	赤嶺望、城間瑞萌、上原ゆうか、本坊美喜子、銘苺康太郎、野澤圭、岡伊作先生、琉大学生5名、北京大学学生1名、佐藤直行先生、池村真輝先生

教育回診・講演会名	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(64歳女性 全身筋肉痛)	群星沖繩プロジェクト	2021年7月15日	上原ゆうか、城間瑞萌、上原知也、 長野真佑子、本坊美喜子、銘苺康 太郎、金子侑暉、野澤圭、琉大ク リクラ3名、北京大学学生1名、 佐藤直行先生、池村真輝先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(52歳男性 発熱、頭痛、咳嗽)	群星沖繩プロジェクト	2021年8月5日	本坊美喜子、赤嶺希、上原知也、 上原ゆうか、城間瑞萌、長野真佑 子、銘苺康太郎、赤嶺日菜、琉 大見学4名、北京大学学生1名、 佐藤直行先生、池村真輝先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(39歳男性 咳嗽)	群星沖繩プロジェクト	2021年8月19日	眞榮城明里、赤嶺希、上原知也、 上原ゆうか、城間瑞萌、長野真佑 子、本坊美喜子、銘苺康太郎、野 澤圭、赤嶺日菜、佐藤直行先生、 池村真輝先生、琉大見学2名、 北京大学学生1名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(79歳女性 呼吸困難)	群星沖繩プロジェクト	2021年9月2日	銘苺康太郎、赤嶺希、上原知也、 上原ゆうか、城間瑞萌、長野真佑 子、本坊美喜子、眞榮城明里、赤 嶺日菜、池村真輝先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(49歳男性 食思不振、心窩部 痛、嘔吐)	群星沖繩プロジェクト	2021年9月16日	上原知也、赤嶺希、上原ゆうか、 城間瑞萌、長野真佑子、銘苺康太 郎、眞榮城明里、赤嶺日菜、池村 真輝先生、琉大学生3名、北京 大学学生1名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(88歳女性 労作時呼吸困難感)	群星沖繩プロジェクト	2021年10月7日	城間瑞萌、赤嶺希、上原知也、上 原ゆうか、長野真佑子、本坊美喜 子、野澤圭、桑田涼香、平良克哉、 伊波絵里奈
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(38歳女性 意識障害、発熱、 SpO2低下)	群星沖繩プロジェクト	2021年10月21日	長野真佑子、上原知也、上原ゆう か、城間瑞萌、本坊美喜子、銘苺 康太郎、野澤圭、桑田涼香、北京 大学学生1名
福井大学医学部医学科 地 域医療推進講座 特命教 授・福井大学 名誉教授 兼 群星沖繩臨床研修セン ター副センター長 寺澤秀 一先生によるER教育回診	症例検討(64歳女性 腹痛)	群星沖繩プロジェクト	令和11月12日	本坊美喜子、赤嶺希、上原知也、 上原ゆうか、城間瑞萌、長野真佑 子、銘苺康太郎、眞榮城明里、伊 波絵里奈、平良克哉、桑田涼香、 琉大クリクラ2名、池村真輝先生、 佐藤直行先生
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(76歳男性 めまい、複視)	群星沖繩プロジェクト	2021年11月18日	赤嶺希、上原知也、上原ゆうか、 城間瑞萌、本坊美喜子、銘苺康太 郎、伊波絵里奈、平良克哉
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(62歳男性 発熱(肝酵素上昇で 紹介))	群星沖繩プロジェクト	2021年12月16日	長野真佑子、赤嶺希、上原知也、 上原ゆうか、城間瑞萌、本坊美喜 子、銘苺康太郎、金子侑暉、伊 波絵里奈、今田早香、桑田涼香、 琉大学生4名
ミシガン大学呼吸器内科ア シスタントプロフェッサー Dr.Jane Deng による教育 回診	症例検討(77歳男性 発熱、息切れ)	群星沖繩プロジェクト	2022年1月20日	赤嶺希、上原知也、上原ゆうか、 城間瑞萌、長野真佑子、本坊美喜 子、銘苺康太郎、金子侑暉、野澤 圭、眞榮城明里、宇佐美福人、祐 森敦士、宮里卓行
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	徳田先生によるオンラ インレクチャー	群星沖繩プロジェクト	2022年2月3日	赤嶺希、上原知也、城間瑞萌、長 野真佑子、本坊美喜子、銘苺康太 郎、野澤圭、眞榮城明里、都丸翔、 宮里卓行、琉大学生4名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(64歳男性 3か月ほど続く発熱)	群星沖繩プロジェクト	2022年3月3日	銘苺康太郎、上原知也、城間瑞萌、 長野真佑子、銘苺康太郎、金子侑 暉、野澤圭、野澤圭、平良克哉、 宮里卓行、琉大学生4名

教育回診・講演会名	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生 による教育回診	症例検討(42歳女性 発熱、頭痛、腰痛)	群星沖縄プロジェクト	2022年3月17日	上原ゆうか、赤嶺希、上原知也、 城間瑞萌、長野真佑子、本坊美喜子、 銘苅康太郎、金子侑暉、野澤圭、 眞榮城明里、宮平卓行、琉大学生2名

研修医学会発表

学会名(開催場所)	タイトル	日時	発表者と研究者
第130回沖縄県医師会医学会総会 (研修医部門推薦)	形態異常のある好酸球増多から速やかに診断に至った慢性好酸球性白血病	2021年12月12日	眞榮城明里、狩俣かおり、友寄未希、大瀨昌代、山入端敦、宮城敬
第336回内科九州地方会(ハイブリット開催)	慢性咳嗽、体重減少で発症した左房粘液腫の1例	2022年1月29日	金子侑暉、秋元芳典、比嘉建介、金城太貴、仲村義一、三戸正人、宗像宏
第12回日本血液学会九州地方会 (WEB発表)	寛解導入療法中、分化症候群に伴う甲状腺炎を認めた再発急性前骨髄球性白血病	2022年3月5日	銘苅康太郎、友寄未希、大瀨昌代、山入端敦、狩俣かおり、宮城敬

※各科より初期研修医のみ再掲。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修 第17期生(2020年4月1日～)

(左より)

- 金子 侑暉(千葉大学卒)
- 眞榮城 明里(琉球大学卒)
- 野澤 圭(富山大学卒)



医師卒後臨床研修 第18期生(2021年4月1日～)

(左前より)

- 赤嶺 希(琉球大学卒)
- 上原 知也(琉球大学卒)
- 銘苅 康太郎(琉球大学卒)
- 長野 真佑子(杏林大学卒)
- 上原 ゆうか(琉球大学卒)
- 城間 瑞萌(琉球大学卒)
- 本坊 美喜子(琉球大学卒)



各科概要・実績

総合内科

総合内科は平成 31 年 1 月に開設され、外来および入院診療を行っています。スタッフ医師 1 人体制ではありますが、感染症全般、呼吸器疾患、循環器疾患、電解質異常、腎疾患、脳梗塞、リウマチ膠原病、消化器疾患など幅広い領域で診療し、必要に応じて専門診療科へ紹介させていただいております。精査や全身管理の依頼など、院内各科からのコンサルトにも対応しています。ICU 管理の内科系相談役も拝命し、診療支援と看護師教育にも関わっています。5 つの委員会に所属しており、ICT、AST、Polypharmacy 対策委員会（委員長）、研修管理委員会（副委員長）、臨床倫理委員会で活動しています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
副部長	佐藤 直行	総合内科、Hospital medicine、感染症、リウマチ膠原病、医学教育	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター POCUS (Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター 米国内科学会員 医学博士 日本病院総合診療医学会認定医 ハワイ - 沖縄医学教育フェローシップ certified

検査・治療件数

- ・ 入院症例数：64 例（当科への転入 6 例）平均年齢：69.8 歳（施設入所者 30%）
- ・ 平均在院日数：12.4 日（検査入院なし）
- ・ 外来コンサルト：27 件（内科系 56%、外科系 44%）
- ・ 病棟コンサルト：35 件（内科系 69%、外科系 31%）

主な経験疾患（併診含む）

循環器	うっ血性心不全、心房細動、高血圧、たこつぼ型心筋症、鎖骨下動脈狭窄
呼吸器	気管支喘息発作、COPD 急性増悪、肺化膿症、間質性肺疾患
消化器	消化管出血（上下部）、ウイルス性腸炎、急性膵炎、肝性脳症、癒着性イレウス、薬剤性肝障害
感染症	細菌性肺炎、誤嚥性肺炎、腎盂腎炎（閉塞性含む）、菌血症、敗血症性ショック、黄色ブドウ球菌菌血症、皮膚軟部組織感染症、COVID-19、発熱性好中球減少症、帯状疱疹、骨髄炎、結核性髄膜炎
腎臓	急性腎障害、高ナトリウム血症、低ナトリウム血症、SIAD、低カリウム血症、高カリウム血症、急性尿細管壊死
内分泌	糖尿病、高血糖緊急症、脂質異常症、橋本病、バセドウ病
神経	TIA/ 脳梗塞、痙攣重積発作、動眼神経麻痺、血管性パーキンソンズム
リウマチ性疾患	痛風、偽痛風、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、成人 Still 病、Sjögren 症候群、顕微鏡的多発血管炎、菊池病、SLE、大動脈炎
血液	好酸球増多症、白血病、鉄欠乏性貧血、多発性骨髄腫
その他	無菌性髄膜炎、横紋筋融解症、薬剤アレルギー、慢性疲労症候群、Tietze 症候群、マクロ CPK 血症（免疫介在性壊死性筋炎）

研究業績

学会発表

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
Inpatient Antibiotic Prescribing Patterns Using the WHO Access Watch and Reserve (AWaRe) Classification in Okinawa, Japan: A Point Prevalence Survey	IDWeek 2021	米国	2021年9月29日～10月3日	Payal K. Patel ¹ , Naoyuki Satoh ¹ , Masashi Narita, et al. ¹ Co-First Authors

論文著書

論題名	雑誌名	掲載年・巻号・頁	著者名
オール沖縄！カンファレンス レジデントの対応と指導医の考え (Ver.2.0) (第59回) 物言わぬ肝臓	総合診療 (2188-8051)	2021年 31巻11号 Page1404-1409	兼元 萌実、佐藤 直行、徳田 安春
【とことん極める！腎盂腎炎】腎盂腎炎の治療、マネジメント編 治療効果判定・経過観察について極める経過がよくないときの鑑別まで	治療 (0022-5207)	2021年 103巻9号 Page1122-1131	佐藤 直行
悩むケースに立ち向かう！臨床推論のススメ 全国GIMカンファレンスより (第19回) しみじみ感じる事前確率の大切さ	内科 (0022-1961)	2021年 127巻6号 Page1331-1339	佐藤 直行

<その他執筆関連>

- ・ 薬局 2021年3月増刊号 特集「病気とくすり 2021」：共著 2021年4月
- ・ 総合内科病棟マニュアル 病棟業務の基礎：共著 2021年6月
- ・ フレームワークで考える内科診断：共同翻訳 2021年7月

その他業績

<学生・研修医対象の病院説明会・セミナー>

- ・ 病院説明会：2021年6月5日 (27名参加)、2022年3月5日 (29名参加)
- ・ 群星沖縄 新年度オリエンテーション：カルテの書き方 2021年4月9日
- ・ 琉球 GIM (県内総合内科勉強会) 2021年6月15日：コメンテーターとして参加

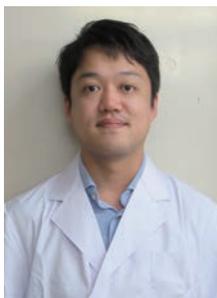
<院内勉強会>

- ・ 研修医向けの朝の内科カンファレンス：年間145回開催
- ・ リハビリスタッフ向け：カルテの書き方レクチャー 2021年10月21日
- ・ 研修医採用戦略について：医局 Journal club および病院管理者向けに1回ずつ

<ほか資格>

- ・ 共用試験医学系臨床実習後 OSCE 評価者認定講習会受講

年度総括



総合内科副部長
佐藤 直行

平成 31 年 1 月の開設から 3 年以上が経過しました。今年度は教育面に重きを置いた体制でスタートしました。朝の内科教育カンファレンスは年間 145 回を開催することができ、研修医の先生が日々成長していく姿を目の前で見続けることができました。幸い、朝の内科カンファレンスは学生の反響もよく、実習のない土曜日にも参加して勉強したいと希望する学生も参加するようになりました。学生向けに臨床実習後 OSCE の勉強会も 2 回行いました。これらは研修医のリクルートにも効果があり、琉球大生向けの病院説明会の参加者も飛躍的に増え、臨床研修マッチングの中間公表時点で当院の 1 位希望者が 7 人（定員 7 人）となりました。最終的な結果もフルマッチとなり、微力ながら貢献できたと感じています。

引き続き今年度も初期研修医の先生方の多くが当科をローテしました。専攻医については、琉球大学腎臓内科の医局所属の 4 年目専攻医（池村医師）が 7 ヶ月間ローテすることになり、初めて院外からの専攻医を受け入れる形で専攻医教育に貢献することができました。これをきっかけに、来年度も琉球大学腎臓内科の専攻医が当科で専攻研修を受けることになっています。教育重視の体制になったことで、診療面では昨年度よりも症例数が減りましたが、専攻医の先生がローテしてくれたことで一昨年度（専攻医ローテなし）と同程度の診療実績を保つことができました。専攻医所属により症例数を大きく減らすことなく、教育面に力を入れられたと言えますが、今後は診療面でも貢献できる体制を構築する必要があります（教育をさらによくするためにも）、スタッフ医師の確保が必要不可欠です。また、内科の専攻医を増やすために、引き続き内科全体の教育体制の在り方を考えていきたいと思えます。

学術活動としては、初めて国際学会での発表を行うことができました。この発表はミシガン大学と共同で行ったものであり、これを地方の市中病院で実現できたのは非常に意義のあるものだと考えています。この発表内容は国際学術誌にも投稿中で、今後も学術面での成果を挙げていき院外への情報発信にも貢献したいと考えています。

今年度も幅広く活動させていただきました。他科からのコンサルトの件数なども安定し、診療と教育など、診療科として現在担うべき役割がはっきりしてきたように感じています。ただし現状に満足せず、診療科の役割を広げるための視点を持ち、スタッフの拡充などを進めていきたいと考えています。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師3名体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後2時より7階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW・MCと一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の13時から胸写カンファレンスを行い、火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。水曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携したRSTラウンドを行っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長・呼吸器内科部長・7階病棟医長 <専門外来>睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	日本呼吸器学会インфекションコントロールドクター
呼吸器内科医長	新垣 珠代	呼吸器内科一般	
	仲吉 博亮	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
日本病院学会	群生沖縄の現状と課題、展望 一研修委員会会長会議長の立場から	沖縄県	2021年6月11日	普天間光彦

検査・治療件数

検査・治療	件数	検査・治療	件数
気管支鏡検査	86	睡眠時無呼吸外来のべ患者数	1,026名

年度総括



呼吸器内科部長
普天間 光彦

2021年度は年間435名の入院患者の診療を行い、86名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広め、県医学会や日本内科学会九州地方会で演題発表を行いました。また、呼吸器同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていく予定です。

循環器内科

循環器内科は現在5名の医師が循環器全般の診療を行っております。急性心筋梗塞、狭心症に対するカテーテル治療だけでなく、末梢動脈疾患へのカテーテル治療、不整脈に対するカテーテルアブレーション、ペースメーカー移植術の治療、心不全の入院加療、外来 follow を行うと同時に、それらの疾患に対する予防についても力を入れて診療を行っております。

また、致命的な救急患者さんに対する、緊急カテーテル治療に加え、V-A ECMOなどの機器も十分に揃えており、スタッフのトレーニングも行っているため、短時間で導入可能となっております。

ここ数年、末梢動脈疾患（以前は閉塞性動脈硬化症）が原因で下肢の難治性潰瘍や壊疽の患者さんへ救肢のために血管内治療に力を入れています。今後も患者さんの予後やADLの維持を目指し、より良い医療を提供していきたいと考えております。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
内科部長・循環器内科部長	秋元 芳典	一般循環器内科、動脈硬化症	日本循環器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 日本内科学会指導医
救急総合診療部救急部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
循環器内科部長	仲村 義一	一般循環器内科	日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医
循環器内科医長	金城 太貴	不整脈、一般循環器、総合内科、集中治療	日本内科学会認定内科医
	比嘉 建介		
<専門外来>不整脈外来	石垣 清子 (非常勤)		

研究業績

学会発表

学会発表	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第118回 内科学会 講演会	当院における心不全の管理	WEB	2021年4月9日	仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
JET2021 発表	A case of severe limb ischemia that was very difficult to treat due to severe calcification	WEB	2021年4月30日	仲村義一

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
冠動脈CT	443	450	371	420	433	392
トレッドミル	36	48	52	58	38	42
ホルター心電図	203	225	206	200	188	258

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
心筋シンチ	57	59	74	84	86	86
経胸壁心エコー	2,516	2,508	2,800	2,847	3,073	3437
経食道心エコー	29	48	54	38	32	41

治療件数一覧

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
経皮的冠血行再建術 (PCI)	127	133	125	125	161	165
ペースメーカー植込み術	21	26	20	14	23	16
電池交換	3	2	7	7	9	5

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
一時的ペースメーカー	11	9	15	12	8	10
IABP	9	9	11	8	9	14
PCPS	8	4	8	7	15	11
下大静脈フィルター	2	2	1	0	1	0
末梢血管拡張術 (PPI)	103	116	110	120	60	93
カテーテルアブレーション	-	-	10	24	9	10

年度総括



循環器内科部長
仲村 義一

2021年度は秋元 芳典、三戸 正人、仲村 義一、金城 太貴に加え4月より比嘉建介医師が加わり5名で診療を行っております。コロナ禍にも関わらず2021年度も経皮的冠動脈形成術 (PCI) を受ける患者さんは増加しています。コロナ禍において救急搬送等が増えたことが原因と考えます。以前から行われている救急隊からの心電図伝送が定着してきており病院前から診断が早期に行われ早期治療に結びつき患者さんの予後改善につながっています。そのため救急部と連携をさらに深めたいと思います。

2021年度の特徴として末梢動脈疾患に対する経皮的下肢動脈形成術 (EVT) が増加しています。2021年度は県内一の症例数となっております。下肢の潰瘍が悪化し、壊死に陥り下肢切断になる患者さんを救済するため、EVTを行う症例が増加しています。総腸骨動脈、外腸骨動脈、浅大腿動脈はもちろん、膝窩動脈、前脛骨動脈、後脛骨動脈、腓骨動脈、足背動脈、足底動脈へのEVTも施行しています。現在3ヶ月に1度、東京ベイ浦安・市川医療センターから仲間先生が指導に来ていただき治療を行っています。下肢切断は患者さんの予後だけでなく家族の介護負担にも関わる問題であり、今後も積極的にEVTを行う予定です。EVTだけでなく、PCI患者さんは発見した段階で病変は複雑化し治療困難な症例も多い現状です。進行する前に早期発見や予防にも介入する必要があると考えています。そのためには開業医の先生方と勉強会を開催し連携を深め、また地域住民には市民公開講座等を行う必要があると考えています。

更に不整脈に対するカテーテルアブレーションも施行しています。心臓血管研究所から大塚先生が応援・指導に来ていただき治療を行っています。今後可能であれば増やしていきたいと考えております。

沖縄でも高齢化が進む中、高齢者の心不全は増加しています。入院患者さんの年齢も上がり、心不全を合併している患者さんも多くいます。コロナにより外来心臓リハビリが減る中、心不全再発入院が増える傾向にあります。今後は外来を含めて心臓リハビリテーションも交えながら、高齢者の心不全予防対策に取り組んでいきたいと考えております。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど（腎臓、副腎など一部臓器を除く）が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリックシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われます。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
消化器内科部長 5階病棟医長	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長 <専門外来>胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来（機能的消化管疾患）、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内視鏡部 長・内視鏡セン ター副センター長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療（ESD）	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医
肝臓内科副部長	圓若 修一	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
消化器内科医長	仲舛 拓	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医
	小橋川 ちはる	消化管疾患の診断・治療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第117回日本消化器病学会 九州支部例会	初診から6年後に診断し得た高齢者クローン病の1例	福岡県	2021年6月11日	兼元萌実、折田均、仲舛拓、圓若修一、仲本学、宮城純、佐久川廣、金城徹（琉球大学病院 光学診療部）、外間昭（琉球大学病院 光学診療部）、藤田次郎（琉球大学 第一内科）

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
胃内視鏡	10,316	10,932	11,583	8,872	9,754
大腸内視鏡	2,969	2,938	3,170	2,581	2,844
ERCP	122	145	168	147	236

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管 (内訳)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
EMR	11	6	12	10	11
ESD	17	13	18	25	18
EVL	53	23	21	49	37
EIS	11	6	13	0	0
止血術	43	22	29	24	18
焼灼術	42	13	7	21	0
異物摘出術	6	13	11	6	13

下部消化管 (内訳)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
EMR	310	319	397	295	357
ESD	3	5	4	8	11
止血術	17	27	18	22	12

年度総括



消化器内科部長
宮城 純

上部消化管内視鏡検査件数は徐々に増加してきており、2017年度にはじめて1万件を突破しました。2018年度には内視鏡室の拡張を行いました。これまで上部消化管内視鏡検査は5診体制でしたが、2019年6月から6診体制を開始しました。これにより2019年度の上部消化管内視鏡検査件数は、11,583件となりました。増加が見込まれていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延による緊急事態宣言などがあり、検査を制限したため検査件数は8,872件と大幅に減少してしまいました。下部消化管内視鏡検査も2019年度は3,170件で過去最高でしたが、2020年度は2,581件と減少してしまいました。

患者さんや先生方にご不便をかけていましたが、2021年度は十分な感染対策を行いつつ、可能な限り通常通りの検査体制をとりました。その結果、上部消化管内視鏡検査件数は9,754件、下部消化管内視鏡検査は2,844件となりコロナ前の件数に戻りつつあります。

2022年度目標

1. 消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上を目指します。
2. 消化器病内科関連専門医、内視鏡専門医の確保を目指します。
3. 消化器内科志望の後期研修医の確保を目指します。
4. 近隣の病院、医院等からの紹介患者の積極的な受け入れ。
5. 外科とも緊密に連携し診断・治療を行います。
6. 外科とも連携し、近隣の病院、医院等との症例検討会等を継続します。
7. 消化器病関連の学会や研究会に更に活発に参加及び発表します。
8. 長期の目標として、胃検診の全件を内視鏡で行える体制を目指します。

肝臓内科

肝臓内科は肝臓の病気、さらに当院では胆道、膵臓疾患の検査治療を担当しています。具体的にはC型肝炎、B型肝炎などのウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などの自己免疫に関与した肝炎、さらに近年増加傾向にあるメタボリックシンドロームの肝臓への表現型である非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、またアルコール性肝障害といった生活習慣に起因した肝障害を診療しています。また肝臓がんの治療である経皮的ラジオ波焼灼術、肝硬変の様々な合併症（肝性腹水、食道胃静脈瘤、特発性細菌性腹膜炎等）の治療を行っています。胆道、膵臓疾患としては総胆管結石、胆道・膵臓腫瘍による閉塞性黄疸に対する内視鏡的診断・治療を行っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝がん、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
肝臓内科副部長	圓若 修一	肝硬変、肝がんの治療、肝・胆道系疾患の治療、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医

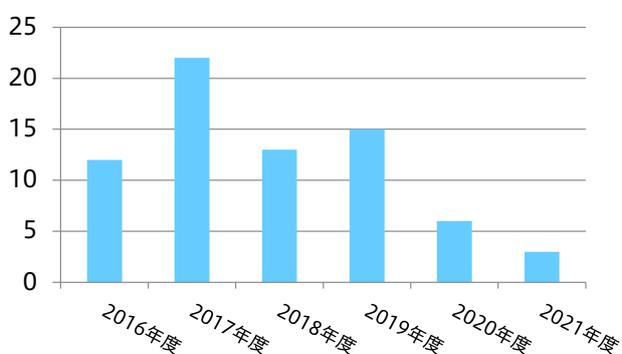
研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第71回日本病院学会	座長	沖縄県	2021年6月25日～26日	佐久川 廣

検査・治療件数

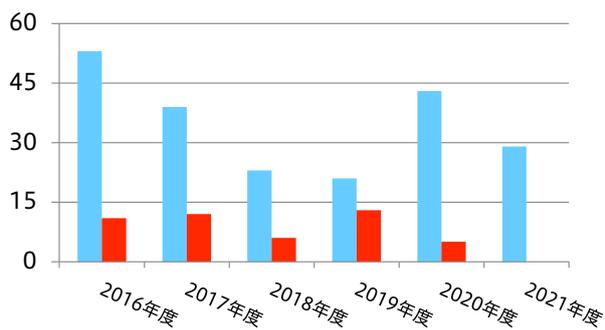
経皮的ラジオ波術症例数の推移



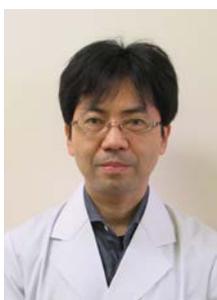
内視鏡的胆管膵管造影（ERCP）の推移



食道静脈瘤に対する予防的内視鏡的結紮術 (EVL)、硬化療法 (EIS) の推移



年度総括



肝臓内科副部長
圓若 修一

昨年度より肝細胞がんする経皮的ラジオ波焼灼術は減少しましたが、これはC型肝炎に起因した肝細胞がんが減少傾向にあるためと思われます。この傾向はしばらく続くものと思われます。一方で今後 NASH 肝硬変、アルコール性肝硬変に起因した肝細胞がんは相対的に増加することが予想されます。今後も早期発見・早期治療を目指し診療していきたいと思ひます。

胆道膵臓疾患に関する内視鏡的検査・治療は増加傾向にありました。侵襲を伴う処置ですが、重篤な合併症は少なく安全に施行できていました。また琉球大学第一内科の宮里公也先生が、水曜日に胆膵領域の超音波内視鏡を施行しています。同領域のさらなるレベルアップに繋がるものと思われ、膵臓がんの早期発見治療に尽力したいと思ひます。

血液内科

血液内科は造血器腫瘍や貧血性疾患、血友病を除く出血・血栓性疾患などほとんどの血液疾患の診療を行っています。本年度のスタッフは宮城 敬、山入端 敦、狩俣 かおり、大瀨 昌代、友寄 未希の5人です。同種造血幹細胞移植は主に宮城、山入端、狩俣が行い、ドナーの診療は狩俣、大瀨が担当しています。当院の特徴としては、完全無菌室を10床有し、血縁者間・非血縁者間の造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を行っています。沖縄県内の血液内科で造血幹細胞移植を行っているのは琉球大学附属病院と当院のみで、沖縄県の造血器移植医療、血液診療を支えているという自負があります。週1回、琉球大学保健学科の福島卓也先生も参加してグループカンファレンスを行い、最善の診断・治療ができるよう心がけています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科部長 6階病棟医長	宮城 敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医
無菌治療センター部長	山入端 敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医
血液内科副部長	狩俣 かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科医長	大瀨 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
	友寄 未希		

研究業績

学会発表

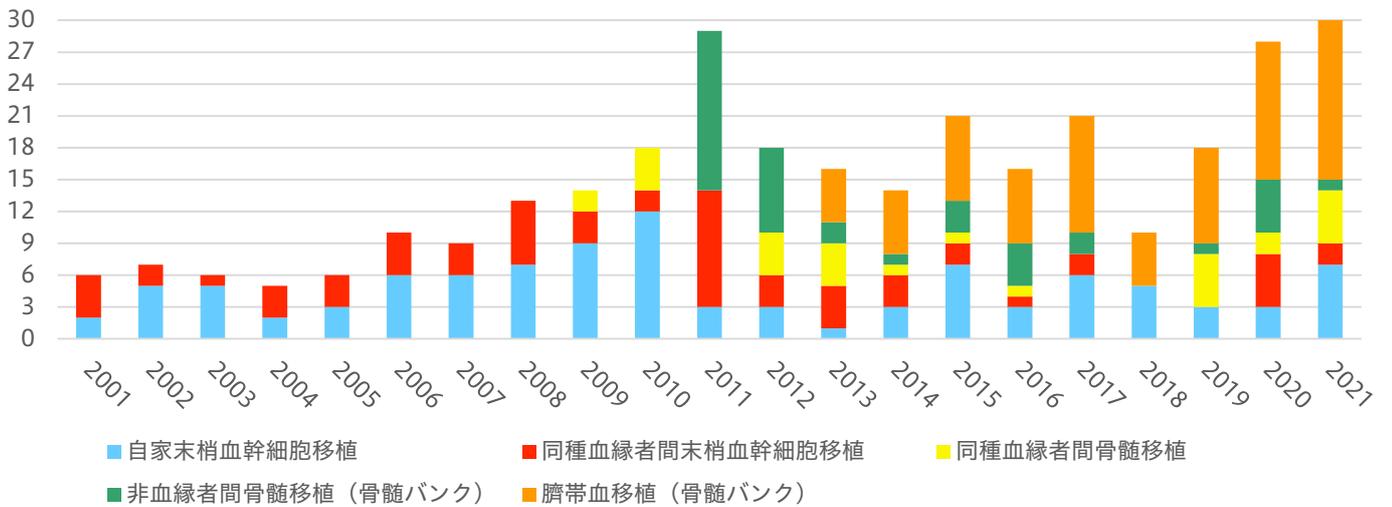
学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第91回日本感染症学会西日本地方学会術集会	遺伝子解析検査が診断に有用であった急性リンパ性白血病患者に発症した <i>Bacillus cereus</i> による多発脳腫瘍の一例	岐阜県	2021年11月5日～11月7日	友寄未希、大楠清文（東京医科大学）

検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
自家末梢血幹細胞移植	7	3	6	5	3	3	7
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	2	1	2	0	0	5	2
同種血縁者間骨髄移植	1	1	0	0	5	2	5
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	3	4	2	0	1	5	1
臍帯血移植（臍帯血バンク）	8	7	11	5	9	13	15
計	21	16	21	10	18	28	30

ハートライフ病院の造血幹細胞移植数(年次推移)



年度総括



血液内科部長
宮城 敬

当科は主に成人対象の造血幹細胞移植を行っており、骨髄バンク・さい帯血バンクの認定施設です。疾患特性から平均入院患者数、延べ入院患者数が多く、在院日数が長い傾向は変わらず、医師の負担が懸念されるところです。継続できる医療、安全で質の高い医療を提供できるような人、システムの環境づくりに努力する所存です。今後ともご協力、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

小児科

当院小児科では地域医療支援病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、病院小児科常勤医として4名の医師が感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診察、術後管理を行っています。また、当院で出生する新生児の管理や1か月健診を行っています。

中城村や西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や中城小学校および西原小学校の学校医、近隣保育園の園医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標としています。

平成28年度からは小児アレルギー外来を開設しており、アレルギー専門医、看護師、管理栄養士、薬剤師と連携しながら食物アレルギーに対する食物経口負荷試験や食事療法指導、アトピー性皮膚炎に対するスキンケア指導などを行っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	崎原 徹裕	一般小児科、小児アレルギー	日本小児科学会指導医 日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医
小児科医員	金城 優美	一般小児科	
小児科医員	安木 大地	一般小児科	日本小児科学会専門医
小児科医員	古波蔵 都秋	一般小児科	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Strategy for Prevention of Milk Allergy by Daily Ingestion of Infant Formula in Early Infancy -SPADE study-	14thALLERGY ACADEMY 14TH ANNIVERSARY FOOD ALLERGY STUDY DAY	オンライン (London)	2021年5月28日	Tetsuhiro Sakihara et al.
沖縄県における母乳栄養パターンと乳児期の体重増加および食物アレルギーとの関連	第101回沖縄小児科学会	オンライン(沖縄)	2021年9月12日	崎原徹裕、他
育児用調整粉乳の早期中止は牛乳アレルギーに関連する	第70回日本アレルギー学会	オンライン(横浜)	2021年10月8日	崎原徹裕、他
生後3日間の人工乳除去は生後6ヶ月時の鶏卵感作を抑制するか	第2回沖縄小児アレルギー研究会	オンライン(沖縄)	2021年10月28日	崎原徹裕
0歳児の20分ゆで卵白経口負荷試験における摂取間隔と安全性の検討	第58回日本小児アレルギー学会	オンライン(横浜)	2021年11月13日～14日	崎原徹裕、他
食物アレルギーの診療と発症予防について UPDATE	第31回日本外来小児科学会年次集会 春季カンファレンス	沖縄	2022年3月20日	崎原徹裕

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
Early discontinuation of Cow's milk Protein ingestion is associated with the development of cow's milk allergy.	J Allergy Clin Immunol Pract.	2022;10:172-179.	Tetsuhiro Sakihara, et al.
0～2歳児における段階的な卵白経口負荷試験プロトコルの選択基準	日本小児臨床アレルギー学会誌 (2432-9835)	2021年 19巻3号 Page258-266	崎原徹裕、金城優美
一般市中病院における単胎正産期産児の新生児呼吸障害のリスク因子の検討	日本周産期・新生児医学会雑誌 (1348-964X)	2021年 57巻2号 Page263-268	富山真紀、崎原徹裕

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
Randomized trial of early infant formula introduction to prevent cow's milk allergy	The Journal of allergy and clinical immunology (0091-6749)	147(1):224-232. e8. 2021	Sakihara T, Yasuki D, Otsuji K, Arakaki Y, Hamada K, Sugiura S, Ito K.
【アレルギーを予防しよう!】離乳食早期開始	チャイルドヘルス (1344-3151)	2022年 25巻1号 Page13-16	崎原 徹裕

年度総括



小児科部長
崎原 徹裕

令和3年度の新生児を除いた小児科の総入院患者数は、前年度の198名から285名まで増加しました。しかしコロナ禍以前（約500～600名）に比べるとまだまだ厳しい状況が続いています。入院患者の多くは3歳未満の乳幼児であり感染性疾患が大半を占めますが、食物アレルギーの経口負荷試験の入院数は182名で入院全体の大半を占めています。

今年度は546名の新生児の出生がありました。小児科医は全出生児の出生時診察と退院時診察を行っており、産科医からの要請に応じてハイリスク分娩の立会いや24時間オンコール体制で新生児蘇生を行なっております。

外来業務では病院とクリニック小児科との役割分担を明確にし、病院小児科は慢性患者の定期フォローや紹介患者の受け入れを、クリニック小児科は発熱などの急性期患者の対応を行っております。今年度は病院小児科の外来患者数は5,349名（前年度6,185名）、このうちアレルギー外来1,617名（前年度1,266名）、予防接種2,021名（前年度2,267名）でした。クリニック小児科の外来患者数は6,258名（前年度5,198名）、このうち予防接種は1,068名（前年度685名）でした。本院のアレルギー外来やクリニック小児科の外来受診者数が前年度に比べ増加しつつあります。

コロナ禍で入院・外来診療ともに厳しい状況が続いていますが、日常診療と並行して臨床研究にも注力しています。特に前年度は、当科の主導で行った沖縄県内の乳児を対象とした多施設共同研究である「SPADE試験」の研究成果を報告し、米国アレルギー学会の監修する学会誌に掲載され国内外で高く評価されました。本研究の知見は、2021年11月に改訂された本邦の「食物アレルギー診療ガイドライン2021」にも大きく掲載され、海外の離乳食ガイドラインにも影響を与えています。さらに、今年度はSPADE試験をベースにした追加の研究成果も海外雑誌に掲載され、大きなインパクトを与えています。今後も、地域医療支援病院ならではの観点から、臨床の現場へ情報を発信していくことを目標としています。

心療内科

当科は医師1名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、身体疾患のため入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

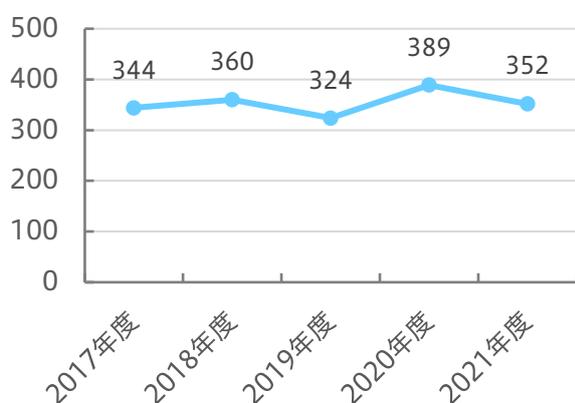
よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療を専門とする科ということになります。

自律神経の機能がうまく調整できなくなる理由は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。近年は熱中症の後遺症としての自律神経失調症も増えている印象です。うつ病などの精神疾患や認知症が原因のこともあります。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科副部長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

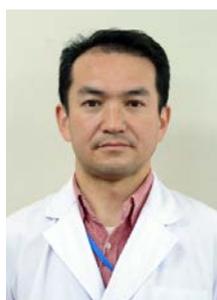
心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移



年度総括



心療内科
菅野 善一郎

心療内科を立ち上げて12年が経ちました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、それなりに役立っているようで嬉しく思っています。

認知症やせん妄への対応も増えており、高齢化社会での精神科医療のニーズを実感しております。

外科

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
名誉院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道アカラシアのPOEM治療、食道癌の胸腔鏡下手術	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
副院長 外科系統括部長 外来診療部長 地域医療連携部長 患者総合支援センター長	西原 実	一般消化器外科、肝臓外科、内視鏡外科、抗がん剤治療、ヘルニア	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器外科学会専門医
外科部長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、薬物療法(殺細胞性抗がん薬、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬)、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医
消化器外科部長 4階病棟医長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
ヘルニアセンター長	高原 裕夫	小児・成人の鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア(癭痕ヘルニア・臍ヘルニア)	日本内視鏡外科学会技術認定医 日本小児外科学会指導医 日本外科学会指導医
大腸・肛門外科部長 医局長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患(痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジロームなど)、便通異常などに対して注射療法	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本外科学会専門医
外科副部長	国吉 史雄	一般外科、胆膵外科	日本外科学会専門医
外科副部長	比嘉 宇郎	一般外科、消化器外科	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会認定医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
	玉城 頼人	一般外科	
	銭谷 成剛	一般外科	
	松本 紗矢香	一般外科	
	野村 寛徳 (非常勤)	乳癌、甲状腺外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診乳腺エコー読影認定医
	宮平 礼 (非常勤)	乳腺外科	
	仲栄真 盛保 (非常勤)	血管外科	
	永野 貴昭 (非常勤)	心臓血管外科	
	久田 正昭 (非常勤)	一般・小児外科	
	梁 英樹 (非常勤)	膵・胆道外科、消化器外科全般	

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
食 道	30
食道悪性腫瘍手術	7
POEM手術	10
食道癌ESD	10
APC焼灼術	3
乳 腺	64
乳腺悪性腫瘍切除術	49
乳腺良性腫瘍切除術	3
乳腺腫瘍摘出術	12
胃	20
腹腔鏡下胃切除術(悪性)	5
胃悪性腫瘍手術(開腹)	7
胃良性腫瘍手術(開腹)	2
胃悪性全摘術(開腹)	6
胆嚢・胆管	109
腹腔鏡下胆嚢摘出術	104
開腹胆嚢摘出術	3
胆嚢悪性腫瘍手術	1
腹腔鏡下胆管切開結石摘出術	1
肝 臓	12
肝切除術	9
開腹ラジオ波焼灼術	1
腹腔鏡下肝嚢胞開窓術	1
肝嚢胞開窓術	1
脾 臓	7
脾頭部十二指腸腫瘍切除術	7
小 腸	19
小腸切除術(悪性)	3
小腸切除術(悪性以外)	2
腸閉塞症手術	14
虫 垂	56
腹腔鏡下虫垂切除術	56
結 腸	69
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	41
開腹結腸悪性腫瘍切除術	19
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	6
開腹結腸切除術(良性)	3
直 腸	46
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	14
開腹直腸悪性腫瘍切除術	7
直腸ポリープ切除術	2
直腸脱手術	4
直腸腫瘍摘出術	2
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	17

手技	件数
肛 門	62
痔核硬化療法	30
痔核根治手術	8
痔瘻根治手術	14
肛門形成手術	4
肛門皮膚剥離切除術	2
膿皮症	1
肛門周囲膿瘍切除術	1
裂肛根治術	1
肛門潰瘍根治術	1
ヘルニア	116
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(成人)	76
鼠径ヘルニア手術(成人)	4
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(小児)	24
臍ヘルニア手術(成人)	2
腹壁瘢痕ヘルニア手術	4
停留精巣固定術	5
腹腔鏡下精巣静脈切離術	1
胃 瘻	36
胃瘻造設術	36
その他部位	88
毛巣洞手術	3
大網、腸間膜、後腹膜手術	2
リンパ節生検	14
リンパ節郭清術	1
体表の手術	3
CVポート	38
腸吻合術	1
急性汎発性腹膜炎手術	6
試験開腹術	3
胃腸吻合術	3
脾摘出術	1
その他	13
計	734

(外来小手術は除く)

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第121回日本外科学会定期学術集会	成人鼠径ヘルニアに鼠径床を剥離せず、メッシュを使用しないLPEC法およびAdvanced LPEC法の術後短期・中期成績	オンライン	2021年4月8日	髙原裕夫、西原実、宮平工、花城直次、比嘉宇郎、阿嘉裕之、国吉史雄、藤川秀爾、仲本正哉、奥島憲彦
第131回沖縄県医師会医学会総会	長期生存中の再発小腸GISTの1例	オンライン	2021年6月13日	宮平工
	毎年胃癌検診を受診していたにもかかわらずStage IV胃癌と診断し集学的治療を行った一例	オンライン		金子侑暉
第71回日本病院学会「Think Quality」～医療の質・経営の質～	シンポジウム：県内における多様な医療連携体制について「より深い地域連携を目指した患者総合支援センターの取り組み」	オンライン	2021年6月25日～7月30日	西原 実
第76回日本消化器外科学会総会	小腸GISTの術後、異時性の多発肝転移、腹膜播種に対して集学的治療にて長期生存が得られた1例	オンライン	2021年7月7日～7月9日	宮平工、国吉史雄、阿嘉裕之、比嘉宇郎、花城直次、西原実、奥島憲彦
第83回日本臨床外科学会総会	成人外鼠径ヘルニアに対して適応拡大したLPEC法の術後短期・中期成績	東京	2021年11月20日	西原実、髙原裕夫、銭谷成剛、宮平工、花城直次、国吉史雄、比嘉宇郎、阿嘉裕之、奥島憲彦
	LPECに腹横筋腱膜弓と横筋筋膜群縫合を付加したAdvanced LPEC法の成人外鼠径ヘルニアへの適応拡大	東京	2021年11月20日	髙原裕夫
9th RSP in Okinawa 9th Reduced Port Surgery Forum 23th Needlescopic Surgery Meeting	小児のAdominoscrotal hydrocele(AHS)に対するLPEC法の応用	オンライン	2022年2月16日	松本紗矢香、髙原裕夫、西原実、宮平工、花城直次、比嘉宇郎、阿嘉裕之、国吉史雄、玉城頼人、奥島憲彦
	当番世話人			西原実

論文著書

論題名	雑誌名	掲載年・巻号・頁	著者名
横行結腸癌術後再発に対するパニツムマブ併用療法中に生じた腸管気腫症の1例	日本腹部救急医学会雑誌(1340-2242)	2021年 41巻7号 Page575-577	銭谷成剛、岩本和哉、内藤敦、大塚正久
脳室-腹腔短絡術がQOLの改善に寄与した胃癌癌性髄膜炎の1例	癌と化学療法(0385-0684)	2021年 48巻13号 Page1595-1597	銭谷成剛、岸健太郎、岩本和哉、中原裕次郎、三賀森学、内藤敦、大塚正久、古川健太、文正浩、今里光伸、浅岡忠史、赤松大樹
【LPECの現状と課題】LPECの開発と歴史	小児外科(0385-6313)	2021年 53巻10号 Page1008-1013	髙原裕夫
【鼠径部ヘルニア治療の変遷と現状】小児鼠径部ヘルニア手術治療	医学と薬学(0389-3898)	2022年 79巻2号 Page247-254	髙原裕夫、銭谷成剛、西原実、国吉史雄、宮平工、玉城頼人、阿嘉裕之、花城直次、比嘉宇郎、奥島憲彦

年度総括



外科部長
宮平 工

令和3年度は名誉院長の奥島憲彦（食道）、ヘルニアセンター長の嵩原裕夫（ヘルニア）、副院長兼外科系統括部長の西原実（ヘルニア・肝）、外科部長の宮平工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城直次（胃・大腸）、外科副部長の比嘉宇郎（胃・大腸）、大腸肛門科部長の阿嘉裕之（大腸・肛門）、外科医長の国吉史雄（胆膵）、玉城頼人（外科専修医）、大阪大学外科専修医プログラムの所属で前半の半年は銭谷成剛（外科専修医）、後半の半年は松本紗矢香（外科専修医）の10名の常勤医と、非常勤の仲栄真盛保（血管）、永野貴昭（心臓、大血管）、久田正昭（一般、小児外科）、梁英樹（肝胆膵）各先生方のご尽力を頂き、運営してまいりました。（カッコ内は専門領域）

手術件数は840件（外来小手術も含む）と前年度とほぼ同数でした。一昨年と比較して85件ほど減少しており、昨年度同様COVID-19感染の影響をうけたものと推測しました。臓器別手術症例数は多い順にヘルニア116例、胆嚢胆管109例、結腸69例、乳腺64例、肛門62例、直腸46例と続きました。疾患別手術症例数では多い順に胆嚢摘出術107例、鼠径ヘルニア（小児含む）104例、結腸切除術（良悪性含む）69例、乳腺64例、虫垂切除術56例、胃ろう造設術36例と続きました。前年度と比較すると結腸癌、胃癌が2割増加していました。

日本専門医機構の外科専門研修システムで琉球大学及び大阪大学外科専修プログラムから外科専修医をそれぞれ1名受け入れており、これら2名の若手外科医の指導をしつつ上記のような体制で診療にあたっています。

外科は手術だけでなく、消化器癌、乳癌の化学療法や終末期の緩和医療も担当しています。初期研修医の指導はもちろん、琉球大学医学部学生の臨床実習も受け入れており、外科の魅力を伝えることで、外科医減少の歯止めを微力ながらも貢献できればと考えています。臨床や教育の合間には県内外での学会発表や論文投稿も積極的に行っています。さらに指導医クラスの医師は緩和ケアチーム、感染対策チーム、NST（栄養サポートチーム）、クリニカルパス委員会を始め、COVID-19感染対策として発足したC-19災害対策本部の中心メンバーとして病院全体の診療を影から支えています。

今後もより安全で質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

整形外科

スタッフは、渡慶次学・新垣勝男・新垣和伸・川越得弘・琉球大学からのローテーター白瀬統星・仲里翔太の6人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。また、水曜日はじのん整形外科 副院長の新垣薫先生に股関節専門外来および手術指導など御協力いただいています。新垣勝男は脊椎外科を担当し、椎弓拡大・椎体固定等の手術を行っています。渡慶次学と川越得弘と白瀬統星は手の外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。新垣和伸は膝関節を担当し、変形性膝関節症に対する骨切り術・人工膝関節置換術および関節鏡を用いた前十字靭帯再建・半月板縫合術等の手術を行っています。仲里翔太は一般外傷を担当し、整形外科医としての研鑽を積んでいます。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
整形外科部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
脊椎外科部長	新垣 勝男	脊椎外科	日本整形外科学会専門医
膝関節外科部長	新垣 和伸	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター
整形外科副部長	川越 得弘	手外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
	白瀬 統星		日本整形外科学会専門医
	仲里 翔太		
<専門外来>股関節外来	新垣 薫	関節外科(股関節)	日本整形外科学会専門医
<専門外来>リウマチ科	東 千夏	整形外科、関節リウマチ	日本整形外科学会指導医 日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会指導医 日本リウマチ学会専門医
<専門外来>脊椎外来	金城 英雄	脊髄脊椎外科	日本整形外科学会専門医
<専門外来>膝関節外科	上原 史成	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 国際オリンピック委員会認定スポーツドクター 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター

研究業績

学会発表

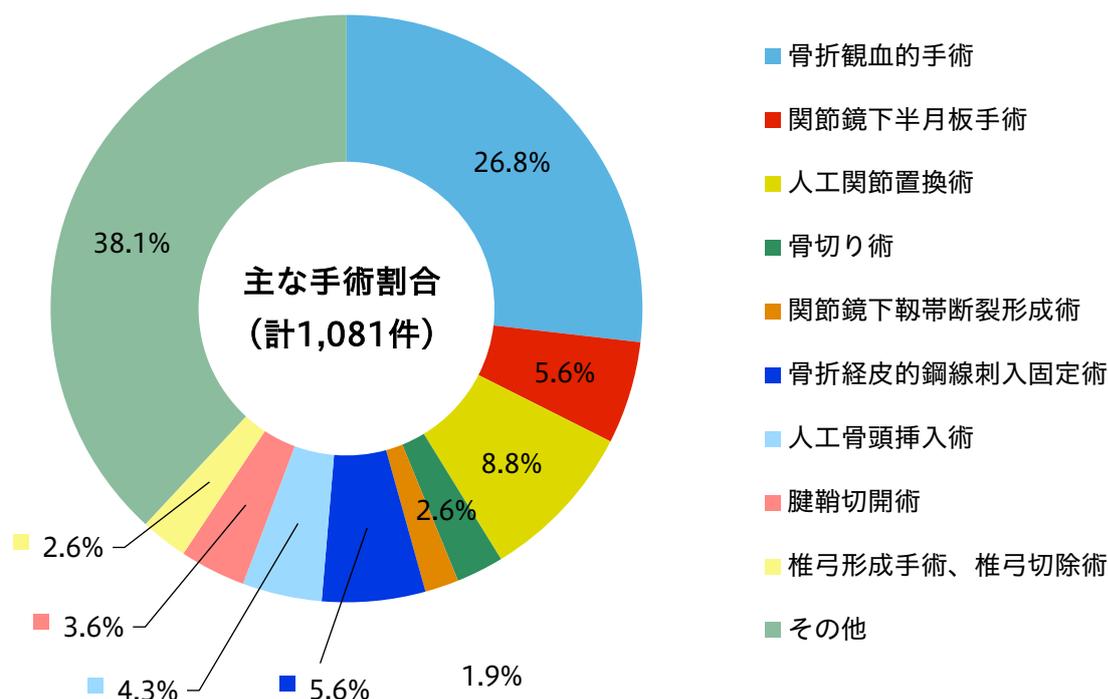
学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第46回九州膝関節研究会	DLOの大腿骨 Anterior flangeにCCS固定を追加し早期荷重を行った症例の検討	福岡県	2021年7月10日	島袋全志、新垣和伸、上原史成(琉球大学病院整形外科)比嘉浩太郎(琉球大学病院整形外科)

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血の手術	290
関節鏡下半月板手術	61
人工関節置換術	95
骨切り術	28
関節鏡下靭帯断裂形成術	20
骨折経皮的鋼線刺入固定術	61

部位・行為	件数
人工骨頭挿入術	47
腱鞘切開術	39
椎弓形成手術、椎弓切除術	28
その他	412
総計	1,081



年度総括



整形外科部長
渡慶次 学

2021年度は新型コロナウイルス流行の影響で新規入院患者数・手術件数共に減少しました。2022年度も新型コロナ感染が落ち着いておらず、安全第一にスポーツ外傷手術（膝前十字靭帯再建術・半月板縫合術）・変形性膝関節症手術（骨切り術・人工膝関節置換術）・脊椎外科・手外科疾患手術を継続していく予定です。

形成外科

当科は今年で開設8年目を迎えました。当科の特徴は、形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やわきがなどの美容的手術のみならず、悪性腫瘍切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、重度顔面外傷、重症熱傷などオールラウンドに形成外科的疾患に対応できるよう心がけていることです。特に近年急増する下肢難治性皮膚潰瘍に対する予防を含めた総合的な治療に力を入れております。今後も、ニーズに応じてますます発展させて形成外科治療で県民に広く貢献して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

施設認定など

- ・ 日本形成外科学会専門医研修 教育関連施設（施設番号 15-3030-009）
- ・ 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設（認定番号 NS-17003号）
- ・ 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実地基準による実地施設 認定証（登録番号 H00789）

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
形成外科部長	東盛 貴光	創傷外科、フットケア、美容外科、レーザー治療、広範囲重症熱傷、下肢難治性皮膚潰瘍に対する治療、マイクロサージャリーを用いた頭頸部がん術後の再建、乳がん術後の乳房再建、下肢静脈瘤	日本形成外科学会専門医・領域指導医 日本形成外科学会 熱傷分野指導医 日本形成外科学会 創傷外科分野指導医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医・指導医 日本創傷外科学会専門医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー・インプラント治療責任医師 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実地基準による実施医及び指導医 日本下肢救済・足病医学会 九州沖縄地方会評議員 日本褥瘡学会 九州沖縄地方会世話人
医長	立津 朝成	形成外科一般、皮膚悪性腫瘍	

学会発表

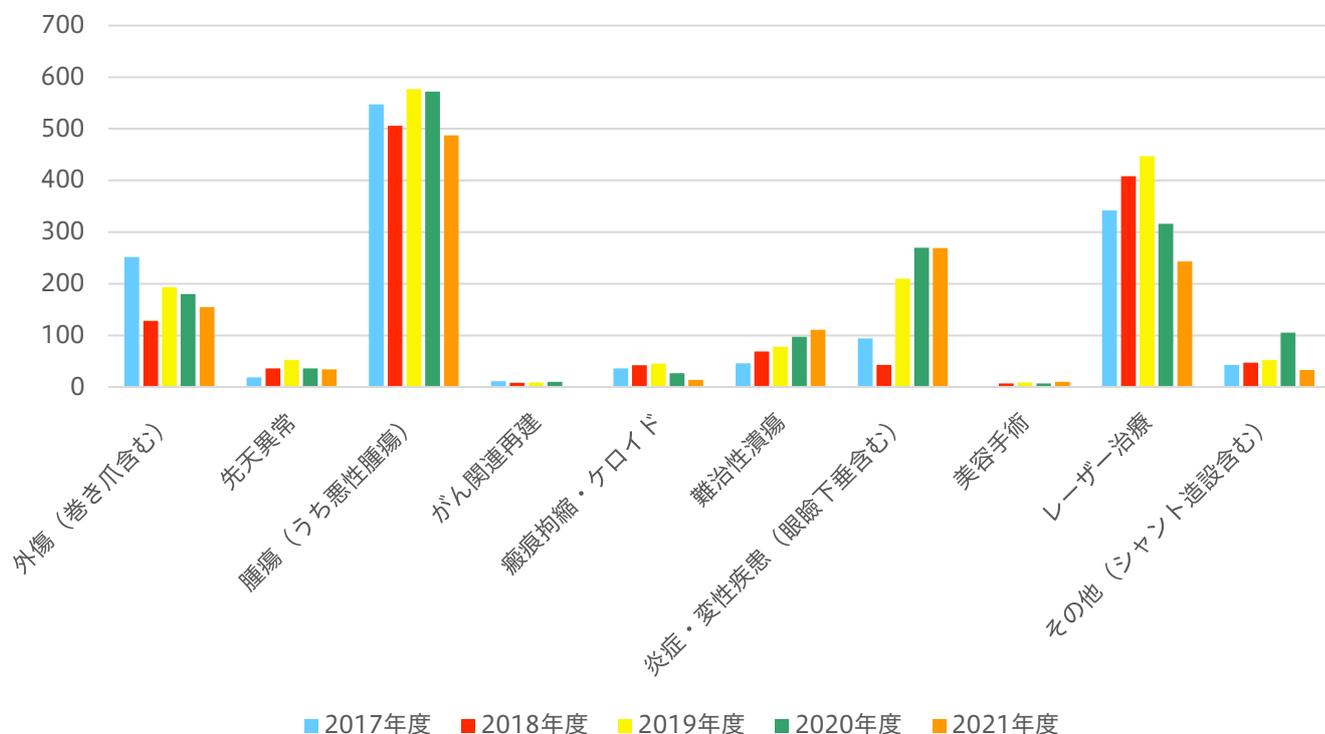
学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第3回日本フットケア・足病医学会 九州・沖縄地方会学術集会	ICTでCOVID-19による重症化から患者を守る会	福岡県	2021年10月23日	東盛貴光、上村哲司 (佐賀大学医学部形成外科)

検査・治療・手術件数

検査・治療実績

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
外傷（巻き爪含む）	252	128	193	180	155
先天異常	19	36	52	36	34
腫瘍（うち悪性腫瘍）	547(26)	506(18)	577(24)	572(19)	487(24)
がん関連再建	11	8	9	10	2
瘢痕拘縮・ケロイド	36	42	45	27	14
難治性潰瘍	46	69	78	97	111
炎症・変性疾患（眼瞼下垂含む）	94	43	210	270	269
美容手術	2	7	9	7	10

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
レーザー治療	342	408	447	316	243
その他(シャント造設含む)	590	553	629	105	33
合計	1,392	1,294	1,672	1,620	1,358



年度総括



形成外科
立津 朝成

2022年度より医長に就任いたしました立津と申します。2021年度も新型コロナウイルスが猛威をふるい続け、当科としても病院としても苦しい状況が続きました。しかしながら当科スタッフは感染なく7年目を終了することができました。

2020年度に比べ、2021年度は新型コロナウイルスの蔓延やスタッフ減少に伴い入院患者数、外来患者数、手術件数は減少してしまいました。学会活動も自粛せざるを得ず、研究論文も執筆できない状況でした。

足の難治性潰瘍は循環器内科との連携により大切断の件数が減り、患者さんの健康寿命を伸ばすことができ始めております。今後も密な連携で大切断に至らせないような診療に尽力していきます。

初期研修医は院内から2名の先生が研修され、後期研修医の先生は当科の基礎的な手術を多く執刀経験いたしました。

2022年度からは常勤スタッフが立津のみとなり各科の先生方にはご迷惑をお掛けすることも多くなると思いますが、どうか暖かくご指導ご鞭撻いただくと幸いです。

脳神経外科

主に脳卒中、外傷を中心に診療しております。発症早期の脳梗塞に対してはt-PA、血管内血栓除去術を行い患者さんの日常生活が保てるように努めております。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対しては低侵襲な血管内治療を first choice としております。また、脳内出血に対しても神経内視鏡手術を導入して侵襲の少ない手術が可能となりました。今後も安全、安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

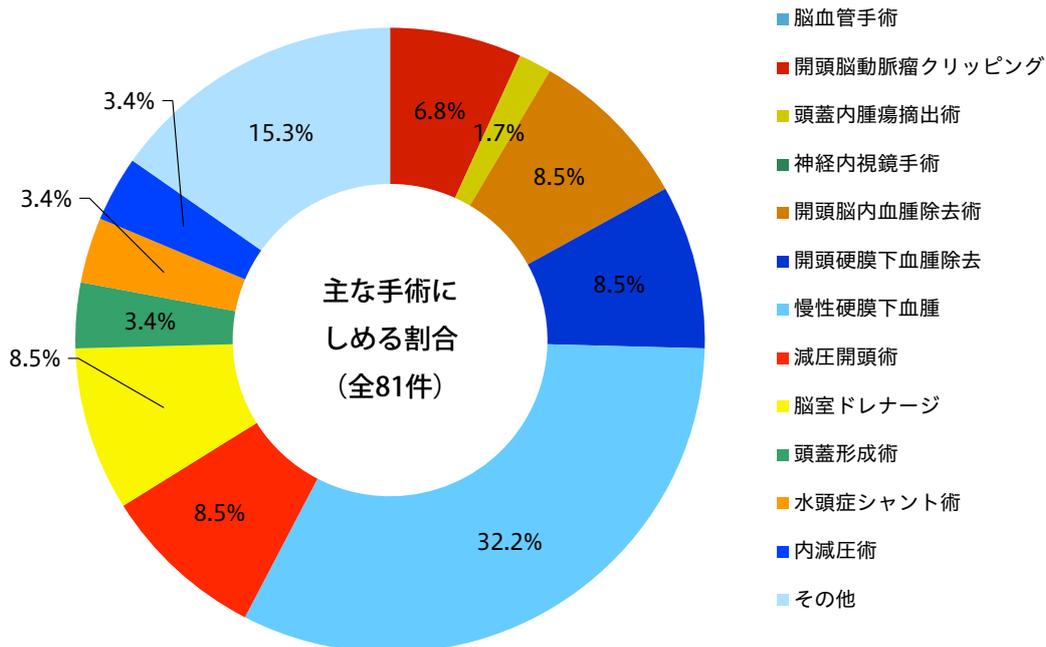
医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉 健次	脳外科一般	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科副部長 3階病棟医長	上笹 航	脳外科一般・神経内視鏡手術・血管内治療	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本神経内視鏡学会神経内視鏡専門医

検査・治療・手術件数

名称	件数
脳血管手術 ・脳動脈瘤コイル塞栓術 7 ・頸動脈ステント術 1 ・血栓回収術 5 ・中硬膜動脈塞栓術 2 ・脳腫瘍塞栓術 1	16
開頭脳動脈瘤クリッピング	4
頭蓋内腫瘍摘出術	1
神経内視鏡手術 ・血腫除去術 3 ・第3脳室底開放術 3	6
開頭脳内血腫除去術	5

名称	件数
開頭硬膜下血腫除去	5
慢性硬膜下血腫	19
減圧開頭術	5
脳室ドレナージ	5
頭蓋形成術	2
水頭症シャント術	2
内減圧術	2
その他	9
合計	81



年度総括



脳神経外科部長
末吉 健次

今年度もコロナ禍での診療となりました。

外来や手術制限の中、病院全体で協力して救急受け入れを止めることなく対応してきました。

脳神経外科は緊急手術となることが多く、術前のPCR検査をスムーズに行い速やかにオペ室へ搬入するには各部署の協力、チームワークの大切さを改めて知ることができました。

今後もいろいろな状況にチームとして対応し、地域医療に貢献して参ります。

眼 科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉球大学病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 30 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、患者さんの状況に合わせてご希望があれば、白内障の日帰り手術も行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております、皆様に安心して手術を受けていただけるものと思っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など	備考
眼科部長 / 常勤	親川 格	一般眼科・角膜移植 (移植、特に角膜内皮移植)	日本眼科学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser iEK certification	
常勤	安次嶺 千晶		日本眼科学会専門医	

研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
角膜カンファレンス 2022 第46回日本角膜学会総会 第38回日本角膜移植学会	私の DMEK 手術手技	石川	2022年2月11日	親川格

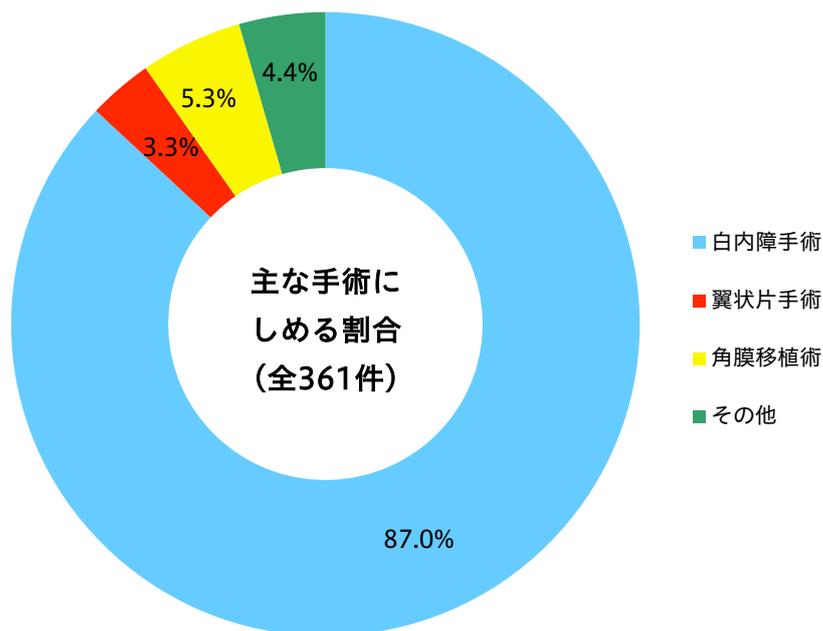
論文著書

論題名	雑誌名	掲載年・巻号・頁	著者名
角膜 DMEK を日本人眼で行う場合の推奨される方法やコツを教えてください	あたらしい眼科	2021,12,(38 臨増)76-81	親川 格、林 孝彦
DMEK 連続 76 症例の検討	あたらしい眼科	2021,11,38(11) 1339-1343	黒木翼、親川 格、他

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

名称	件数
白内障手術	314
翼状片手術	12
角膜移植術	19
その他	16
合計	361



年度総括



眼科部長
親川 格

当院では白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの眼科一般診療をはじめ、前眼部疾患を中心とした専門分野を柱とした診療を常勤医2名に大学からの外来応援医師を併せた体制で行っております。特に角膜移植領域に関しては先進的な医療提供を心掛けて実践しております。

近隣の眼科クリニックを中心に、本島北部地域や離島の眼科クリニック、県内各総合病院や琉球大学病院から患者さんを紹介いただき診療・治療をさせていただいており、今年度は年間手術総数361件、角膜移植19件の治療に携わらせていただきました。今年度も昨年と同様に新型コロナウイルスによる影響を受け、病院全体として対応に苦慮し、外来・入院の受け入れ制限等がありましたが、新型コロナウイルスへの経験をふまえた万全の対策を講じることで、スムーズな外来診療、入院加療を行うことができるようになっております。

これまで懸案であった外来診療における待ち時間の解消は依然として大きな課題ではありますが、もう一つの課題である患者さんの手術待機時間は1・2ヵ月以内におおむね短縮できております。

現在さらなる眼科診療のクオリティー向上を目標に掲げ、今後も患者さん一人一人に最も適した質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同協力して当たらせていただきたいと思います。

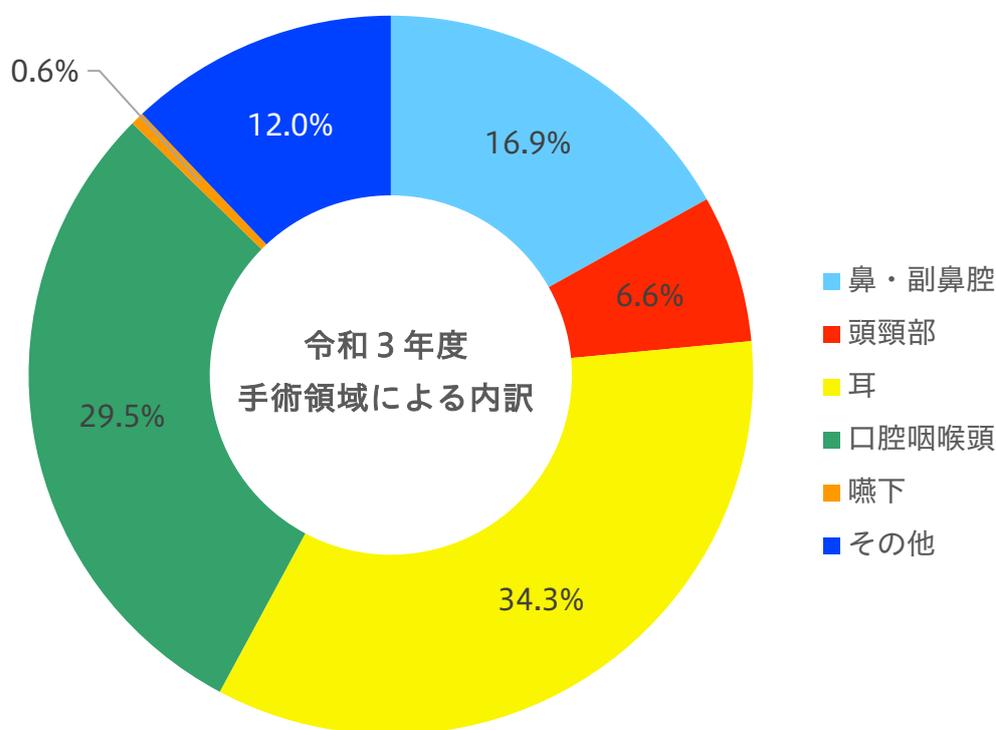
耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は耳、鼻、咽頭、喉頭、頭頸部と幅広く、聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器に加え、摂食嚥下、発声、呼吸といった重要な機能を取り扱っている診療科です。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
耳鼻咽喉科医長	赤澤 幸則	中耳炎、難聴、顔面神経、めまい	日本耳鼻咽喉科学会認定専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医 補聴器適合判定医 医学博士
	又吉 博紀	耳鼻咽喉科一般	

診療実績



手術名	件数
耳科手術	
鼓室形成術（耳小骨温存術）	13
鼓室形成術（耳小骨再建術）	2
乳突削開術	3
鼓膜形成術	1
鼓膜穿孔閉鎖術（リテンパ®）	5
耳介血種開窓術	1
鼓膜切開術	9
鼓膜チューブ挿入術	12
先天性耳瘻管摘出術	2
耳茸摘出術	2
外耳道腫瘍摘出術	2
外耳道異物除去術	5

手術名	件数
鼻科手術	
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型	6
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型	3
内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型（下鼻甲介手術）	4
内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型（鼻中隔矯正）	4
後鼻神経切断術	2
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	1
鼻腔粘膜焼灼術（鼻出血止血）	6
鼻前庭嚢胞摘出術	1
鼻骨骨折整復固定術	1

手術名		件数
口腔咽喉頭手術	口蓋扁桃摘出術	39
	アデノイド切除術	1
	軟口蓋形成手術	2
	喉頭微細手術	3
	喉頭蓋嚢腫摘出術	1
	唾石摘出術（表在性）	1
	咽頭異物摘出術	2
	声門閉鎖術（誤嚥防止手術）	1
頭頸部手術	耳下腺腫瘍摘出術（浅葉）	2
	耳下腺腫瘍摘出術（深葉）	1
	舌悪性腫瘍手術（切除）	1

手術名		件数
頭頸部手術	下咽頭腫瘍摘出術（経口腔）	1
	咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋手術含む）	3
	喉頭悪性腫瘍手術（全摘）	1
	口腔底悪性腫瘍手術	1
	副甲状腺腫過形成手術 / 副甲状腺摘出術	1
その他	リンパ節摘出術	10
	気管切開術	4
	皮下腫瘍摘出術	5
	深頸部膿瘍切開術	1

研究業績

学会発表

タイトル	学会名	開催地	発表年月日	発表者
反回神経麻痺をきたした副甲状腺腫の一例	第141回沖縄県地方部会総会・学術講演会	沖縄（現地& Web）	2021年7月31日	又吉博紀、赤澤幸則、島袋拓也

年度総括



耳鼻咽喉科
赤澤 幸則

耳鼻咽喉科医長の赤澤幸則と申します。現在2人体制で、コロナ禍による手術制限、病床制限がありましたが、可能な限り地域の先生方からのご紹介に対応させて頂けたかと存じます。

私は耳科領域を専門としており、大学病院等より頭頸部腫瘍、鼻科、音声、嚥下の各専門医師による外来及び手術を可能としているため、耳鼻咽喉科のほぼ全領域を高いレベルで対応可能となっております。

平成30年度より、嚥下チーム（医師・言語聴覚士・看護師・栄養士・歯科衛生士）を立ち上げ、嚥下障害患者の回診などチームでの活動を開始いたしております。依然コロナ禍でありCOVID-19の感染に細心の注意を払いつつ、他科よりコンサルトされた入院患者を中心に、正確な嚥下機能評価及びそれに基づく適切な対応策や介入方法の提案を心がけました。

今後も地域医療支援病院として、他院ならびに他科の先生方からも患者さんをご紹介いただけるよう病診連携の維持に努めてまいります。できるだけわかりやすい説明を心がけ、それぞれの患者さんに合った医療を提供できることをモットーにし、本年度も入院患者数・手術症例数の増加を目指し、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

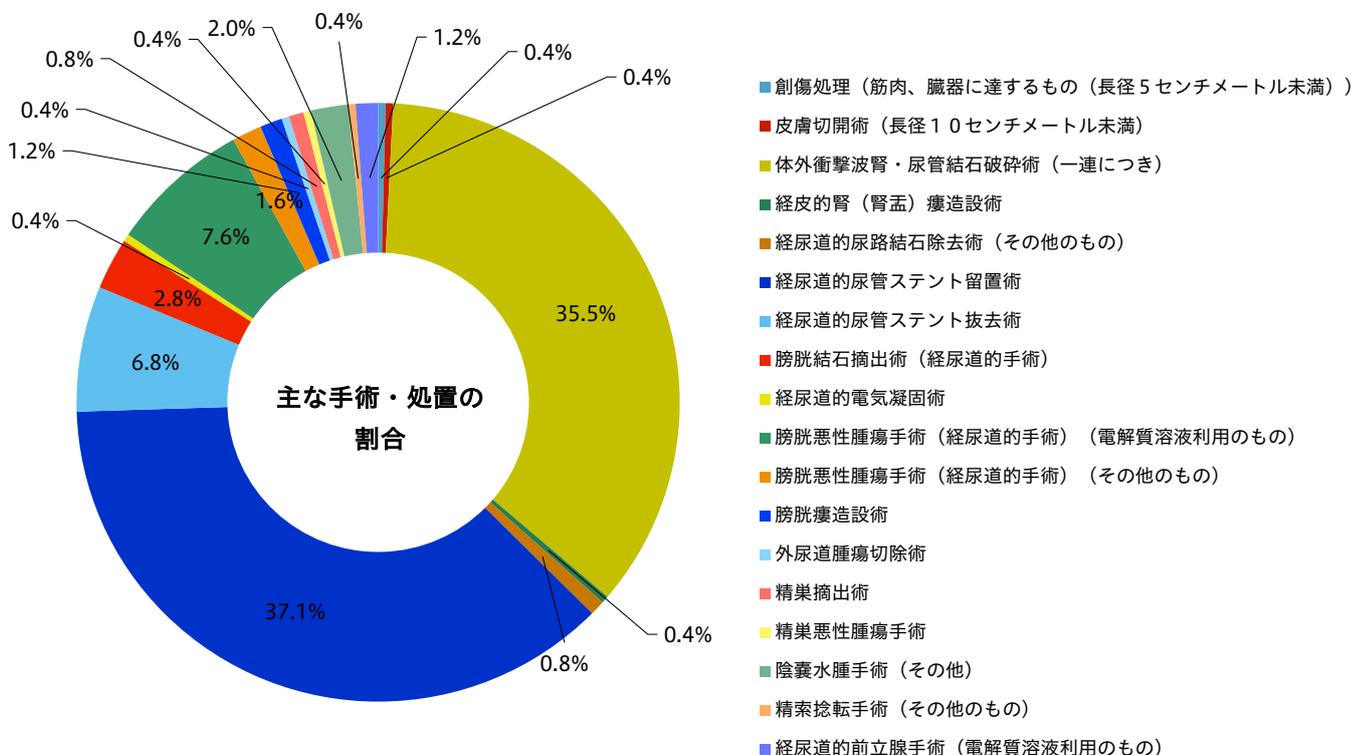
泌尿器科

2021年度は常勤医として嘉川春生、古謝将之、琉球大学病院泌尿器科から3人の外来非常勤医師で診療にあたりました。外来患者数は毎月800人前後で推移しています。主な検査としては、膀胱ファイバーが年間230件。経直腸前立腺針生検が79例（内前立腺がんは53例）手術は、経尿道的手術と尿管ステント留置術、対外衝撃波腎尿管結石破碎術を中心に行っています。腎がん、前立腺癌の手術に関しては、琉球大学病院、中部徳洲会病院に紹介しています。前立腺癌に対する放射線治療は南部徳洲会病院、南部医療センター、琉球大学病院へ紹介しており各病院と連携を取らせていただきながら治療にあたっています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会専門医 日本透析医学会専門医
泌尿器科医長	古謝 将之	一般泌尿器	日本泌尿器科学会専門医
	宮里 実(非常勤)		
	木村 隆(非常勤)		
	野原 素直(非常勤)		

検査・治療・手術件数



年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

人口の高齢化が進む中、泌尿器科を受診される患者さんは年々増加の一途をたどっています。病診連携により患者さんの円滑な受け入れ、また逆紹介に取り組んで参ります。

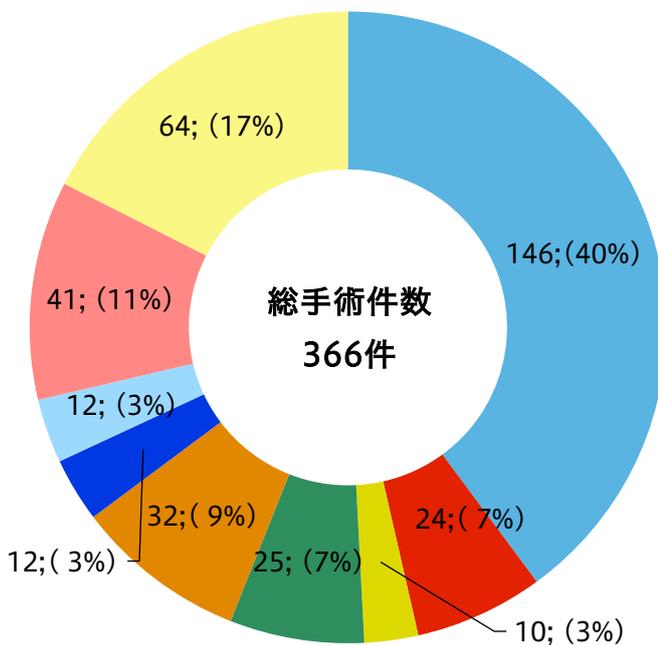
産婦人科

常勤医師 5 名、助産師 25 名、看護師 14 名、看護助手 4 名、クラーク 2 名の体制でした。産科領域では 36 週以降の分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の開腹、経腔、腹腔鏡手術 / 化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等を行い、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
センター長 婦人科部長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医 日本産婦人科学会指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医
産科部長	大西 勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 日本産婦人科学会指導医 母体保護法指定医
産婦人科医長 東館 4・5 階病棟医長	堀本 直幹	一般産婦人科	
	比嘉 博香	一般産婦人科	日本産婦人科学会専門医
	宮崎 優樹	一般産婦人科	日本産婦人科学会専門医

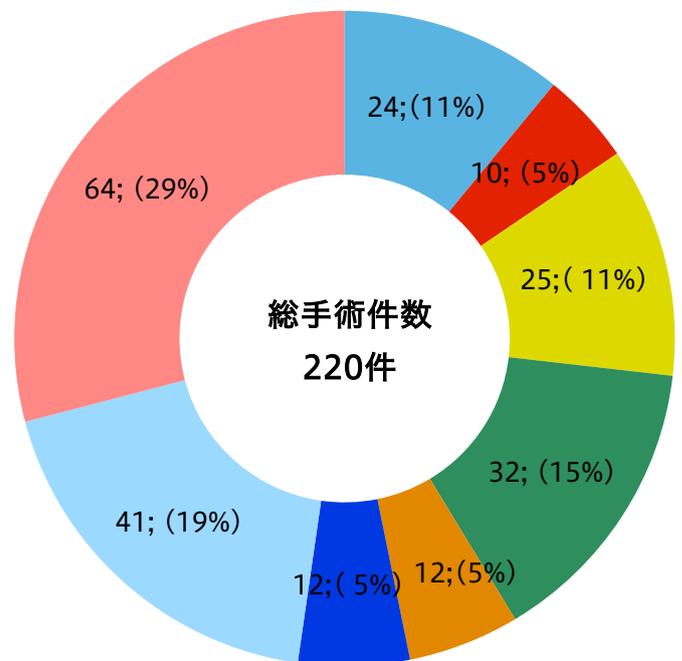
産婦人科統計



- 帝王切開
- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡
- 経腔子宮手術
- 腰麻下経腔
- 静麻麻酔下手術

■ 総分娩件 : 555 件

婦人科部門



- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡
- 経腔子宮手術
- 腰麻下経腔
- 静麻麻酔下手術

研究業績

学会発表及び研究発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
第 73 回日本産科婦人科学会学術集会	カルボプラチン脱感作療法後に再度過敏性反応を来した再発卵巣癌の 1 例	オンライン	2021 年 4 月 22 日	武田 理、宮崎優樹、比嘉博香、堀本直幹、大西勉、青山 肇
第 63 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	診断に苦慮した富細胞性子宮平滑筋腫の 1 例	オンライン	2021 年 7 月 16 日～30 日	武田 理、宮崎優樹、比嘉博香、堀本直幹、大西勉、青山肇
第 52 回沖縄産科婦人科学会 学術集会	肺転移を有した低異型度子宮内膜間質肉腫の 1 例	ハイブリッド開催	2021 年 11 月 14 日 オンライン	宮崎優樹、武田 理、比嘉博香、堀本直幹、大西勉、青山 肇
第 43 回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会	卵巣子宮内膜症性嚢胞から発生した漿液粘液性境界悪性腫瘍の 1 例	ハイブリッド開催	2022 年 1 月 22 日～23 日	武田 理、宮崎優樹、比嘉博香、堀本直幹、大西勉、青山 肇

年度総括



産婦人科
センター長 兼
婦人科部長
武田 理

分娩数は昨年度から約 70 件減少しました。産婦人科スタッフ数減少とコロナ対策でマンパワー不足を招き、結果分娩数の調整を図った影響と思われます。今後は医師数、スタッフ数確保とコロナ蔓延、感染対策をしっかりとりながら分娩数増加を計画していく予定です。

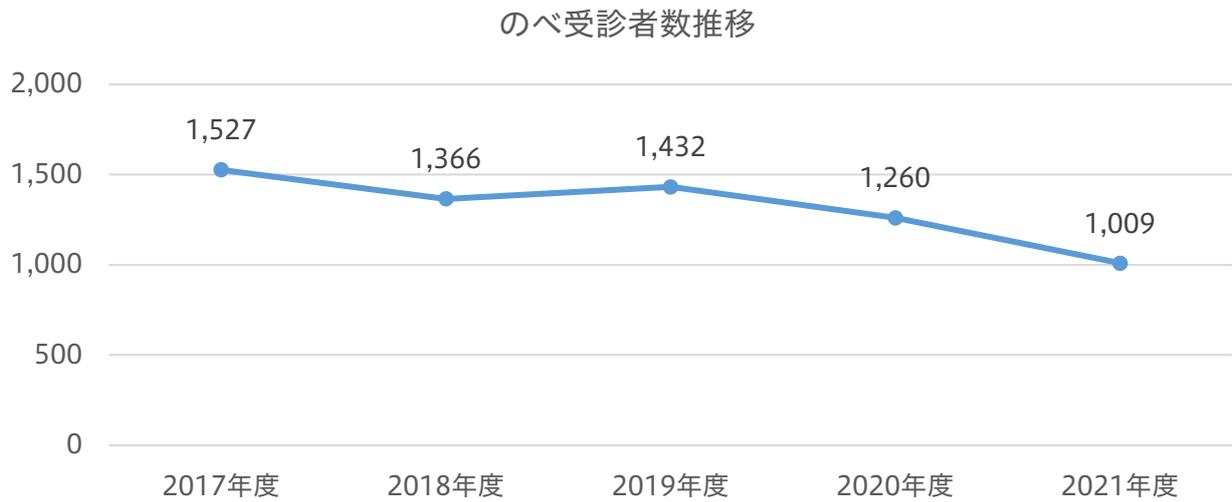
手術件数が前年から 60 件増加、コロナ対策で度重なる手術制限の中、制約を受けにくい小手術、悪性腫瘍等が増加しました。良性開腹症例は減少しておらず積極的な入院加療を心がけた効果と思われます。

コロナウイルス感染対策としては、感染妊婦激増に伴い県内では WG(コロナ対策チーム)による病院・医院間の密な連携により妊婦、新生児への対応が確立されつつあります。今後も病棟・外来での感染、クラスター発生防止対策の上で陽性妊婦への対応をスムーズに行っていきます。

皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。
診療は琉球大学病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

診療実績



放射線科

放射線科の診療は CT、MRI、RI（ラジオアイソトープ）、マンモグラフィー等の検査内容の指示、診断、検査報告書作成など画像のみを扱う分野と、画像支援で治療を行う IVR（血管内治療）が主な業務内容になっております。IVR には肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も他科と連携しながら行っています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 検診マンモグラフィー読影認定医
	東江 ゆりか	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本核医学会核医学専門医 日本核医学会 PET 核医学認定医 マンモグラフィー読影認定医
	小林 史文	射線科専攻医	

各種検査・治療件数と推移一覧

医療技術部 放射線科のページに業務実績を掲載しております。

年度総括



放射線科部長
高良 誠

2021 年度の CT、MRI の検査件数はこれまで同様増加傾向です。マンモグラフィーは横ばいの状態です。RI の検査は減少傾向です。昨年度新しい装置に更新され、画質の向上および進化した診断支援ソフトにより診断精度は向上しています。他に代用のきかない検査なので、これからも放射線科として適応のある症例は積極的にお勧めしていくようにします。

IVR は横ばいになっています。近年 TACE の減少で全体の件数は減傾向ですが、その他の手技に関しては例年どおりで、緊急性の高い止血術も例年通り行っています。

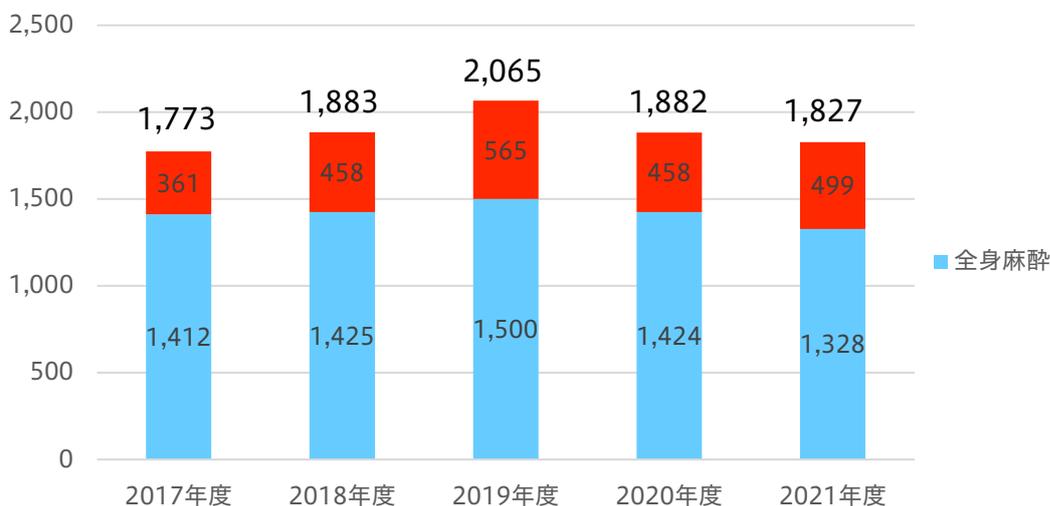
2021 年度は常勤 3 名体制で、ダブルチェック体制、カンファレンス、研修医教育、至急読影、IVR など、放射線科業務に対応しました。読影加算 2 の規定もクリアしています。今後とも放射線科医と放射線科スタッフが連携し、各診療科の要望に応えられるよう、より良い診断と治療に取り組んでいきます。

麻酔科

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
麻酔科部長 手術室部長	島袋 泰	一般麻酔	日本麻酔科学会指導医
麻酔科副部長 手術室副部長	釜野 武志	一般麻酔	日本麻酔科学会指導医
麻酔科医長	嘉手苺 由梨	一般麻酔	日本麻酔科学会専門医
医師	太田 沙也加	一般麻酔	
医師	平良 志子	一般麻酔	
麻酔科相談役	久場 良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医

麻酔件数推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
たこつぼ心筋症により術後心不全を合併した症例	九州麻酔科学会第 59 回大会	web 開催	2021 年 9 月 4 日～ 10 月 4 日	太田 沙也加、久場 良也、 島袋 泰、釜野 武志、嘉手 苺 由梨、平良 志子

年度総括



麻酔科副部長
釜野 武志

2021年度も COVID-19 に多大な影響を受けた年度でした。

2021年6月14日から18日、および8月2日から9月24日の間手術制限を行い、その間の手術件数は減少しました。それに加えて太田医師の出産休暇、私自身も1か月半程度休まざるを得ず、予定麻酔科件数を制限しました。2022年度は太田医師も復帰し、手術制限がなければまた COVID-19 蔓延以前の手術件数に戻れるだろうと予測しております。

当科の主な業務は手術麻酔で、一部集中治療室管理も行っております。外科、整形外科、産婦人科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科など各外科系手術、及び内科経口内視鏡的手術、さらに放射線科の血管塞栓術などの麻酔を幅広く行っております。ADLが極端に低下した超高齢者の骨折手術の麻酔から生後数十日の乳児の腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術、また帝王切開妊婦の麻酔管理まで幅広く行う現状は変わっていません。経口内視鏡的手術、関節鏡下手術、神経内視鏡下手術は一定数行われており、多彩な手術の麻酔管理は当院の特徴といえるでしょう。集中治療室管理として、COVID-19 感染患者の挿管やカテーテル留置依頼が散発的にありました。他に術後の呼吸管理、鎮痛管理や血液浄化の管理を中心に行っておりますが、集中治療室の対応は後手に回っている現状は変わっていません。

2021年度の麻酔管理件数は1,827件（前年2.9%減）、全身麻酔管理件数1328件（同6.7%減）でした。麻酔件数と比較して全身麻酔の件数が減少している理由として、全身麻酔が難しい症例に対し、区域麻酔（とくに末梢神経ブロック）を中心に麻酔管理する症例が増えていることも影響があると考えています。全員が可能な限り麻酔科関連学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。学会参加はハイブリッド開催の増加で現地に赴く必要はなくなりましたが、技術向上・維持のため、現地ハンズオンセミナーには定期的に参加する必要があります。その際、手術制限で各科の先生方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも安全で効率的な手術室管理へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



麻酔科部長
島袋 泰



麻酔科医長
嘉手苺 由梨



太田 沙也加



平良 志子



麻酔科相談役
久場 良也

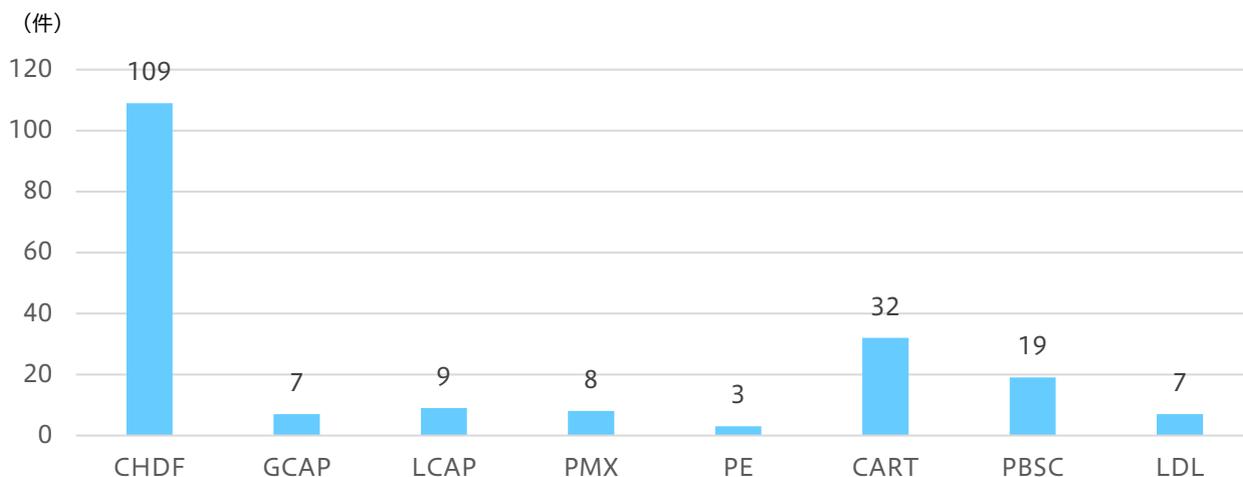
血液浄化部

2021年度の人員体制は医師2名、看護師20名、看護助手4名、医事課1名で臨みました。透析室のコンソールは57台（内個室2台）で外来維持透析の患者さんは146名でした。月水金は午前55名、午後（14時から18時）9名、夜間（17時から21時）27名の3クールでした。火木土は午前55名、午後はコロナ濃厚接触者の透析に当てました。ICU、HCU等での血液浄化療法としてCHDF、エンドトキシン吸着療法、GCAP、LCAP、LDL吸着、腹水ろ過濃縮療法、PBSC等年間に約300件実施しました。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会専門医
	普久原 智里		日本腎臓学会腎臓専門医 日本透析医学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本腹膜透析医学会認定医

業務実績



年度総括



血液浄化部長
嘉川春生

2021年度は琉球大学病院第三内科から腎臓内科の普久原智里医師が常勤医として入職しました。腎代替療法選択外来患者数は、前年までは数名程度でしたが40名に増加し、腎代替療法の丁寧な説明につながりました。医師は理事長の安里哲好（木曜日午前回診）と嘉川春生の3人体制でした。それに加えて毎月第3土曜日に糖尿病センターの小原正也医師に依頼し透析室糖尿病外来を開設し、患者のサポート体制の充実がはかられました。

新型コロナウイルス感染症の対策としては、透析室内でのクラスター発生を未然に防ぐためにマスク、フェイスガード着用、透析室入口検温、室内換気、ビニールカーテンによるパーティション、HEPA フィルターの活用等行いました。そしてなによりも、患者さんやご家族への健康管理依頼、発熱時の来院前連絡、同居家族や職場での発熱者、陽性者、濃厚接触情報に関して来院前に報告していただくように説明しています。これにより患者の発生を散発的に抑えることができました。次年度も密に連携を図りながら感染予防対策を実施する所存です。

口腔ケア科

概要・実績

2017年(平成29年)4月より診療科を立ち上げ5年目を迎えました。非常勤医師・歯科衛生士にて月曜から木曜午後の診療を行っております。周術期患者や、化学療法患者を対象としたケアを中心に診療を行っております。

職員数

歯科医師	4名	歯科衛生士	2名
看護クラーク	1名		

医師

氏名	専門分野	学会認定
白川 純平	口腔外科一般	日本口腔外科学会認定医
後藤 尊広	口腔外科一般、口唇口蓋裂	日本口腔外科学会専門医 日本口腔外科学会指導医 日本障害者歯科学会認定医 日本障害者歯科学会指導医
河野 俊広	口腔外科一般、顎変形症	日本口腔外科学会専門医 日本口腔外科学会指導医
仲宗根 敏幸	口腔外科一般	日本口腔外科学会専門医

歯科衛生士

氏名	認定
浦崎 洋子	口腔ケア4級
玉寄 伶菜	口腔ケア4級
知花 望美(2021年4月より)	

診療実績

診療科別患者数

年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
延患者数	1,151	1,873	1,508	1,111	1,216
月平均患者数	96	156	126	93	101
1日平均患者数	12	20	16	15	13
逆紹介件数	5	8	7	1	4

全身麻酔手術(周術期加算非該当)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全対象患者数	79	60	31	91	71	39	98	87	98	34	44	82
介入患者数	26	27	14	45	22	19	38	51	48	13	20	39

全身麻酔手術（周術期加算該当）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全対象患者数	61	40	31	43	39	38	55	44	48	40	36	43
介入患者数	34	24	18	32	28	27	46	29	39	24	23	37

周術期加算該当症例（詳細）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脳卒中	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
人工関節置換術	5	5	2	9	3	3	13	13	9	2	2	7
悪性腫瘍	15	13	13	14	9	22	20	9	19	13	13	19

5年間の推移

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
周術期Ⅰ 280	48	66	35	44	45
周術期Ⅰ 190	4	21	11	7	2
周術期Ⅱ 500	48	145	230	204	296
周術期Ⅱ 300	63	189	190	41	28
周術期Ⅲ 190	210	323	323	211	214
パノラマ撮影		129	153	405	381
歯科衛生士実施指導	318	830	959	791	901

年度総括

口腔内のケアを中心としている当科では、昨年より新型コロナウイルス感染症の対策を講じて診療とケアの介入を継続することができました。

感染蔓延により手術制限が発動すると診療に影響を受けざるを得ず、日当点目標 13,000 を達成できたのは 11 月から 2 月までの期間でした。パノラマ撮影も昨年より検査件数が減り、年間 35 件という結果でした。このような中でも周術期の患者に対する介入を継続し、挿管時の歯の欠損や動揺歯の欠落などのトラブルを減少することに繋がられました。また、化学療法を受ける患者の抱える口腔内トラブルに対しても、外来だけでなく入院中の患者へ介入することもありました。病棟や手術室とのミーティングを行い、患者中心に考える取り組みも始めました。

今後は更に他職種と連携して介入やケアの質を高めていけるよう取り組む計画です。次年度は診療時間帯の増枠を計画しており、更に介入できる患者を増やすことを見込んでおります。

救急総合診療部

「ちゃんと助ける救急」を実践するために、2017年より近隣4消防と協定を締結して始めた「もっと助けるドクターカー」も導入し5年が経過しました。

救急車型ドクターカーの高次医療機関への転院搬送や、下り搬送、診療所や病院へのお迎え業務中の、現場出勤要請へ応えるために2019年に導入したラピッドカー型ドクターカーも併用し、2020年度からは病院救命士を3名体制とすることで、安定した病院前診療の提供を行うことができています。

また、2020年度からはじまったコロナの感染蔓延、重症化を抑えるために病院として、救急部として何ができるかを考え、2021年5月からの半年で病院主導での集団ワクチン接種（中城村、西原町、与那原町）へ病院救急車、病院救命士、ER看護師を派遣する「攻めのワクチン」活動を行い、17,429人の地域住民へ安全にワクチン接種を行うことができ、その後も継続的にワクチン接種会場へ病院救命士、ER看護師の派遣活動を行なっています。

7月には東京オリンピック2020に三戸医師が医療救護班の一員として現地に参加しました。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ハートライフ病院（沖縄県）でのその後の取り組み	第9回12誘導心電図伝送を考える会	オンライン	2022年1月15日	三戸 正人

救急症例検討会

学会名	開催地	年月日	概要
第44回 救急症例検討会	現地とWEBのハイブリッド開催	2021年10月13日	延期、中止を繰り返していた救急症例検討会をWEB併用で開催し、現地で70名（病院関係者40名+消防関係者30名）+各消防本部、分署からの参加をいただくことができ、今後も継続していく必要性を痛感させていただきました。

活動実績

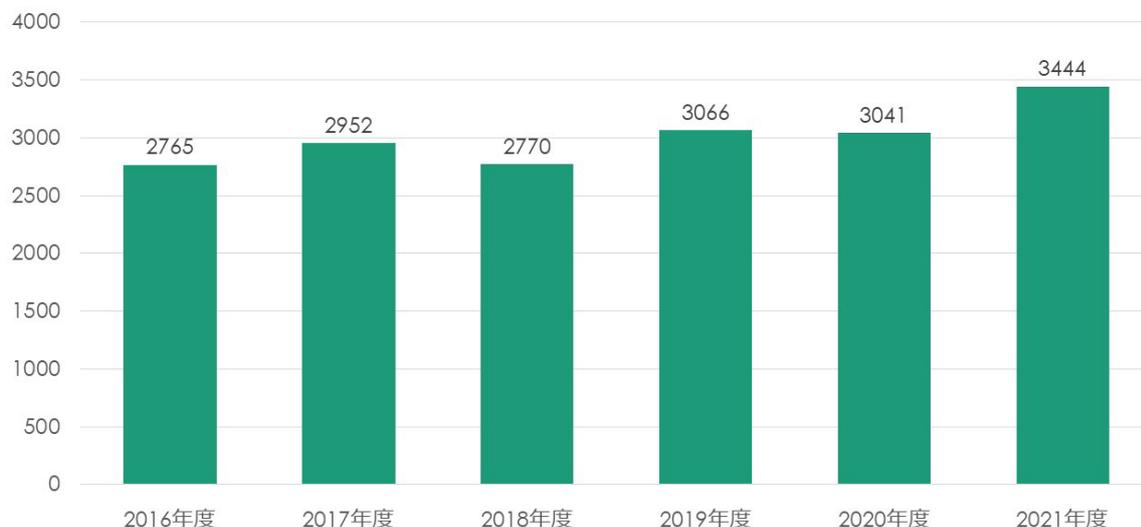
名称	年月日	参加者
ハートライフ病院 院内災害対策訓練 事前学習会	2022年1月9日	災害対策委員、ERスタッフ
【机上訓練】地域で多数傷病者が発生した時に備え災害拠点病院としての活動をみんなで考える	2022年2月10日	役職など32名
【特別講演】局地災害対応は平時の救急医療の応用である	2022年2月10日	

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
救急総合診療部長	銘苅 正	一般外科、外傷外科	日本医師会認定産業医
救急総合診療部救急部長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医、日本循環器学会専門医、日本内科学会指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本体育協会公認スポーツドクター、日本DMATインストラクター、統括DMAT登録者、JMECCインストラクター、ICLSインストラクター、MCLSインストラクター、日本心臓核医学会評議員、心臓リハビリテーション指導士、沖縄県災害医療コーディネーター

実績

救急搬送件数

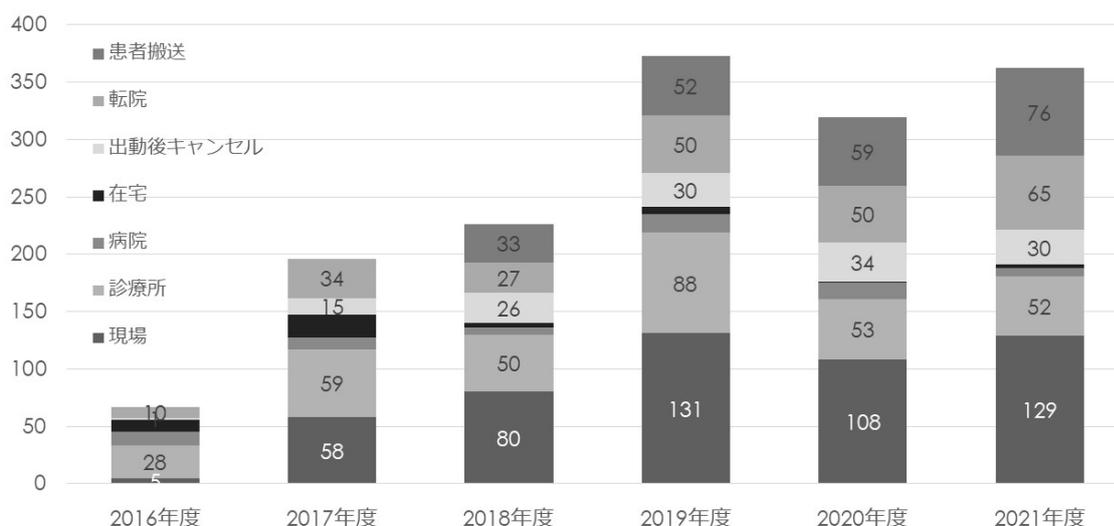


コロナ禍にもかかわらず、当直を担当していただいた各科の先生の協力もあり、2021年度は前年度比13%増の3,444件の救急搬送を引き受けております。

これは、当直を担当していただいた各科の先生方が、「救急搬送を断らない」という病院の使命を理解し、協力していただいたおかげだと思っております。

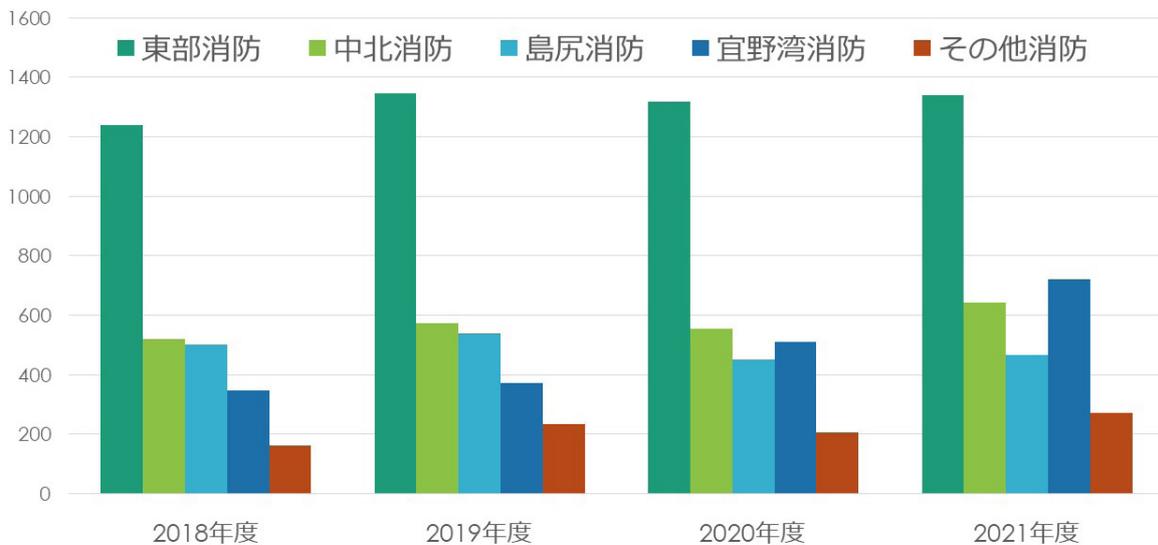
当院が救急搬送を断れば、より遠方に搬送されるため患者さんが重症化する恐れがあることや、地域から傷病者を乗せた救急車と救急隊が不在になり、その地域の助けられるはずの救急患者、重症患者を失うことにつながるということを共通認識としてご理解いただいているからと考えております。今後ご協力をよろしくお願いいたします。

ドクターカー出動件数



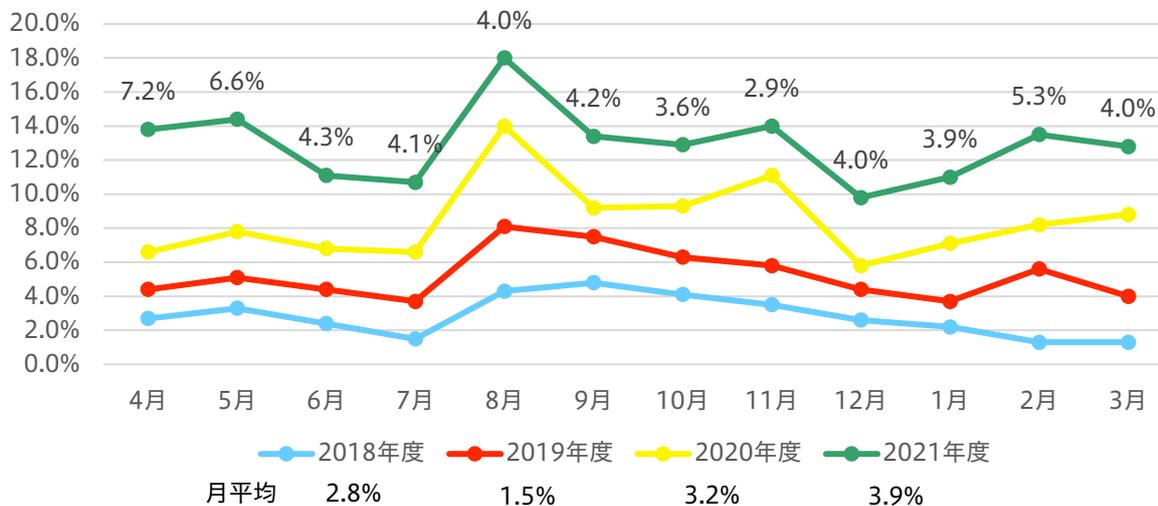
平日の日勤帯のみの運用（245日/365日）で、現場へのドクターカー要請件数は、年間120～130件、診療所を受診後に重症と診断され、当院へ搬送を要請される場合に、救急車型ドクターカーでお迎えにあがる件数も年間50件程度あり、あわせて200件程度が当院、当地域で発生する重症度、緊急度の高い患者数ではないかと思われました。

消防別搬送件数



2019年度までは、東部消防、中北消防、島尻消防、宜野湾市消防の順に救急搬送が多かったですが、コロナ禍がはじまった2020年度からは、宜野湾市消防からの救急搬送件数が増加、2021年度では、東部消防、宜野湾市消防、中北消防、島尻消防の順となり、12誘導心電図・画像伝送システム（スクナ）を未導入の宜野湾市消防本部との連携も考えていくことが重要と思われました。

救急不応需率



月の救急搬送件数が300件を越えると、不応需となる件数が増えてしまう現状が明らかとなりました。また、時間外のL&Gが宣言される多発外傷・重症外傷に対応するための院内に外科当直医が待機する体制が維持できなくなってしまったことから、外科系疾患についての今後の救急体制の再考が必要だと思われま。

コロナ禍で感染症対応が可能な陰圧室を3室、十分な換気がとれる診察待機室1室がありますが、感染症対応室に重症患者が入室、看護師が対応をはじめると、夜間や時間外など人手が少ない時には、どうしても次の発熱患者、重症患者をお断りせざるを得ない＝不応需となってしまうことが増えてしまいました。瞬間最大風速的に重症患者が入ってくる時の応援体制などが確立できると不応需率は下げることができるのではないかと考えています。

院内メディカルコントロール（MC）体制の確立

2021年10月、救急救命士法の法改正があり、「病院又は診療所への搬送のため重度傷病者を救急用自動車等に乗せるまでの間・・・」から、「病院若しくは診療所への搬送のため重度傷病者を救急用自動車等に乗せるまでの間又は重度傷病者が病院若しくは診療所に到着し当該病院若しくは診療所に入院するまでの間」と救急救命処置が行える範囲が拡大しました。ただし、病院救命士が上記条件で活動するためには、院内メディカルコントロール体制の立ち上げと、「指示・指導・助言」が行える必要性があり、委員会の立ち上げ、運営を始めています。今後は地域のMCとも連携し、認めてもらう必要があります。

沖縄県新型コロナウイルス対策本部への参加

病院救命士を県コロナ本部へ派遣、県庁での入退院調整業務への協力を行いました。

医師・救命士を感染管理看護師とともに、近隣のクラスター施設へ派遣、クラスターを収めるため、往診や遠隔診療などをふくめた感染管理、対策、治療を行いました。

来年度の目標

- ・ 休止していた救急症例検討会の定期開催
- ・ 院内ドクターカーシミュレーションの定期開催
- ・ 消防と連携したドクターカー連携訓練の開催
- ・ 救急医学会、臨床救急医学会、救急看護学会などへの演題提出、学会発表
- ・ 院外コース（ICLS、AHA-BLS、AHA-ACLS、JPTEC、JNTEC、MCLS、MCLS-CBRNE、DMAT）などへのインストラクター・タスク派遣

ドクターカーを含めた病院前診療の質の向上、多数傷病者事案、災害発生時の病院体制、ER体制を確立するための活動を本格的にしていく必要があると考えています。

また、当院だけでは地域災害、局地災害を乗り切ることが困難であり、地域や、県全体の災害対応のレベルを上げる活動もしていかなければいけません。

目の前の「助けて」を助けるため、「断らない救急」「ちゃんと助ける救急」を実践できるように「もっと助けるドクターカー」を活用しながら、院内職員、スタッフと一緒に勉強しながら活動を続けていきたいと考えています。

年度総括

今年度もCOVID-19に翻弄された一年ではありますが、だからこそ感染症診療と、感染症対策の質を高める活動ができるようになったという自信もERにはついてきました。

コロナ禍でも救急搬送を断らない、ドクターカーの運行休止をせず、救急搬送制限をかけない2年間を乗り越え、過去最高の救急搬送件数を引き受けられたのは、職員、スタッフのみなさんのがんばりのおかげだと感謝しています。

これからも地域に信頼してもらえる救急医療機関として、また災害拠点病院としての役割を果たしていけるように頑張っていきたいと思っています。

病理診断科

当科では、手術や検査などで採取された組織・細胞について、肉眼および顕微鏡を用いて評価を行い、良悪性の判断と詳細な疾患名、病期や病変の広がりなどを診断しています。また不幸にしてお亡くなりになられた患者様の病理解剖も担当しています。2020年度より現在の常勤専門医1名＋専攻医1名の体制となり、臨床検査科の細胞検査士・臨床検査技師とともに精度の高い病理組織診・細胞診を行うよう心がけています。

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
病理診断科部長	青山 肇	外科病理学一般	日本病理学会指導医 日本病理学会専門医 日本臨床細胞学会専門医 死体解剖資格 日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定内科医 医学博士
	古謝景輔	外科病理学一般	死体解剖資格

検査件数

臨床検査科のページに業務実績を掲載しております。

研究業績

学会発表及び研究発表

学会名	演題名	開催地	発表年月日	発表者
日本病理学会九州沖縄支部 第381回スライドコンファレンス	全身性リンパ節腫脹	オンライン	2021年5月15日	青山肇、中江正和

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
石灰化を伴った腸型肺腺癌の一例	肺癌	2021;61(7):979-984	土屋奈々絵、宮城一也、藤田次郎、熱海恵理子、青山肇、他

年度総括



病理診断科部長
青山 肇

2021年度は各臨床科の尽力により組織診件数はほぼ COVID-19 蔓延前の水準に回復することができました。細胞診については、年度途中から婦人科検診分は外注になりましたが、入院、外来での検査件数は増加を続けています。今後も件数の増加に柔軟に対応できる標本作製・診断体制を築いていきます。

また2021年5月には自動免疫染色装置を導入し、これまで全例を外部に委託していた免疫染色の8割以上を院内で行うことが可能となりました。その結果、免疫染色を行った症例の診断にかかる日数を平均1.7日短縮することができました。また細胞診セルブロックに対する免疫染色も容易に行えるようになり、細胞診診断精度の向上に繋がっています。

人材育成については、沖縄県病理専門研修プログラム連携施設として専攻医2名をそれぞれ半年間のローテーションとして受け入れました。これら県内の若手病理医の育成を通じて、当院で病理診断管理加算2を取得しダブルチェックなどを通じてよりスピーディーで正確な診断を行うことを目標としていきます。細胞診については現状ではスクリーニングを行う細胞検査士一人あたりの負担が重く、若手技師が細胞検査士資格を早期に取得できるよう、教育環境を整えていきます。

病理解剖は死因の究明だけでなく、当院の医療の質担保や研修医教育に欠かせません。2021年度は件数が少なかったものの、今後はより多くの症例を受け入れられるよう2022年度には大きな環境整備を予定しています。

当院の診療、特になんぞ診療の基盤として、早く正確な病理診断を行えるよう、今後もスタッフ一同努めてまいります。

医局年度総括



大腸・肛門外科
部長 兼 医局長
阿嘉 裕之

日々の診療につきましては、救急医療から専門的な医療まで、エビデンスに基づき患者さんに寄り添った医療に取り組んで参りました。科の垣根を越えた合同医局、風通しの良い医局として相談しやすい環境を心掛けております。コロナ禍においては窓を開けての風通しは良いのですが、以前のような密で和気藹々感がなくなったのは寂しい限りです。

定期的な会議の医局会、勉強会を時間内に収めるよう開始時刻の変更など試行錯誤してきました。また、研修医に対する教育も医局全体で継続しており、偏らない教育を行っております。医局行事の歓迎会、忘年会、送別会、研修修了パーティーなどは軒並みコロナ禍で中止し、代わりになる激励アプローチも見つからないままですが、息抜きのネタを提供いただければ幸いです。次年度も更に刺激しあえる医局にしていきます。

看護部

部門紹介

職員数 (2021年4月1日現在)

総数	548名	保育士	1名
保健師	5名	栄養士	1名
助産師	29名	クラーク	27名
正看護師	413名	歯科衛生士	2名
准看護師	9名		
看護補助者	61名		

認定看護師・認定看護管理者

分野	氏名
集中ケア認定看護師	内間幸人
感染管理認定看護師	大城美那
感染管理認定看護師(専従)	城間克也
慢性心不全看護認定看護師	島袋すが子
乳がん看護認定看護師	砂川克子
緩和ケア認定看護師	高宮理沙
手術看護認定看護師	富田賢一
糖尿病看護認定看護師	又吉直美
救急看護認定看護師・特定看護師研修修了者	兼本愛美
特定行為研修修了者	富里康太
医療安全管理者	安村公均
医療安全管理者養成研修修了者	外間真紀子
	安谷屋佳子
	屋宜鮎美
	米須智子

分野	氏名
認定看護管理者ファーストレベル履修	安谷屋佳子
	東恩納小百合
	宮城つかさ
	崎山久美
	屋宜鮎美
	米須智子
	島袋すが子
	仲里寛
	勝連しのぶ
田下茜	
認定看護管理者セカンドレベル履修	外間真紀子
	比嘉憲貴
	安谷屋佳子

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にした質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

【看護体制】

入院基本料 7 対 1

勤務体制 二交代制

看護方式 固定チーム + デイパートナー方式

看護単位

- 一般病棟
 - 7 階病棟 (呼吸器内科・循環器内科・糖尿病)
 - 6 階病棟 (血液内科: クリーンルーム 10 床)
 - 5 階病棟 (消化器内科・小児科)
 - 4 階病棟 (外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・乳腺外科)
 - 3 階病棟 (整形外科・脳外科・形成外科・眼科)
 - 東 4・5 病棟 (産婦人科・外来併設)

■ ICU 8 床

■ HCU 12 床

- 外来
 - 一般外来
 - 救急外来
 - 透析室

■ 手術室、中央材料室

■ 内視鏡センター

■ 予防医学センター

■ 入院支援室

症例・研究発表・活動実績

研修名	主催	開催	開催日	参加者
2 年目症例報告会	看護部教育委員会	看護部		2 年目看護師
中堅研修 業務改善報告会	看護部教育委員会	看護部	2021 年 11 月 26 日	山川七七女、大宜見宗史、豊永涼子、森下佳美、祝嶺好輝、佐次田桃子、他 17 名
第 26 回日本糖尿病教育・看護学会 学術集会	日本糖尿病・看護学会	WEB	2021 年 9 月 18 日・19 日	又吉直美

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	ハートライフ病院	院内	2021 年 4 月 1 日	新人看護師 36 名
プリセプター報告会	看護部主任会教育担当	院内	2021 年 4 月 26 日	プリセプター 11 名
プリセプター報告会	看護部主任会教育担当		2021 年 5 月 24 日	プリセプター 11 名
新人看護師基礎看護技術研修	看護部教育委員会	院内	2021 年 4 月 2 日～4 月 25 日	新人看護師 36 名
看護部補助者研修	看護部教育委員会	院内	2021 年 6 月 3 日	新里由美、仲村渠直美、金城和樹勝連萌々香、喜納亜矢子、仲宗根希世子、當眞麻由、新城愛里
新人看護師 BLS ①	看護部教育委員会	院内	2021 年 6 月 10 日	新人看護師 38 名

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
がん化学療法看護専門領域研修	がん化学療法認定看護師	院内	2021年6月17日	宮城愛子、仲村祐哉、中根汐香、屋比久志穂、上里音彩、我謝要子、片山のぞみ、上原芹香
新人看護師3ヶ月FU研修	看護部教育委員会	院内	2021年6月25日	新人看護師全員
プリセプター報告会	看護部主任会教育担当	院内	2021年7月26日、8月23日	プリセプター7名
新人看護師BLS②	看護部教育委員会	院内	2021年7月29日	新人看護師
中堅研修(業務改善)①~④	看護部教育委員会	院内	2021年7月30日~10月29日	山川七七女、7中松祐香、大宜見、豊永涼子、久手堅緑、森下佳美、祝嶺好輝、比嘉由香 他15人
看護補助者研修	看護部教育委員会	院内	2021年8月5日	補助者12名
緩和ケア領域研修①	緩和ケア認定看護師	院内	2021年8月7日	又吉愛美、仲尾幸乃、比嘉由希、神谷瑞穂、米須ゆうな、山城由佳、比嘉真里、上原芹香
2年目フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2021年8月13日	2年目看護師32名
医療安全領域研修①	医療安全管理者	院内	2021年8月21日	米田梓、仲村和士、大工夏希、榮奈々子、福末直史、比嘉友美、屋嘉比あかね
緩和ケア領域研修②	緩和ケア認定看護師	院内	2021年9月4日	仲松祐香、下地久美子、金城さやこ、又吉愛美、仲尾幸乃、前川ゆり、宮里亜衣
BLS指導者研修		院内	2021年9月9日	
新人看護師6ヶ月FU研修	看護部教育委員会	院内	2021年9月10日	新人看護師35名
プリセプター報告会	看護部主任会教育担当	院内	2021年9月27日	プリセプター11名
3年目フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2021年9月24日	3年目看護師16名
糖尿病看護専門領域研修	看護部教育委員会	院内	2021年10月2日	小渡君子、新垣友香、西銘結花、伊佐朋子、島袋あかり、他6名
看護補助者研修	看護部教育委員会	院内	2021年10月7日	金城聖菜、石原卓哉、新川千賀子、仲本麻華 他9名
プリセプター研修(中期)	看護部主任会教育担当	院内	2021年10月22日	CU(2) HCU(2) OR(1)3F(4) 4F(4) 5F(3) 6F(3) 7F(3) E4.5(3) ER(1)HD(2)
看護必要度研修(1年目対象)	看護部教育委員会	院内	2021年10月26日	新人看護師26名
看護補助者研修	看護部教育委員会	院内	2021年11月11日	小波津忍、鈴木貴美子、石原卓哉、上原厚、与那嶺敬子、他5名
救急看護領域研修①	救急看護認定看護師	院内	2021年11月6日	玉那覇久美子、下地育美、與那覇孝介、金城嘉奈子、嘉数勇人、他6名
呼吸ケア領域研修	集中ケア認定看護師	院内	2021年11月13日	砂川敦子、仲松裕香、下地夕希、伊禮奏子、新垣晴香、湊川誉志也、比嘉恵、大城初音、他3名
プリセプター報告会	看護部主任会教育担当	院内	2021年11月15日	プリセプター12名
医療安全領域研修②	医療安全管理者	院内	2021年11月20日	安里直美、前田佳乃、喜久川紗映、祝嶺好輝、仲村若菜、石橋美奈、神山真琴、他3名
看護必要度研修(2年目対象)	看護部教育委員会	院内	2021年11月30日	

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
看護補助者研修	看護部教育委員会	院内	2021年12月2日	中本史子、大城楽子、照屋すみ子、仲村渠直美、大城倫子、新垣裕子、大城楓、比嘉和枝
手術室看護領域研修	2021/12/4	院内	2021年12月4日	安座間利奈、砂川知采津、屋比久志穂、前川ゆり、与那嶺裕、知念真奈美
救急看護領域研修②	救急看護認定看護師特定行為研修修了者	院内	2021年12月11日	宮城愛子、富田暁美、成田明日香、前田力、砂川ももこ 他3名
乳がん看護領域研修	乳がん看護認定看護師	院内	2021年12月17日	山川七七女、比嘉成子、比嘉由香、仲尾幸乃、上里音彩、嘉陽陽子、諸喜田雅子
プリセプター報告会			2021年12月20日	プリセプター12名
慢性心不全看護領域研修	慢性心不全看護認定看護師		2021年12月29日	喜納裕美、泉川志穂、平良美幸、神谷富士子、前田力、眞榮平詩歩、古謝
プリセプター報告会	看護部主任会教育担当	院内	2021年1月17日	プリセプター12名
プリセプター研修(後期)	看護部主任会教育担当	院内	2021年2月18日	プリセプター29名
1年目看護体験発表 1年目FU・修了式	看護部教育委員会	院内	2021年3月18日	新人看護師35名

各部署概要・実績

外来

外来師長 山内 美咲

職員数

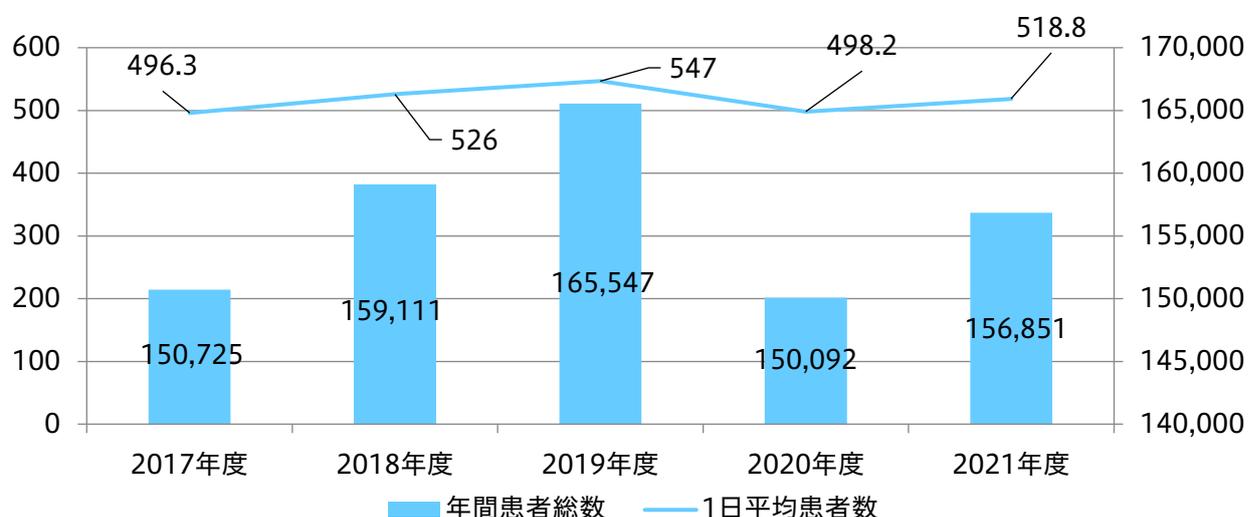
総数	44名		
看護師	26名	看護補助者	3名
准看護師	1名	クラーク	14名

資格・認定など

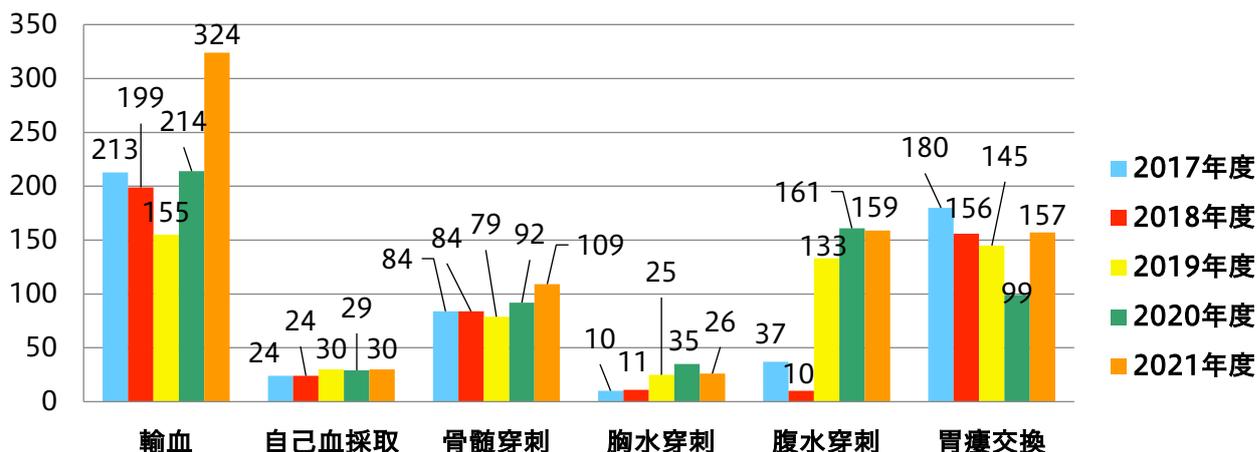
氏名	名称
玉城 秀美	実習指導研修終了
石原 桂子	緩和ケア研修会PEACE
山内 美咲	ELNEC-J 指導者資格 肝炎コーディネーター資格 緩和ケア研修会PEACE INARS プロバイダー
新垣 薫	排尿機能検査士 リンパ浮腫複合的治療技術者 認定排尿ケア専門員コンチネンスリーダー 排尿自立指導専任ナース 快適CIC指導士
志喜屋 幸子	肝炎コーディネーター資格
大滝 正美	肝炎コーディネーター資格
砂川 敦子	肝炎コーディネーター資格
金城 こずえ	肝炎コーディネーター資格
仲松 祐香	緩和ケア研修会PEACE

業務実績

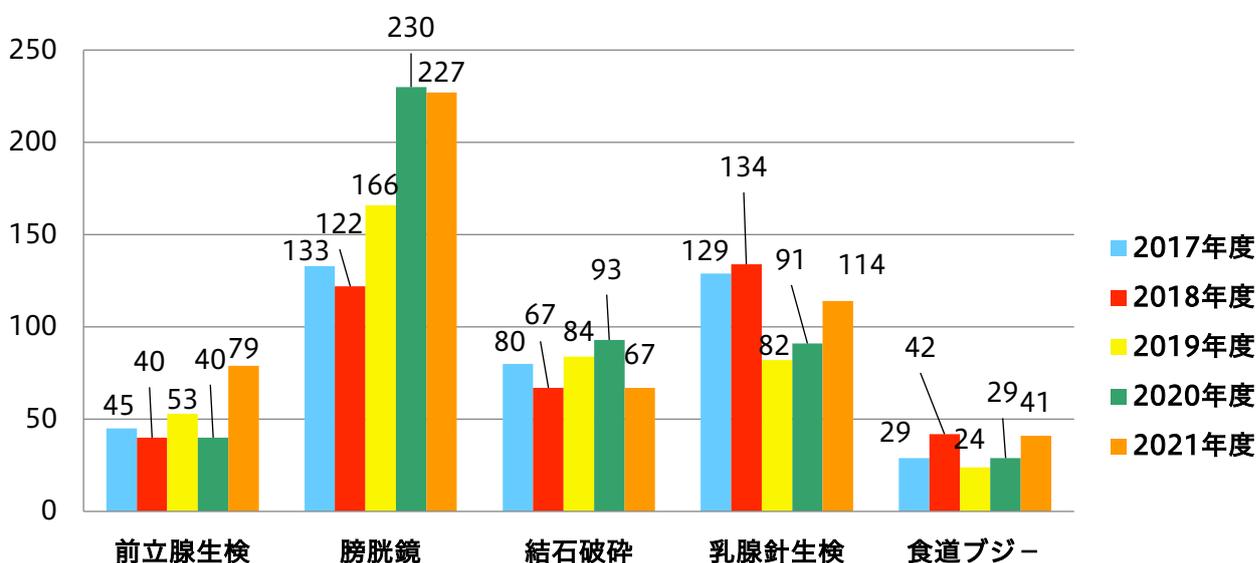
年間外来患者数と1日平均患者数(人)



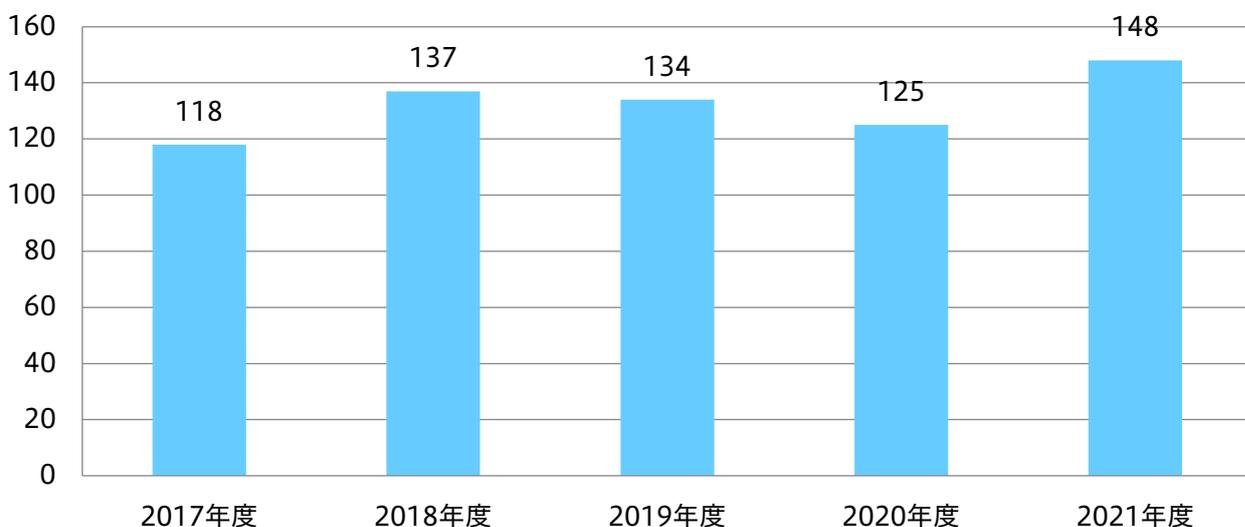
外来で行われる主な処置件数の推移 (件)



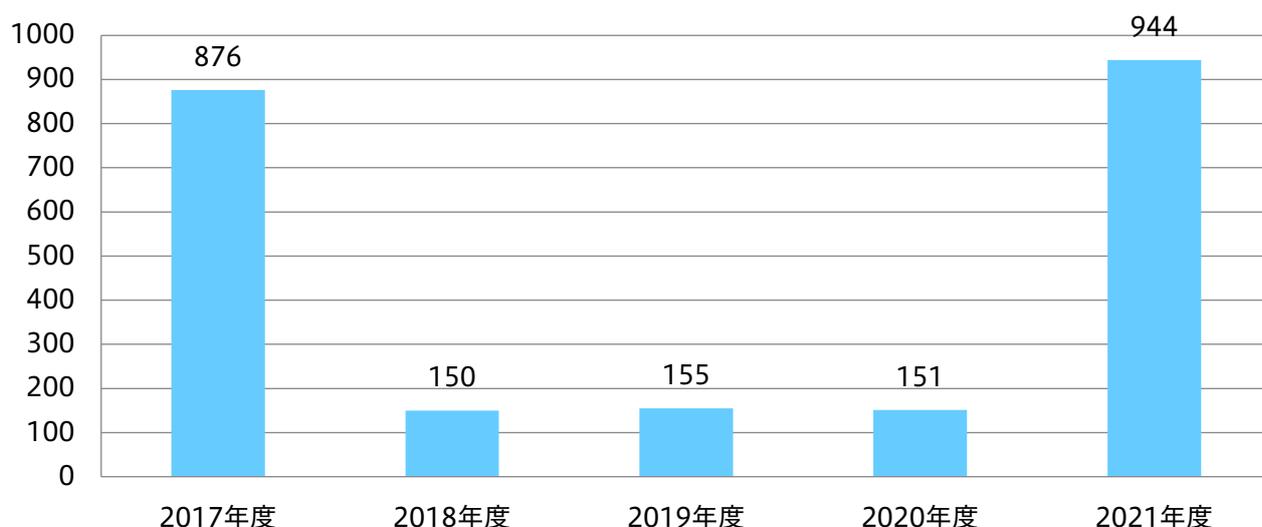
外来で行われる検査・治療件数の推移 (件)



リンパ浮腫外来患者数 (人)



無呼吸外来患者数（人）



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	日時	参加者
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	看護協会		山内美咲
看護職と倫理	看護協会		仲宗根香織
病院と地域を看護がつなぐ 地域包括ケアを支える看護連携へ	看護協会		大滝正美
病院と地域を看護がつなぐ	看護協会		大滝正美
ストーマ塾 2021 (WEB)	アイティーアイ株	11/6・11/20・ 12/11・12/18	大滝正美、安里直美、 山川七七女、安座間 利奈、石原桂子、山 内美咲
緩和ケア研修会 PEACE プロジェクト			仲松祐香

年度総括

発熱症状への対応も2年目となり、診療や検査の体制は引き続き整備されていきました。スタッフの感染対策に対する意識も定着し、院内の患者さんの安全も考慮した対応を行ってきました。

看護師、クラーク、看護補助者のそれぞれが出来る事を分担して協力・連携した結果、クラスターの発生も生じることなく業務を担うことができました。手術制限がかかった時期を除いては手術の件数とそれに関連した口腔ケア科の受診患者数も伸ばすことができました。

年々新しい治療薬が取り入れられる癌治療の分野でも、通院で治療を受けられる患者が増加を続けております。本年度は通院治療室担当看護師を新たに1名育成することができました。今後、患者数や取り扱う薬剤の増加を見越し、計画的に人材育成に取り組みたいです。また、終末期までを通院し自宅で過ごすことを希望する方も徐々に増えていますので、これらをサポートする介入を強化する必要があります。これまで以上に病棟や他職種との連携、地域との連携が出来る外来をめざしたいと考えております。1月からはAI問診の導入を開始し、徐々に対象を増やしているところです。患者さんにとっては待ち時間の短縮、スタッフには問診人員の縮小・タスクシフトし質向上の取り組みへとつなげたいと計画しております。

スタッフの離職が多かった1年となったなかでも、患者さんへ安全な看護を提供する意識は保ち実践してきました。今後、人材が定着し成長する環境づくりに取り組む必要があると感じております。

救急外来

救急外来師長 屋宜 鮎美

職員数

総数	25名
看護師	22名
救急救命士	3名

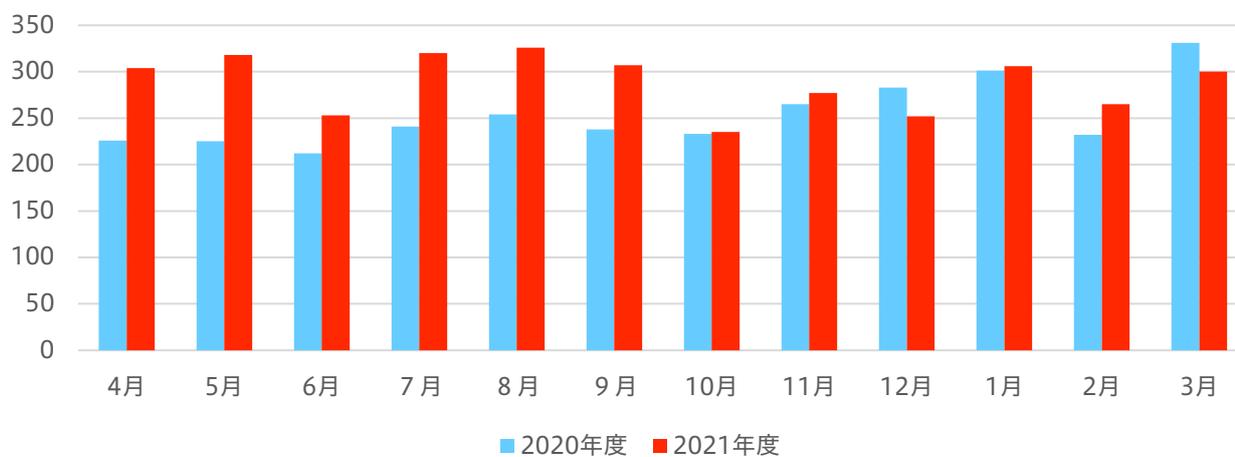
認定・資格など

名称	氏名
特定看護師	兼本愛美
救急看護認定看護師	兼本愛美
AHA BLS インストラクター	兼本愛美 大宜見千佳
ICLS インストラクター	兼本愛美
MCLS インストラクター	山田義長

名称	氏名
JPTEC インストラクター	兼本愛美 大宜見宗史
DMAT 隊員	兼本愛美 山田義長 森元一晟

業務実績

救急搬送患者数



活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
	第23回救急看護学術集会	オンライン	2021/10/22, 23	篠原花織、新垣仕言

研修実績

研修名	開催地	開催日	参加者
BLS プロバイダーコース	県内	8月21日	平良隼斗
PEARS プロバイダーコース		10月9日	大宜見千佳
BLS プロバイダーコース		10月10日	大宜見千佳
コアインストラクターコース・BLS インストラクターコース	県内	10月23日	大宜見千佳
BLS プロバイダーコース	県内	12月18日	熊野有美
BLS プロバイダーコース	県内	3月19日	諸見里佳奈
BLS プロバイダーコース	県内	3月19日	高山結
BLS プロバイダーコース	県内	3月19日	當銘祐花

年度総括

2021年度は、救急搬送件数は目標の3,000件をクリアし、3,463件と過去最高の件数となりました。近隣施設の救急診療制限や、コロナウイルスによるクラスターが発生したことが要因の一つと考えられます。幾度となく押し寄せるコロナウイルス新規感染者数の波に心折れそうになりながらも、一度も救急制限をすることなくスタッフ全員で乗り切った2021年度でした。救急外来の大きな変化として、感染対策陰圧室が3室設置されました。医療スタッフが、安心して感染症患者の対応ができる環境となりました。

安全な医療の提供ができるよう努めていますが、インシデントレベル3以上が6件発生しています。発生時の分析を含め、医療安全リンクスタッフを中心とし、スタッフへの情報共有、対策の検討を継続して行っています。

高い専門性が求められる救急外来看護師は、日々の業務の中で実際に対応した症例を振り返り、次に繋げていくことを心がけています。また、個人目標を立て、PDCAを繰り返すことで、救急看護師として質の向上にも努めていきます。

当院ではドクターカーを2台配備しており、一刻も早い医療提供ができる体制を整えています。院内外、多職種との連携が不可欠であり、日頃からコミュニケーションをとり、風通しのよい関係を意識しています。スタッフ一人ひとりがやりがいを持てる職場風土作りに努めていきます。

人工透析室

師長 田下 茜

職員数

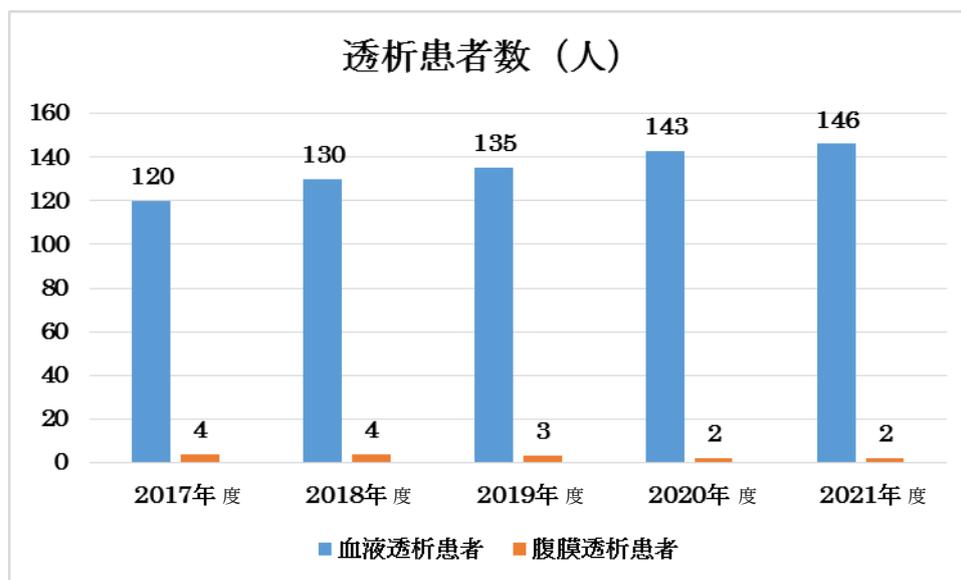
総数	24 名		
正看護師	19 名	看護補助者	4 名
准看護師	1 名		

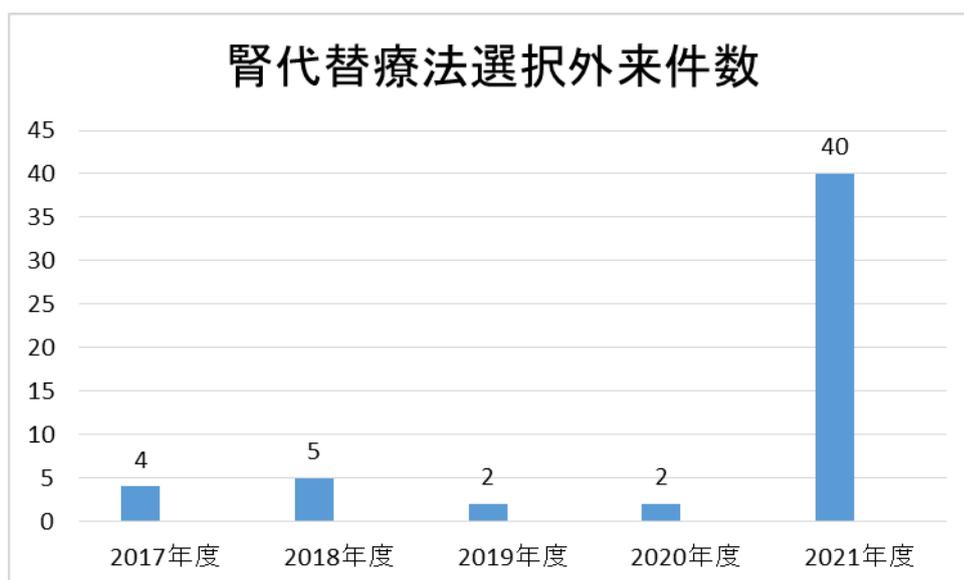
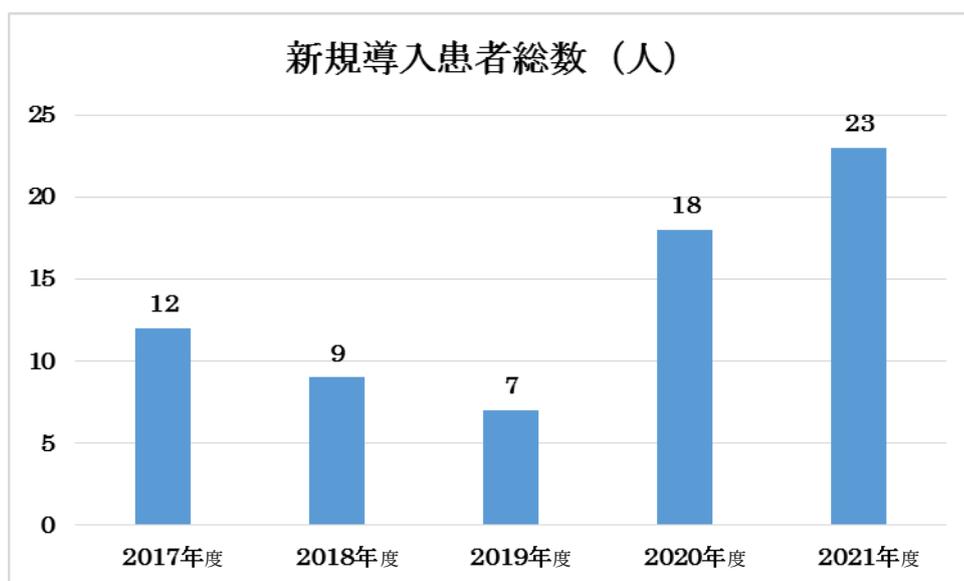
認定・資格取得状況

氏名	名称
田下 茜	透析技術認定士 CAPD 認定指導看護師 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了
上原 千晶	新人看護職員研修教育担当者研修修了 フットケア指導士
瀬底 真由美	透析技術認定士 フットケア指導士
赤嶺 美智江	透析技術認定士
新里 恭子	透析技術認定士
伊保 和加子	透析技術認定士
呉屋 久子	透析技術認定士
堀江 恭子	糖尿病療養指導士

業務実績

新規導入患者数	23 名
透析患者数	148 名 (血液透析 146 名・腹膜透析 2 名)
平均年齢	69.5 歳 男性 : 91 名 女性 : 57 名





活動実績

院外（Web）研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
透析合併症対策 Web セミナー 透析施設における Co-19 対策を考える	協和キリン	オンライン	5月15日	田下 茜
透析災害対策の新たな方向性	三和化学研究所	オンライン	5月28日	田下 茜
令和3年度認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	看護協会	沖縄県	7月6日～ 8月11日	田下 茜
これからの時代におけるアドバンス・ケア・ プランニング	看護協会	沖縄県	10月23日	渡真利久美子
第8回日本糖尿病医療学会	総合医科学 研究所	オンライン	10月9日～10日	堀江恭子
糖尿病患者の看護（足病変と爪ケア・合併 症予防）	看護協会	沖縄県	12月21日	伊保和加子
第36回沖縄県看護研究会学術集会	看護協会	沖縄県	2月26日	田下 茜
2021年度沖縄県看護連盟・沖縄県看護 協会共催研修会	看護協会	沖縄県	3月24日	田下 茜

年度総括

2021年度は、腎臓内科医の赴任に伴い4月から腎代替療法選択外来を開設しました。腎代替療法選択外来では、治療を選択する上で、患者さんの生活にどのような影響を与えるか、患者さんが希望する生活を続けるためにはどの治療がよいか、医師や看護師、患者さん、ご家族と一緒に時間をかけて話し合い、患者さんの価値観や希望にあったものを選択できるよう意志決定支援をしています。腎代替療法選択の支援を通して、新規導入患者23名のうち、血液透析22名、腹膜透析1名、献腎移植登録4名とつなげることができました。また、12月から透析糖尿病外来を開設しました。月1回、ハートライフクリニックから糖尿病医の派遣をしていただき、糖尿病療養指導看護師と連携しながら、糖尿病患者さんの血糖管理やセルフケア指導など、生活の質（QOL）向上につながるよう糖尿病看護を行なっています。今後も、患者さんの個別性を大切に、患者さんのニーズに合った看護やケアが提供できるよう、専門的ケア、サービスの充実を継続していきたいと思えます。

年々、透析患者さんの高齢化や独居、老老介護をされている方など、介護申請や社会的支援が必要な患者さんが増加しています。透析患者さんが住み慣れた地域で生活しながら、安心して透析治療が継続できるよう、地域や多職種と連携し生活支援につなげていけるよう力を入れていきたいと思えます。

今年度も、昨年同様 Co-19 対策に追われた1年でしたが、患者さんやご家族の感染予防対策へのご協力もあり、透析室内での感染や濃厚接触者の発生がなかった事に感謝しております。今後も、患者さんやご家族と連携を図りながら感染予防対策を実施していきたいと思えます。

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 東恩納 小百合

職員数

総数 31 名

正看護師	23 名	クラーク	1 名
看護補助者	5 名	臨床工学技士	2 名

認定・資格取得状況

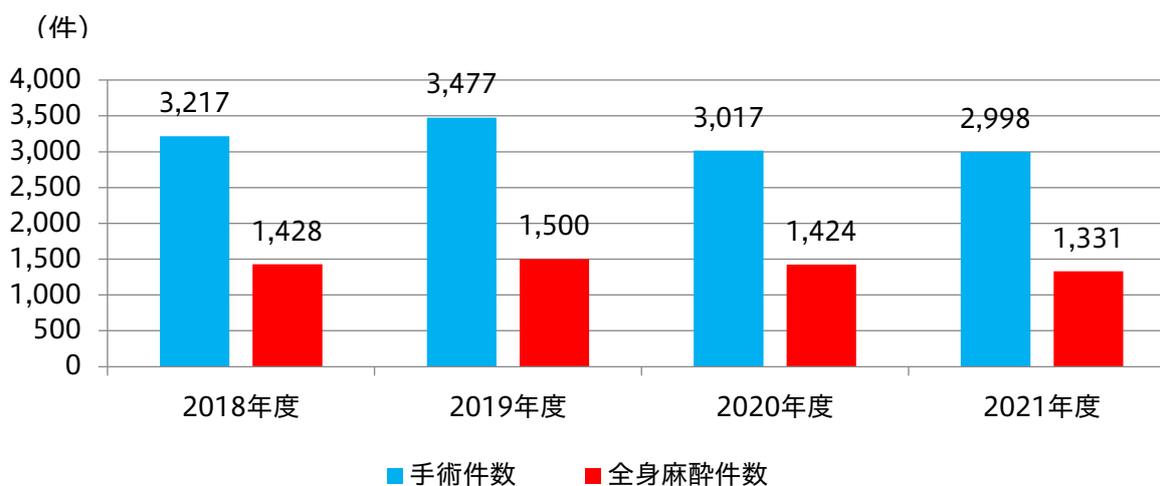
氏名	名称
東恩納 小百合	認定看護管理者教育課程ファースト研修終了 重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修
富田 賢一	周術期管理チーム認定看護師 手術看護認定看護師資格
呉屋 真由美	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者
久手堅 緑	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
米田 梓	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
豊永 涼子	日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師
渡久山 すえの	日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師
崎山 梨奈	周術期管理チーム認定看護師

業務実績

手術実績

月平均手術件数	250 件	1 日最大手術件数	25 件
1 日平均手術件数	12 件		

手術件数推移



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修I	沖縄看護協会	南風原	2021年 5月11・14日	上原早貴、又吉那々花
新人看護職員研修III	沖縄看護協会	南風原	2021年 6月8日	又吉那々花
沖縄県分会総会・研修会	沖縄手術室県分会	オンライン	2021年 8月28日	東恩納小百合・渡久山すえの、久手堅緑、内間亜稜、豊永涼子、劉平、濱門梨子、山田彩花、高宮城琴美、上原早貴、富田賢一
新人看護職員研修IV	沖縄看護協会	南風原	2021年 9月11日	上原早貴
グループワークを活性化させる ファシリテーションスキルを学ぼう	沖縄看護協会	南風原	2021年 10月5日	劉平
第35回 日本手術看護学会年次大会	日本手術室看護学会会	オンライン	2021年 10月16日	富田賢一
医療安全の動向と法的責任	沖縄看護協会	南風原	2021年 10月26日	劉平
プリナビワークショップ in 沖縄 コロナ禍において、医療の現場に見えた課題と解決策への一歩	沖縄看護連盟	那覇	2021年 11月20日	玉城和香菜
看護補助者の活用推進のための看護 管理者研修	沖縄看護協会	南風原	2021年 11月29日	東恩納小百合

年度総括

前年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、6月、9月、1月、2月に手術制限期間があり、目標手術件数 3,500 件に対して 2,998 件と目標達成には至りませんでした。しかしながら、手術制限期間中には看護師を他部署へ応援として派遣し、組織に貢献できるよう努めました。

また、手術室では急変時の対応『挿管介助』研修を行っており、今年度も救急外来や病棟看護師からの研修者を受け入れました。コロナ禍の中で、手術室ならではの役割を担うことが出来たと考えています。次年度も、急性期病院として急変時の対応がスムーズに行えるよう、病棟だけでなく他部署からも多くの研修者の受け入れに努めていきたいと思っております。

今年度は、コスト削減に力を入れ、物品の定数の見直しや未使用となった診療材料の調査を行い、月によって 1/30 までコスト削減する事ができました。コスト削減に向けチームで取り組んだことで、スタッフの意識向上につながったと考えています。

また、教育では臨床工学技士 2 名の器械出し業務に力を入れ、現時点で、難易度の高い手術まで対応できるまでに成長しています。さらに、看護師の負担軽減のためのタスクシフティングとして時差出勤を担うまでになりました。

2 月からではありますが、専従の用度係員が 1 名配置となり、主に診療材料の定数見直しや安価な物への変更を行うなど、さらなるコスト削減に取り組み始めたところです。専従の用度係員が配置されたことで、手術器材のトラブル（破損や代替え）が起きた際、臨床工学技士と連携し迅速に対応することが可能となりました。このことによって、看護師や医師が安心して手術が行なえる環境が整備されました。次年度も前年度同様、手術件数増加を目標に他職種体制の構築、安全な医療の提供を目指します。

ICU

ICU 師長 内間 幸人

職員数

総数 23 名

正看護師 22 名

看護補助者 2 名

認定・資格取得状況

氏名	名称
内間幸人・阿部誠・富里康太・石戸谷也寸志・山城奈保子・森下佳美・太田尾祐太	呼吸療法認定士
阿部 誠	臨床工学技士
内間幸人	集中ケア認定看護師
内間幸人	AHA BLS インストラクター
山城 奈保子	沖縄県保健師・助産師・看護師実習指導者講習会 修了
富里康太	特定行為研修修了者

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 29.2 名

病床利用数 3.4 床

在院日数 4.4 日

その他の ICU の業務実績は患者統計のページをご覧ください。

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
新人フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	県内	2021 年 5 月 11 日	多和田ゆい・津波古麗
新人看護師研修Ⅲ 医療安全と感染対策	沖縄県看護協会	県内	2021 年 7 月 19 日	多和田ゆい

2021年度目標

1. 専門性の高いケアの実践

2. 安全な医療の提供

① インシデント・アクシデント発生件数を

前年度比 50% 減

(ア) 患者誤認発生ゼロ

(イ) 褥瘡新規発生件数 50% 減

(ウ) 静脈炎発生件数 50% 減

② レベル 3-b 以上の発生ゼロ

③ 各スタッフの危険予知能力向上

④ C-19 院内感染発生ゼロ

3. チーム医療の推進

① 多職種間の連携強化

② 医師を交えたカンファレンスの実施

③ 入退院支援参画

④ リハビリスタッフとのカンファレンス実施

⑤ 臨床工学技士との協働（主に特殊治療関連）

年度総括

今年度目標とした安全な医療の提供では、年間のインシデント発生件数は 129 件で前年度に比べ 6 件増加しました。その中で発生件数が最も多かった事象は、特定の薬剤による静脈炎発生でした。前年度の事例を踏まえ静脈炎の早期発見と早期対応の意識を高め重症化リスクの軽減に努めました。その結果、静脈炎発生リスクの高い薬剤の使用時には、看護師から主治医へ内服への切り替えや内服追加を提案する事が増え、スタッフの意識向上とともにアセスメント力向上にも繋がっています。全体のインシデント発生では、3b 以上の発生はありませんでした。この事は、スタッフ一人一人の安全な医療に対する意識の高さや 5R の実践の成果だと思えます。

人材育成については、新卒者の配属を 2 名受け入れました。プリセプターを中心に主任、スタッフが協力して指導・教育を行い、1 年目の目標を概ね到達する事が出来ました。

また、部署間研修として手術室から 1 名のスタッフを受け入れました。部署間研修を通してお互い学び合う機会があり効果的に行われています。課題としては、プロジェクトチーム活動やスタッフによる勉強会開催が、コロナ禍の影響もあり、計画的に進められませんでした。これについては、仕組みや方法を再検討したいと思います。

看護師の専門性の向上について、医師を交えたカンファレンスや OJT の強化を進めていき、日々の業務で学びが得られるような環境をつくりたいと思えます。

患者サービスの向上では、スタッフの療養環境調整に関連する投書が 1 件ありました。これについてはスタッフと共有し、対策を講じました。今後は、引き続きスタッフ 1 人 1 人が接遇 10 カ条に基づいた実践が行えるよう努めたいと思えます。病床稼働率については、目標をクリアしていませんが、入室患者に対してチーム医療を中心とした、より安全で適切な対応を行っていきたいと思えます。

HCU

HCU 師長 山城 敏裕

職員数

総数 21 名

正看護師 19 名

看護補助者 2 名

認定・資格など

氏名	認定・資格
山城 敏裕	呼吸療法認定 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修修了
與那嶺 史子	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 呼吸療法認定
仲眞 菜都美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
祝嶺 好輝	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
仲村 和士	呼吸療法認定
渡口 純	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了

業務実績

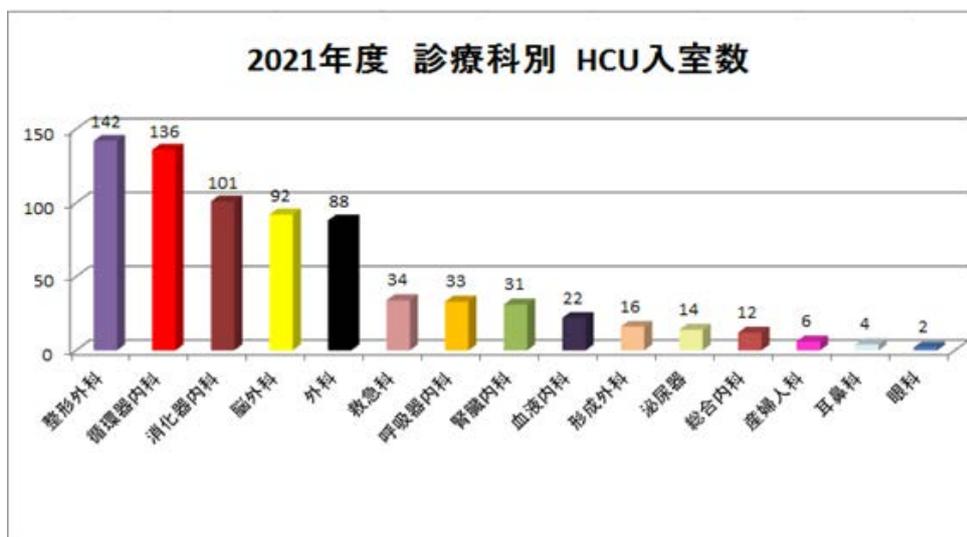
月平均入院患者状況

新規入室患者数 36.4 人（前年度 59.9 人 / 月）【目標 33.0 以上】

平均在室日数 3.3 日（前年度 3.1 人 / 月）【目標 8.3 以下】

平均病床利用数 4.6 床（前年度 4.5 床 / 月）【目標 7.0 以上】

重症度、医療・看護必要度 92%（前年度 94.7%）【目標 80% 以上】



活動実績

研修実績

研修名	月日	参加者
フレッシュマン研修(集合研修)Ⅰ	2021年5月14日	屋比久 若菜
フィジカルアセスメント(集合研修)	2021年5月18日	仲村 祐哉
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	2021年6月3日	山城 敏裕
災害支援ナースの第一歩	2021年7月7日～7月8日	仲眞 菜都美
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	2021年7月21日～7月22日	渡口 純
新人看護職員研修Ⅳ	2021年8月6日	屋比久 若奈
ストーマ塾2021	2021年11月6日・11月20日・12月11日・12月18日	新垣 ほたる
看護師長交流会「ワールドカフェ」	2021年12月10日	山城 敏裕
医療従事者向け認知症対応力向上研修	2022年3月13日	祝嶺 好輝

年度総括

2021年度は安全な医療の提供を目標に取り組みました。特にインシデントに直結すると予測した事象報告を強化しましたが、インシデント件数102件/年、介入が必要な事象が39件/年、患者誤認3件と前年度と比べ増加している状況となっています。

インシデント増加の要因として原因分析が不十分と考え、2022年度はインシデントの原因分析と対策の周知を強化していくことを目標にしていきます。前年度課題のタイムアウトの時間を活用しインシデント事例の共有はできており、今後も継続していきたいと思っています。

人財育成は、コロナの影響で院内集合研修などの開催が出来ませんでした。院外への研修参加を積極的に促し参加していましたが、研修中止により目標としていた研修参加が思うように出来ない状況でした。それを回避するためICTを活用したオンラインの研修参加を積極的にできるような環境・体制整備を行いました。来年度はコロナ禍でもwebセミナーやオンライン研修などに積極的に参加していきたいと思っています。

病院経営への参画の一つとして、病院運営を考えたベッドコントロールと看護必要度を意識した運営は継続し、看護必要度80%以上は維持することができました。救急外来からの入院も月平均33件受け入れし、救急を止めないという病院方針に貢献したと思います。来年度から診療報酬改定によりICUのみ加算が取得できていた早期リハビリ加算や早期経腸栄養加算なども自部署で取得できるようになります。加算取得に向けスタッフと共に仕組み作りに取り組み、病院経営に参画していきたいと思っています。

これまで問題であった救急外来受診から入院に至るまでの待ち時間短縮に向け、入退院支援室と救急外来と連携し、アナムネ聴取する体制を構築しました。その結果待ち時間に関してのクレームがなくなり患者満足度向上につながったと考えます。今後も患者サービス質の向上に向け取り組んでいきたいと思ひます。

今後の課題としては、教育体制の整備と現場での実践を通じたOJT強化です。マニュアル整備、業務整理、見直しを行い継続してスタッフ教育に力を入れていきたいと思ひます。

東館 4・5 階病棟（産科・婦人科・女性混合）、産婦人科外来

東館 4・5 階病棟師長 我那覇 美帆

職員数

総数 44 名

助産師 24 名

看護補助者 4 名

正看護師 14 名

クラーク 2 名

認定・資格など

氏名	名称
我那覇 美帆	臨床実習指導者研修修了 新人看護職員臨地指導者講習修了 新生児蘇生「専門」コース修了 JPTEC 研修修了 看護必要度研修受講証明取得
崎山 久美	アドバンス助産師 管理者研修ファーストレベル修了 新生児蘇生「専門」コース修了
具志堅 理沙	新生児蘇生「専門」コース修了
江島 純子	マタニティヨガインストラクター 新生児蘇生「専門」コース修了
榮 奈々子	アドバンス助産師 臨床実習指導者研修修了 新生児蘇生「専門」コース修了
金城 嘉奈子	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了
新城 真鶴	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了
本村 いずみ	新生児蘇生「専門」コース修了
下地 夕希	新生児蘇生「専門」コース修了
多和田 ちひろ	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了 マタニティヨガインストラクター
中根 汐香	新生児蘇生「専門」コース修了
原 順子	アドバンス助産師 新生児蘇生「専門」コース修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数	112.2 人
病床利用数	21.6 床
平均在院日数	5.2 日
実外来患者数	707 人 / 月
外来 1 日平均患者数	54.5 人 / 日
分娩件数	546 件

活動実績

院内・院外研修実績

研修日時・研修名	主催	開催地	年月日	参加者
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2021年7月13日	宮里鈴奈
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2021年8月24日	徳村恵
母乳育児シンポジウム「今、もう一度母乳育児を考えよう」	日本母乳の会	オンライン	2021年8月29日	榮奈々子
社会人基礎力について	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2021年9月11日	徳村恵
看護師長交流会「ワールドカフェ」	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2021年12月10日	我那覇美帆
医療従事者向け認知症対応力向上研修	厚生労働省	沖縄県	2022年3月13日	我那覇美帆、今井久代

年度総括

当病棟は、下記の課題に対して取り組みを行いました。

1. 部署内に産科病棟、婦人科・乳腺外科病棟、産婦人科外来という異なる業務を行う部門が存在し、フロアも分かれている
2. 助産師、看護師という2つの職種が一緒に働いており、領域により習熟度が異なる

上記の課題に対して、2021年度は4つの目標をあげ、取り組みを行いました。

1. 固定チームナーシングの継続
2. 全てのスタッフが緊急時迅速に対応することができる
3. コロナの院内発生を防ぐ
4. 看護師・助産師リーダーに沿った目標管理の実践

取り組み内容とその成果について総括いたします。

固定チームナーシングの継続は2年目となります。看護師、助産師などの職種を問わず、どの部門でも質の高い看護を提供できることを目標に、1年間のチーム固定制を行いました。看護師も産科領域の看護実践が行えるように、助産師でも婦人科、乳腺外科、一般内科、外科の看護実践が行えることを目標としています。チーム内で役割を持ち主体的に看護を創造できるよう、チームリーダー、サブリーダーがチーム運営を行うよう努めました。チームが主体的に動くことで様々なマニュアル作成も進み、良い成果が得られたため来年度も継続して取り組みます。

産科領域は急変対応が求められる領域です。分娩に携わるスタッフは母児の生命を守る技術を身につける必要があり、様々なシミュレーションを行い経験値を高める必要があると考えています。新生児蘇生シミュレーション、産科急変シミュレーション（出血、超緊急帝王切開、アナフィラキシーなど）を月1、2回行うことができました。部署内アンケートでも、効果的であるとの結果を得たため来年度も継続して取り組みます。

妊産婦のコロナ感染者の増加もあり、コロナ陽性患者（産婦、新生児）のマニュアルを作成し、シミュレーションを行いました。陽性産婦の帝王切開、陽性産婦から出生した新生児の受け入れを行っています。得た課題を次に生かしながらマニュアルを変更しながら進めています。今年度もコロナ協力医療機関として行える業務を検討しながら、安全に業務遂行できるようマニュアルの整備に努めます。

東4・5F看護師と助産師のキャリアパスを作成し、パスに沿った目標管理、チーム編成を行いました。キャリアパスを確認することで、数年先の自身のキャリア像を描きやすいと考えています。パスに沿った目標管理を行い、助産師も看護師もこの混合病棟で、モチベーションを維持しながら働き続けられるように環境を整えたいと考えています。

実績については、分娩件数が80件近く減少しました。総合病院である故、面会制限や分娩立ち会いの中止を行った点が影響していると考えています。2022年度は分娩件数600件を目標に、外来から入院まで質の高い看護を提供していきたいと考えています。

コロナによる産後鬱の増加の報告もあり、2022年度は産後健診事業の取り扱い市町村の拡大が予定されています。社会から求められる妊産婦支援のあり方をしっかりと把握し、質の高い看護が提供できるよう部署内で取り組んでいきたいと思っております。

3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）

師長代行 奥間 有太郎

職員数

総数 37名

正看護師 30名

看護補助者 7名

認定・資格など

氏名	名称
奥間 有太郎	実習指導者研修受講修了 新人職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算II対象
大見謝 奈々	病院看護師のための認知症対応力向上研修会修了 認知症ケア加算II対象 実習指導者研修受講修了 新人看護職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
宮里 誠	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了
松村 優美	新人職員研修実施指導者研修受講修了証
福末 直史	呼吸療法士認定
比嘉 由布香	日本糖尿病療養指導士認定
永村 麻衣子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 認知症ケア加算II対象

業務実績

新規入院患者数 1,033人

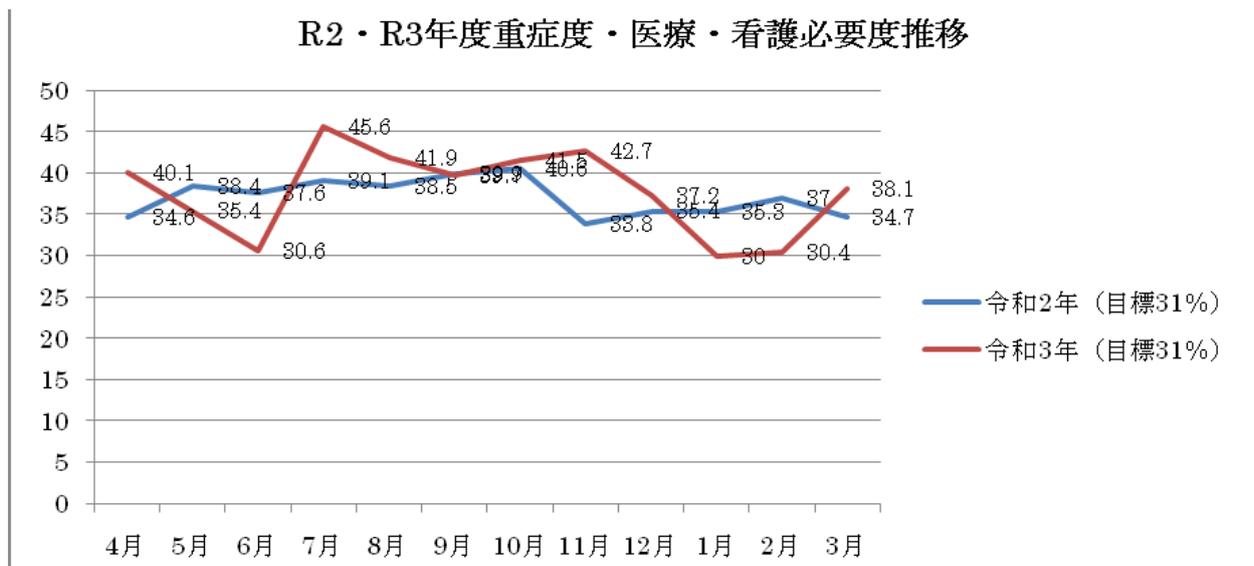
1日平均患者数 57人

平均在院日数 15.4日

病床利用率 95.2%

重症度・医療・看護必要度（目標31%） 34.7%

R2・R3年度重症度・医療・看護必要度推移



活動実績

院外研修実績

研修名	主催	月日	参加者
フレッシュマン研修Ⅰ	看護協会	2021年5月11日	屋嘉比レナ
フレッシュマン研修Ⅰ	看護協会	2021年5月14日	池村三樹
フレッシュマン研修Ⅰ	看護協会	2021年5月14日	喜屋武秀磨
フィジカルアセスメント	看護協会	2021年5月18日	山城 利恵子
災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～	看護協会	2021年7月7.8日	大見謝 奈々
災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～	看護協会	2021年7月7.8日	福末 直史
看護実践能力を育てる	看護協会	2021年7月10日	大見謝 奈々
新人看護職員研修Ⅲ	看護協会	2021年7月29日	屋嘉比 レナ
新人看護職員研修Ⅳ	看護協会	2021年8月7日	喜屋武 秀磨
社会人基礎力(新人看護職員研修Ⅱ)	看護協会	2021年8月31日	池村三樹
フィジカルアセスメント 臨床推論の進め方Ⅱ	看護協会	2021年11月27日	大見謝 奈々
フィジカルアセスメント 臨床推論の進め方Ⅱ	看護協会	2021年11月27日	名波 美香
看護師長交流会「ワールドカフェ」	看護協会	2021年12月10日	奥間 有太郎
医療従事者向け認知症対応力向上研修	グランアーク	2022年3月13日	永村 麻衣子

部署間研修実績

名称	年月日	参加者
7階病棟研修	2021年2月1日～2月28日	東江隼人
HCU研修	2021年11月1日～2022年1月31日	島袋真子

年度総括

コロナ禍において患者層が変化し、主科である整形外科・脳外科以外の他科の患者を受け入れる機会が多くあった一年でした。

日々の業務に余裕がなく報・連・相やKYTの視点をもったアセスメントが疎かとなりインシデントへ繋がる事例もありました。次年度は、自部署内から報・連・相が行ないやすい風土づくりをしていく必要があり、スタッフへの積極的な言葉かけや関わりを増やしチーム力を高めていきたいと考えています。また、ヒヤリハットやインシデント発生時のその場だけの振り返りでなく、積極的なクイックセーフターの活用と病棟会などを利用し事例検討の機会をふやし、各スタッフが自分事と捉えられるような働きかけをおこなっていききたいと思います。

人員については産休や育休そして退職者も重なり、常にマンパワー不足の状態が続いていました。スタッフ全員で協力しながら何とか日々の業務をこなしている現状があり、今後の人員の定着が課題としてあげられます。指導者としての役割を担うべき中堅看護師も日々の業務を安全に遂行することに必死であったのと同時に後輩の業務フォローが多くOJTによる十分な指導が行き届かない現状もありました。また、PNS方式が人員不足により機能せず長時間の残業が目立つようになり部署内は常に緊張状態となっていました。

次年度は、委員会活動や診療科チームを活用し、日々の業務の中で少しでも成功体験へと繋がられる働きかけを行ない、看護の中にやりがいを見いだせるように目指していきます。また、パワーバランスを考慮した勤務調整を実践し心にゆとりをもち安全、安心な職場環境を作りたいと考えます。

人材育成に関しては、入退院支援業務を担う看護師増員が継続して行えておらず、リンクナースへの過度な負担となっていました。回復期病院への転院調整が難渋していたことに加え自宅退院に向けての関わ

りや方針の決定に時間を要してしまい在院日数の長期化、DPC III 超えの患者が増加傾向にありました。

次年度は、長期にわたる入院患者数減少を目指し、多職種との情報交換や共有を率先して行い、得られた情報を部署スタッフ全体で共有する事を目標に積極的なカンファレンス参加、議題に対する発案などを行なっていきたいと思います。また、入院時より看護師一人ひとりが退院支援に向けた関わりを意識し、実践できる体制づくりを目指し取り組んでいきます。

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長 米須 智子

職員数

総数 50 名

正看護師 39 名

クラーク 1 名

看護補助者 10 名

認定・資格取得など

氏名	名称
米須 智子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 医療安全管理者養成研修修了 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了 看護補助者活動推進のための看護管理者研修修了 18 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了 実習指導者研修修了
高宮 里沙	緩和ケア認定看護師取得
宮城 辰吏	実習指導者研修修了 日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ研修修了
與那覇 亜紀子	新人看護職員研修教育担当者研修修了 実習指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了
宮平 良太	皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程修了
与那嶺 美咲	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了
平良 勇	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストーマ研修修了 実習指導者研修修了
喜友名 佳子	新人看護職員研修教育担当者研修修了
足立 有海	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
川崎聖信	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 134 名

在院日数

10.2 日

病床利用数 45.2 床

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	2021 年 5 月 14 日	玉城美祐、松村美友、 嘉手納花楓
フィジカルアセスメント研修	沖縄県看護協会	南風原町	2021 年 5 月 18 日	森根大登
新人看護師研修Ⅲ	沖縄県看護協会	南風原町	2021 年 7 月 13 日	宇榮原美鈴
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	沖縄県看護協会	南風原町	2021 年 7 月 21、22 日	米須智子
新人看護師研修Ⅲ	沖縄県看護協会	南風原町	2021 年 7 月 29 日	松村美友
新人看護師研修Ⅳ	沖縄県看護協会	南風原町	2021 年 8 月 7 日	長濱李子

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
新人看護師研修Ⅱ	沖縄県看護協会	南風原町	2021年8月24日	玉城美祐
新人看護師研修Ⅱ	沖縄県看護協会	南風原町	2021年8月31日	大城李夏
ストーマ塾 2021	アイティーアイ	中城村	2021年11月6、20日、 12月11、18日	大城李夏 長濱李子
新人看護職員教育担当者研修	沖縄県看護協会	南風原町	2022年1月28日 ～2月1日	與那覇亜希子
医療従事者向け認知症対応力向上	沖縄県看護協会	南風原町	2022年3月13日	米須智子

年度総括

4階病棟は外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の3診療科がある混合病棟です。日々、多くの手術患者の対応をしており、術前・術後を含め周術期患者の管理が非常に重要となっています。前年度から引き続き術前から術後合併症のリスク低減、早期の社会復帰を目指した取り組みをチーム全体で意識し、看護実践してきました。その結果、高齢患者を中心にADL（日常生活動作）低下を最小限に抑え退院へ繋ぐことができました。その経緯の一つとして、家族から得た家屋の状況、患者背景などの情報収集を元に入退院支援看護師と多職種で連携し退院支援を強化した成果だと考えます。

今年度から皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程修了した看護師が退院支援カンファレンスに加わり、人工肛門を造設した患者が不安なく退院出来るように患者指導にも力を入れました。スタッフの知識習得に向け勉強会を行い人工肛門造設患者の看護への関心が高まった1年でもありました。

病棟では癌患者に対して術前化学療法や術後補助化学療法が行われており、化学療法による副作用である骨髄抑制や免疫力低下が起こることがあります。このような状況の患者が新型コロナウイルスに感染すると重症化する恐れがあり、スタッフ全員で感染源にならないように日々の健康チェックと自己の健康管理を徹底し感染予防に努めました。

また、癌のターミナル期の患者が少なからずいるのが当病棟の特徴のひとつです。コロナ禍で面会制限がなされ家族と過ごす時間も限られた中、患者、家族の希望をかなえられない事が続きました。ターミナル期の患者については早期に主治医と本人、家族の意思を確認し緩和専門病院への転院や訪問看護、訪問診療の手続きを行い自宅退院へ繋げていきました。当病棟に在籍している緩和ケア認定看護師を中心に『病気を抱えながらもその人らしく最期を迎えられる看護』を目標に病棟全体で看護実践できたと思います。次年度も「この病院で入院・手術・治療して良かった」と思ってもらえる質の高い看護が提供できるように努力していきたいと思えます。

5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 勝連 しのぶ

職員数

総数	45 名		
正看護師	34 名	看護補助者	8 名
准看護師	2 名	保育士	1 名

認定・資格取得など

氏名	認定・資格
勝連しのぶ	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了
大城 祥子	実習指導者研修修了 新人職員研修実施指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
金城 竜弥	実習指導者研修修了
知念 晶子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
富里 理恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
新垣 涼香	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
森下 夏江	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
知念 晶子	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
我謝 要子	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了 認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
港川 誉志也	重症度・医療、看護必要度指導者研修修了

業務実績

月平均入院患者状況	2021 年度	2020 年度	2019 年度
新規入院患者数	129.5	136.3	172.3
病床利用	33.2	40.7	47.6
平均在院日数	7.5	8.9	8.2

年度総括

コロナ陽性患者を受け入れ 2 年目となった 2021 年度は、病棟全体をコロナ受入れ病棟として運営を行いました。その際には 5 階病棟スタッフだけでなく、他部署スタッフの協力や、他部門との連携があり乗り越えることが出来ました。

2021 年度は、安全・感染強化、患者サービスの向上、人材育成の 3 本柱で病棟運営を実践しました。安全面では 2a レベル以上のインシデント減少に取り組みましたが、目標を達成する事が出来ませんでした。0-1 レベルの報告件数を増やし、全体で安全に対する意識を高める事を目標に安全強化に取り組みます。感染面ではコロナ患者受入れ病棟としてクラスター発生が無く業務を遂行することができました。2022 年度も継続し感染対策の徹底に努めます。

患者サービス向上では、患者満足度を高めるため PNS を強化しプライマリー制を導入しました。1 人の看護師が入院時から 1 人の患者を受持ち、退院を見据えた看護を提供してきました。

2022 年度は入退院支援看護師と連携強化を行い退院支援に加え DPC II を意識した支援を行います。人材育成では小児アレルギー経口負荷試験対応看護師を 5 人、ラジオ波対応看護師 2 人、リーダー看護

師5人の育成を行いました。2021年度より腎生検対応看護師の育成を開始し、現在4人が対応可能な状況です。コロナ患者を受入れることで、これまで5階病棟では少なかった呼吸器疾患に対する知識向上やHFT管理についての勉強会開催などスキルアップに繋がりました。今後も継続し人材育成強化を行います。

2022年度もコロナ感染状況は落ち着かず、病棟入院患者の大半をコロナ患者が占める状況が予想されます。コロナ禍の影響を受け、病棟運用・人材育成など課題は多いですが、患者・家族・地域から選ばれる病棟をめざし質の高い看護サービス提供が出来るようチームで取り組んでいきます。

6 階病棟（血液内科・総合内科）

6 階病棟師長 金城 隆也

職員数

総数 40 名

正看護師 33 名

看護補助者 6 名

准看護師 1 名

認定・資格取得など

氏名	名称
金城隆也	学会認定アフェレーシスナース
	重症度、医療・看護必要度指導者研修修了
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修修了
	看護補助者管理研修修了
	認知症対応力向上研修
	同種移植後長期フォローアップのための看護師研修会
呉屋友美	新人職員研修実施指導者研修修了
	重症度・医療看護必要度指導者研修修了
	呼吸療法認定士
	沖縄県緩和ケア研修修了
山城由衣	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修 修了
知念真名美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修 修了 呼吸療法士認定士取得
平良ゆかり	実習指導者研修 修了
	同種移植後長期フォローアップのための看護師研修会
上原拓也	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修 修了
平良ゆかり	実習指導者研修 修了
宮里瀬菜	呼吸療法認定士取得 2020 年更新済み
比嘉哲也	2019 年沖縄県緩和ケア研修修了
仲村渠恵理子	2020 年沖縄県緩和ケア研修修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 70.9 名

在院日数 17.8 日

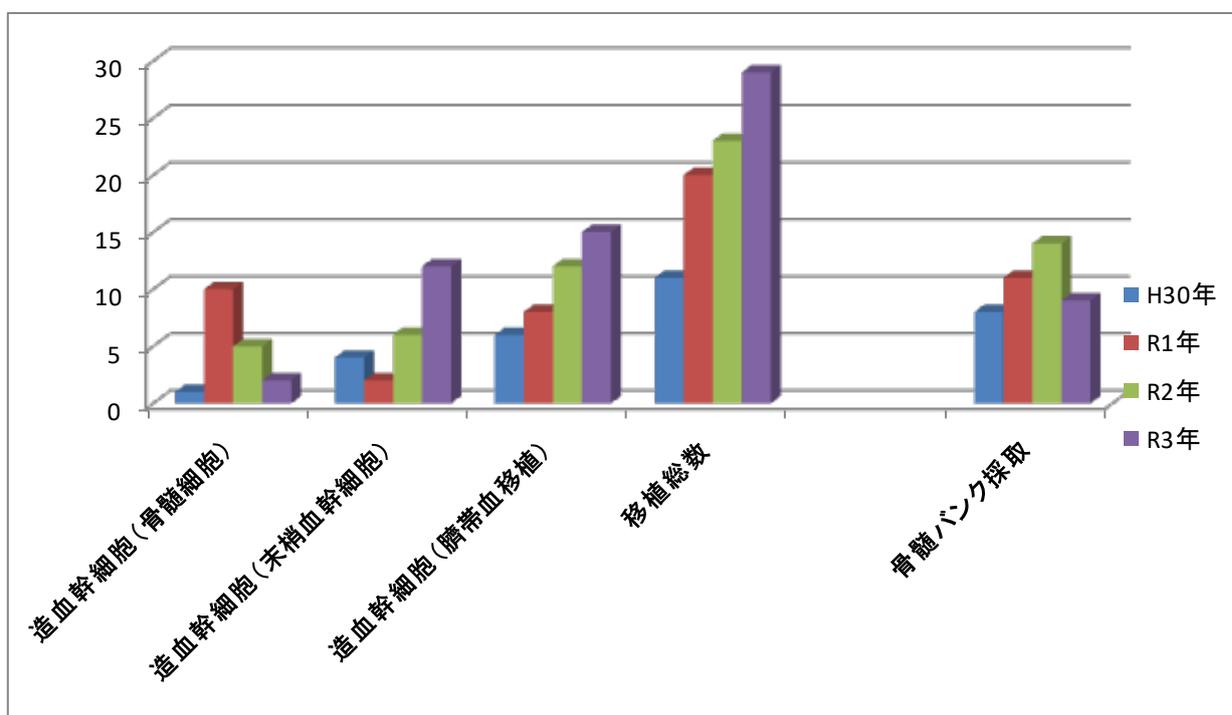
病床利用数 41.9 床

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修Ⅰ	2021年5月11日	石川 円
フレッシュマン研修Ⅰ	2021年5月11日	仲地 陸
フレッシュマン研修Ⅰ	2021年5月11日	神谷 実希
フレッシュマン研修Ⅰ	2021年5月14日	比嘉 菜月
フレッシュマン研修Ⅰ	2021年5月14日	呉屋ひなの
フィジカルアセスメント	2021年5月18日	具志堅 桃花
看護職と倫理	2021年7月16日	呉屋 友美
医療安全と感染管理(新人看護職員研修Ⅲ)	2021年7月29日	比嘉 菜月
新人看護職員研修Ⅳ	2021年8月7日	呉屋 ひなの
新人看護職員研修Ⅱ	2021年8月24日	神谷 実希
新人看護職員研修Ⅱ	2021年8月31日	仲地 陸
日本造血・免疫細胞療法学会 LTFU	2021年9月18・19日	平良ゆかり
がんのリハビリ研修会	2021年11月27日	金城 隆也
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	2021年11月29日	金城 隆也
認知症対応力向上研修	2022年3月13日	金城 隆也

	H30年	R1年	R2年	R3年
造血幹細胞(骨髄細胞)	1	10	5	2
造血幹細胞(末梢血幹細胞)	4	2	6	12
造血幹細胞(臍帯血移植)	6	8	12	15
移植総数	11	20	23	29



年度総括

6階病棟では、血液疾患患者の治療のほか、造血幹細胞移植患者が年々増え、集学的治療や経過によっては入院が長期化する状況があります。病状の進行と共に状態悪化し急変する場合があります。私たち看護師は、急変時の対応に備え、安全で安心した看護ケアの提供ができるよう日々努力しています。

新型コロナウイルス感染症はいまだに猛威を振っており、当病棟に入院している血液内科疾患を有する患者は、免疫力が低下し易感染状態となっている症例も多くあります。このような状況の中、コロナ禍の影響を受け、日々、病床運用が厳しさを増しています。当病棟も病院方針に従い、外科疾患も含め色々な疾患の患者を受け入れ看護する事を役割としてきました。これまで対応することがほとんどなかった症例もあり、慣れていない処置や看護に戸惑いはありましたが、主治医と連携し安全に看護提供ができるよう努めました。

今年度は病棟目標を安全な看護の提供と看護方式 PNS の質の向上を掲げました。インシデントの報告件数は、昨年と同等でしたが事象の大きい 3a・3b 以上のインシデント件数は低減することができました。看護方式 PNS を維持、強化する事でスタッフ同士の連携や相談が行いやすく、安全な看護の提供をすることができたと考えます。昨年の疥癬症の感染拡大を受け、今年度、発生した疥癬症に対し早期に発見し、いち早く対応したことで、感染を最小限に抑える事ができました。このような事例を通し、スタッフの感染に対する意識が高まったと評価しています。今後も感染対策を継続していけるよう気を引き締めていきます。

人材育成においては、移植コーディネーター看護師や入院支援担当看護師が中心となり多職種カンファレンスを実施し、継続してそれぞれの看護の役割が担えるよう努めています。今年度、施設基準に必要な造血移植コーディネーターを MSW1 名が取得、看護師 1 名が移植後フォローアップ研修を終了しており、今後も移植医療の質向上を目指し継続できるよう努めていきます。

業務改善では、看護師業務の一部を看護補助者業務に組み込むなどタスクシフトをすすめてきましたが、補助者の退職も多く定着が課題となっています。チームとしての役割を持たせやりがいを見出さるよう目標管理を行い支援していきたいと思えます。

今後も業務の整理と見直しに力を入れ、看護師は専門分野に特化できるような環境づくりを目指し、それぞれの役割に応じた業務を担うことができるように努めていきたいと思えます。

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 仲里 寛

職員数

総数	46 名		
正看護師	36 名	看護補助者	9 名
准看護師	1 名		

認定・資格等

氏名	名称
仲里寛	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了 認知症対応力向上研修修了証書取得
宮城久美子	新人看護職員研修教育担当者研修修了 下部尿路機能障害の治療とケア研修修了 コンチネンスセミナー初級コース課程修了
當眞さゆり	栄養サポートチーム専門療法士認定証取得 沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会修了 認知症対応力向上研修修了証書取得
東江幸恵	沖縄県緩和ケア研修会修了
宮城秀成	リハビリ緩和加算研修修了 沖縄県緩和ケア研修会修了 ACLS プロバイダーコース修了
宮城梨乃	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了 新人看護職員研修教育担当者研修修了
末吉彩夏	ACLS プロバイダーコース修了
宮城幸菜	沖縄県緩和ケア研修修了
城間ゆずき	第 63 回新おきなわ ICLS コース受講修了証取得 認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了
松田沙衣可	コンチネンスセミナー初級コース課程修了
又吉直美	糖尿病管理認定看護師

2021 年度病棟目標

1. 安全
 - ①褥創を発生させない
 - ②高齢者の転倒防止
2. 患者サービスの向上
 - ①退院支援体制の確立
 - ②患者に必要とされる看護の提供
3. 人材育成
 - ①年間を通じた計画的な新人育成
 - ②リーダーに準じたリーダー育成

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数	85 人
病床利用数	41 床
平均在院日数	13 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
ACLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	院内	2021 年 5 月 8・9 日	宮城秀成 末吉彩夏
フィジカルアセスメント	看護協会	南風原町	2021 年 5 月 18 日	米須万里子
新人看護職員研修担当者	看護協会	オンライン	2022 年 1 月 28 日、29 日、31 日、2 月 8 日	宮城久美子
緩和ケア講習会	沖縄県	院内	2022 年 2 月 19 日	宮城幸菜
認知症対応力向上	沖縄県	オンライン	2022 年 3 月 13 日	仲里寛

2021 年度総括

2021 年度は三つの視点から目標を掲げました。一つ目の安全については、転倒防止に向けて取り組んできましたが今年度は転倒 37 件、その内事象レベル 3 以上が 5 件ありました。前年度と比較して 13 件増加してしまい、事象レベル 3 以上も 4 件増加し骨折に伴い手術を要するケースも 1 例ありました。今後の取り組みとして、スタッフの安全管理に対する意識強化に向け中堅以上の看護師でチームを再編成し、日々のタイムアウトでリスクの高い患者を抽出し現行の対策や、起きてしまった事例についてディスカッションを行いながら危機管理の意識を高め合い、転倒防止に努めていきます。

患者サービスの向上については、入退院支援看護師を中心に多職種でのカンファレンスを定着化することができ、それぞれの専門的視点からの情報の共有および関わりを強化することができました。今後の取り組みとして、コロナの影響から後方の関連病院や施設の受け入れが困難となる状況が増えたこともあり、自宅退院へ向けたより専門的な関わりを強化し、患者のニーズに応じたサポートの質向上を目指していきます。

人材育成については、新人看護師への関わりとしてプリセプターを中心に年間を通して計画的、さらに成長状況に応じた個別的な介入ができたこともあり、新人看護師のみならずプリセプターや関わった全てのスタッフにとっても大きな成果となりました。また、年度の初めから次年度のプリセプターへも声をかけ意識付けをしており、今後も計画的な人材育成を実践していきます。

次年度も安全、患者サービスの向上、人材育成の観点からひとつひとつ課題をクリアし、患者様によりよい医療、看護を提供できるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいきます。

内視鏡センター

内視鏡センター 師長 比嘉 憲貴

職員数

総数	23 名		
看護師	19 名	助手	4 名
准看護師	4 名		

認定・資格など

氏名	名称
比嘉 憲貴	認定看護管理者教育課程ファースト・セカンドレベル修了 実習指導者研修修了
渡久山 すえの	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
大城 敦	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
上江洲 さやか	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
照屋 あづさ	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ

業務実績

上部内視鏡検査

9,758 件 ERCP

下部内視鏡検査 232 件

2,839 件

詳細な検査・治療実績は「内視鏡センター」をご覧ください。

活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
オンコール呼出体制の見直し	院内研究発表会	当院	2021年11月25日	照屋あづさ、宮里かおり

院内・院外研修実績

名称	主催	開催地	開催年月日	参加者
S-B チューブ取り扱いについて	中央医療器	当院	2021年10月	比嘉、足立、大城、宮里、上江洲、照屋、坂元、松本、上間、西改、普天間、真境名、山入端、川満
ピュアスタート（止血剤）取り扱いについて	中央医療器	当院	2021年12月	比嘉、足立、大城、宮里、上江洲、照屋、坂元、松本、上間、西改、普天間、真境名、山入端、川満
記録装置	オリンパス	当院		比嘉、足立、大城、宮里、上江洲、照屋、坂元、松本、上間、西改、普天間、真境名、山入端

年度総括

コロナ感染対策に伴う検査件数の制限がある中、上部・下部検査共に前年度比で約10%増加することができました。目標件数の到達には至っておりませんが、今後も内視鏡検査及び治療内視鏡を必要としている患者さんが少しでも早く検査・治療ができる体制を維持、向上できるよう努めて参りたいと思います。

1. 安全管理

0レベルインシデント報告推奨への取組の結果、前年度比2倍の報告がありました。内容としましては0・1レベルが8割以上を占めており、患者誤認や検体取り違い等の重大インシデントの報告はありませんでした。今後も更なる安全風土の構築に向けて継続した取組を行なって参ります。

2. 感染管理

①スコープ培養検査の結果、基準値をクリアしており感染管理に問題はありませんでした。

②コロナ感染対策に関しましては、検査前の体温及び健康チェックの徹底、上部カメラ時の咳嗽^{がいそう}による暴露防止対策の徹底により、検査に伴うコロナ感染又は濃厚接触となる事例はありませんでした。今後も安心して検査を受けて頂けるよう感染対策を確実に参ります。

3. 人材育成

新人看護師1名が配属となりました。充実したサポート体制と育成計画を基に、1人立ちへ向けた育成を進行中です。2年目は内視鏡技師免許取得へ向けて取り組みます。中堅スタッフに関しましては、内視鏡技師免許試験受験資格者3名を有することができました。処置技術と看護技術のバランスが取れた実践力を発揮できる人材育成を目標とし、安心・安全な検査・治療が提供できるよう取り組んで参ります。

4. 業務

外来内視鏡室と人間ドック内視鏡室が別々のフロアーに分かれたため、外来内視鏡室での専門性の高い検査・治療を安全・確実に遂行できる環境が整備されています。また、人間ドック内視鏡室においても予防医学センターと連携し、安全な内視鏡検査の提供へ向けてCO2装置の導入や検査案内時の連携強化に取り組むことができました。

また、オンコールを1名体制から2名体制へ変更した結果、緊急内視鏡への迅速な対応とスタッフが安心して緊急対応することができる体制を構築することができました。

5. 機器管理

①スコープ故障件数18件（前年度比4件増）

検査件数増加及び使用年数に伴い故障率が高くなる傾向にありますが、人為的に発生する故障の低減へ向けて機器取扱いや点検方法の周知へ向けて取り組みました。

②処置具の管理方法の見直し

主にリユース製品を使用しておりますが、一部の処置具の管理方法を定期的な買換えへ変更する取組みを行なった結果、コストは掛かりましたが安全面が強化され、より安心・安全に検査の提供が行なえる環境整備に繋がりました。

看護部 年度総括



看護部長
古波倉 美登利

2021年度 看護部総括

<目標>

1. 安全・感染・・・安全・感染予防の行動実践、向上
2. 患者サービスの向上・・・入退院支援の充実
3. 人材育成・・・目標管理の実践

コロナ禍になり2年目を迎えた年でしたが、流行を重ねる毎に感染の波が高くなり、多くの職員が疲弊した1年になったと思います。しかしそういう環境だからこそ得られた事もあり、特に人員の連携では、部署を超えての応援体制や協力体制が定着し、看護部組織としてのチームワークが強化された事を実感できた年でもあります。また、濃厚接触者を出さないという病院の方針に準じ、働く場はもちろん私生活においても感染対策の実践を心掛け、クラスターを出さなかったのは一人一人の努力の成果だと高く評価しています。

2021年度、看護部では3つの目標を軸に10項目の取り組み課題を掲げ、行動指針を示し実行しました。コロナの影響で人員の確保は難渋しましたが、7:1入院基本料 急性期看護補助体制加算 25:1、夜間補助体制加算 100:1を維持でき、病院収益に貢献できたと思います。また重症度医療看護必要度に関する今年度取り組みでは、ⅠからⅡへ移行させることを掲げており、取り漏れ対策など仕組みを変更しながら移行を実現し29%以上を維持できました。病院3指標の達成においては、行動指針としてコロナ流行の波に応じながらの柔軟なベットコントロールを挙げていましたが、DPCⅠ・Ⅱを意識した退院調整では十分な結果はえられず、70%には届いておりません。これはコロナの影響による退院先の受け入れ等も影響している要因はありますが、次年度も入退院支援体制と師長主導の退院調整の強化を行動指針に挙げて継続していく必要があります。

医療安全では事象から学ぶ安全風土を掲げ、同じインシデントを繰り返さないよう分析と周知の強化を目指していました。周知する重要性は理解しているにもかかわらず、末端まで届かないという各部署の現状を脱却するきっかけになればと、フィッシュ活動とコラボした周知の取り組みも試みました。しかし今年度もスタッフ要因となる内服関連やアセスメント不足による転倒のインシデントがどの部署でも多く発生し、事象から学び予防するという風土の構築にはいたりませんでした。次年度は、安全看護部会と師長会・主任会の連携した安全行動の実践を強め、改善を目指していかなければなりません。

教育では、新たな取り組みとしてPCやスマホで学習できるIT教育を導入し、手軽に隙間時間で学習できる環境を整えました。利用状況や学習効果を確認しながら今後の継続を検討していきます。また、個人のスキルアップや部署連携を深める

目的で部署間研修制度を導入しました。自部署外の環境で業務を実践することで視野が広がり、課題解決につながったと評価が得られています。更に効果ある研修制度になるように実施時期や期間等を含めPDCAを実施しながら次年度も継続予定です。

コロナの影響で停滞していた認定や特定行為資格取得者の教育が再開され、当院でもWOCの研修修了者と感染看護・糖尿病看護の次年度の受講者が誕生しました。スペシャリストの育成は、看護の質はもちろん加算取得など病院経営への参画にもつながる為、計画的に進めていきたいと考えており、次年度は認知症看護、乳癌看護の認定誕生を目指します。看護職員のキャリアアップ支援では、各部署における継続した目標管理の実施は必須ですが、部署による実施のばらつきがあったため、管理者意識の統一を図りました。

年2回行われる師長主任合同研修においては、目標管理の必要性と方法の研修を行い次年度は確実な実践につなげていく計画です。

年々新卒者の応募が増え、今年度も募集人数の4倍に達しました。これは、現場のスタッフが日ごろから丁寧に実習生を受け入れてきた事と看護部全体でリクルートを意識した活動の成果だと思えます。職場にとって人材は宝であり、働きたい場所として選んでもらえるように、また、働き続けられる場所として継続してもらえるような環境作りを目指していきたいと思えます。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

各部署概要・実績

放射線科

放射線科技師長 石原 悟

2021年度も長引くコロナ禍で、前年同様に手術が制限された中ではありましたが検査数は少しずつ持ち直しております。特にCTに関してはコロナや発熱の影響で肺炎を否定する意味での検査数が伸び2021年度は過去最高の件数となりました。このように新型コロナ疑い、発熱症状と受け入れ件数も増え、感染に対する不安やリスクもある中、スタッフは十分な感染対策、健康管理を行うことで、これまでに受入れ検査の制限をすることなく24時間365日、対応することができました。

人員に関しては介護休暇、病休等で人員不足の時期もありましたが非常勤での技師の確保と全スタッフのお互い様！の気持ちをもって対応したことで乗り切れました。また2021年度は二人の新人技師も採用され、1年間で一般、CT、透視業務をこなせるように成長し、4月からは当直スタッフの一員として頑張っています。

設備に関しては10月に救急前にある一般撮影室の一つをCT室に改装しCT装置を追加導入いたしました。救急前CTと西館CTの2台で運用することで新型コロナ・発熱患者さんと救急や特殊検査の振り分けが出来ることで緊急対応や感染対策が効率よく運用出来ました。

1月には線量管理システムの導入が決定し2月からの運用開始となりました。導入前は手作業による対象器機・対象検査・対象部位の情報収集で線量管理を行っていましたが、導入後は大幅に作業時間が短縮できた事で働き方改革に繋がっています。

また、新規CT導入に伴い画像処理システム（ワークステーション）の更新も行いました。新IVRシミュレータでは治療対象となる腫瘍の栄養血管の本数・解剖学位置関係を自動抽出し明瞭に観察でき、X線管球の最適な治療角度が容易に判断出来ますので以前より被ばくの低減と造影剤低減での治療に繋がると考えられます。

また脳解析ソフトによる超急性期脳梗塞の検査も検討中で、今後はそれを利用した検査・診断で一分一秒でも早い治療に繋がればと考えています。

2021年度も前年度同様にコロナの影響で院内外での対面での各勉強会や学会が中止になりましたが、Web開催や感染防止対策を行い少人数での勉強会を少しですが再開・参加することもできました。2022年度は昨年・一昨年度と受講出来なかったマンモ認定技師試験と胃がん認定技師試験の開催予定がありま

すので取得に向け取り組んでいきます。

今後も各学会・研究会などへの参加・発表が行えるよう全スタッフ間で助け合いスキルアップを目指していきます。



ER前CT室



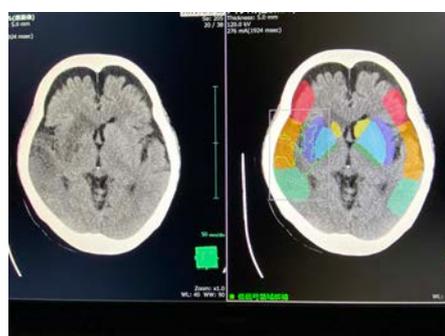
ER前CT操作室



IVRシミュレータ



ワークステーション



脳梗塞解析

職員数

総数

21名

職種別

診療放射線技師 20名

受付事務 1名

認定・資格

氏名	名称
宮城 竜也	基準撮影認定員
	胃がん検診専門技師
仲座 義富	アドバンス診療放射線技師
	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
大城 盛寛	アドバンス診療放射線技師
	医用画像情報管理士
	核医学検査技能検定3級

氏名	名称
松田 優二	X線CT撮影認定技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
	AI 認定技師
	大腸CT 認定技師
画像等手術支援認定技師	

氏名	名称
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波 麻利子	アドバンス診療放射線技師 検診マンモグラフィ認定技師
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師

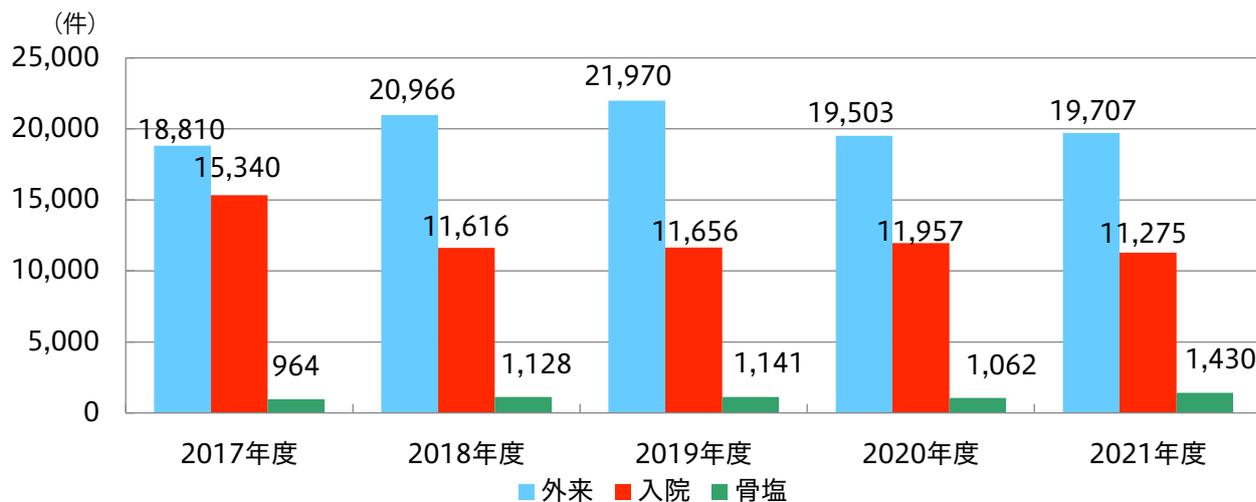
氏名	名称
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師 X線CT撮影認定技師 AI 認定技師 大腸CT認定技師 画像等手術支援認定技師
宇江城 彩香	検診マンモグラフィ認定技師
太田 忍	肺がんCT検診認定技師

運営方針

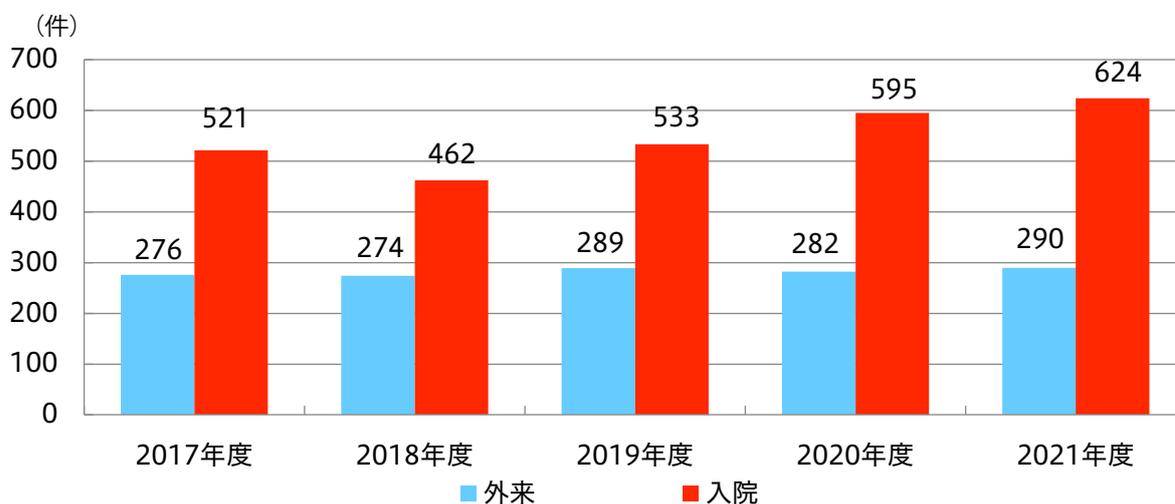
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

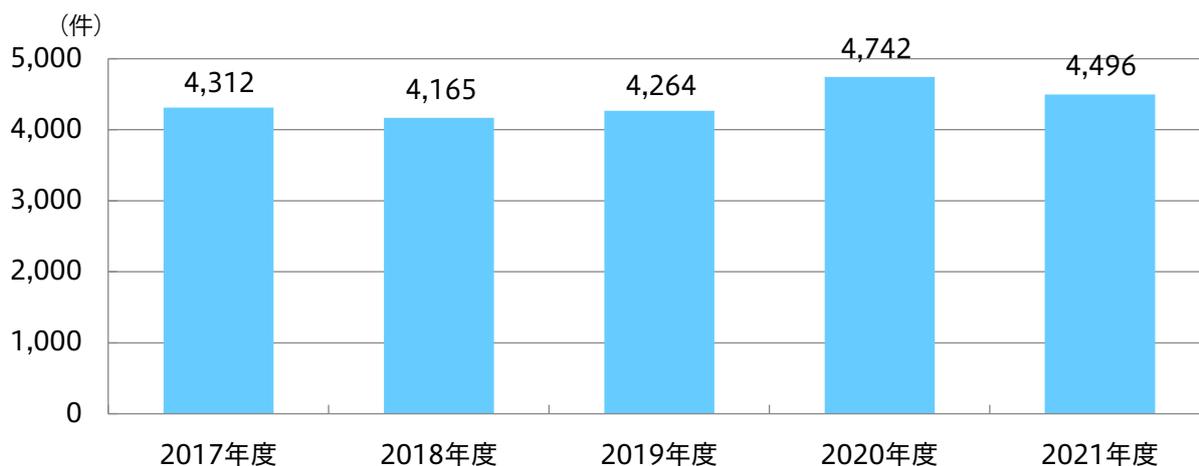
一般撮影



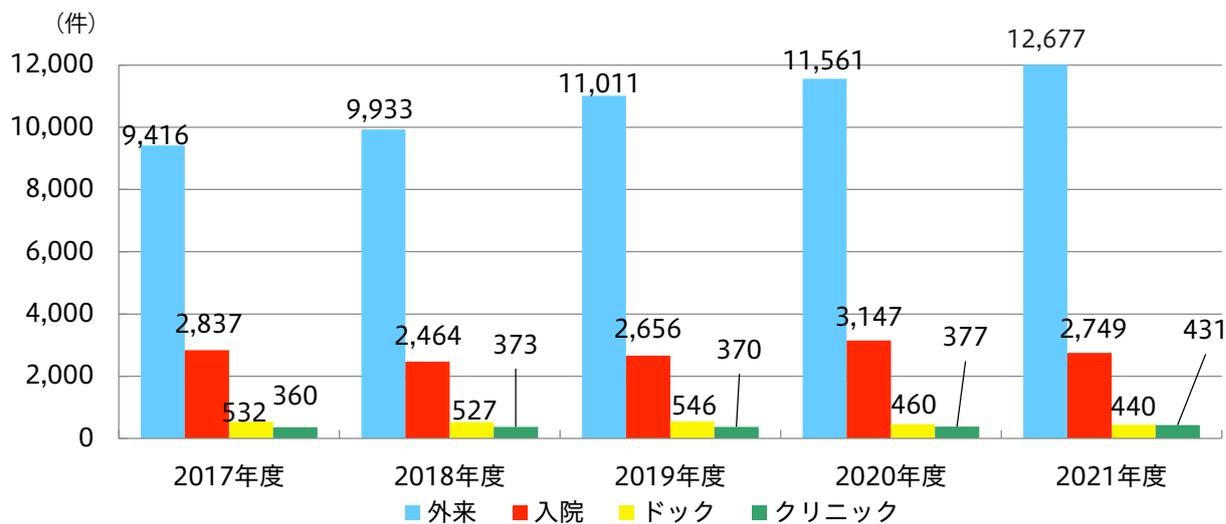
透視検査



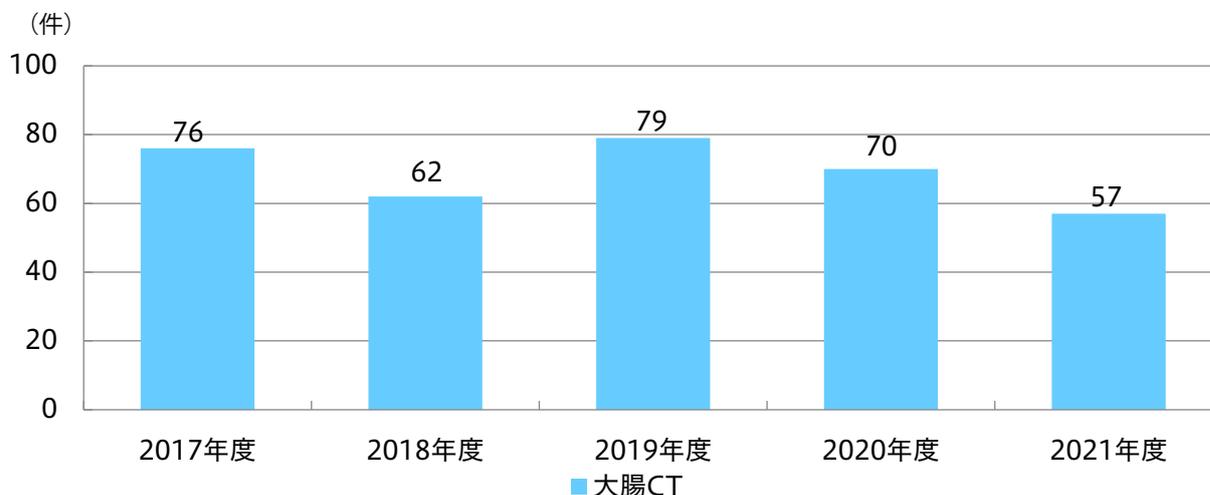
透視検査 (人間ドック)



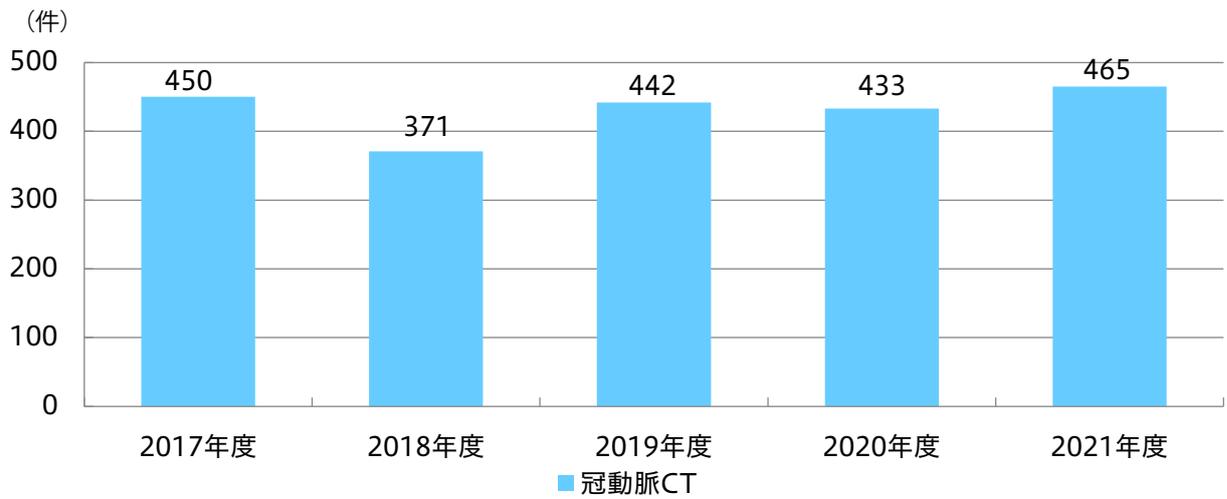
CT 検査



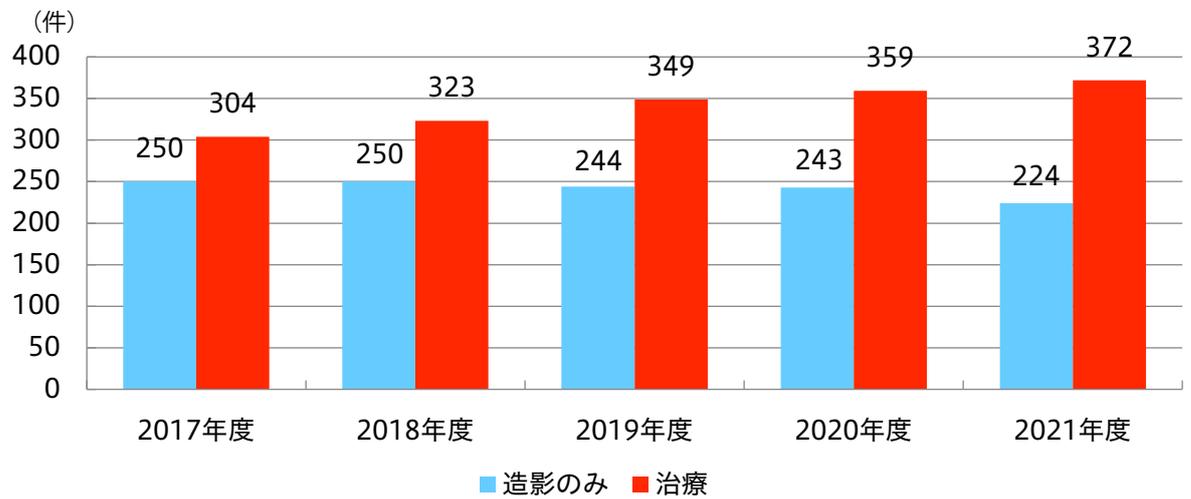
大腸 CT



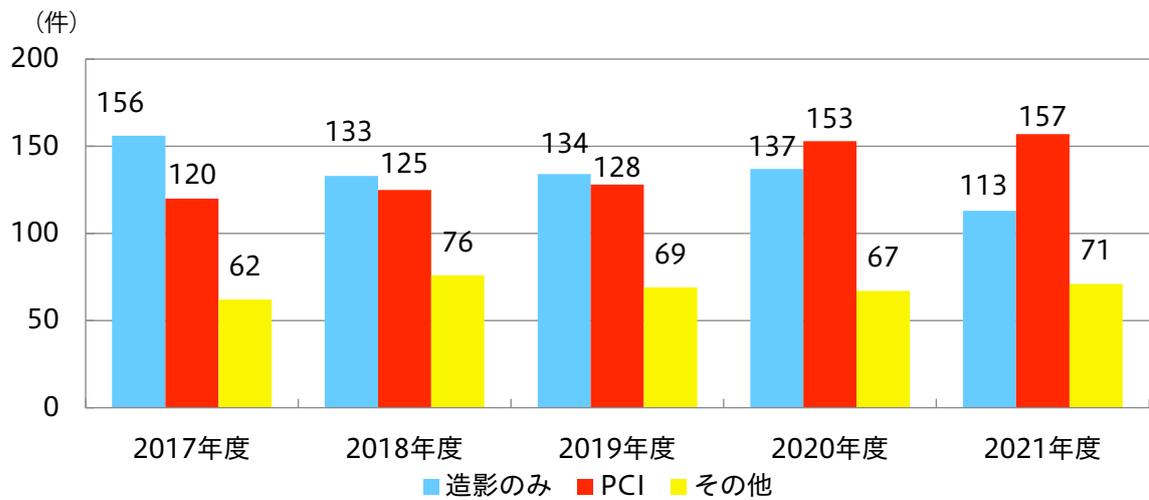
冠動脈CT



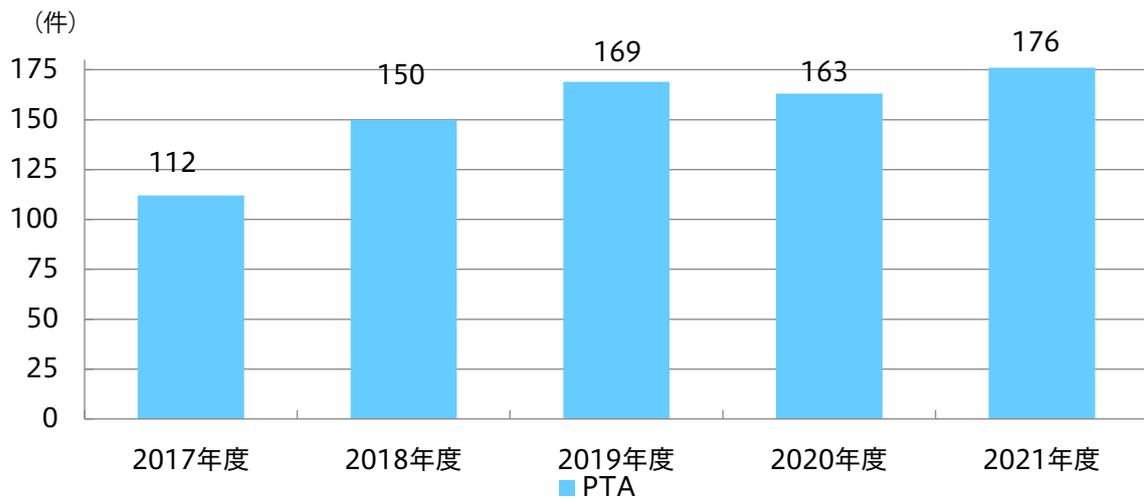
angio 総計



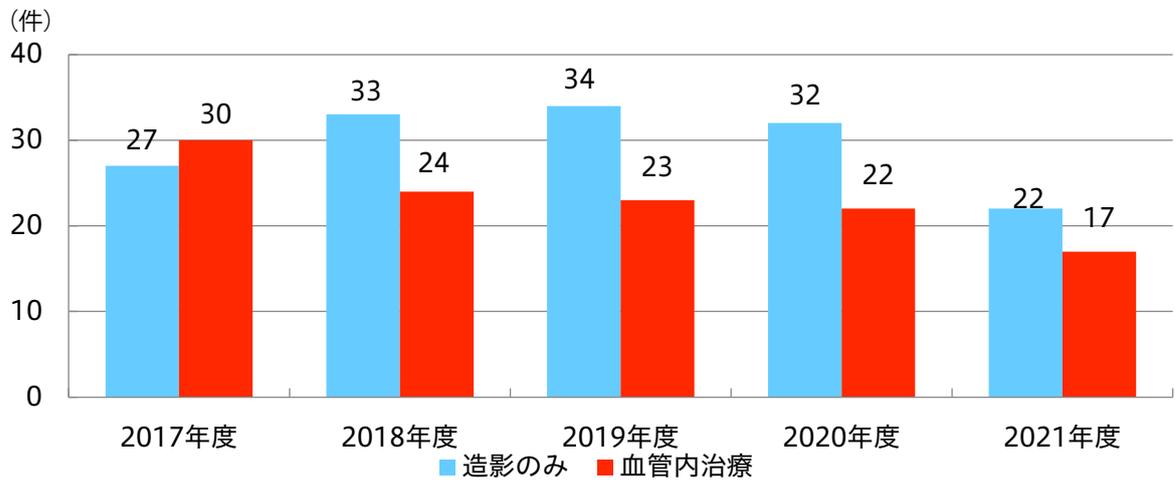
心臓カテーテル



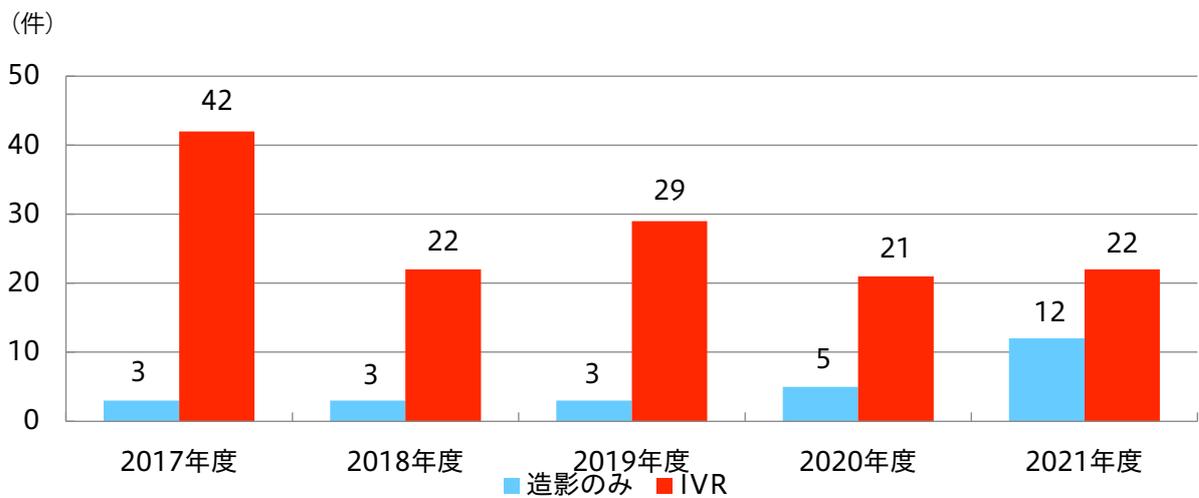
四肢 PTA



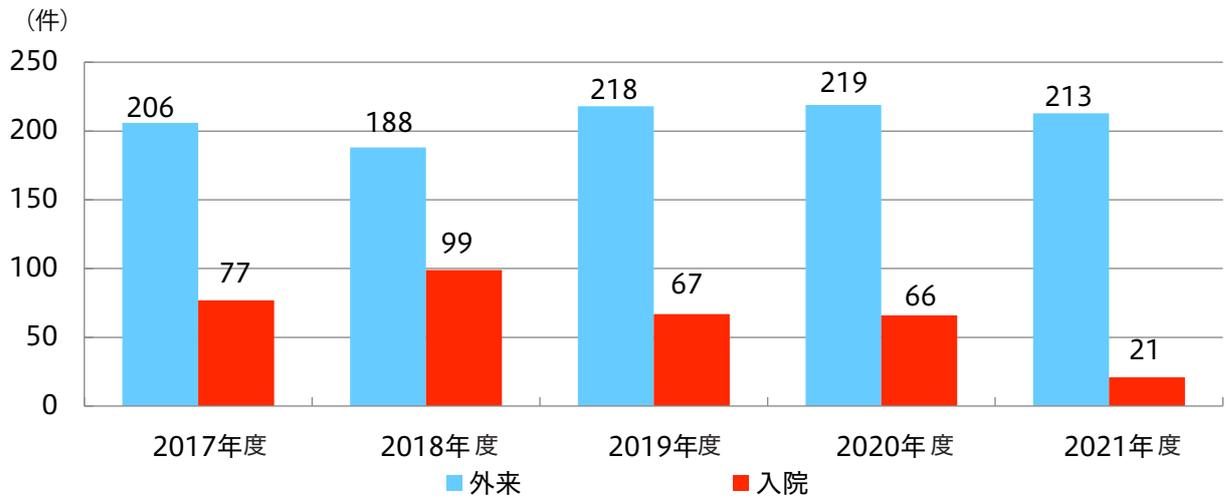
脳アンギオ



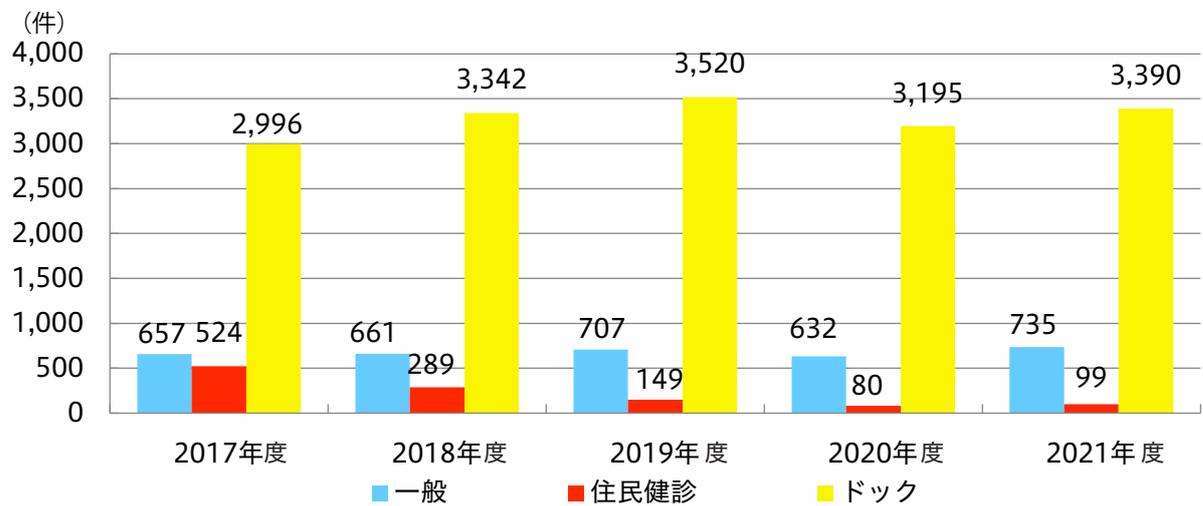
腹部アンギオ



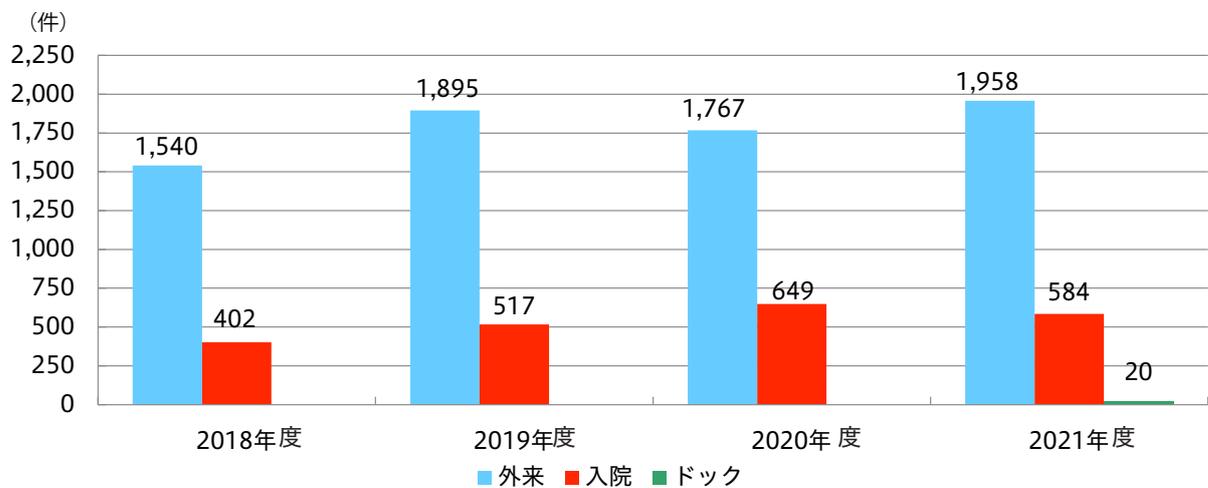
RI 検査



マンモグラフィ検査

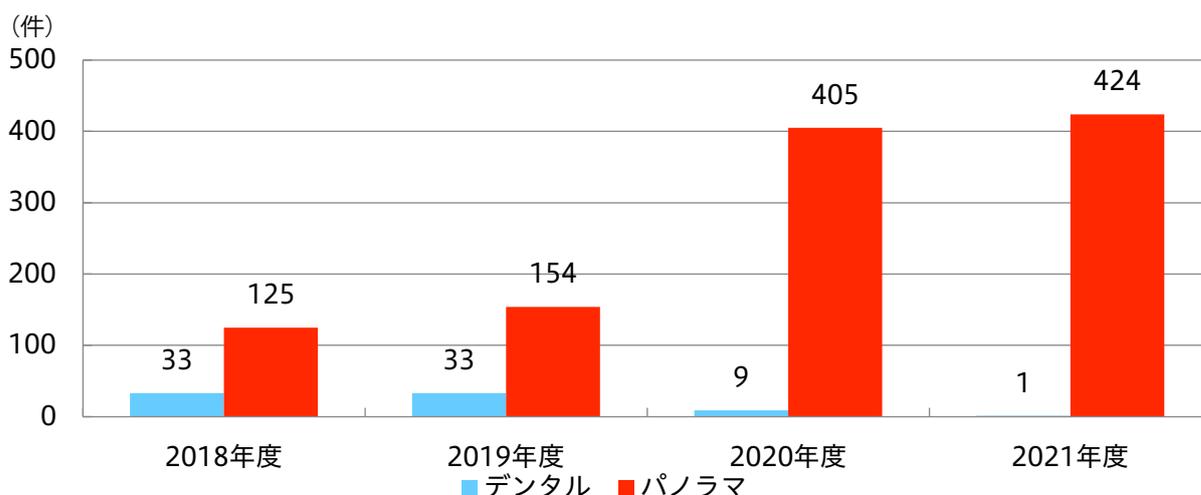


3T-MRI



※ 2021年度よりドックも含む

口腔一般撮影



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者研究者
造影 MRI 検査で悪性所見はなかったがステレオガイド下マンモトーム生検で DCIS が確定した 2 症例	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	オンライン	2021 年 9 月 26 日	宇江城 彩香
3D Nerve View を使った胸管描出の 1 例	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	オンライン	2021 年 9 月 26 日	上里 将司

活動実績

院外勉強会発表

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
金属アーチファクト低減について	沖縄 CT 研究会	オンライン	2021 年 5 月 14 日	川上 誉世
沖縄県消化管撮影研究会の紹介	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	オンライン	2021 年 9 月 26 日	程岡 美貴
ガンマカメラ更新記・Poor Study ひとつ	沖縄県核医学技術研究会	オンライン	2022 年 3 月 4 日	大城 盛寛

院外勉強会司会・座長

開催名	セッション名	開催地	日時	講師
沖縄県消化管撮影研究会・沖縄銀杏会	症例検討・ミニレクチャー	ちばなクリニック	2021 年 11 月 26 日	宮城 竜也
沖縄県消化管撮影研究会・沖縄銀杏会	症例検討・ミニレクチャー	中部地区医師会検診センター	2021 年 12 月 17 日	宮城 竜也

院内報告会・勉強会・研修会発表

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
CTなくして重症度判断できなかった	We Act Against COVID-19	当院	2021 年 11 月 12 日	石原 悟
胸部レントゲンの見方	慢性心不全領域別研修	当院	2021 年 11 月 27 日	仲座 義富

科内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
虫垂炎について	朝の勉強会	科内	2021年11月18日	川上 誉世
CT症例検討会	夕方勉強会	科内	2021年12月16日	松田 優二

講習会受講

受講名	業務	開催地	日時	受講者
沖縄県放射線技師会フレッシュセミナー	放射線技師の新人教育	オンライン	2021年8月14日	辺土名 翔平、喜友名 夢斗

講習会講師

講習会名	内容	開催地	日時	講師名
沖縄県放射線技師会フレッシュセミナー	被ばくについて	オンライン	2021年8月14日	松田 優二
沖縄県放射線技師会フレッシュセミナー	沖縄県消化管撮影研究会の紹介	オンライン	2021年8月14日	程岡 美貴

臨床検査科

臨床検査科技師長 齋藤 辰好

今年度は①5年後を見据えた人材育成、②医療機器の段階的な更新・導入、③病院規模に合わせた臨床検査業務の構築、④ハートライフクリニックの業務連携の充実、⑤予防医学センターとの業務連携への取り組み、⑥チーム医療の構築、⑦コロナ禍への対応の7項を基本方針としました。

人材育成に関しては2名の技師が細胞検査士の認定を取得しました。また、微生物分野で新たに1名が資格を取得し認定技師が3名となりました。各技師が複数分野の業務を出来るように計画を立て構築している最中です。本院業務のみならずクリニックでの採血・分析業務を熟知し、突発休や繁忙時でも対応出来るように体制を整えています。また予防医学センターとの業務連携も順調で、技師の相互入れ替えや業務の融合共有化を進めています。

心臓カテーテル検査、上肢下肢血管治療検査、アブレーション検査、ラジオ波焼灼検査、細胞診穿刺検査、NST、食道内圧・PH検査、胆嚢穿刺検査、CPC等のチーム医療にも積極的に参加しています。

日本医師会、日本臨床検査技師会、沖縄県医師会・技師会の精度管理事業にも参加し良好な結果が得られました。また教育研修システムを充実させる為、細胞検査士、超音波検査士、血液検査技師、糖尿病療養指導士、緊急検査士等の各資格取得支援やスキルアップ為の支援等も構築しつつあります。

県内県外大学から長期実習学生を受け入れており、教育システムを構築していく予定です。

新型コロナウイルス検査については迅速簡易PCR機器、精密PCR検査機器、TRC検査機器を導入し、夜間でも緊急PCR検査を行いコロナ禍へ対応しています。

運営方針

臨床検査は疾病の①診断、②治療方針決定、③予後の判定を左右する重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を心がける。

職員数

総数

45名

職種別

臨床検査技師（病院 33名、予防医学センター 4名、クリニック 3名）

視能訓練士 3名

検査科事務 3名

認定・資格

氏名	認定・資格名
齋藤辰好	超音波検査士(4領域)
島袋泰彦	超音波検査士(4領域) 沖縄県地域糖尿病療養指導士 日本糖尿病療養指導士 衛生管理者 衛生工学衛生管理者

氏名	認定・資格名
仲松勝彦	超音波検査士(1領域) 衛生管理者
安里奈美	超音波検査士(2領域)
照屋祥子	超音波検査士(2領域) JABTS-A認定技師

氏名	認定・資格名
森山武志	二級臨床検査士(微生物) 衛生管理者
宮城 健	二級臨床検査士(微生物)
北川磨亜邦	細胞検査士
諸見里真実	細胞検査士
金城奈津子	JABTS-B 認定技師
宮平優子	二級臨床検査士(免疫血清)
町田絵都	衛生管理者 沖縄県地域糖尿病療養指導士 緊急検査士
上地利恵子	JABTS-C 認定技師
大城ゆかり	JABTS-C 認定技師

氏名	認定・資格名
蔵下かおり	緊急検査士 二級臨床検査士(免疫血清) JABTS-A 認定技師
新垣春香	二級臨床検査士(微生物)
津波古菜々恵	緊急検査士 二級臨床検査士(微生物)

沖縄県 臨床検査技師会 役員

	役職
斎藤 辰好	①沖縄県臨床検査技師会 理事 ②日本臨床検査技師会・九州支部 生理検査部門長

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
技師会フォトサーベイ(尿沈渣)による当直者を対象として内部精度管理	2021年度 日臨技九州支部医学検査学会(第55回)	沖縄	2021年11月6日	村田彩乃
当院における輸血培養適正化の活動報告(続報)	2021年度 日臨技九州支部医学検査学会(第55回)	沖縄	2021年11月6日	宮城健
胸水検査を契機に発見された形質芽細胞性リンパ腫(PBL)の1例	2021年度 日臨技九州支部医学検査学会(第55回)	沖縄	2021年11月6日	真栄田奈々子
FIP1L1-PDGFRα 融合遺伝子陽性 CEL の一症例	沖縄臨床血液研究会	沖縄	2021年11月19日	呉屋江合奈

業務実績

科内勉強会

名称	日時	担当者
腹部エコーの画像統一化について	2021年9月24日	我如古靖
症例検討(腎癌・乳腺腫瘍)	2021年10月29日	島袋泰彦
症例検討(イレウス) 脂肪肝評価について	2021年11月26日	仲松勝彦
症例検討(肝腫瘍) リニア走査法(腹部)	2021年12月24日	田仲康彦
症例検討(心臓3症例)	2022年1月28日	宮平優子
症例検討(乳腺疾患)	2022年2月25日	安里奈美

検査・治療実績

生理検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心電図	539	425	404	516	383	444	553	592	557	396	414	563	5,786
CVR-R+EKG	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
マスター心電図	8	8	7	17	6	5	7	5	8	3	6	8	88
トレッドミル負荷	4	4	2	4	3	3	3	2	4	1	0	0	30
ホルター心電図	15	19	16	20	20	18	27	28	24	18	20	27	252
ABPM	2	0	1	1	0	3	0	0	0	1	0	1	9
簡易肺機能(2項目)	88	73	71	87	60	64	104	97	84	41	58	99	926

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
肺機能(4項目)	11	11	9	17	13	18	16	12	12	19	7	15	160
ABI測定	34	36	38	36	53	31	56	49	48	27	25	34	467
サーモグラフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気中尿素試験	37	39	43	40	55	37	43	37	42	37	43	51	504
脳波	4	3	2	4	0	0	0	4	7	5	3	5	37
睡眠・薬物賦活脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経伝達速度(MCV)	5	5	6	3	6	2	2	6	8	4	3	11	61
聴性脳幹反応(ABR)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終夜睡眠ポリグラフ	2	0	1	6	0	0	0	1	2	1	0	4	17
心肺運動負荷試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
レートポテンシャル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気中一酸化窒素	13	14	17	18	18	13	27	15	28	10	17	20	210
食道内圧測定	5	0	1	0	2	0	3	1	5	2	2	1	22
食道PHモニター	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
経皮的酸素ガス分圧	4	6	7	3	0	3	1	1	2	2	4	3	36
皮膚灌流圧測定検査	1	5	4	3	1	0	0	1	1	0	0	0	16
心エコー	280	240	216	260	243	291	319	324	348	275	259	335	3,390
腹部エコー	284	216	294	253	293	262	300	260	287	221	232	264	3,166
泌尿器エコー	87	105	116	122	118	124	106	127	117	84	108	125	1,339
表在エコー	156	134	172	181	148	214	213	188	220	159	165	200	2,150
血管エコー	127	110	108	123	120	140	133	173	132	103	98	105	1,472
胎児エコー	42	39	47	47	48	43	53	50	43	34	0	0	446
経直腸エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経食道心エコー	2	4	2	1	3	3	4	4	3	0	8	7	41
ENOG	3	2	4	3	3	0	1	5	3	2	2	2	30
簡易聴力検査	19	8	5	15	10	11	14	18	26	22	11	11	170
標準聴力検査	43	46	42	73	60	59	59	72	72	51	35	66	678
ティンパノメトリー	21	28	22	44	27	26	25	46	42	27	18	41	367
アプミ骨筋反射検査	8	8	11	18	18	13	13	24	21	11	13	24	182
MRI	240	220	207	246	248	259	267	265	262	227	217	263	2,921

病理・細胞検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診	377	304	282	337	340	327	399	457	429	300	301	434	4,287
細胞診	504	241	273	301	276	327	307	276	330	220	283	349	3,687
剖検	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
迅速組織診	7	3	4	3	4	7	8	3	4	6	8	6	63

血液検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液像目視	672	473	607	500	444	428	437	451	485	375	382	413	5,667
骨髄像	20	17	22	18	17	17	16	24	18	19	15	11	214
PBSC 製剤作製(患者数)	2	2	1	1	1	0	2	2	0	0	2	0	13
PBSC 製剤作製(作製数)	3	4	1	1	1	0	2	2	0	0	4	0	18
骨髄血漿除去作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球除去後骨髄凍結作業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2

細胞調整室(CPC)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
末梢血幹細胞処理(作業数)	3	4	1	1	1	0	2	2	0	0	4	0	18
骨髄液幹細胞処理(作業数)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3

検体検査（科別）

ハートライフ病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1,965	1,624	1,765	1,848	1,882	1,859	1,783	1,800	1,907	2,148	1,740	2,131	22,452
外科	408	395	397	456	365	383	480	458	461	359	386	518	5,066
整形外科	197	182	163	210	190	163	217	215	162	212	164	211	2,286
眼科	37	45	5	56	45	5	26	79	58	27	15	54	452
透析科	360	313	312	340	313	324	252	215	179	168	160	179	3,115
小児科	74	74	103	75	103	81	83	86	77	104	115	167	1,142
脳神経外科	8	3	10	10	8	5	11	4	8	2	11	6	86
産婦人科	474	410	395	433	421	415	407	426	446	387	359	411	4,984
耳鼻咽喉科	51	34	44	60	38	43	61	60	55	36	34	55	571
心療内科	5	5	5	6	2	6	3	4	3	3	3	6	51
泌尿器科	342	312	361	374	347	389	377	391	414	275	325	414	4,321
皮膚科	1	3	4	1	2	5	2	1	2	4	2	7	34
麻酔科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	45	52	42	74	51	41	60	63	36	13	48	61	586
乳腺外科	95	100	104	103	118	121	113	114	120	118	113	144	1,363
救急科	671	100	582	767	770	677	607	609	596	740	513	682	7,314
口腔ケア科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
本院合計	4,733	4,270	4,292	4,813	4,655	4,517	4,483	4,525	4,524	4,506	3,988	5,047	54,353

検診科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	1,065	974	1,374	1,411	1,417	1,422	1,608	1,531	1,789	1,362	1,290	1,688	16,931

ハートライフクリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病内科	1,196	1,044	1,152	1,145	1,170	1,119	1,202	1,134	1,291	884	1,072	1,248	13,657
内科	467	410	472	446	426	537	483	490	501	359	416	541	5,548
小児科	33	38	62	82	27	33	49	35	23	16	9	26	433
合計	1,696	1,492	1,686	1,673	1,623	1,689	1,734	1,659	1,815	1,259	1,497	1,815	19,638

本院 + 検診 + クリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	7,494	6,736	7,352	7,897	7,695	7,628	7,825	7,715	8,128	7,127	6,775	8,550	90,922

検体検査（病棟）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ICU	205	228	173	189	202	248	175	182	116	173	178	184	2,253
HCU	176	153	102	156	134	171	94	154	117	134	147	109	1,647
東館4・5階病棟	295	318	330	321	321	385	359	321	348	327	323	316	3,964
3階病棟	398	379	391	378	360	420	340	340	300	388	278	333	4,305
4階病棟	485	461	431	518	555	501	448	490	512	489	458	545	5,893
5階病棟	540	475	385	363	298	259	551	561	491	326	269	302	4,820
6階病棟	689	770	762	622	668	644	594	626	575	543	516	561	7,570
7階病棟	424	480	357	397	466	403	352	427	431	429	423	460	5,049
合計	3,212	3,264	2,931	2,949	3,004	3,031	2,913	3,101	2,890	2,809	2,592	2,810	35,506

臨床工学科

臨床工学科技士長 野原 剛

令和3年も新型コロナウイルスの収束の兆しはなく、第7波が訪れる状況になりました。当科では昨年引き続き「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用して個人用の透析用患者監視装置2台を購入し配備しました。その装置を用いて、新型コロナウイルスに罹患した当院の血液透析患者様のみならず、他院からの透析患者様も累計4名受入れ、コロナ病床で隔離透析も実施しました。

代謝部門では定期更新予定であった透析用患者監視装置25台の更新、入れ替えを行いました。また、県内で初めてとなる閉塞性動脈硬化症(ASO)、重症下肢虚血(CLI)の患者様に対してのLDL-Cの吸着型血液浄化も導入しております。

また、SOLA 沖縄保健医療工学院より1名実習生を受け入れ、代謝と循環器、ME機器管理業務に関する実習を実施しました。

各部門の実績の詳細は資料をご参照下さい。

職員数

総数

18名

職種別

臨床工学士 18名

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

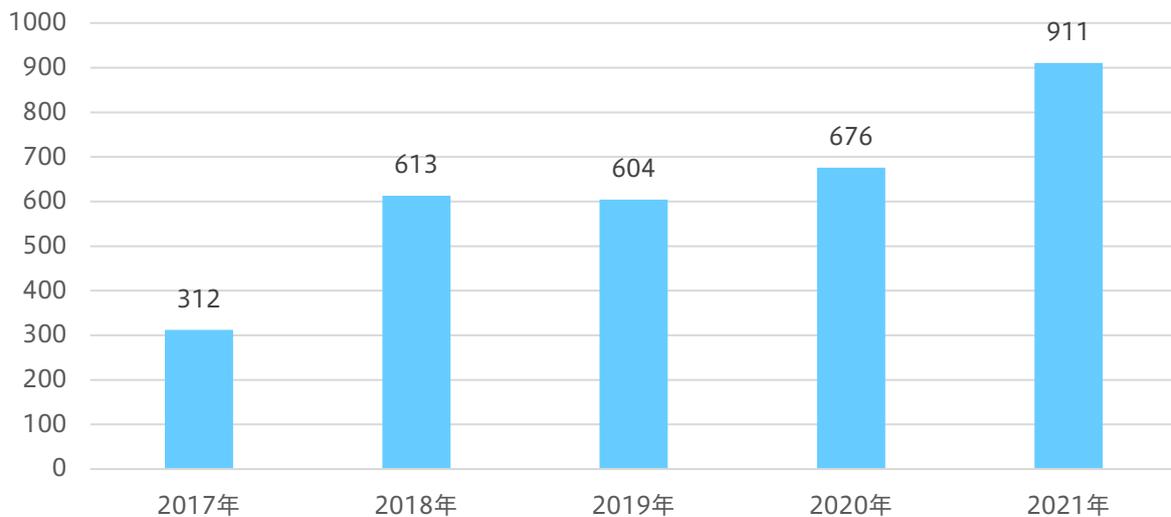
【ME 機器管理実績】

- ・ CPAP 外来での導入指導を開始しました。院内での導入のニーズがあり、対応しています。18 件の対応がありました。実績 :2019 年度 18 件、2020 年度 28 件
- ・ 在宅経腸栄養ポンプ、在宅輸液ポンプの導入をサポートすることが増え、在宅での訪問看護につなげて、患者の満足度向上に貢献できました。実績 :2020 年度 11 件
- ・ 感染症対策にて①不足の生体情報モニタの調整を行いました。② UV 照射ロボの導入について、操作、運用導入支援を行いました。
- ・ 医療機器の計画更新を行いました。
- ・ 職員向け研修を動画視聴とテストという形式に変更し、集計がしやすくなり、周知率は 90% を超えることができました。

修理依頼・トラブル対応件数について

1. 年度推移

2021 年度は、メーカーによる自主回収が大量にありましたが、CE の調整で臨床に問題がないように対応できました。



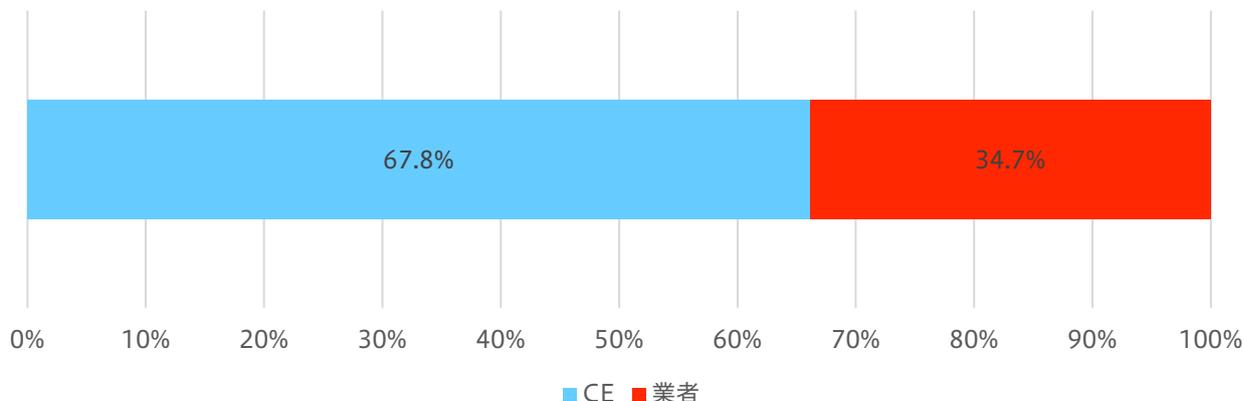
2. 月推移

月に関わらず問い合わせ件数が一定数あり、臨床工学技士の対応が必要であることがわかります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015	42	22	17	19	20	23	35	35	19	27	18	50
2016	24	27	25	36	38	8	20	21	16	9	17	23
2017	3	3	10	36	21	31	41	39	31	37	25	35
2018	44	49	36	49	52	43	44	50	85	67	46	48
2019	45	52	55	56	60	44	70	45	47	45	38	47
2020	37	43	38	45	62	65	58	61	70	66	60	71
2021	76	44	54	69	129	98	90	135	64	56	31	64

3. 対応割合

トラブル対応は、67.8%が臨床工学技士によって行われており、迅速な対応ができました。2021年度は、自主回収への対応が多く、業者委託の割合が大きくなりましたが、代替えの手配などをCE中心で行い、現場の診療を止めずに回収作業を行うことができました。



4. 発見 / 現場依頼割合

臨床工学技士の点検により発見された割合は48%であり、点検により未然に防げていました。手術室からの問い合わせが大きく伸びており、臨床工学技士配置の認識が定着しつつあると考えられます。

部署		件数
臨床工学科		439
現場依頼(内訳)	本館 7F	37
	本館 6F	28
	本館 5F	16
	本館 4F	25
	本館 3F	32
	東館 4F	15
	東館 5F	29
	ICU	30
	HCU	25
	手術室	121
	救急センター (ER)	29
	人工透析室	3

部署	件数
リハビリテーション科	22
外来通院治療室	1
中央処置室	15
東館アンギオ室	1
内視鏡センター	6
内科	-
脳神経外科・耳鼻咽喉科	10
泌尿器科	-
外科・ヘルニアセンター	-
クリニック	1
発熱外来	-
その他	26
合計数	911

5. 機器別割合

2021年度は、メーカー回収があったため対応件数が増加しました。手術医療機器の対応種類が増え、滅菌機器の対応まで行うようにしました。

分類	機器名	件数
呼吸関連	人工呼吸器	9
	NPPV用	13
	酸素流量計	22
	その他	4
モニタ関連	BS モニタ	31
	送信機	33
	セントラルモニタ	4
	SPO2 センサ	30
	ECG 誘導リード	26
	血圧測定カフ	12
	中継ケーブル	13
	手術関連	麻酔器

分類	機器名	件数
手術関連	電気メス	12
	手術内視鏡関連	18
	手術台	10
	Cアーム	18
	顕微鏡	4
	レーザー手術器	1
	無影灯	6
	洗浄装置	6
	フロートラック	2
	レコーダ	4
	滅菌機器	8
	その他	14

分類	機器名	件数
循環器関連	テンポラリー	0
	補助循環装置	2
	手動式圧注入調節装置	0
	その他	0
周辺機器関連	輸液ポンプ	152
	シリンジポンプ	101
	フットポンプ	51
	血圧計	42
	パルスオキシメータ	26
	DRIP EYE	6
	壁掛吸引器	16
	血液ガス分析装置	20
	心電計	25
	ネブライザ	3

分類	機器名	件数
周辺機器関連	中央貸出エコー装置	21
	超音波診断装置	11
	保育器	8
	除細動器	10
	ブラッドースキャン	0
	検査機器	3
	黄疸計	1
	CPM	4
	分娩監視装置	6
	UVD ロボ	13
その他	139	
合計		978

6. 日常点検集計

人工呼吸器について

点検種類	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
始業点検	541台/年	520台/年	543台/年	459台/年	541台/年
終業点検	465台/年	423台/年	409台/年	585台/年	452台/年
使用中点検 ラウンド点検	2029台/年 6.5台/日	1732台/年 5.6台/日	1785台/年 5.7台/日	1607台/年 5.1台/日	1338台/年 4.2台/日

ポンプについて

機種	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
輸液ポンプ	2290台/年 7.3台/日	2047台/年 6.6台/日	2886台/年 9.3台/日	2914台/年 9.4台/日	2751台/年 8.7台/日
シリンジポンプ	1387台/年 4.5台/日	1389台/年 4.5台/日	1445台/年 4.7台/日	1714台/年 5.5台/日	1475台/年 4.7台/日
経腸栄養ポンプ	35台/年	31台/年	25台/年	46台/年	41台/年
フットポンプ	501台/年	536台/年	747台/年	859台/年	1017台/年
ドリップアイ	428台/年	347台/年	400台/年	451台/年	296台/年

生体情報モニタについて

生体情報モニタについて点検を行い、患者に使用する前に部品の消耗に気づき交換することができるようになっています。

人工呼吸器用マスクについて

点検種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
NPPV用マスク	707台/年	836台/年	714台/年	607台/年

7. 臨床支援業務

肝腫瘍ラジオ波焼灼術 立ち会い件数の推移

年度	内科	外科	内科(中止)	外科(中止)	総数
2009年度	2	0	0	0	2
2010年度	7	4	3	0	14
2011年度	10	2	1	0	13
2012年度	27	1	0	1	29
2013年度	29	1	0	2	32
2014年度	37	7	0	0	44

年度	内科	外科	内科(中止)	外科(中止)	総数
2015年度	27	12	2	0	41
2016年度	15	6	0	1	21
2017年度	13	2	1	0	16
2018年度	16	0	0	0	16
2019年度	18	2	1	0	20
2020年度	6	3	3	0	12
2021年度	5	3	0	0	8

レンタル呼吸業務

院内で不足する人工呼吸器の貸出返却の対応を引き受け対応しています。下表は年間の貸出返却対応件数を示します。マスク式人工呼吸器のレンタルが主です。

年度	NPPV (V60)	NPPV (ASV)	NHF ネーザルハイフロー
2012年度	74	76	なし
2013年度	58	41	11
2014年度	106	75	18
2015年度	79	29	4
2016年度	116	52	4
2017年度	100	37	8
2018年度	156	40	6
2019年度	185	43	16
2020年度	126	26	16
2021年度	127	11	16

【循環器実績】

アンギオ対応実績

月	カテーテル検査						植え込みデバイス						IVCF	PPI		ABL	脳血管カテーテル	
	CAG	PCI	緊急	総PCI	IABP	ECMO	TPM	PMI	PMR	MRI	外来	上肢PTA		下肢PTA	検査		治療	
4月	5	11	1	12	0	2	1	1	0	1	22	0	6	4	0	3	3	
5月	8	9	3	12	1	1	1	1	1	1	10	0	3	6	0	2	0	
6月	5	9	3	12	0	0	1	2	1	4	26	0	11	12	0	1	2	
7月	14	17	2	19	0	0	0	1	2	1	29	0	4	9	2	3	0	
8月	11	10	2	12	2	2	0	1	0	0	29	0	4	10	0	4	1	
9月	10	8	3	11	2	1	1	2	0	1	27	0	19	4	0	4	1	
10月	12	11	4	15	0	0	0	0	0	3	23	0	8	7	1	2	2	
11月	9	12	3	15	3	2	1	2	0	1	6	0	6	11	2	1	2	
12月	15	13	2	15	2	0	1	4	1	0	30	0	7	10	1	0	1	
1月	5	8	2	10	2	1	1	1	0	0	9	0	4	5	0	1	2	
2月	5	3	3	6	1	0	0	2	1	0	36	0	5	10	2	3	1	
3月	14	12	3	15	2	0	3	2	0	0	36	0	6	5	0	0	2	
総合計	113	123	31	154	15	9	10	19	6	12	283	0	83	93	8	24	17	

※ CAGは検査のみ、PCI+緊急が総PCI数になります。

PMI: ペースメーカー植え込み術。PMR: ペースメーカークリニック。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカー。

【血液浄化部実績】

出張血液浄化実績

年月	血液浄化療法									血漿 浄化療法		CART	PBSC	LDL	合計
	HD (SLED 含)	HDF (SLED-f 含)	CHD	CHF	CHDF	白血球除去 療法		血液吸着 PMX	PP PE						
						GCAP	LCAP								
2021.4	13	0	0	0	18	0	0	5	2	2	3	0	43		
5	8	0	1	0	2	0	0	0	0	2	3	0	16		
6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	7		
7	4	0	0	0	5	0	0	0	0	5	1	0	15		
8	7	0	0	0	1	0	0	1	0	3	1	0	13		
9	4	4	0	0	29	0	0	0	0	5	1	0	43		
10	6	0	0	0	5	0	2	0	0	4	2	0	19		
11	10	0	0	0	11	0	0	0	0	4	2	0	27		
12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5		
2022.1	7	0	0	3	5	0	1	0	0	4	0	0	20		
2	14	0	0	0	27	2	6	0	0	0	4	7	60		
3	17	0	0	0	6	5	0	2	1	0	1	0	32		
計	98	4	1	3	109	7	9	8	3	32	19	7	300		

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
第2回沖縄県リクセルWEBセミナー	-	オンライン	2021年6月24日	座長 野原剛
臨床工学技士によるフットケア業務の取り組み	日本透析医学会学術集会・総会	オンライン	2021年12月11日	仲程通孝
紫外線殺菌ロボット(UV-DR)の導入時の臨床工学技士(CE)の取り組み	九州沖縄臨床工学会	オンライン	2022年1月21日	兼城雅
当院におけるHNFC複数使用時の酸素供給圧力の検証	第49回日本集中治療医学会学術集会	オンライン	2022年3月19日	野原剛

職員向け医療機器研修

講習名	実施内容	実施日	講師	参加人数
新型輸血ポンプ導入のためのeラーニング講習会	eラーニングによる講習会	2021年4月22日	知念仁奈	442
新型シリンジポンプ導入のためのeラーニング講習会	eラーニングによる講習会	2021年11月15日	屋比久雄飛	412
講習名	実施内容	実施日	講師	
除細動器勉強会	除細動器勉強会	2021年12月30日	知念仁奈	
V60取扱い説明	V60取扱い説明	2021年11月4日	平敷幸大	
HAMILTON C6操作説明	HAMILTON C6モード説明会	2021年10月29日	日本光電 西嶋氏	
HOT勉強会	HOTについて	2021年10月26日	伊佐美優羽	
新型輸血ポンプの使用法説明	新型輸血ポンプの使用法説明	2021年9月6日	兼城雅	
新型輸血ポンプ操作説明会	新型輸血ポンプの操作説明会	2021年9月6日	兼城雅	
AIRVO2取扱い説明	実演	2021年8月28日	平敷幸大	
AIRVO2取扱い説明	実演	2021年8月28日	平敷幸大	
ソノペット取扱い説明	ソノペット取扱い説明	2021年8月18日		
Aライン基本についての説明会	Aラインの概要、プライミング、採血の説明	2021年7月21日	屋比久雄飛	
人工呼吸器 vela 使用法説明	人工呼吸器 vela 使用法説明	2021年7月12日	平敷幸大	
UV照射方法説明	UVロボの手動照射方法	2021年6月18日	伊佐美優羽	

講習名	実施内容	実施日	講師
デイスポ BVM 使用方法説明	デイスポ BVM 使用方法説明	2021 年 6 月 17 日	平敷幸大
排煙装置使用方法説明会	排煙装置の使用方法和消耗品の説明	2021 年 6 月 14 日	屋比久雄飛
ハミルトンでの NHF 使用方法説明会	ハミルトンでの NHF 使用方法説明会	2021 年 6 月 11 日	兼城雅
AED 使用方法説明 (更新のため)		2021 年 6 月 11 日	迎里尚拓
AED 使用方法説明 (更新のため)	実機を見せながらの説明	2021 年 6 月 10 日	迎里尚拓
AED 使用方法説明 (更新のため)		2021 年 6 月 9 日	迎里尚拓
AED 使用方法説明 (更新のため)		2021 年 6 月 9 日	迎里尚拓
ハミルトンでの NHF 使用方法説明	ハミルトンでの NHF 使用方法説明	2021 年 6 月 7 日	兼城雅
AED 使用方法説明 (更新のため)	AED 実機を見せながら使用方法の説明	2021 年 6 月 1 日	仲松晋也
UV 照射方法説明	UV 照射方法	2021 年 5 月 24 日	伊佐美優羽
スクナ -Vita 連携使用方法説明会	スクナ -Vita 連携使用方法説明会	2021 年 4 月 16 日	MID 比嘉氏

栄養科

栄養科科长 真栄城 ゆかり

2021年度の入院患者への食事提供数は新型コロナウイルスの影響で2020年度より更に減少しており、コロナ前の2019年度と比較すると年間3万食以上の減少となりました。

栄養管理については全病棟において入退院支援カンファレンスに参加し、栄養的に問題のある患者を抽出し栄養改善に取り組みました。

給食管理では慢性的な調理スタッフの人員不足が続く中、献立、食材の見直しを行い食事提供に影響がないよう業務を行いました。

各認定資格については新型コロナウイルスの影響もあり、学会やセミナーの中止が相次ぎ、取得に至りませんでした。専門療法士の育成やスキルアップに繋がるよう今後も支援体制を強化していきます。

職員数

総数

29名

職種別

管理栄養士 7名

調理師 11名

調理補助 4名

食器洗浄 5名

事務 2名

認定・資格

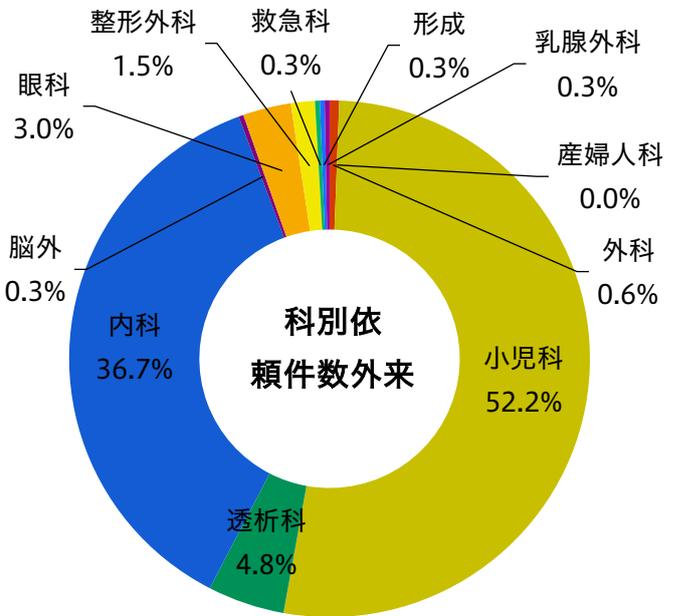
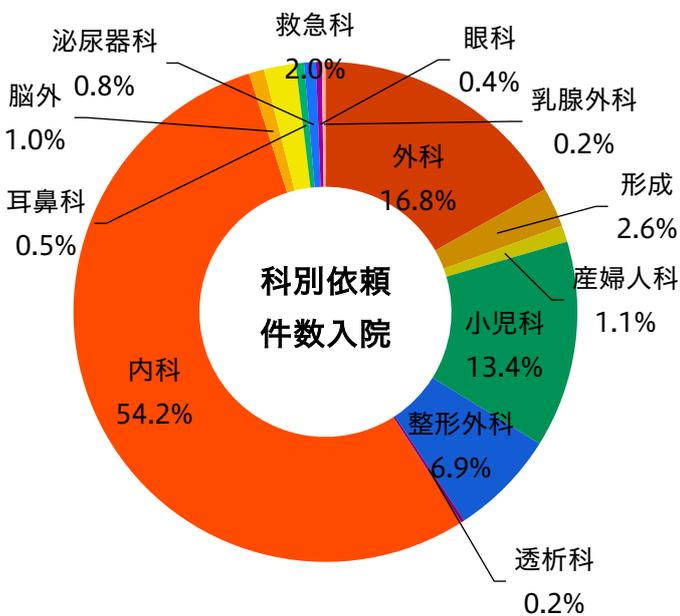
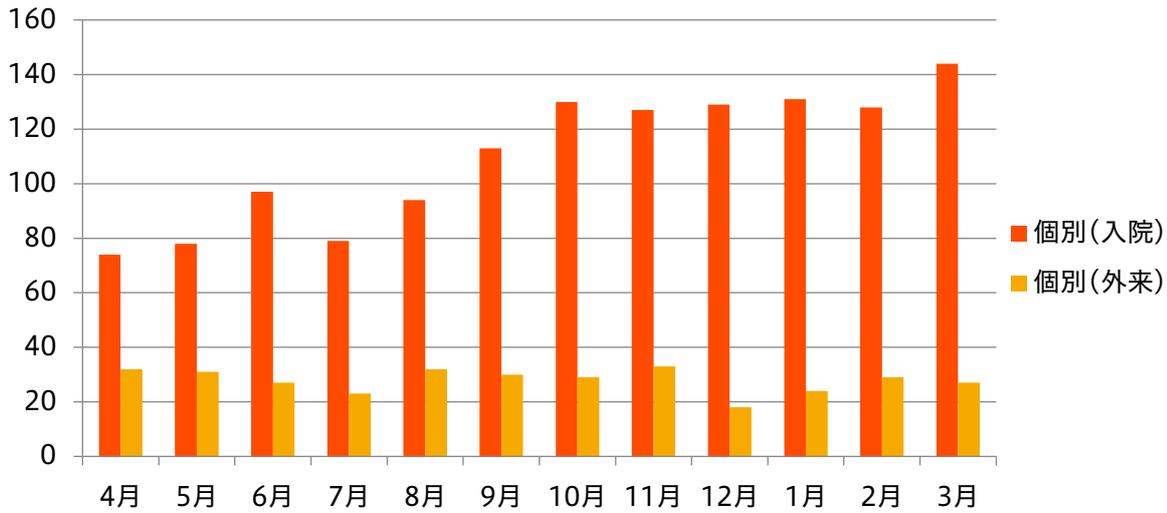
氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士
当真結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム専門療法士

氏名	認定・資格名
高屋美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士
棚原佳世	沖縄県地域糖尿病療養指導士
中村 詩	沖縄県地域糖尿病療養指導士
末吉 花穂子	沖縄県地域糖尿病療養指導士

運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

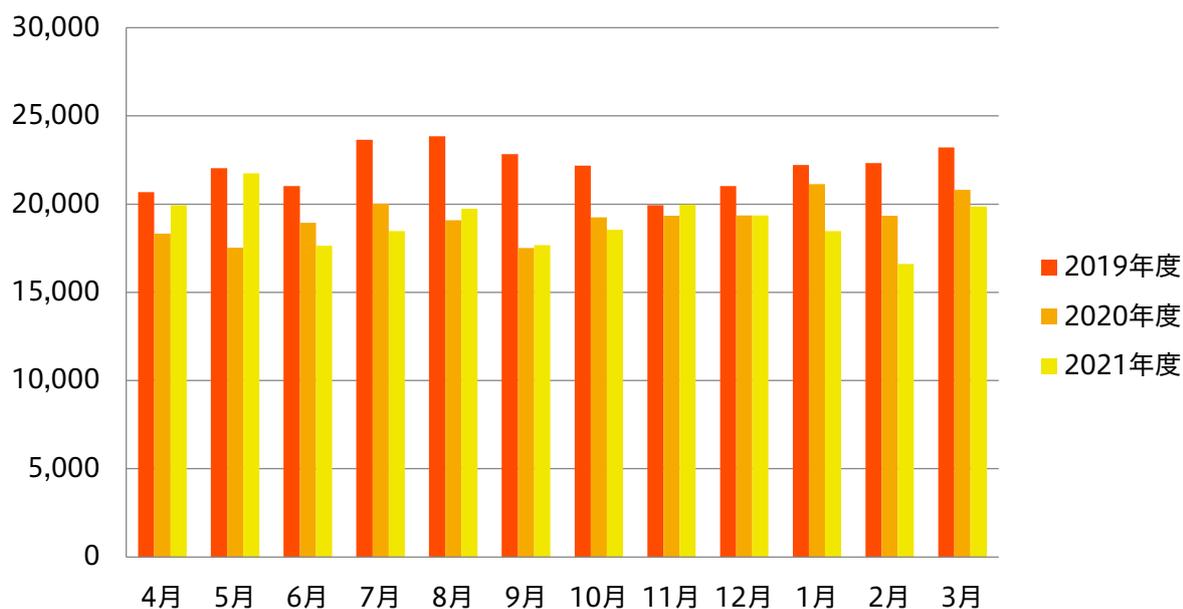
2021 年度栄養指導実施件数



- 外科
- 形成
- 産婦人科
- 小児科
- 整形外科
- 透析科
- 内科
- 脳外
- 救急科
- 耳鼻科
- 泌尿器科
- 眼科
- 乳腺外科

- 外科
- 産婦人科
- 小児科
- 透析科
- 内科
- 脳外
- 泌尿器科
- 眼科
- 整形外科
- 救急科
- 形成
- 乳腺外科

2019年度から2021年度 年間食数比較



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
当院における嚥下チームの取り組み	NST フォーラム	WEB	2022年3月26日	當眞 結子

活動実績

科内研修

名称	実施年月日	担当
プラストチラー活用法	2021年4月	高屋
食中毒の3原則について	2021年6月	中村
食札カードに表示について	2021年8月	久場
血液の検査値について	2021年10月	當眞
テイクアウト食中毒	2021年12月	高屋
Drハートについて	2022年3月	中村

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
第59回日本糖尿病学会九州地方会	Web	2021年11月19日	當眞、久場、真栄城
日本消化器病学会	Web	2021年4月15日	久場
早期栄養介入管理加算 算定について	Web	2021年5月	當眞、真栄城
術後の栄養管理×腸内環境	Web	2021年6月10日	真栄城
糖尿病患者に関わるということ	Web	2021年6月15日	高屋
造血幹細胞移植セミナー	Web	2021年6月19日	真栄城、當眞
創傷治癒を助ける栄養素	Web	2021年6月	久場、真栄城、中村、末吉
がん治療におけるオーラルマネジメント	Web	2021年7月7日	高屋
糖尿病療養指導をめぐる最近のトピックス	Web	2021年8月17日	當眞
脳卒中急性期栄養管理における血糖変動	Web	2021年9月22日	久場、中村、末吉
がん液質に取り組む	Web	2021年12月17日	當眞、中村
体幹部腫瘍に対する定位放射治療	Web	2022年3月10日	高屋
NST フォーラム	Web	2022年3月26日	真栄城、當眞

薬局

薬局長 大関 秀和

部署紹介

医薬品の新規採用とそれに関わる医薬品情報の整備を行っています。特に年々発売数が増えるがん治療領域で抗がん剤プロトコルの作成、改訂を行っています。患者指導せんなどを活用し、患者指導に力を入れています。ポリファーマシーと言われる多剤併用について、患者持参薬情報などを活用し取り組みを強化しています。

職員数

総数

23名

職種別

薬剤師 19名

一般事務 2名

薬局助手 2名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師
義田育美	NST 専門療法士

薬局理念

薬物療法のプロとして、安全に、安心な治療が受けられるようにサポートします。

目標

1. 医薬品の安全使用と管理の徹底
2. 多職種と連携した適切な薬物治療の推進
3. 新しい知識・技能の習得

2021 年度計画及び実績

項目		実績
薬剤管理指導	指導料1	2,348 件 (380 点)
	指導料2	7,414 件 (325 点)
	麻薬管理加算	255 件 (50 点)
	退院時加算	535 件 (90 点)
無菌製剤処理料		2,338 件 (180 点)
薬剤調整加算		38 件 (150 点)
薬剤総合評価調整加算		75 件 (100 点)
退院時薬剤情報連携加算		69 件 (60 点)
薬学実習受け入れ		1 名
情報配	DI ニュース	4 報
	後発品採用率	92.1% (2021 年 3 月 目標 80%以上)
	厚労省通知	0 報
	メーカーの通知	25 報
	エントランス案内	90 報
教育	がん認定薬剤師	1 名取得予定
学会参加		臨床腫瘍薬学会、日本医療薬学会

採用変更実績

5 月 新規採用：5 品目 採用切り替え：1 品目 採用中止：1 品目

8 月 新規採用：19 品目 採用切り替え：7 品目 採用中止：なし

11 月 新規採用：10 品目 採用切り替え：9 品目 採用中止：9 品目

2 月 新規採用：15 品目 採用切り替え：3 品目 採用中止：3 品目

薬品マスターの新規作成及び、後発品目への切り替え設定を行いました。後発品への切り替えでは、患者セットや医師セット、クリニカルパスなどの修正を行いました。更に各部門への切り替え案内を発行し、電子カルテエントランスにて案内を行っています。

がん管理指導料の自動算定のための設定やインスリン管理画面への登録など、薬品マスターの作成、設定業務は多岐に及びます。

2020 年度に引き続き、多くの薬剤の納入不安定などにより薬品の切り替え業務が多く発生しました。

抗がん剤プロトコール新規作成

内科：9 外科：4 泌尿器科：2 産婦人科：1

文献や製薬メーカーのパンフレットなどを使用し、投与量の設定や支持療法の決定などを行っています。催吐性リスクや血管外漏出時の薬剤レベルなどの確認を行っています。

COVID-19 への対応

COVID-19 に対する治療薬が 1 年間で 5 種類発売となりました。迅速に使用できるよう医師、看護部と調整を行いました。発注方法も厚労省を通じた特殊なシステムを用い、納品までも時間を要する状況でした。COVID-19 ワクチンの発売により、ワクチンの混注業務や保管管理業務などが発生しました。中城村に協力し集団接種への派遣業務、関連クリニックへのワクチン・使用機材等の払出業務を 1 年通しで行いました。

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 新垣 健

2021年度のリハビリテーション科は理学療法士26名、作業療法士11名、言語聴覚士6名で急性期病院として求められるリハビリテーションの提供に努めて参りました。

今年度も昨年度と同様、コロナ禍により、知識や技術向上を目的とした院内外の活動が大きく制限される中、脳血管疾患リハ、運動器疾患リハ、呼吸器疾患リハ、がんのリハ、心大血管リハの施設基準を満たしつつ、呼吸器分野や産科婦人科（ウィーメンズ）、形成外科、等の各専門領域での活動を押し進めて参りました。

2022年度も引き続き感染症対策を図りながら、新人及び新入職者の教育や科内のスペシャリスト育成に出来る限り取り組んでいきます。また、多職種間の円滑な連携を軸に多様なリハビリテーションのニーズに応えられる体制を維持・推進していきます。

職員数

総数 45名

職種別

理学療法士	26名	言語聴覚士	6名
作業療法士	11名	助手	2名

認定・資格

氏名	資格・認定資格
理学療法士	
新垣 健	がんのリハビリテーション研修終了
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修終了
玉栄 優子	がんのリハビリテーション研修終了
金城 勝一朗	がんのリハビリテーション研修終了
波平 静香	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
知花 勝也	がんのリハビリテーション研修終了
仲村 和也	がんのリハビリテーション研修終了
天久 真理子	がんのリハビリテーション研修終了
福地 美香	呼吸療法認定士 がんのリハビリテーション研修終了
弘岡 亮	心臓リハビリテーション指導士
呉屋 絵美里	がんのリハビリテーション研修終了
長嶺 敦司	糖尿病療養指導士 健康運動指導士

氏名	資格・認定資格
作業療法士	
栄野比 智也	がんのリハビリテーション研修終了
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
宮城 奈津希	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
佐々木 正雪	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
大見謝 勝人	がんのリハビリテーション研修終了
渡嘉敷 こずえ	がんのリハビリテーション研修終了
言語聴覚士	
大城 盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
島田 真紀子	がんのリハビリテーション研修終了 認知症ケア専門士（日本認知症ケア学会認定）
比嘉 豊子	がんのリハビリテーション研修終了

理念

患者さんの目標（家庭復帰等）に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネージメントする。

運営方針

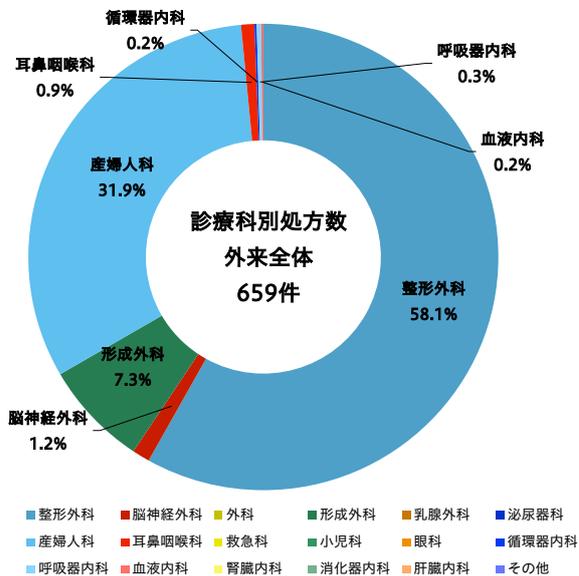
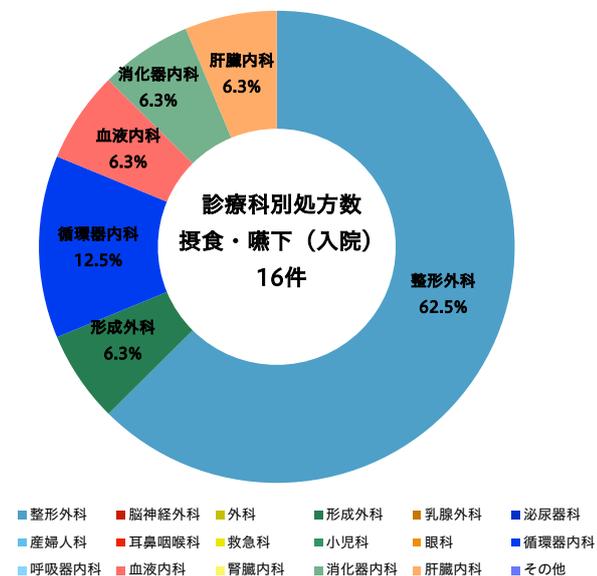
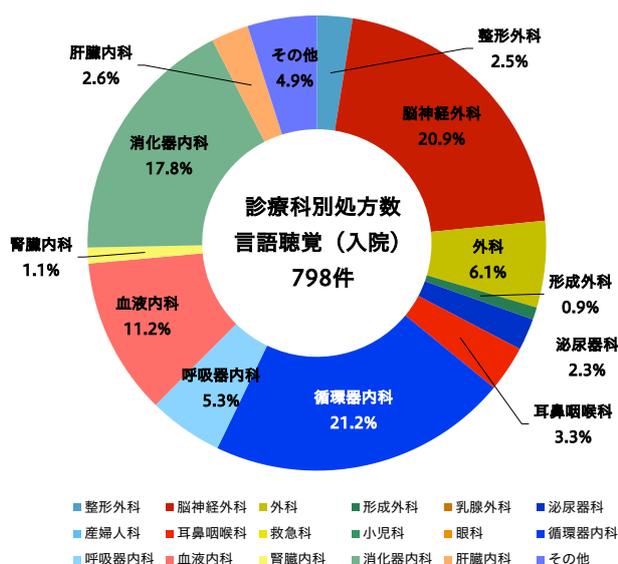
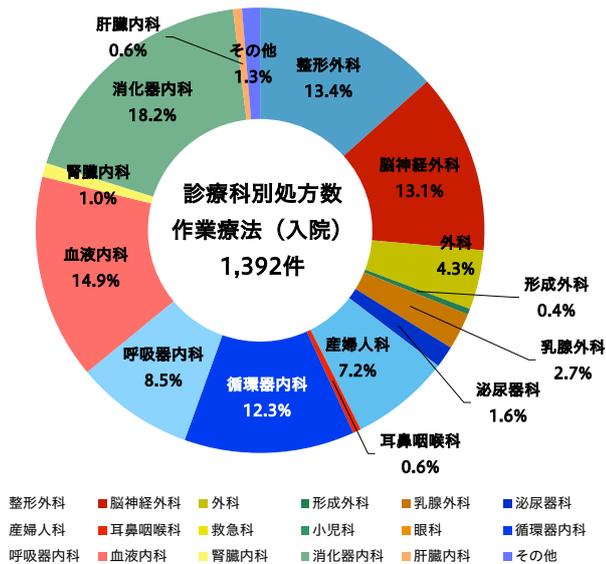
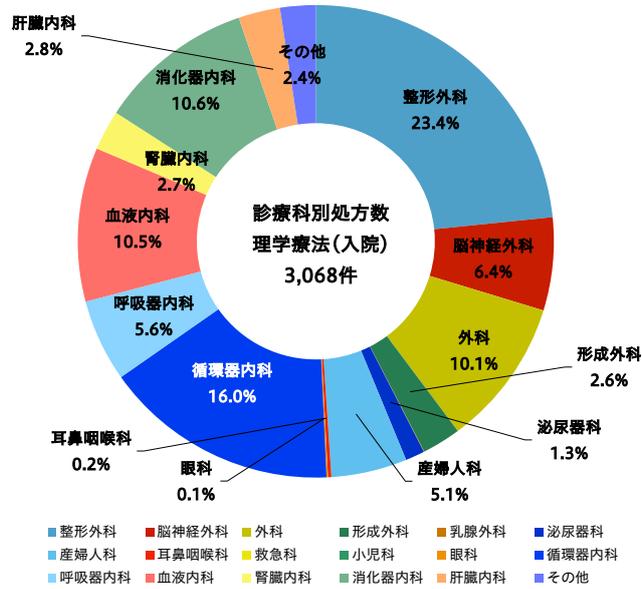
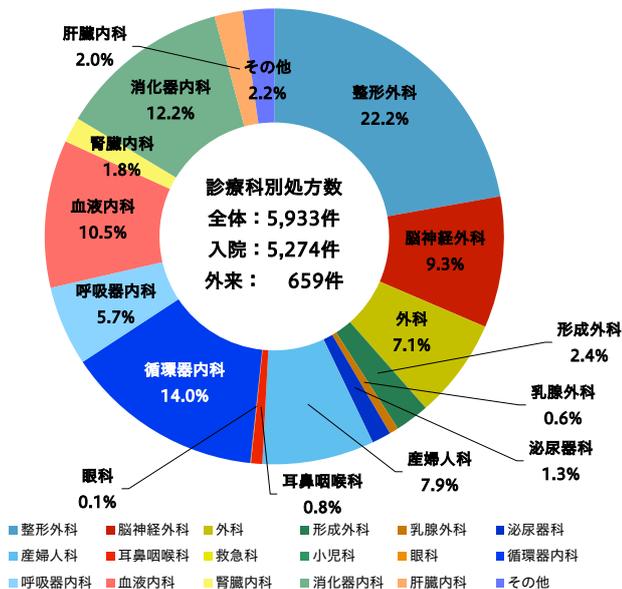
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

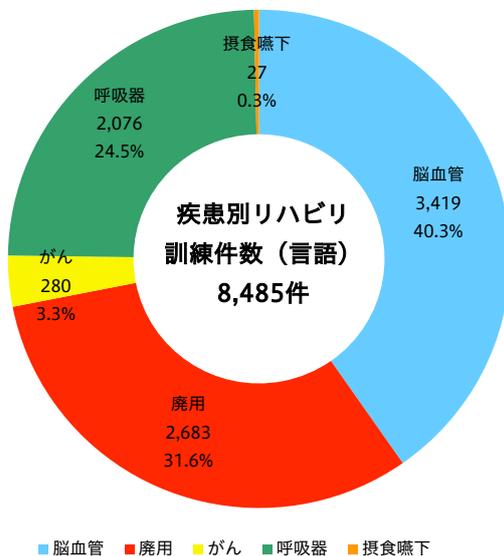
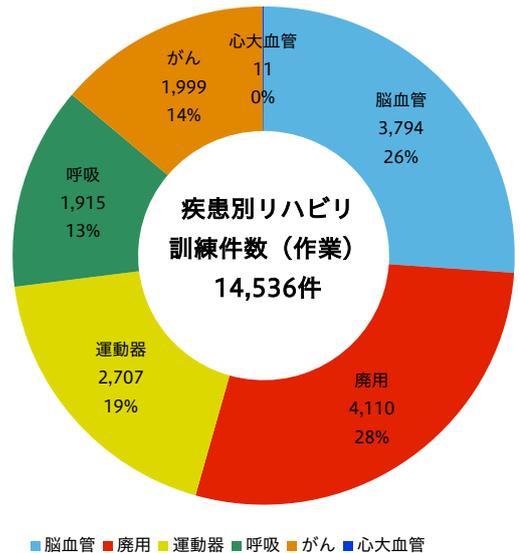
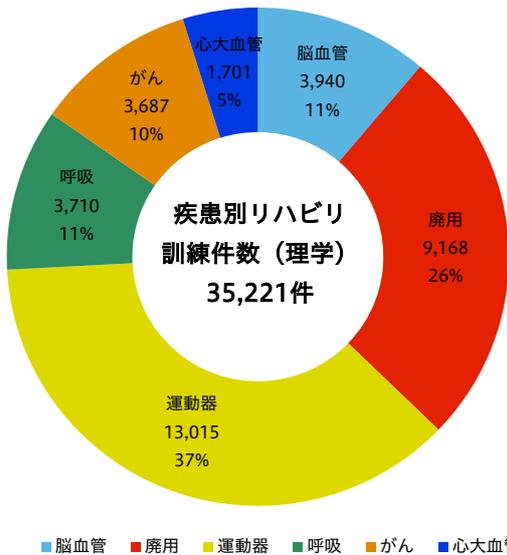
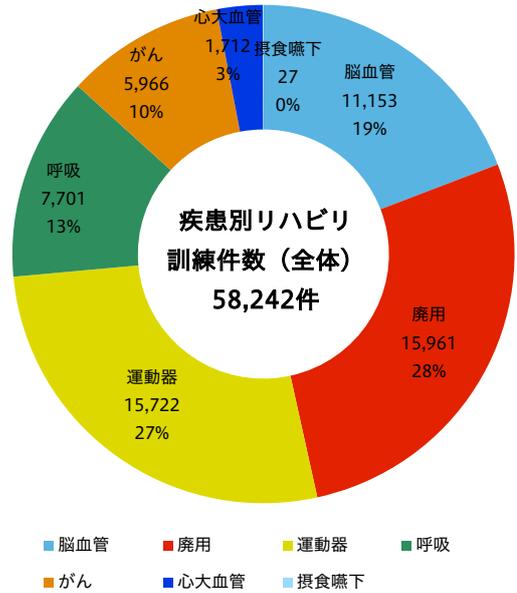
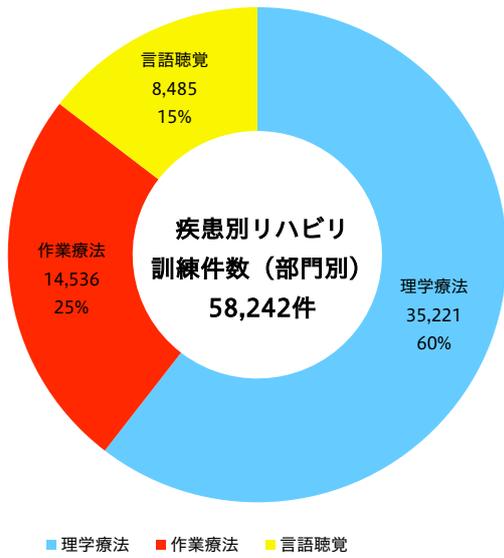
部及び個々の診療技術の向上を目指す

検査・治療実績

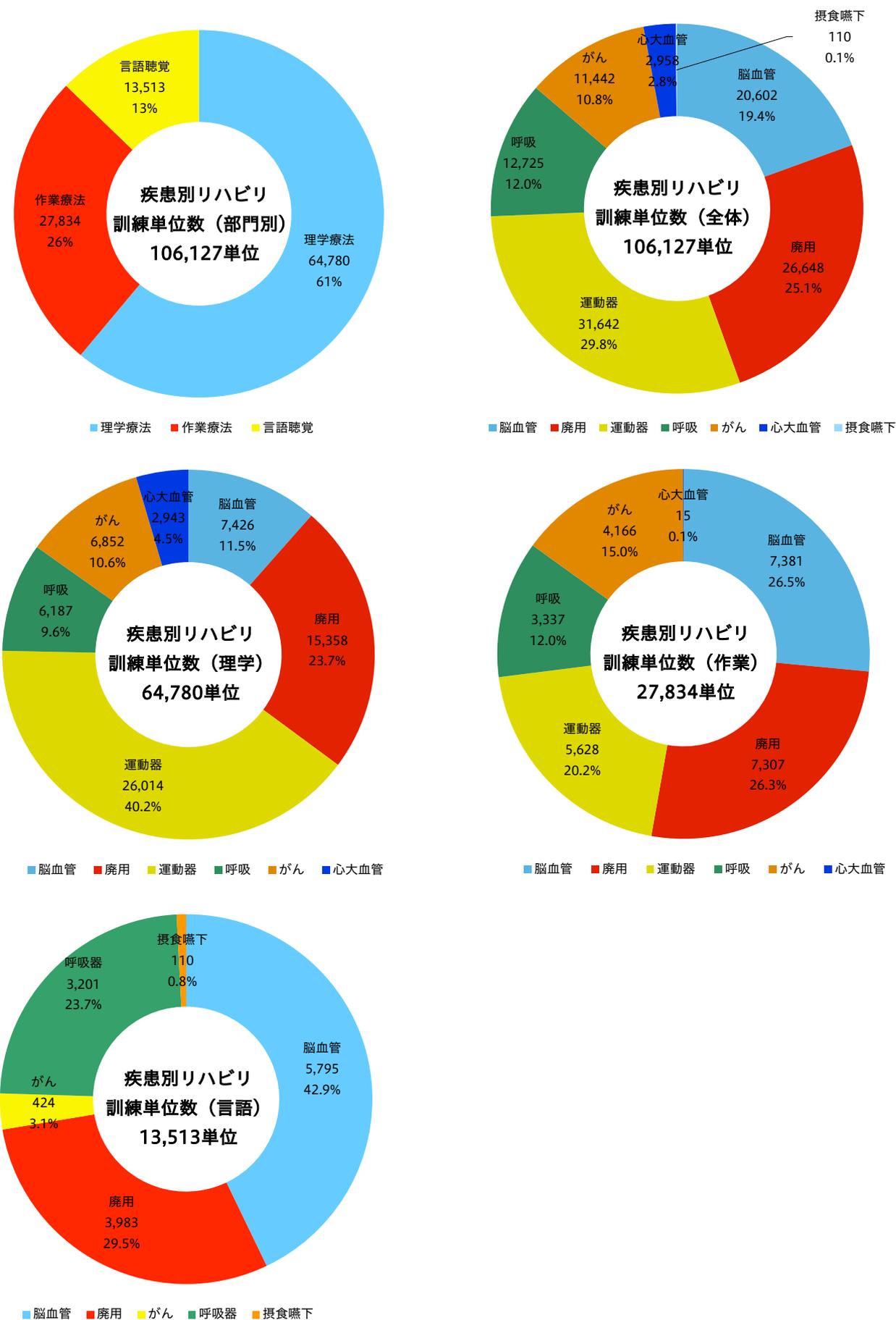
診療科別リハビリテーション処方状況



疾患別リハビリテーション実施状況

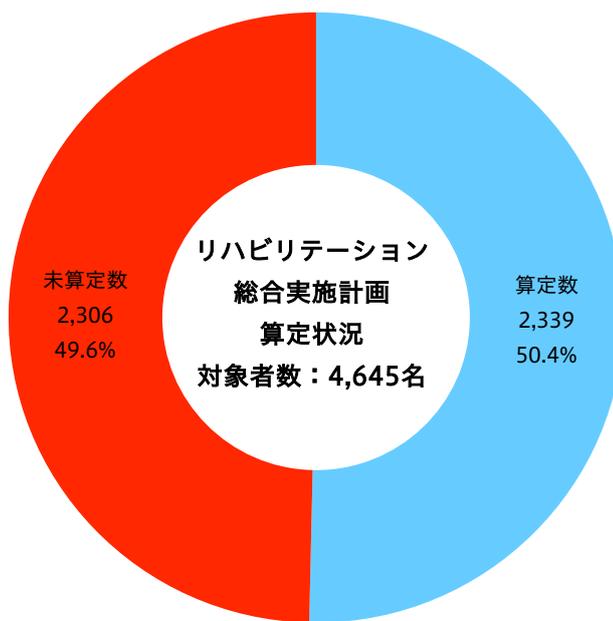


疾患別リハビリ訓練単位数



リハビリテーション総合実施計画

対象患者数	4,645
算定数	2,339
未算定数	2306
算定率	50.4%
未算定率	49.6%
算定点数	701,700
未算定点数	691,800



活動実績

■ 算定数 ■ 未算定数

その他

名称		開催地	年月日	講師
(講師) 摂食嚥下障害と食事介助の基礎知識	新人看護研修	院内	2021年4月1日	大城盛彦
(講師) 移乗動作について	院内講習会(リハ科及び新人看護助手対象)	院内	2021年4月1日	上江洲孝太 田場朗
(講師) 移乗動作について	院内講習会(新人看護助手対象)	院内	2021年10月1日	大湾美紀 上江洲孝太 田場朗 雄谷友輔 金城優菜 嶺井春菜
(講師) トコちゃんベルト(骨盤ケア用品) I/II動画作成	当院産科通院妊婦対象	院内	2022年2月1日	福地美香
(講師) セルフケア用指導用/退院時指導用パンフレット作成	当院産科通院妊婦対象	院内	2022年2月1日	福地美香
(講師) 授乳姿勢指導ポスター作成	当院産科通院妊婦対象	院内	2022年2月1日	福地美香

医療技術部 年度総括



医療技術部部長
宮城 竜也

2021年度は医療技術部も前年度に引き続き新型コロナの影響を大きく受けた年になりました。

2021年度のおおよその事業計画では、新型コロナ流行継続と、コロナ感染収束の2通りの予測を持っていましたが、結果的にコロナ感染流行継続となり、計画していた新規採用の学校訪問等が困難になったため各部署とも新卒確保が困難になりました。

重要課題としていた薬剤師確保は2名採用予定でしたが結果的に1名の採用に留まりました。検査科やリハビリテーション科、栄養科も募集していましたが定数に達せず少ないスタッフで業務に就くことになりました。次年度は積極的な学校訪問に加え、コロナ禍でも着実に職員募集を行えるような方法を模索し、職員募集を待ちの体制ではなく積極的な攻めの体制で進めたいと思います。

2021年度は新型コロナの収束を念頭に置き、各部署とも県内外で学会発表、座長、講師等を計画していましたが、新型コロナは収束することなく大きく蔓延したため、多くの学会が2021年度も中止を余儀なくされ計画はほとんど実行できませんでした。

その中でも一部の学会はリモートを活用し積極的に発表を行なうなど各部署とも大変工夫し努力されていたように思います。

また病院にとって欠かせない必須の加算や、認定維持に必要な資格は各部署とも努力して更新を継続してきました。これは次年度も継続し、コロナ禍でも必要な資格は積極的に取得させたいと考えています。

医療技術部は各部署とも感染防止を強く意識し安全安心な業務への取り組みが行われ、職員の陽性者や濃厚接触者を少なからず出したものの、横への感染を最小限に抑えることができ、業務に支障をきたすような事態は避けられたと思います。これは1人1人が感染防止に注意を注ぎチーム医療を重視した結果だと思われ、高く評価できるものと思われま。

2022年度も新型コロナの流行は継続するとは思いますが、感染対策を徹底し患者さんと職員の安全を第一に業務に取り組みたいと思います。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理者 安村 公均

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者(リスクマネージャー)として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 21 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室 理念

1. 心と心をつなぐ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化の醸成を促進する

2021 年度 目標

1. 安全風土の醸成（インシデント報告件数 150 件／月以上、オカレンスコール定着、医局報告件数 10 件／月以上）
2. レベル 2 以上 400 件／年以下（うちレベル 3 以上 60 件／年以下）
3. 高齢化に伴うインシデント対策強化による（チューブ・ライン関連、転倒転落、スキンケア）事象の低減。
4. スタッフ要因内服関連事象の分析と対策強化

職員数

総数

2 名

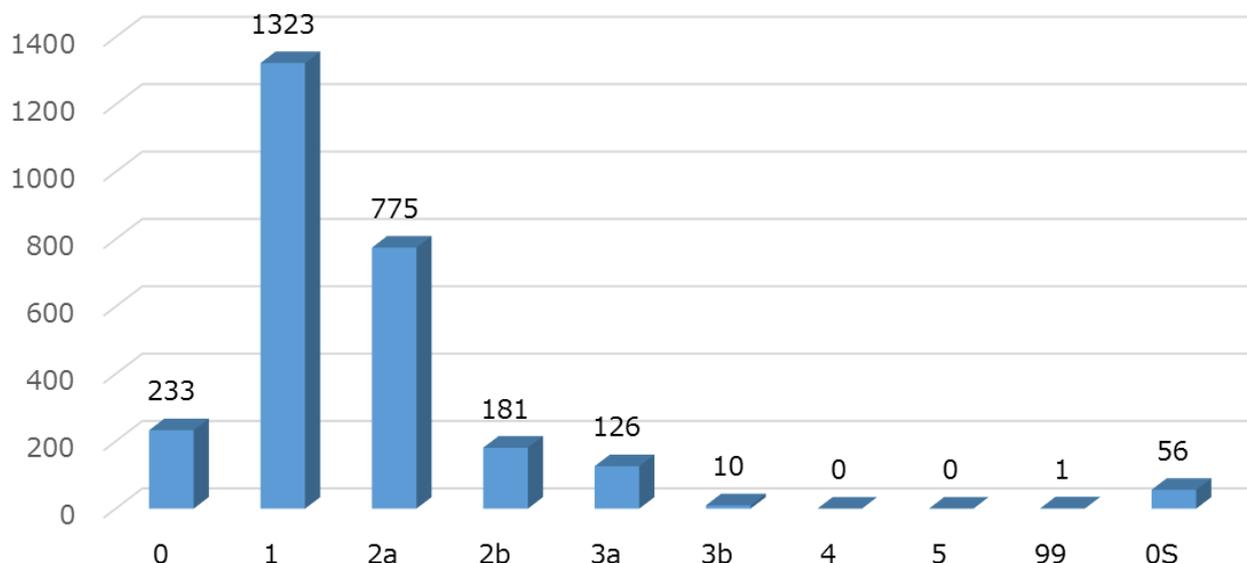
職種別

医療安全管理室 専従看護師 1 名 専従事務 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
安村 公均	医療安全管理者認定

2021年度 事象レベル毎発生件数：2705件

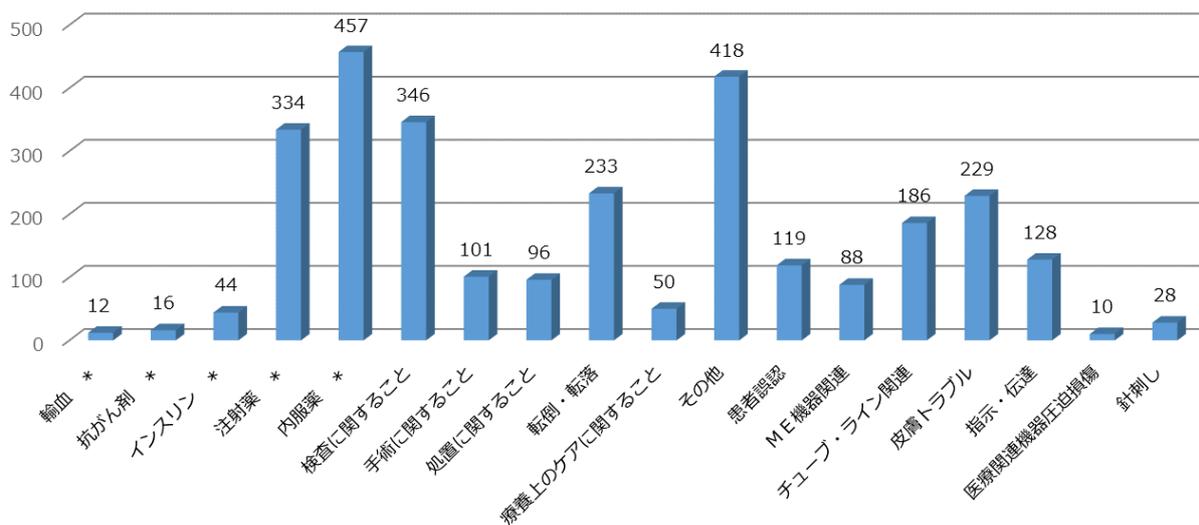


患者影響レベル

- 0: 当該行為が患者に実施される前に気づいた。
- 1: 当該行為が実施されたが患者に変化がなかった【すぐ気づいた為、問題にならなかった】
- 2a: 当該行為が実施され一時的な観察が必要となった【内部調査が必要になった】
- 2b: 当該行為が実施され検査が必要となった【内部調査に加え患者家族への対応が発生した】
- 3a: 当該行為のため簡単な治療や処置を要した【患者家族へ病院として謝罪や説明が必要になった】
- 3b: 当該行為のため濃厚な治療や処置を要した【患者家族へ謝罪に加え何らかの保障が必要になった】
- 4: 当該行為により障害が残った
- 5: 当該行為が死因となった
- 99: その他(原因不明)
- OS: 患者サポート

※「OS」は当院独自の基準で患者サポート委員会で検討し対応を協議しています。

2021年度 事象区分毎発生件数



医療安全管理室 年度総括



医療安全管理室
安村 公均

2021年度は、①安全風土の醸成、②レベル2以上400件/年以下（うちレベル3以上60件/年以下）、③高齢化に伴うインシデント対策強化による（チューブ・ライン関連、転倒転落、スキンテア）事象の低減、④スタッフ要因内服関連事象の分析と対策強化を目標に活動しました。

①については、報告件数目標を全ての月でクリアする事ができました。また、全体の約50%が0～1レベルの報告であり、80%が2aと早い段階での報告でした。事象レベルが低い段階で対策検討する風土作りができたと考えられます。しかし、目標にしていた医局からのインシデント報告件数については月平均4.7件と目標に届かず、継続して取り組んでいきます。合併症などを報告するオカレンス報告についても毎月30件程度の報告が得られ、早期に対応する仕組みが維持できました。

②については、1,092件と目標達成には至りませんでした。70%が2aでした。事象後評価への意識が向上した結果との声もあり再評価していきます。事象レベル3以上に関しても136件と目標を達成できませんでした。3b事象についても10件あり、低減に向けて取り組んでいきます。

③についても前年度と比較し、チューブ・ライン関連で186(-70)件でした。スキンテア229(+69)件で、転倒転落は233(+40)件でした。要因分析を強化し、低減に向けての取り組みを継続していきます。

④については、事象レベルが低い段階での報告が増えたこともあり、340(+56)件でした。内服に関連した事象が一番多く、要因の分析とスタッフ要因の事象低減に向けて継続して取り組んでいきます。

次年度は、①インシデント報告件数150件/月以上。②オカレンス報告の定着。③医局報告件数10件/月以上。④内服における事象低減300以下/年。薬剤部払い出し事象5件以下/月。⑤レベル2以上800件/年以下(2a→650件、2b→150件)。レベル3以上100件/年以下(3a→90件、3b→10件)。⑥高齢化に伴うインシデント分析対策強化を目標に掲げ取り組んでいきます。

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室 城間 克也

感染対策管理室は平成20年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、専従看護師が配置されました。感染対策教育は、全職員を対象とする講習会を年2回実施。他には、新人教育、研修医研修、看護部中堅研修、助手研修、部署別研修、手指衛生改善活動などを実施しています。

抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を平成30年に立ち上げ、検査技師1名が業務専従のため感染対策管理室に配置されました。抗菌薬適正使用や耐性菌発生抑制への各取り組みをASTの中心となり活発的に活動しています。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、感染対策に関する問題や課題を挙げ、必要な指導や教育、感染対策マニュアルの見直しや改訂などを通し改善活動を行っています。サーベイランスで得られた情報や結果を基に、ICT耐性菌ラウンドやAST抗菌薬適正使用ラウンドを実施。続けてICT/ASTミーティングを行い現場での感染対策実践や適正な感染症診療への支援に繋がっています。

看護部、医療技術部、事務部の各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会の企画運営を行い、全職種で感染対策に挑む体制作りとその実践を遂行しています。

感染管理対策室 理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

3名

職種別

専従看護師 1名

専従検査技師 1名

一般事務 1名

認定・資格

氏名	認定・資格名
城間 克也	感染管理認定看護師

氏名	認定・資格名
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物学)

活動実績

2020年度の目標と実績 (実績 / 目標)

MRSA 院内発生	34件 / 50件以下
針刺し切創・粘膜汚染	23件 (22・1) / 15件以下
アルコール製剤使用達成度 (推奨使用量に対し)	88.5% / 100%以上

血液培養汚染率	1.6% / 3.0%以下
血液培養複数セット採取率	96% / 90%以上
AUD (抗菌薬使用密度) 2013年度比	9%増 / 20%減

主な活動

1) 職員教育

- ・AST4 職種（医師、看護師、検査技師、薬剤師）対象講習会 受講率 82.2%【グループセッション、youtube】
- ・全職員対象感染対策講習会（兼 AST 枠） 受講率 81.2%【グループセッション、youtube】

2) 感染委員会の開催

- ・月 1 回定例開催で 12 回の開催
- ・感染小委員会月 1 回定例開催で 9 回の開催（コロナ状況による 3 回の中止）

3) アウトブレイク調査と対策介入

- ・入院病棟における患者及び職員の COVID-19 集団感染 / 濃厚接触者発生への対策介入

4) 職業感染予防および職員フォロー

- ・針刺し事例 22 件への介入（状況調査、解決案検討と提示）
- ・結核患者 3 症例発生に対し、職員接触者検診 47 名フォロー（追跡フォロー対象選定、行政連携など）
- ・職員の COVID-19 濃厚接触者 143 名の就業制限・検査のフォロー

5) 厚生労働省サーベイランス（JANIS）への参加

- ・全入院患者部門サーベイランス（耐性菌）、検査部門サーベイランスそれぞれの集計・管理・報告

6) 感染防止対策加算における連携施設との活動

- ・加算 1 施設間の相互ラウンド、加算 1・2 施設間のカンファレンスの実施（オンライン開催）

7) AST 活動

- ・菌血症患者のモニタリング・介入
- ・血液培養の 1 セット提出と汚染事例の監視と介入
- ・届出抗菌薬バンコマイシン・チエクール・メロペン使用のモニタリング、チエクール・メロペンは
- ・AST 多職種カンファレンスを実施（323 件介入し 262 件提案採用、介入採用率 81%）
- ・整形外科膝手術クリニカルパス改訂（術前・術中抗菌薬投与に関する見直し、術前 MRSA スクリーニングと除菌）、運用開始
- ・主要な菌の院内アンチバイオグラム報告
- ・連携先クリニックへ推奨経口抗菌薬の資料案内及びアンケート（経口抗菌薬使用状況と案内による行動変化有無）を実施、対象 17 施設中 8 施設回答（回答率 47%）

8) 新興感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症に対する法人対応の整備、院内関係部門や委員会との調整、現場対応指導・指揮、院外機関や行政・法規などへの対応や調整

研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
第16回沖縄県感染管理認定看護師会会議	沖縄県看護協会	2021年7月3日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也
第17回沖縄県感染管理認定看護師会会議	沖縄県看護協会	2021年10月2日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也
沖縄県看護協会研修「感染管理の基礎」	沖縄県看護協会	2021年5月31日	沖縄県看護協会	城間克也(講師として)
沖縄県看護協会感染管理認定看護師教育課程講義「集中治療室における感染予防策」	沖縄県看護協会	2021年7月28日	沖縄県看護協会	城間克也(講師として)
第91回日本感染症学会西日本地方学術集会	岐阜県	2021年11月5日	日本感染症学会	友寄未希(一般演題)
第55回日臨技九州支部医学検査学会	沖縄県	2021年11月6日	日本臨床衛生検査技師会	宮城健(一般演題)
第18回沖縄県感染管理認定看護師会会議	沖縄県看護協会	2022年3月6日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也
北中城若松病院 COVID19 報告会	北中城若松病院	2022年3月10日	北中城若松病院	城間克也(講師として)

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策新入職オリエンテーション	当院	2021年4月1日	城間克也	新入職者全員
看護部入職者研修 療養環境と感染対策、PPE着脱、手指衛生	当院	2021年4月6日	城間克也	看護部新入職者
看護部入職者研修 針刺し事故の対応	当院	2021年4月13日	城間克也	看護部新入職者
看護部新人3ヵ月フォロー研修 接触感染予防策、血液培養検査について	当院	2021年6月25日	城間克也	3ヶ月目新人看護師
看護部2年目フォロー UP 研修 血液培養検査について	当院	2021年8月13日	城間克也	2年目看護師
看護部新人6ヵ月フォロー研修 血液培養検査・実技編	当院	2021年9月10日	城間克也	6ヶ月目新人看護師
看護部3年目フォロー UP 研修 血液培養検査について	当院	2021年9月24日	城間克也	3年目看護師
2021年度全職員対象感染対策講習会	当院	2022年2月1日	宮城健	全職員対象
看護部新人1年目フォロー研修 カテーテルと医療関連感染	当院	2022年3月16日	城間克也	1年目新人看護師

2022年度目標

- ・ MRSA 院内発生 50 件以下
- ・ アルコール製剤使用達成度(推奨使用量に対し) 100% 以上
- ・ 手指衛生遵守率タイミング① 80% 以上
- ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染 15 件以下
- ・ 血培汚染率 3.0% 以下
- ・ 血液培養複数セット採取率 90% 以上
- ・ AUD(抗菌薬使用密度) 2013 年度比 20% 減

感染対策管理室 年度総括



感染対策管理室
城間 克也

世界的に大流行した新型コロナウイルスと1年以上も対峙し、2021年度も変わらず変異株出現のたびに新たな流行へ立ち向かっていった年度でありました。院内感染発生などの経験からCOVID-19への濃厚接触感染防止策をその都度アップデートしていき、職員への指導や実践確認を行ってきました。ただし2022年1月以降の主流株となったオミクロン株は感染力が強く、職員に多くの感染者や濃厚接触者が発生してしまいました。患者・職員の安全と安定した事業継続を目的に、院内感染を防ぎ、または最小限に食い止めるよう引き続き濃厚接触防止の徹底強化を続けてまいります。

コロナ対応に追われる中、職員への感染管理教育や現場・実践確認が不十分となってしまいました。コロナ禍以前は、看護部職員の手指衛生改善活動も軌道に乗り“手指衛生順守率の向上”や“手指衛生エタノール製剤使用量UP”も図れていましたが、コロナ禍以降は活動はおろか評価も十分に出来ない状態に陥ってしまいました。次年度は、コロナ対応と両立した通常業務遂行や教育・サーベイランス活動を計画し実行していきます。

抗菌薬適正使用支援チーム(AST)は院外まで活動の範囲を広げつつ、昨年度の課題について取り組んで参りました。適切な検体採取については血液培養の各指標が2020年度の段階で良好であり監視を毎月から6カ月毎に変更、その後も介入の強度を下げて結果は良好で維持していました。

静注抗菌薬の使用密度は269と目標の194.6以下を達成できませんでした。特に広域スペクトラムのカルバペネム系抗菌薬(チエクール、メロペン)の増加が認められ、2021年1月からAST多職種カンファレンスを開始し介入を強化しています。

経口抗菌薬の適正使用推進を目的とし始めた連携先クリニック17施設へのアンケート調査では8施設から回答を得られました。アンケートでは、経口抗菌薬の推奨に関する資料を案内した後の急性気道感染症と尿路感染症について経口抗菌薬の処方状況を調査しました。その結果、腸管からの吸収率が悪いため臨床的有効性が期待できない第3世代セファロsporin系抗菌薬や尿路感染症で大腸菌の耐性化が問題視されるキノロン系の抗菌薬を処方する施設が散見されました。調査の結果は参加した全施設にフィードバックしており来年度も引き続き調査を行っていきます。

引き続き抗菌薬の適正使用の提案を通じ、患者へ理論的な抗菌薬療法の提供と安全で効果的な感染症治療を達成できるよう取り組んで参ります。

新年度もICT・ASTの実働部隊が感染制御と抗菌薬適正使用支援という大きな役割を全うし、法人における医療の質の改善に寄与していきます。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室 当真 結子

栄養サポート（以下NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1名

職種別

栄養サポート室 管理栄養士 1名

認定・資格

氏名	認定・資格名
当真結子	栄養サポートチーム専門療法士 日本臨床栄養代謝学会

NST 回診&カンファレンスについて

NST 対象患者選択

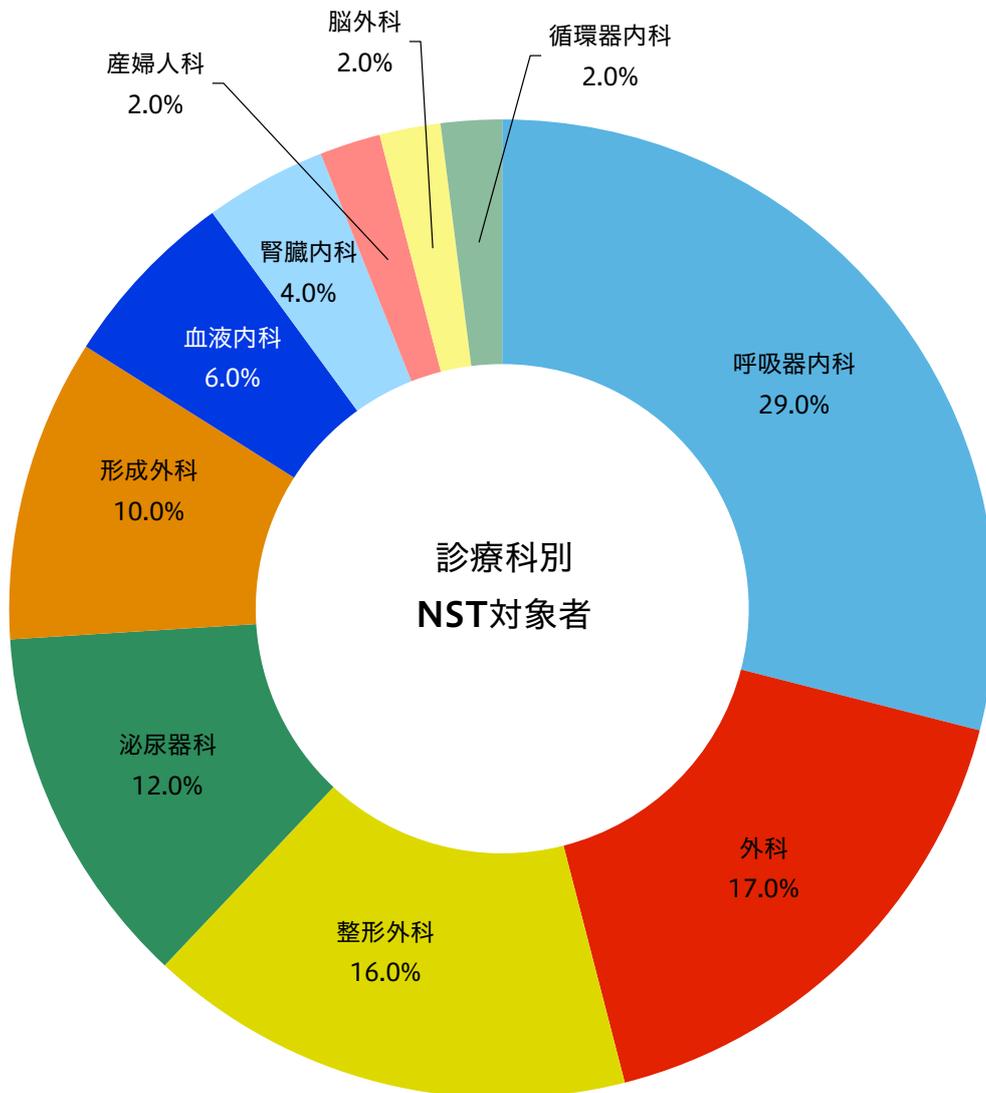
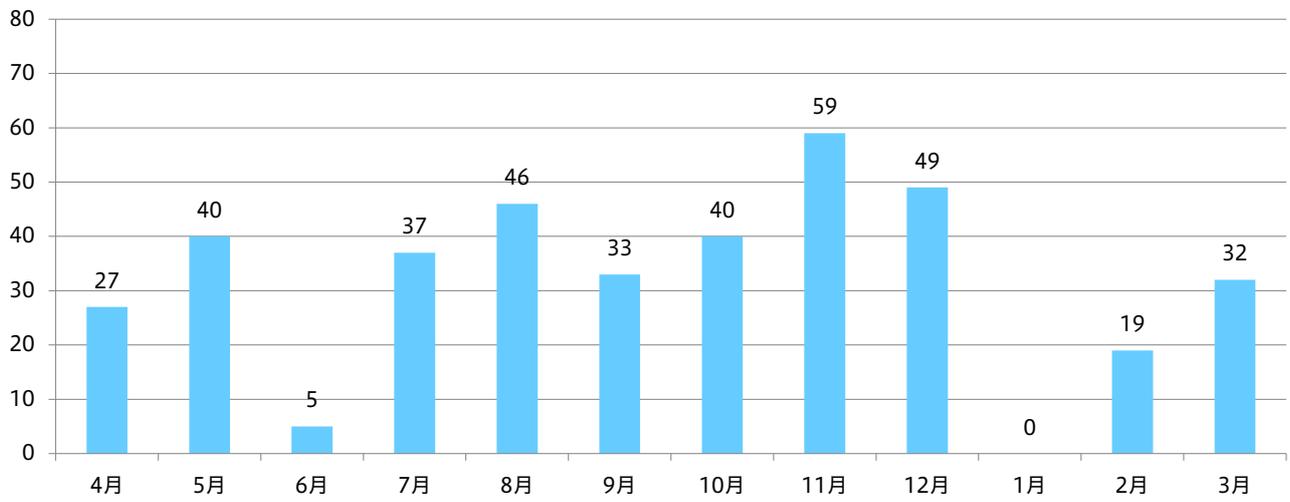
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

NST 加算件数



活動実績

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日
NSTの新世界	大塚製薬工場	オンライン	2021年6月29日
GFOについて	阿嘉先生	院内	2021年11月22日
第15回沖縄NSTフォーラム	大塚製薬工場	那覇	2022年3月26日

栄養サポート室 年度総括



栄養サポート室
當眞 結子

2021年度は、外科部長を栄養サポート室委員長、外科医師1名、消化器内科医師1名を副委員長とし、看護師27名、医療技術部12名、事務部1名の構成でした。栄養サポート室では全入院患者さんの中から、採血結果Alb値3.0g/dL以下の方をカンファレンス対象者としてリスト作成を行い、そのリストからリンクナースにより選出された患者さんを毎週月曜日にカンファレンス及び病棟回診を行っています。毎月第2月曜にはNST委員会も実施しています。

カンファレンスでは、適切な静脈経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量を検討し、主治医や病棟スタッフに対し提案・助言を行い、フィードバックを重ねる事で栄養状態の改善に努めました。

また、第15回沖縄NSTフォーラムにて症例発表を行い、当院の活動を報告できました。その他にも、創傷カンファレンスへ参加し褥瘡委員会と協働で活動する事で褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

平成30年度に設立された嚥下チームへも参加し、毎週木曜日の病棟ラウンドとカンファレンスにて高齢や様々な疾病により食べる機能が低下した患者さんが「食べる楽しみ」を得られるように支援しています。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む34名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP）関連や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がんや大腸がんに対してESD（内視鏡的粘膜剥離術）を取り入れています。

職員数

総数 34 名	看護師	17 名
職種別	（うち内視鏡技師 I 種 1 名、 内視鏡技師 II 種 3 名）	
指導医 4 名		
専門医 8 名	助手	4 名
その他 1 名		

担当医師

	氏名	学会認定など
名誉院長	奥島 憲彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
院長	佐久川 廣	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内視鏡部長・内視鏡センター副センター長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本内科学会指導医

	氏名	学会認定など
予防医学センター 副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医 日本内科学会認定内科医
消化器内科部長 5階病棟医長	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医
大腸・肛門外科部長・ 医局長	阿嘉 裕之	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医
肝臓内科副部長	圓若 修一	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
消化器内科医長	仲舛 拓	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医
	洲鎌 理知子	
	小橋川 ちはる	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医
	川満 美和	日本消化器内視鏡学会専門医

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に応える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

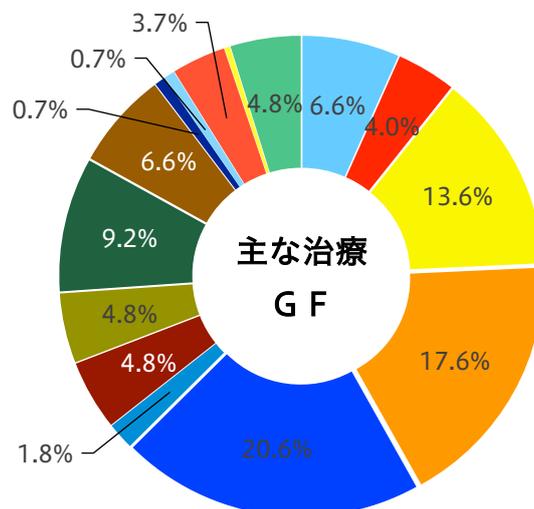
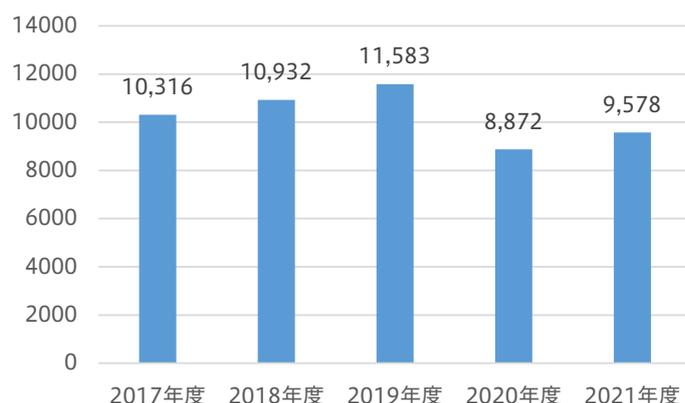
検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

種別	合計
胃内視鏡	9,758
大腸内視鏡	2,838
ERCP	235
小腸内視鏡	1
気管支鏡	61
上部消化管 (内訳)	
止血術	18
EMR	11
EVL	37
EIS	0
食道狭窄拡張術バルーン	48
食道狭窄拡張術ブジー	56
食道ステント留置術	5
焼灼術	13
異物摘出術	13
胃瘻造設術	25
粘膜下層切開剥離術	18
マーキング	2
イレウスチューブ挿入	2
POEM	10
超音波内視鏡	13

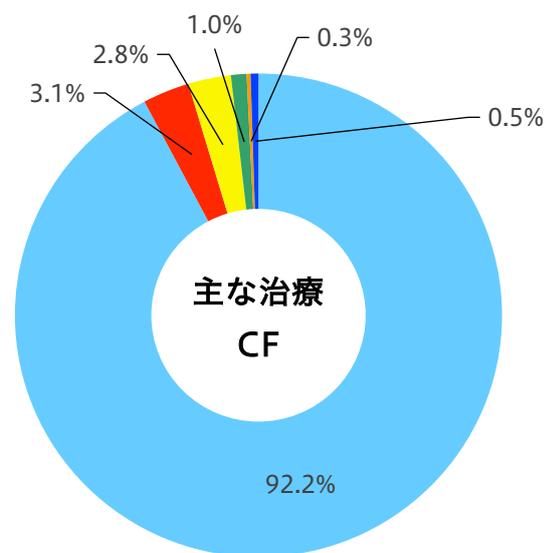
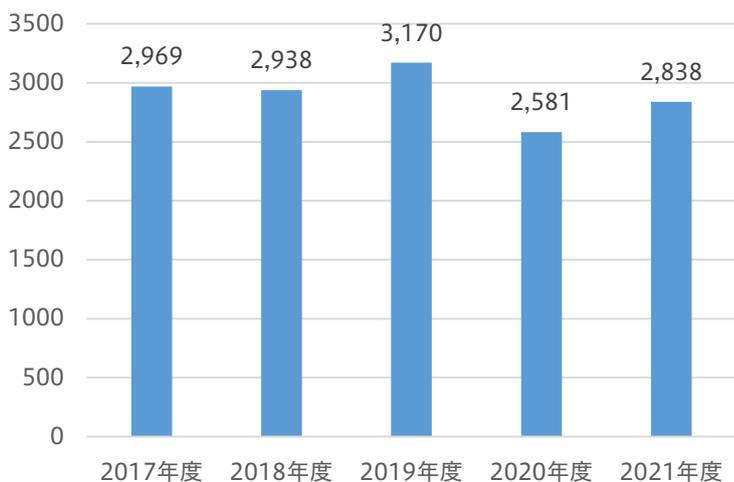
下部消化管 (内訳)	合計
EMR	357
止血術	12
直腸狭窄拡張術	0
異物摘出術	1
超音波内視鏡	0
粘膜下層切開剥離術	11
マーキング	3
イレウスチューブ挿入	4
ステント	1
整復術 (腸捻転)	2
胆道・膵管 (内訳)	
乳頭切開術 (EST)	45
乳頭拡張術 (EPBD)	26
総胆管結石砕石 / 採石術	71
経鼻胆管ドレナージ (ENBD)	7
胆管 stent	172
膵管 stent	59
超音波内視鏡	3
ENPD	1
気管支鏡	
経気管支肺生検 (TBLB)	38
肺胞洗浄 (BAL)	11
気管 / 気管支ステント留置術	0
異物摘出術	0

GF 件数



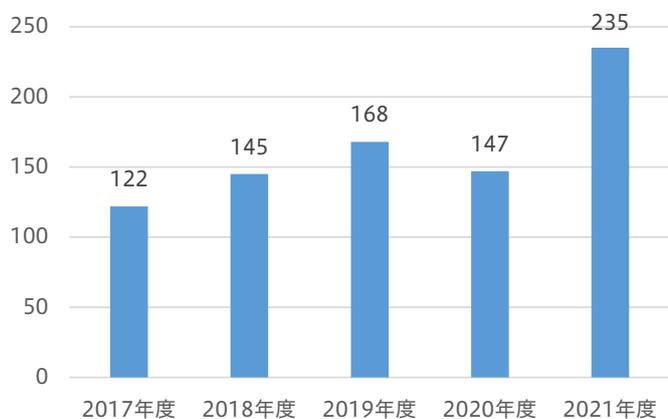
- 止血術
- EMR
- EVL
- EIS
- 食道狭窄拡張術バルーン
- 食道狭窄拡張術ブジー
- 食道ステント留置術
- 焼灼術
- 異物摘出術
- 胃瘻造設術
- 粘膜下層切開剥離術
- マーキング
- イレウスチューブ挿入
- POEM
- ステント
- 超音波内視鏡

CF 件数

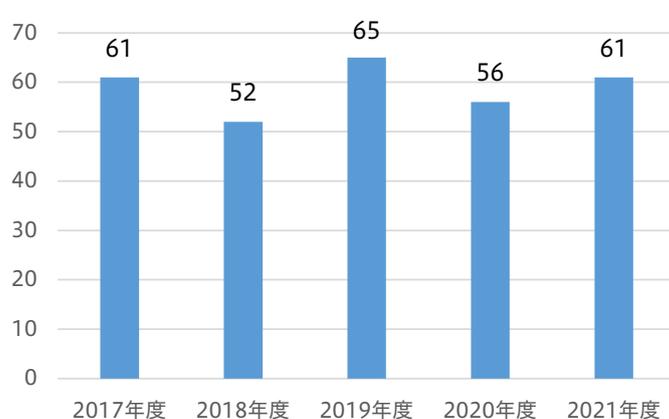


- EMR
- 止血術
- 粘膜下層切開剥離術
- イレウスチューブ挿入
- ステント
- 整復術（腸捻転）

ERCP 件数



BF 件数



内視鏡センター 年度総括



内視鏡センター長
折田 均

2021年の内視鏡件数は新型コロナウイルスの影響を受けた昨年より増加しました。しかし、今年も依然としてコロナウイルスは県内において蔓延している状況です。これまで得られた経験より、十分な感染対策を講じて検査を行って参ります。また、沖縄県の大腸がん死亡率の高さを考えますと、下部内視鏡検査の件数を増やせる体制を今後整えていくべきであると考えます。

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 大城 義人

2021年4月に予防医学センター長を拝命し、ちょうど一年が経ちました。掲げられてきた「受診者の視点にたった人間ドック健診」（「受診者目線のドック健診」）という基本理念を継続し、受診した皆様、ご自身の心身について「安心」と「勇気」を少しでも得られるように努力しております。

私たち予防医学センターは、お一人でも多くの地域の皆様に人間ドック健診を受けて頂き、病気をできるだけ早期に発見し早期治療につなげられるよう、また、心臓病・脳卒中・心不全・血管疾患・腎臓病等の発症を予防し、生活習慣病を抱える方々が安心して日常生活を送り、健康長寿が実現できるようお手伝いさせていただく場を目指しております。受診者目線で個々人の現実の日常生活にできるだけ即した対策を実行できるよう考え提案し、心身両面においてサポートできるよう心がけております。

当センターは、人間ドック健診専門医・指導医、看護師・保健師・放射線技師・臨床検査技師・医療クラーク・医療事務の各職員が、皆で一体となりチーム医療を実践していこうという場所です。そして消化器内科や産婦人科・放射線科・脳神経外科・循環器内科・眼科の各科専門医・スタッフの直接参画のプラットフォームとなり献身的なご協力を得ながら、受診後は指摘された異常について放置する事なく勇気を持って受診できるよう、当院診療科や近隣他施設とネットワークを作って繋がり、専門医・コメディカルスタッフの支援・連携をさらに強化しようとしております。

当センターは、2015年に人間ドック健診専門医研修施設となりました。また、2018年12月には本館8階全体が人間ドック健診専用のフロアとなり、広い空間で眺望よく快適に安心して受診できるようにリニューアルしました。2021年には人間ドック健診施設機能評価において、優秀賞を受賞するに至り、年間総受診者数は徐々に増加しました。しかし、コロナ禍によって受診者数制限を余儀なくされ、受診者の皆様にはご不便をおかけしておりますが、標準的対策を確実に行いつつ、感染状況に応じて柔軟に対応し、受診者の皆様のご期待に応え、築かれた信用を維持できるよう謙虚に日々励んでいきたいと思っております。

施設認定

- ・ 日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価認定
- ・ 全日本病院学会人間ドック実施施設認定
- ・ 特定健診・特定保健指導機関認定

職員数

総数

56名

職種別

医師	10名	臨床検査技師	4名
保健師	5名	一般事務	14名
看護師	14名	クラーク	8名
管理栄養士	1名		

医師プロフィール

役職	氏名	専門分野	学会認定など
予防医学センター長	大城 義人		日本人間ドック学会人間ドック健診指導医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、医学博士
予防医学センター副センター長	宮里 稔	東洋医学、消化器内科（内視鏡検査）	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医
常勤	大城 志乃	内科	日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会認定医、日本内科学会認定内科医、検診マンモグラフィ読影認定医
常勤	福田 暁子		麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、日本医師会認定産業医、日本緩和医療学会緩和医療認定医
常勤	川満 美和		日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤	奥島 しょう子		日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本医師会認定産業医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本人間ドック学会人間ドック健診指導医
非常勤	金城 詩子		日本内科学会認定内科医
非常勤	松元 真紀子		
非常勤	楚南 いずみ		
非常勤	謝花 隆光	消化器内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医

認定・資格

氏名	名称
安次富 道代	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
桃原 勝美	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
友寄 一乃	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
河上 裕一	第1種衛生管理者免許
宮城 さおり	第1種衛生管理者免許

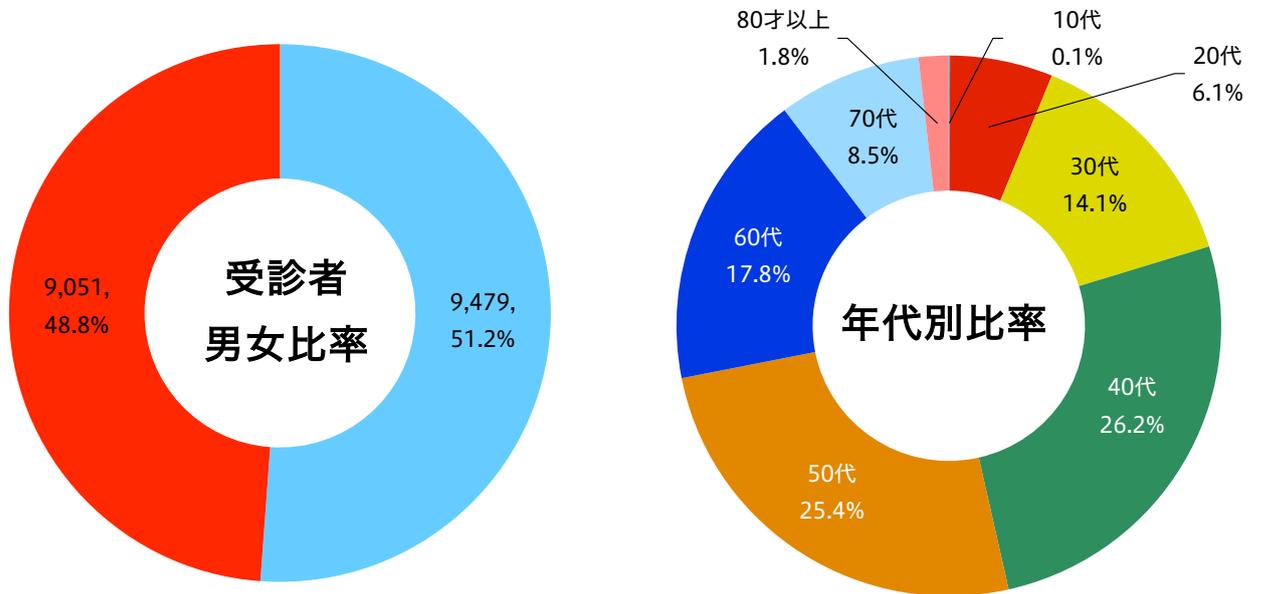
予防医学センター 理念

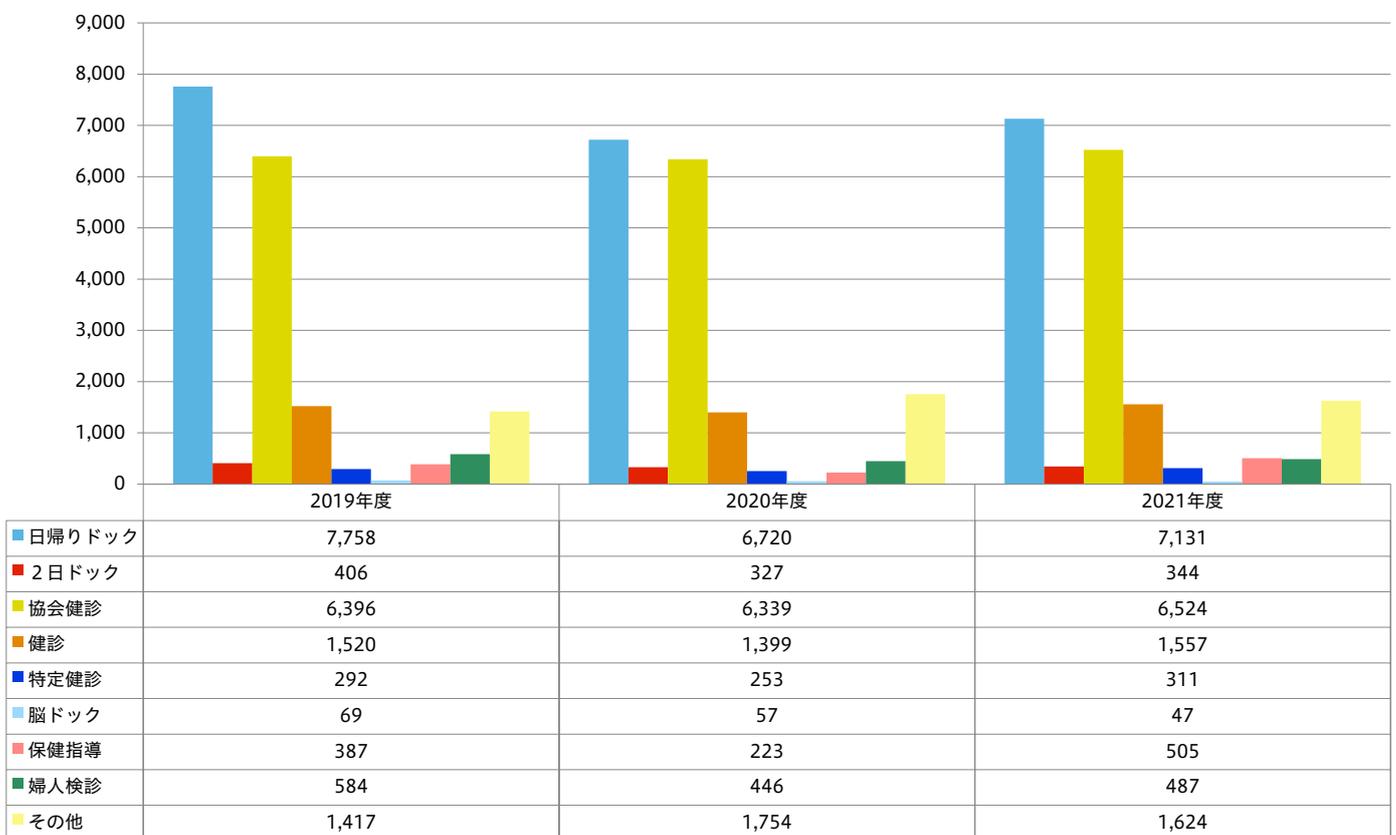
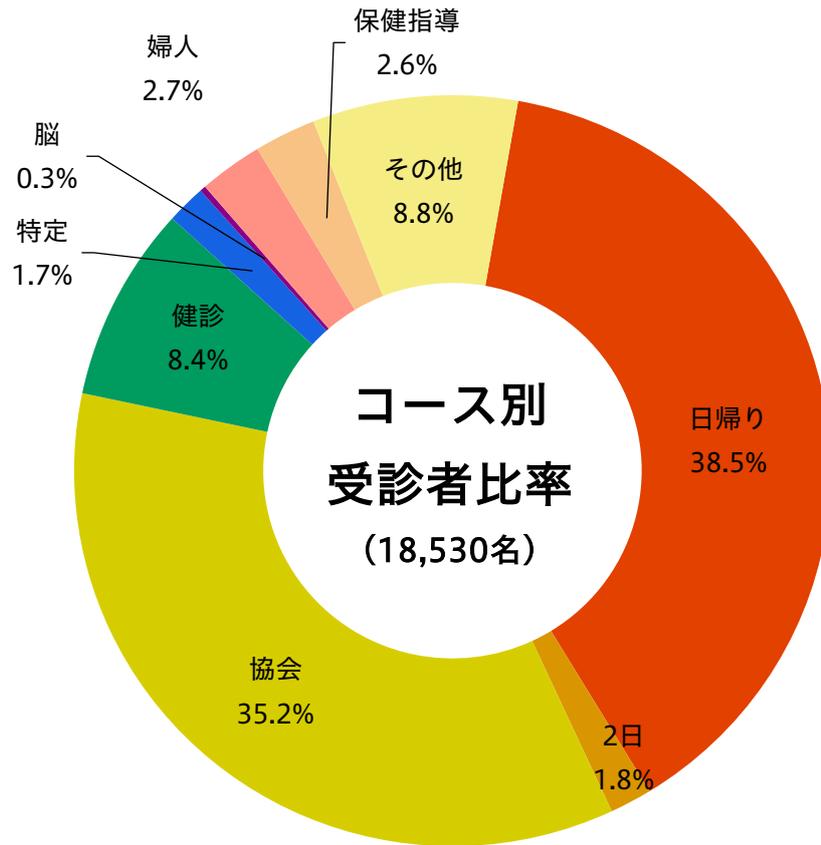
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

予防医学センター 運営方針

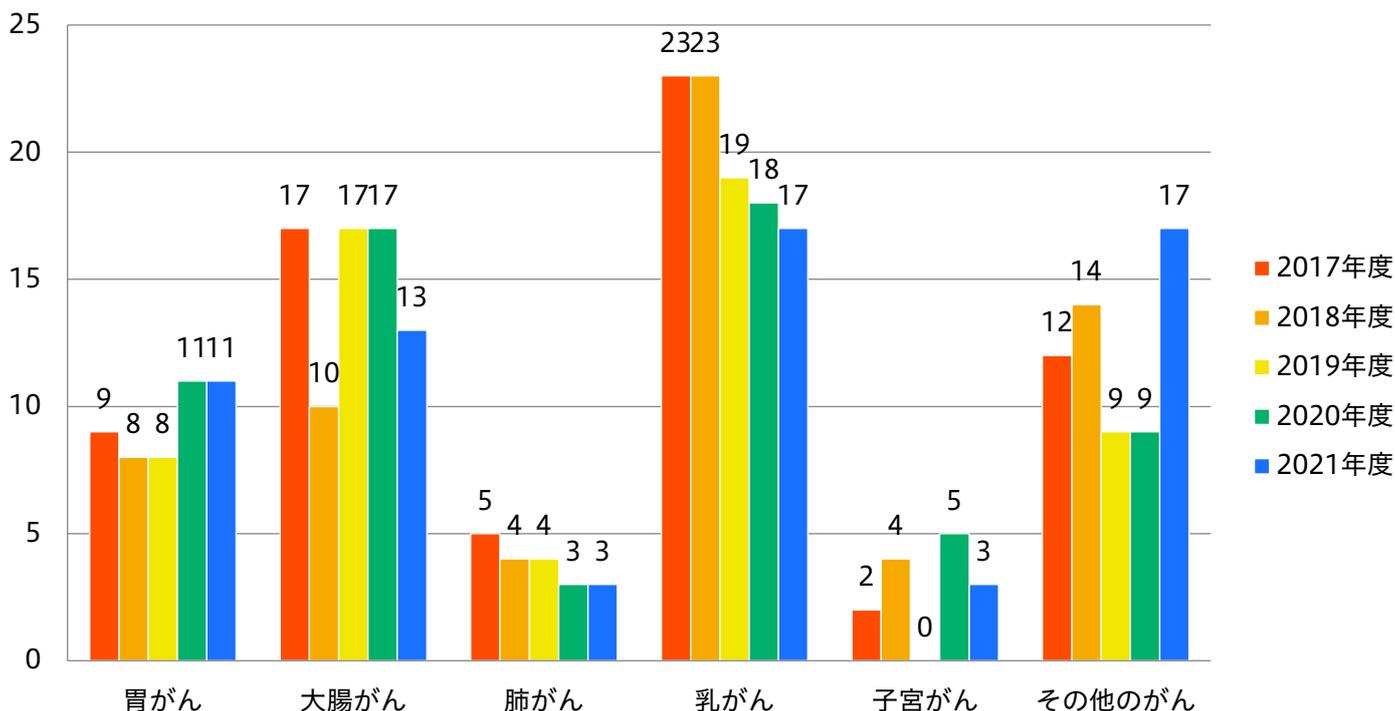
私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします

2021年度 ドック・健診の実績





悪性腫瘍発見数



活動実績

院外研修

演題名	主催 (学会名)	場所	日時	参加者
令和3年度 沖縄県看護協会通常総会	沖縄県看護協会	沖縄県看護研修センター	6月19日	高宮 江利子
日臨技 HP 事前講習会		オンライン	8月	4人
新型コロナワクチン接種基礎研修		琉大病院敷地内	8月21日	4人
栄養指導を結果につなげるセミナー検査値別に効果を出す体内時計の整え方・暮らし方(メタボ編)	一般社団法人 日本家族計画協会	オンライン	10月22日～10月29日	友寄 一乃
あら、できた!現場で使えるナッジセミナー	一般社団法人 日本家族計画協会	オンライン	11月1日～11月30日	安次富 道代
第63回 人間ドック健診情報管理指導士「ブラッシュアップ」研修会	日本人間ドック学会	オンライン	11月2日～11月22日	桃原 勝美
ポリナビワークショップ in 沖縄	沖縄県看護連盟	ロワジュールホテル那覇	11月20日	桃原 勝美
栄養指導を結果につなげるセミナー検査値別に効果を出す体内時計の整え方・暮らし方(血糖値編)	一般社団法人 日本家族計画協会	オンライン	12月10日～12月17日	友寄 一乃
栄養指導を結果につなげるセミナー検査値別に効果を出す体内時計の整え方・暮らし方(血圧編)	一般社団法人 日本家族計画協会	オンライン	1月21日～1月28日	友寄 一乃
宜野湾市特定保健指導従事者研修会「肥満・糖尿病外科治療センターによる管理栄養士の実践」	宜野湾市健康推進部健康増進課	オンライン	3月30日	友寄一乃・桃原勝美
第4回沖縄超音波研究会	大城 七海・狩俣 美波・松田 英世	オンライン	3月23日	3人

院内研修

演題名	講師	場所	日時	参加者 (人数)
医療安全における AI の必要性		e ラーニング	4 月	18 人
新型輸液ポンプ使用方法		e ラーニング	4 月 24 日～5 月 17 日	18 人
BLS	看護部	2 階講堂	8 月 12 日	桃原、山内
中堅研修	看護部	2 階講堂	7 月 30 日～11 月 26 日	山内 敦子
救急看護 (BLS・ACLS) 研修	看護部	救急外来	11 月 6 日	大嶺 美奈
医療安全	看護部		11 月 20 日	与那城 友子
経口抗菌薬適正利用について		e ラーニング	10 月 26 日～12 月 31 日	16 人
医療安全放射線安全管理講習会 (診療用放射線の安全利用)		e ラーニング	12 月 23 日～2 月 28 日	24 人
2021 年度 第 2 回 感染対策講習会		e ラーニング	3 月 31 日～2 月 28 日	26 人
乳腺勉強会 DCIS 症例		8F 検査室	4 月 30 日	3 人
腹部超音波 膀胱内病変		8F 検査室	5 月 29 日	3 人
腹部超音波 腎臓がん		8F 検査室	8 月 30 日	3 人
腹部エコー統一化について		1F 生理検査室	9 月 22 日	15 人
腹部超音波 腎臓がん (再確認)		8F 検査室	10 月 9 日	4 人
腎臓がん・乳腺腫瘍		1F 生理検査室	10 月 29 日	11 人
脂肪肝評価		1F 生理検査室	11 月 26 日	3 人
肝臓腫瘍・リニアプローブの使用について		1F 生理検査室	12 月 24 日	9 人
心エコー (腫瘍 2 例)・左腎上極腫瘍		1F 生理検査室	1 月 29 日	10 人
乳腺腫瘍症例検討会		1F 生理検査室	2 月 25 日	8 人

部署内研修

演題名	講師	場所	日時	参加人数
医師勉強会「腸内細菌叢とヨーグルト」	謝花 隆光医師	8 階 検査室前フロアー	4 月 23 日	22 人
医師勉強会「心エコー」	大城 義人医師	8 階 検査室前フロアー	7 月 15 日	23 人
接遇 (チェックリストによる振り返り)			7 月 7 日～7 月 26 日	41 人
医師勉強会「たんぱく質」	謝花 隆光医師	8 階 検査室前フロアー	8 月 27 日	20 人
医師勉強会「健康食品とプラシーボ効果」	謝花 隆光医師	8 階 検査室前フロアー	10 月 22 日	19 人
医師勉強会「健康と病気の原理」	謝花 隆光医師	8 階 検査室前フロアー	11 月 26 日	15 人
予防医学センターにおける急変時対応 BLS	Ns 大嶺	9 階 採血前フロアー	11 月 27 日・11 月 29 日	22 人

予防医学センター 年度総括



予防医学センター
センター長
大城 義人

2020年以來の新型コロナウイルスパンデミックにより、大きく日常生活の変容を強いられる中、今では医療逼迫を回避することをその対策の主眼とせざるを得ない状況へと変化しております。2021年度の予防医学センターは、標準的感染対策を基本とし、できるだけ柔軟に対応するよう心がけてきました。前年度同様、中止する事なくクラスターや感染者を生じることなく継続しております。

極めて緊迫した医療体制のなか水面下で強固な土台となって支える方々や、最前線で心を尽くしてケアに当たる皆様には心から敬服する所です。

コロナ禍において人間ドック健診は、「不要不急の外出には当たらない」との国内のコンセンサスから、当センターもこれに適応するよう、「一人でも多くの方が安心して検査を受けることができるように」との目標を掲げ、前年度よりも受診者総数増加を目指して取り組みました。その結果、2020年度受診者総数17,578名に対し、21年度は18,537名と増加へと転じ、目標を達成することができました。

過去最高を記録した2019年度(19,098名)へ近づけることとなりました。内視鏡センターをはじめ、臨床検査科、放射線科、産婦人科といった関係部署皆様の、「コロナ禍であってもできるだけ通常と変わらない安心の人間ドック健診を提供する」という熱意の結果だと考えております。

また、2021年度は上部消化管内視鏡検査に炭酸ガス送気法を新規に導入しました。従来よりも送気される腸管からのガス吸収時間が短縮され、受診者腹部症状の軽減や、その前後の他の検査待ち時間が短縮されました。

他方、新規のオプション検査として、弁膜症・心不全等心疾患の早期発見に貢献できればと、心エコーを導入致しました。徐々に希望者も増加し、今後は無症候性心筋虚血疑いの拾い上げ等のニーズに応えていきたいと考えます。

沖縄県は依然として検診受診率の低迷が指摘され続けている一方、事後の二次検診受診率が非常に低いことも改善すべき点であるといわれています。せっかく異常を発見できたのに看過されてしまい、コロナ禍によってさらにこれに拍車がかかっているとのこと。二次検診を受診し、心臓血管病危険因子を低減し、脳循環器疾患を減少させる事が非常に重要です。当センターでは、受診当日に保健師による対面介入を以前から行なっていますが、この度、「人間ドック健診施設機能評価審査」においてその実績が評価され「優秀賞」を受賞するに至りました。普段のドック健診の場で、生活習慣の行動変容が現実的に実行可能となるよう介入するための対応改善策(クオリティーコントロール)が評価されたものです。受診者の行動変容を促すため、保健師自ら学びを行なっていることは特筆すべき事と存じます。各種画像検査の結果判定についてのスキルアップも謙虚に取り組んでいきたいと存じます。

連携体制の改善のためハートライフクリニックの皆様との情報交換の場を設け、現場の先生やスタッフの当センターに対する率直なご意見を伺う貴重な時間を得ることができました。これを早速取り入れ、かかりつけ医師の皆様の日常診療に貢献できる役割を担えるよう真摯に取り組んでいきたいと存じます。その継続のために、予防医学センター関連各部署の横断的協働(顔の見える繋がり)で受診者の立場(受診者目線)に立ったチーム医療を継続して行く事ができればと存じます。改めまして、2021年度関係各位の皆様のご協力に感謝申し上げます。

患者総合支援センター

部門紹介

患者総合支援センター長 西原 実

当センターでは、患者さんがその人らしく、地域に戻ってからも安心して生活が送れるように、院内の様々な多職種チームで連携して支援しています。

①患者にとって良質な入退院支援の流れになっているか。②スタッフのためになっているか。③持続できる取り組みかの3点を意識しながら体制を整えてきました。

地域の関係機関とも連携を図り、外来受診から入院、退院後を見据えた支援を心掛け、患者さんにご家族の総合窓口として、多職種スタッフが協力して対応し、安心して治療を受けていただくことを目指しています。

地域医療の中核を担う急性期病院として、患者さんや地域医療機関からも信頼される病院を目指し、今年度も更に多職種との連携を密にし、質の向上を図るとともに、顔の見える関係づくりのため、症例検討会や勉強会などもコロナウイルス感染対策をしつつ積極的に行なっていきます。

職員数

総数

22名

職種別

医師	1名	入退院調整看護師	1名
一般事務	6名	看護師	6名
医療ソーシャルワーカー	6名	クラーク	2名

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	6
介護支援専門員	3
医療福祉連携士	1
造血細胞移植コーディネーター（認定HCTC）	1

学会発表

学会名	演題	開催年月日	発表者
第71回 日本病院学会「Think Quality」～医療の質・経営の質～	シンポジウム：県内における多様な医療連携体制について「より深い地域連携を目指した患者総合支援センターの取り組み」	2021年6月25日～7月30日（オンデマンド配信）	西原 実

基本理念

私たちは、安全で信頼される医療を地域に提供します。

顔が見える地域連携と入退院調整、相談支援を目指します。

方針

1. 患者、家族、連携先各機関、院内各部署、院外連携機関との連携体制を構築する。
2. 地域包括ケアを見据え、地域医療・介護連携を推進する。
3. 入院前から入院中、退院後の地域生活を見据えて援助する。

目的

1. 患者を中心として、地域社会、連携先各機関と「かりゆし会」とのスムーズな連携を図る。
2. 入院決定時から多職種で連携し、入退院に関連した患者サービスを向上させ、安全・安楽な入院生活を送る為の支援体制を構築する。
3. 社会資源の活用ができ、退院後も安全で安心な環境を整備する。

地域医療連携室

業務内容

- ①紹介患者および逆紹介患者に関する調整業務
- ②各医療機関への広報活動に関する業務
- ③勉強会・講演会・市民公開講座に関する業務
- ④院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築

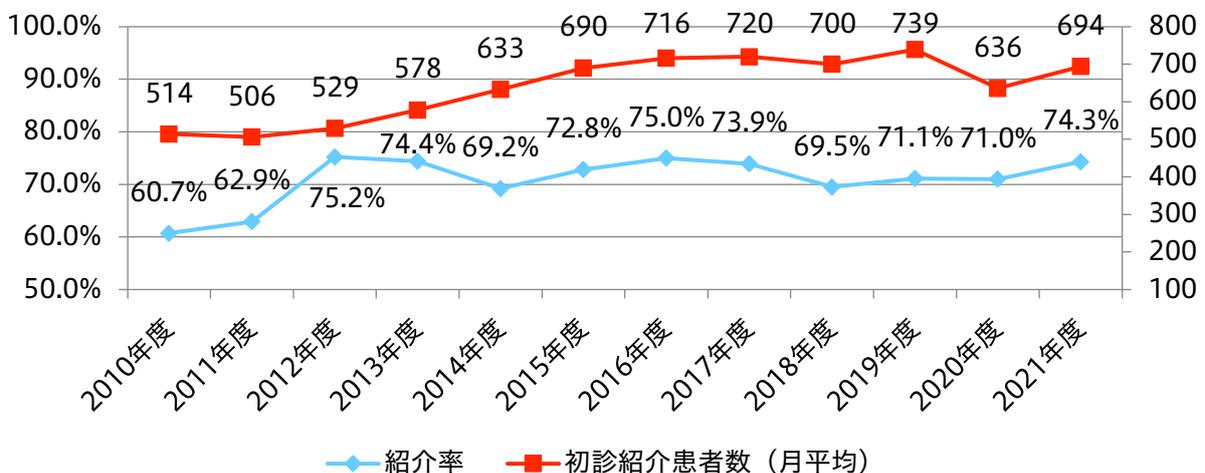
2021年度総括

コロナウィルスの影響で無料健康講座のすべてが実施で出来なかったが、コロナウィルス感染数が少ない時に登録医訪問をすることができました。

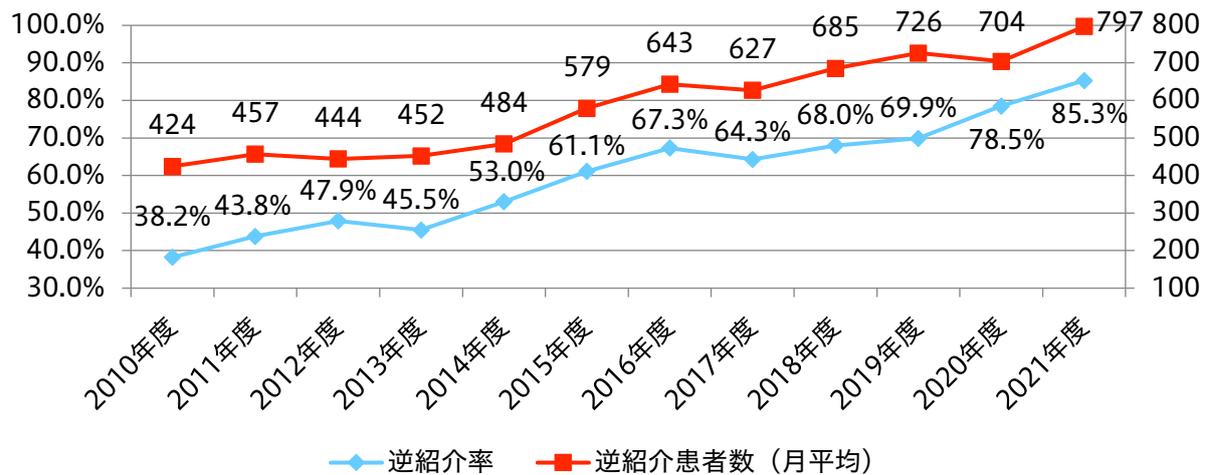
コロナ禍でも紹介件数、逆紹介件数も大幅に増加して紹介率、逆紹介率ともに増加して地域医療支援病院の承認要件をクリアできました。

2021年度実績

紹介率



逆紹介率



2021 年度目標

①社会医療法人としての役割強化

夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上

②地域医療支援病院としての役割強化

目 標：紹介率 85%以上 逆紹介率 86%以上

③新規紹介患者への取り組みの更なる強化

登録医療機関の新規開拓 (6 件/年)

登録医訪問 (60 件/年)

④リモートによる無料健康講座の体制構築 (新型コロナウイルス対策)

入退院支援室

入退院支援室業務内容

- 1 入院支援（外来から病棟への橋渡し）
 - ・患者情報の収集
 - ・入院に関わる、検査・手術・治療・入院生活について説明
 - ・入院に必要な書類の作成・説明
 - ・患者・家族の心理的支援
 - ・加算取得に関わる書類作成・患者説明
- 2 院内や地域との橋渡し・調整
 - ・病棟入退院支援看護師・MSWと連携し7日以内に共同カンファレンス
 - ・病棟入退院支援看護師・MSW・多職種で退院に向けて支援
- 3 病棟回診 患者カンファレンスへの参加
- 4 退院前合同カンファレンスへの参加
 - ・患者家族・在宅ケアチームとの顔合わせ
 - ・退院後も継続する課題・解決策を検討
 - ・必要時家屋調査・退院後訪問
- 5 地域の医療機関との転院調整
- 6 入退院支援に関する院内のスタッフ教育・多職種への啓蒙活動
- 7 在宅への仕組みづくり
 - ・多職種で連携のリーダーとなり、在宅でも安心して生活できる退院支援の仕組み作り

業務実績

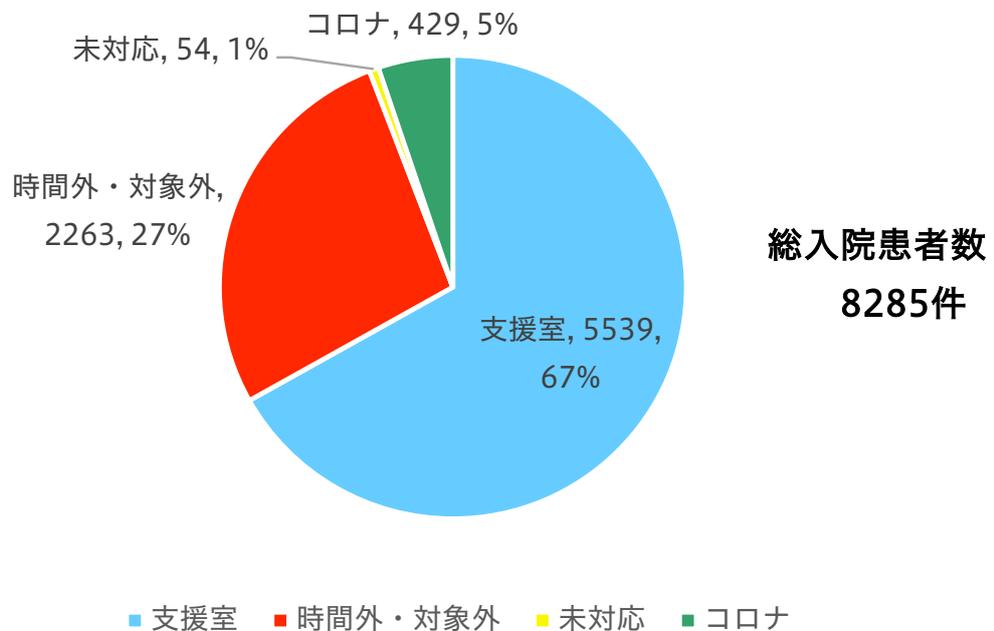
2021年度の活動

年月日	名称
4月	新退院支援計画書運用開始 各病棟入退院支援看護師作成し、取得 入退院支援加算取得：480件/月 入院支援加算：250件/月 総合機能評価加算：100件/月 入退院支援看護師会（定例委員会1回/月）
8月	眼科、産婦人科デイサージャリー介入開始 日帰り用アナムネ作成・運用開始
10月	入院時 栄養指導対象診療科（整形、形成）開始
12月	外来入院予約台帳 多職種が活用できるように見直し 産科（妊娠高血圧、妊娠性糖尿病）入退院支援介入開始
3月	支援室看護師、病棟リンク看護師のタイムスケジュールの説明 7階病棟より運用開始

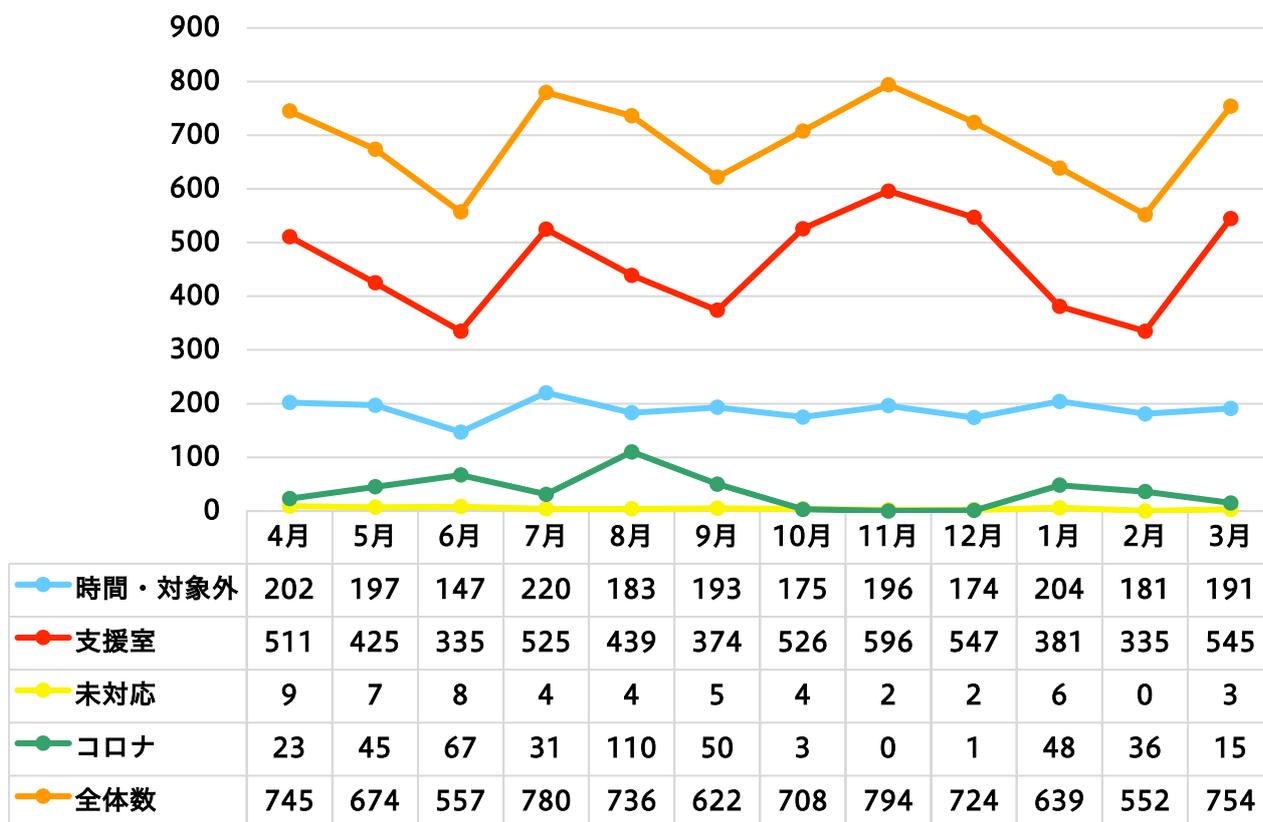
院外研修実績

名称	開催年月日	参加者
2021年度ポリナビワークショップin沖縄	11月20日	宮城愛子
WEB退院支援塾(5回シリーズ) 1回目 退院支援は看護そのもの 2回目 退院支援のプロセス 3回目 受容支援と自立支援 4回目 社会制度・サービス利用 5回目 外来で始める在宅療養支援	8月24日、9月7日、 9月22日、10月6日、 10月27日	宮城愛子、下地育美、下地久美子、比嘉成子、 金城さや子、小渡君子、宮城幸江
沖縄県緩和ケア研修会2021	2月19日	下地育美、宮城幸江
認知症対応力向上研修	3月13日	金城さや子、宮城愛子、下地久美子、小渡君子
2021年度沖縄県看護連盟・看護協会共催研修	3月24日	宮城幸江

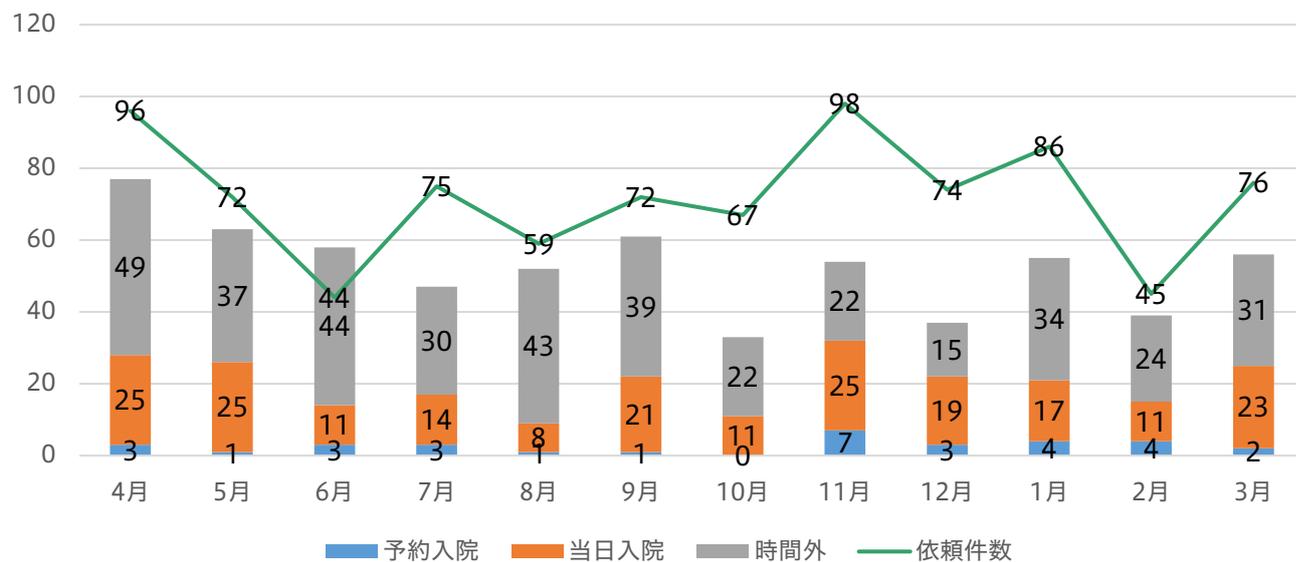
2021年度入退院支援室対応割合



2021年度入退院支援室患者対応数推移



入院診療計画書入院日以降作成



2021 年度総括

2021 年度も前年度同様、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、施設からの入院制限、手術制限、一般病床定数減もあり、年間入院件数の減少がありました。3 指標・DPC 期間 II を意識した入退院調整を行ってききましたが近隣の施設や転院先においてもコロナ感染の発生により転院調整に時間を要することが多くありました。看護師は入院前から多職種と連携し、退院後を見据えた指導、意志決定に関わり患者が地域に戻ってからも安心して生活が送れるように関わってきた結果、退院支援件数も増え加算取得に繋げることができました。

次年度も各病棟リンク看護師と密に連携をとり DPC II 期間を意識した入退院調整、個別性の退院指導を行い、質の高い退院支援を目指し知識向上・スキルアップを図ります。

2022 年度の取り組み

- ・ 3 指標目標 新規入院患者数（810 人 / 月）病床利用（285 床）在院日数（10.7 日）
定数を遵守した病床管理 重症度、医療・看護必要度を意識した病床運用（各診療科 各部署との連携強化）
- ・ DPC I・II 期間を意識した退院調整
- ・ 退院調整・退院指導の充実（病棟入退院支援看護師の業務拡大 地域担当者との連携）
- ・ 患者さんが入院前の生活に戻ることを意識した退院支援の質の向上
- ・ 入院前栄養指導の拡大
- ・ 入院時に必要な書類の管理徹底 算定可能な加算取得（院内連携の強化）
入退院支援加算：540 件 / 月
入院支援加算：250 件 / 月
総合機能評価加算：100 件 / 月

医療福祉相談室

業務実績

地域包括ケアに関する外部会議等

名称	開催年月日	参加者
西原町 高齢者虐待・障がい者虐待防止対策協議会	通年	川満
西原町 高齢者・障がい者虐待防止対策協議会実務者会議	通年	川満
宜野湾市 在宅医療・介護推進会議	通年	西田
西原町・中城村・北中城村 在宅医療・介護連携推進会議	通年	川満
中部地区連携研究会	通年	川満・佐平
在宅医療・介護連携推進事業（在宅医との二次連携のための意見交換会）	2021年6月29日・8月30日	川満・徳盛・高澤

実習生の受け入れ

名称	開催年月日
沖縄国際大学社会福祉士相談援助実習	2021年8月11日～9月10日

勉強会・研修会への参加

勉強会・研修会名	開催年月日	参加者
めだかの学校（新人 MSW の勉強会）	通年	佐平・兼次
めだかのホームルーム（中堅者 MSW の勉強会）	通年	高澤
中部地区医師会病床管理・クローズドデータシステム説明会	2021年4月15日	徳盛
日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会	2021年6月5日～6月6日	高澤
日本病院学会	2021年6月11日	徳盛
社会福祉士実習指導者講習会修了者のためのフォローアップ研修	2021年7月5日	徳盛
在宅医療・介護連携推進事業 入退院支援多職種研修会	2021年8月26日	川満
がん相談員実務者研修会「がん患者支援におけるコミュニケーション」	2021年8月28日	佐平・兼次
がん相談員実務者研修会「がん治療に伴う不安をもつ相談者に寄り添う相談員を目指して」	2021年10月9日	佐平・兼次
多職種コンソーシアム実践研修会	2021年10月24日	高澤
第1回沖縄県 COVID-19 勉強会	2021年10月28日	西田・佐平
在宅医療・介護連携推進事業療養支援多職種研修会	2021年11月24日	佐平
沖縄県入退院支援連携デザイン事業 小規模離島等市町村意見交換会	2021年11月25日	徳盛
高齢者・認知症の人の自動車運転	2021年11月28日	西田
がん相談員実務者研修会	2021年12月11日	西田・佐平
沖縄県緩和ケア研修会	2022年2月24日	高澤・佐平
日本 MSW 協会入退院支援専門 SW 研修	2022年2月26日～2月27日	高澤
地域連携セミナー（診療報酬改定）	2022年2月24日	高澤・徳盛

職能団体に関する活動

名称	開催年月日	参加者
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部会	通年	高澤
めだかの学校（新人 MSW の勉強会）	通年	佐平

血液内科移植サポートスタッフ業務

名称	開催年月日	担当者
造血幹細胞移植 Web セミナー 明日からヒントが見つかる造血細胞移植における多職種連携	2021年6月19日	西田
造血幹細胞移植 Web セミナー チーム医療セミナー	2021年8月7日	西田
造血幹細胞移植 Web セミナー チームで取り組む社会復帰を見据えた移植治療	2021年8月21日	西田
造血幹細胞移植 Web セミナー コロナ禍での移植患者・家族へのケアと指導の現状	2021年8月28日	西田
造血幹細胞移植 Web セミナー さい帯血道場	2021年9月4日	西田
造血幹細胞移植 Web セミナー 沖縄ブロック 造血幹細胞移植 BASIC	2021年9月18日	西田
スキルアップ WEB セミナー	2021年10月9日	西田
AYA 世代の造血細胞移植経験者の高校教育の保障と就労支援 オンライン研修会	2021年10月16日	西田
HCTC セミナー	2021年10月23日	西田
移植看護研修Ⅰ・Ⅱ	2021年10月30日 ～10月31日	西田
HHV-6 脳炎の看護ケア	2021年11月20日	西田
造血細胞移植拠点病院セミナー	2022年11月27日	西田
CTC の会オンラインセミナー	2022年1月31日	西田
HCTC 認定更新セミナー	2022年3月19日	西田
認定 HCTC 取得	3月	西田

その他

名称	開催年月日	
おもと会看護学生「老年看護」レクチャー	通年	高澤
ぐしかわ看護専門学校統合実習	11月(計3回)	川満・徳盛
近隣関係機関へのあいさつ回り	8月・12月	川満・徳盛・高澤
宜野湾市介護長寿課認定係との意見交換	2021年8月24日	高澤
おきなわ多発性骨髄腫患者会	2021年12月11日	兼次
相談援助実習報告会	2022年1月25日	高澤
相談援助実習 実習生受け入れ(琉球大学)	2022年2月25日	高澤
相談援助実習 懇談会	2022年2月25日	高澤
おきなわ多発性骨髄腫患者会	2021年11月20日	兼次
関西福祉科学大学の学生対応	2022年3月9日	川満
研修医へ入退院支援に関するレクチャー	2022年3月9日	川満

2021 年度総括

地域医療支援病院の医療ソーシャルワーカーの役割として、地域包括ケアシステム構築に向けた地域との連携は不可欠となっています。今年度はコロナ禍に見舞われ、様々な制限がある中、1年を通し各関係機関との個別協議だけでなく、虐待防止対策会議や沖縄県入退院支援連携デザイン事業、在宅医療介護連携推進会議、及び中部地区連携研究会などへ積極的に参画してきました。

退院支援においては、入退院支援室や各病棟退院支援リンクナースと協働する院内の入退院支援システムの体制を構築し始めてから3年目を迎えました。今年度も入退院支援の質に注目し、個別性を重視した退院支援に取り組むため、日々の退院支援カンファレンスの内容充実等をそれぞれ担当病棟で取り組みました。また支援対象の患者を拡大し、コロナ禍の影響で退院患者総数が大きく減少した月がある中で、今年度も入退院支援加算の取得件数は前年比で増加となりました(今年度514.0件/月、前年度476.2

件/月)。

前年度に引き続き、新ソーシャルワークデータシステム(MANBO)を用いて業務分析を行い、各職員や診療科ごとの業務量を分析し、関係機関との連携の傾向把握と強化に取り組みました。

医療ソーシャルワーカーの質の担保として、ICTを用いることで、県内のみならず県外の各種研修に参加し自己研鑽を積みました。

血液内科移植サポートスタッフの質の担保として、認定造血細胞移植コーディネーター(認定HCTC)の資格取得に向けた症例への対応、移植サポート業務体制作りに向けた病棟等の協議、関連学会および研修会への参加し、移行期間を経て移植施設認定基準の必須の基準となる認定HCTCを取得しました。

2022年度目標

①地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

- ・行政・介護サービス事業所・医療機関との協議と連携
- ・「年3回、25ヶ所以上」連携機関との面会(入退院支援加算の算定要件)
- ・後方支援に関するパイプ作り(アフターコロナ、整形外科疾患の円滑な退院支援)
- ・院外会議、研修会への参加

②在宅医療・介護連携の推進への協力と連携

- ・中部地区医師会主催の在宅医療・介護連携推進会議に参加

③入退院支援に関する業務構築と算定向上

- ・退院支援カンファレンスの充実(DPCを意識した多職種による計画的支援)
- ・ICTを活用した関係機関との連携、それに係る加算の取得(介護支援等連携指導料、退院時共同指導料)
- ・月間の30日超え長期入院患者数の減少への取り組み(目標:平均38人/月)
- ・毎月会議にて30日超え患者の確認と意識付け

④ソーシャルワークデータシステム(MANBO)による業務評価と分析に向けた取り組み

- ・業務評価や近隣関係機関との連携に係る分析

⑤ワークライフバランス

- ・月1回MSW全員同日定時退社
- ・残業時間の偏りがないように部署全体で業務の分担をする

⑥入退院支援関連加算の算定(収入見込み:39,744,000円)

- ・入退院支援加算:6,480件/年(540件/月)
- ・介護支援等連携指導料:96件/年(8件/月)
- ・退院時共同指導料:120件/年(10件/月)

⑦医療ソーシャルワーカーの質の担保

- ・県内・県外の学会及び研修会への参加(各MSWがそれぞれ2回以上参加)
- ・関連学会での演題発表
- ・社会福祉士実習の受入
- ・血液内科移植サポートスタッフの質の担保

がん相談支援室

業務内容

がんについての治療や療養生活、社会復帰に伴う疑問や不安を看護師や、医療ソーシャルワーカーが対応しています。

「がん相談支援室」にご相談が出来る事の例

- ・がんについて知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・患者会や家族会を探したい
- ・治療に関わる費用を知りたい
- ・治療や副作用について相談したい
- ・痛みや辛さについて相談したい
- ・地域で利用できる制度やサービスを知りたい
- ・治療と仕事の両立について相談したい

2021 年度総括

がんの治療では、入院や定期的な通院、自宅療養が必要となる為、仕事や家事、社会活動に影響が及びます。また、治療費や介護保険、福祉サービスに関する内容の相談が多く日々対応しています。

今後も「がん相談支援室」では患者さん、ご家族、地域の方々の様々な相談に対応します。

患者サポート窓口

業務内容

1. 医療従事者と患者との円滑なコミュニケーションを図る。
2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する。
3. 患者サポート相談窓口担当者及び、各部門の担当者が患者等から相談を円滑に実施できるよう支援する。

「患者サポート窓口」のご相談事例

- ・お困りのことがあるとき
- ・誰に尋ねればいいのかわからないとき
- ・当院の対応で不快な思いをされたとき

2021年度総括

患者サポートカンファレンスを多職種で週1回（年間45回）開催し、現場にフィードバックすることで相談件数は年々減少している。

2021年度の相談件数は62件で対応に困ったときには医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応を行っています。

実績としては医師への不審電話への対策及び職員への再発防止の周知徹底、コロナ対策としてサーモグラフィでの検温、面会ブースを設置しました。不当な対応を訴える患者等の対応について医師・各師長とカンファレンスを行い対応に困った際には医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応を行いました。

事務部

部門紹介

総務課、財務・経理課、医事課、管財課、診療支援室、診療情報管理室、経営企画室、予防医学センター、患者総合支援センター、看護部に 177 名の職員が所属しています（出向・法人事務局各部門含む）。

職員数

総数

177 名

職種別

一般事務	113 名	施設係	5 名
医師事務作業補助者	26 名	調理員	11 名
診療情報管理士	7 名	警備員	1 名
運転手	6 名	司書	1 名
社会福祉士	6 名	屋外植栽管理	1 名

法人担当

財務・経理課

財務・経理課 係長 大山 朝史

職員数

総数

4名

職種別

一般事務 4名

運営方針

1. 財務・経理内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門の予算執行状況を把握する。

2022年度目標

法人外部監査の窓口部署として、指摘事項の改善に向けた取組みを行う。

業務ローテーションにより、業務負担を平準化し有給休暇取得の促進と残業削減を目指す。

業務のシステム化および外部委託も検討し、業務フローの見直しを図る。

人事課

人事課 係長 仲地 貴弘

職員数

総数

9名

職種別

一般事務 7名

臨床心理士 1名

産業保健師 1名

運営方針

～当課役割～

法人経営方針に合わせ、職員個人の育成と適材配置が出来る仕組みを醸成する人事制度の構築を目指すと共に関連法規対応に努め、職員が働きやすい環境整備に努める。

1. 人事管理

1-1 正確な人事管理情報（配転・教育・評価・賞罰等）の構築

1-2 部署定数の管理及び入退職の可視化

1-3 現行の労働法規および関連法に則した規程の策定・更新

2. 労務管理

2-1 事務手続きの電子申請化促進

2-2 働き方関連法に則した運用整備

3. 人材育成

3-1 人事評価制度の導入準備

3-2 評価制度に応じた階層別研修の構築

4. 健康支援

4-1 全職員の働きやすい環境を目指し、心身のフォローを行う

4-2 各調査結果に基づき、課題改善に向けた取組みを行う

活動実績

業務実績

年月日		名称
通年		4 社会医療法人 人事情報交換会 1回/月
2021年	4月	就業規則改定（年次有給休暇斉一付与・定年退職・退職金規程）
	5月	新入職員健康相談実施
	6月	春季健診事後措置実施
	8月	沖縄国際大学 事務総合職説明会（リモート）
	9月	令和3年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金申請
	9月	2022年度採用看護師採用試験（個別面接・リモート面接）
	9月	職員B型肝炎ワクチン接種（1回目）
	10月	職員B型肝炎ワクチン接種（2回目）

年月日		名称
2021年	10月	2022年度採用事務総合職企業説明会(院内)
	11月	秋季健診事後措置実施
	11月	職員インフルエンザワクチン接種
	11月	2022年度採用事務総合職採用試験(面接)
	11月	年末調整
	11月	C19 特別(防疫)手当支給
2022年	1月	C19 対応手当支給(2022年1月~3月)
	2月	職員ストレスチェック実施
	2月	2022年度採用事務総合職内定式
	2月	沖縄県緩和ケア研修会参加
	3月	職員B型肝炎ワクチン接種(3回目)
	3月	職員満足度調査実施
	3月	C19 対応特別手当支給
	3月	看護職・介護職・保育職処遇改善支援補助金申請・支給
	3月	一般事業主行動計画届出(変更)

診療支援室

職員数

総数

31名

職種別

医師事務作業補助係 24名

秘書担当 4名

卒後臨床研修事務係 3名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	6

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	19

運営方針

1. 外来業務においては予習を徹底し、定期検査や必要な検査等のモレをふせぐ
2. クリニカルパス担当を1名増やし3名体制にする
3. 担当科の患者情報を把握し、症状が落ち着いている場合は逆紹介に該当するか医師へ提案する
4. 産休補充の採用が長期化する傾向にあるため、加算要件の21名の維持と業務フォローがしっかりできる体制をつくる

医師事務作業補助係

業務計画

1. 外来業務においては予習を徹底し、定期検査や必要な検査等のモレをふせぐ
2. クリニカルパス担当を各チーム1名ずつへ増員し、迅速なパス作成ができるようにする
3. チーム持ち回りで、科ごとのミニ勉強会を開く
4. 院内外の勉強会への参加
5. 上司との定期的な面談を行い、自己評価とスキルアップを図る

業務実績

文書作成

名称	2018	2019	2020	2021
一般診断書	504	532	565	494
生命保険文書	1,966	2,094	1,758	1,690
介護主治医意見書	433	412	262	287
傷病手当金請求書	480	625	816	917
医療要否意見書	708	665	543	583
特定疾患調査票	292	291	70	335
身障/年金診断書	237	217	161	285
自賠責診断書	929	840	706	714
その他	1,912	2,085	2,144	2,256
合計	7,461	7,761	7,025	7,561

名称	2018	2019	2020	2022
退院サマリー	645	751	645	748
高額コメント	185	151	36	33
NCD (外科手術症例登録)	1,003	925	835	840

統計業務

- ・ 日本胸部外科学会食道分野学術調査
- ・ 日本内視鏡外科学会症例報告
- ・ 日本外科学会指定施設年次報告
- ・ 日本ヘルニア学会症例報告
- ・ 日本血液学会疾患登録
- ・ 日本造血細胞移植データセンター全国調査
- ・ 外科研修関連施設実績報告 (琉大・東京女子医大・大阪大学)

活動実績

研修会・セミナーなど

名称	開催地	参加者	年月日
全日本病院協会主催「医師事務作業補助者研修」	オンライン	2名	2021年6月1日～2022年3月31日
沖縄県高齢者福祉介護課主催「主治医研修」	オンライン	5名	2022年1月21日～2月20日

卒後臨床研修事務係

研修医の実績については医局部門をご覧ください

活動実績

卒後臨床研修事務局主催のレクチャー、講演会等

内容	開催地	日程
群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生による教育回診	当院	毎月第1・第3木曜日
新研修医オリエンテーション	当院	2021年4月2日～6日
群星沖縄新研修医オリエンテーション (オンライン)	当院	2021年4月9日
院内エコー勉強会①	当院	2021年7月3日
感染症コンサルタント 青木真先生による感染症教育回診	当院	2021年6月7日
群星沖縄副センター長 寺澤秀一先生によるER教育回診	当院	2021年11月12日
群星沖縄ポートフォリオ①	浦添総合病院	2021年12月28日
群星沖縄ポートフォリオ②	当院	2022年1月6日
ミシガン大学 Assistant Professor Dr.Deng による教育回診 (オンライン)	当院	2022年1月20日
院内エコー勉強会②	当院	2022年1月22日、1月29日
基本的臨床能力評価試験の実施 (オンライン)	当院	2022年1月17日～30日

セミナー・勉強会・会議等への参加

内容	開催地	日程
初期臨床研修運営協議会	当院	毎月第2・第4火曜日
群星沖縄定例会議 (オンライン)	当院	毎月第2月曜日
2021年度第1回卒後臨床研修管理委員会 (現地開催 + 書面会議)	当院	2021年6月10日
琉球大学関連協力病院協議会への参加 (オンライン)	当院	2021年11月8日
令和3年度第1回臨床研修病院長等会議	県医師会館	2021年12月9日
琉球大学専門研修プログラム連絡協議会への参加 (オンライン)	当院	2022年1月27日

内容	開催地	日程
三病院合同内科専門研修管理委員会への参加	友愛センター	2022年2月16日
2021年度第2回卒後臨床研修管理委員会(現地開催+書面会議)	当院	2022年3月3日
広報誌「LIFE」作成委員会	当院	不定期

医学生・院外研修医の受け入れ

内容	日程
琉球大学医学部5～6年次クリニカルクラークシップ(延べ44名)	2021年4月19日～2022年3月11日
医学生病院見学受け入れ(延べ50名:県外24名、県内26名)	2021年4月1日～2022年3月31日
琉球大学病院より研修医受け入れ 1年目7名(救急科、麻酔科、外科、小児科、産婦人科) 2年目2名(麻酔科、小児科、整形外科)	2021年4月1日～2022年3月31日
浦添総合病院より研修医受け入れ 2年目4名(産婦人科、小児科)	2021年11月、12月、2022年1月
中部徳洲会病院より研修医受け入れ 2年目2名(産婦人科)	2021年9月、2022年2月
沖縄協同病院より研修医受け入れ 2年目1名(呼吸器内科)	2021年7月

リクルート活動

内容	開催地	日程
第13回沖縄県初期臨床研修指定病院合同説明会(Webにて動画掲載)		2021年7月7日～21日
群星沖縄病院説明会(オンライン)	当院	2021年5月29日
当院主催病院説明会(現地開催+オンライン)	当院	2021年6月5日
群星沖縄病院説明会(オンライン)	当院	2021年7月31日
群星沖縄病院説明会(オンライン)	当院	2021年11月20日
レジナビフェア沖縄県病院説明会 相談会 day(オンライン)	当院	2022年1月30日
当院主催病院説明会(現地開催+オンライン)	当院	2022年3月5日
レジナビフェア沖縄県病院説明会(オンライン)	当院	2022年3月12日
レジナビフェア2022東京(病院説明会)	東京都	2022年3月20日

研修参加実績

内容	開催地	日程
新研修医AHA BLS Providerコース(1年目研修医7名参加)	当院	2021年4月3日
新研修医AHA ACLS Providerコース(1年目研修医7名参加)	当院	2021年5月8日・9日
第5回沖縄県緩和ケア研修会2021(2年目研修医3名参加)	当院	2022年2月19日

附随業務部門 食堂とまと

食堂とまと 平安山 良親



店舗



ドック食

院内食堂として、病院敷地奥の別館1階で営業を行っています。お客様の約7割が病院職員で、平日の日替わりランチ、店舗販売の弁当は、職員割引で提供し職員食堂の役割も担っております。

また、当院人間ドック受診者向けの昼食メニューも食堂とまとで調理を行い、8階人間ドックの専用レストランにて提供しております。

メニュー

日替わりランチ、みそ汁定食、豆腐チャンプルー定食、さんま定食、ポークたまご定食、カツカレー、カレー、沖縄そば、日本そば(ぎつね)、うどん(ぎつね)、ライス、サラダ、弁当(みそ汁付) タコライス、スパゲティ(ミートソース・カルボナーラ)

営業時間：月曜日～土曜日 11:30～15:00

定休日：日曜日、祝日、年末年始

職員数

総数

11名

職種別

調理師 3名

調理補助 7名

調理員 1名

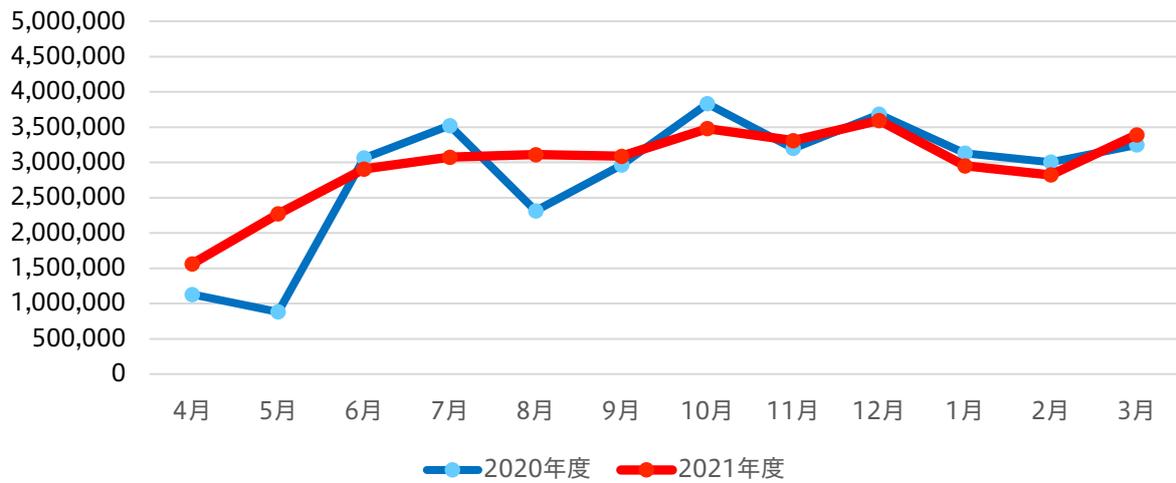
経営方針

職員や来院者に対し、「笑顔で親切ハートライフ病院」を合言葉にして、安全・安心で美味しい食事を提供していきます。

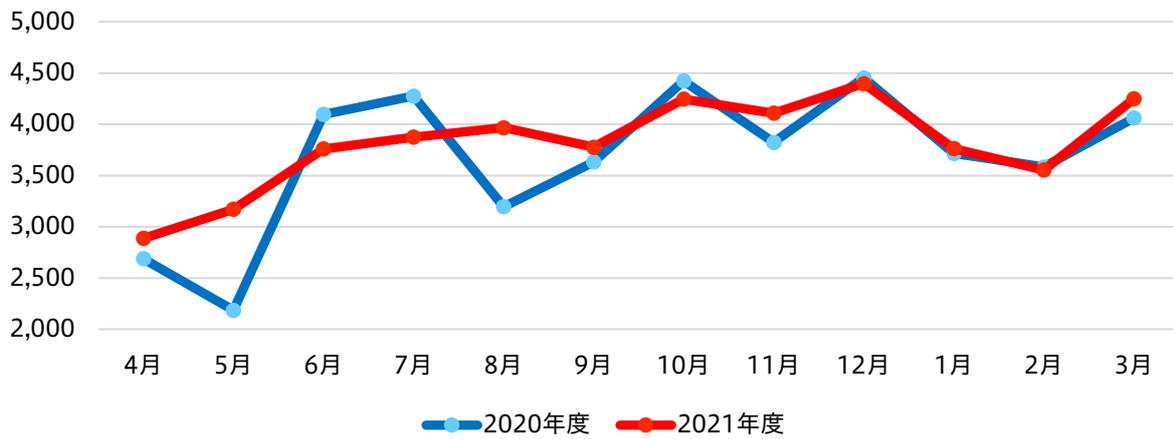
活動報告

- ・弁当新メニューの追加
- ・人間ドックメニューの変更業務実績

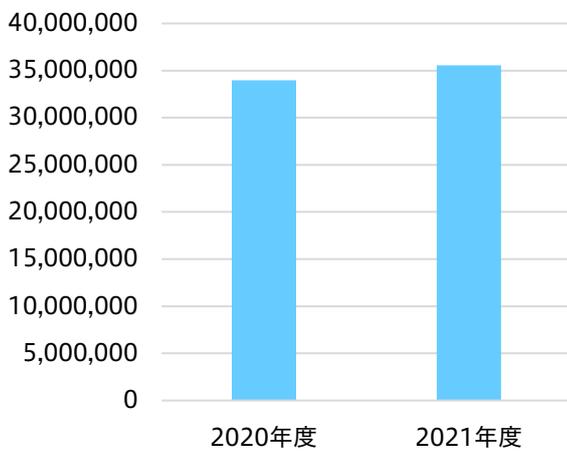
売上推移



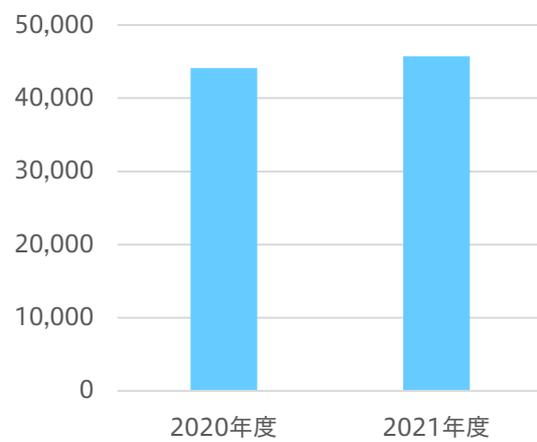
客数推移



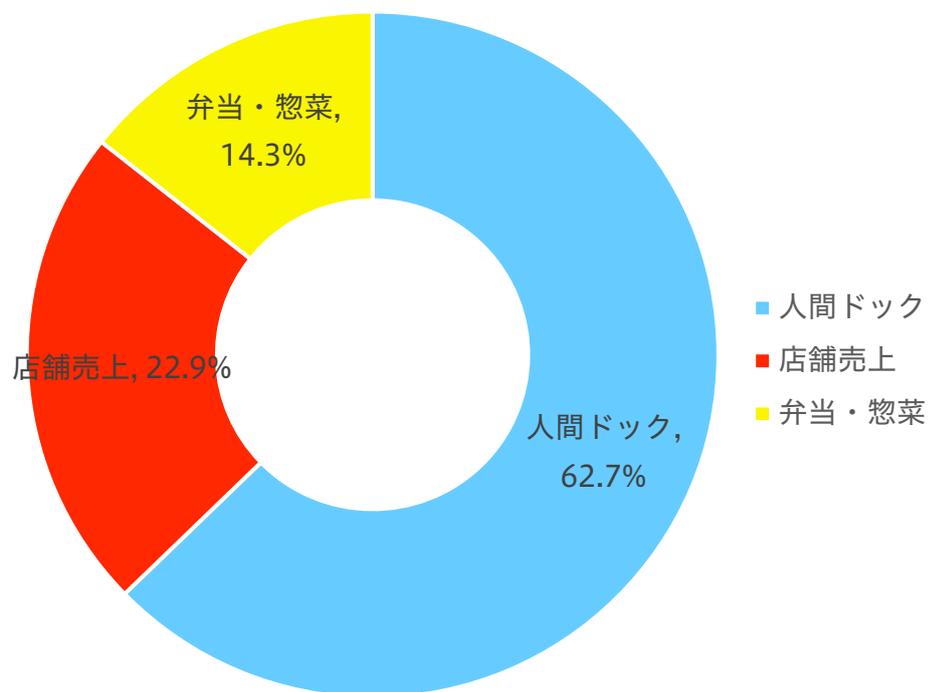
総売上高推移



総客数推移



売上割合



法人事務局 年度総括



法人事務部長
仲地 智俊

ここでは主にハートライフクリニック、ハートライフ地域包括ケアセンター、はーとらいふ保育園、人事課、財務経理課、経営企画室、診療支援室にも触れさせていただきたいと思います。

2021年度も前年度に引き続きコロナ禍に始まりコロナ禍真っ只中で終了しました。

そのような中、各部署の職員は感染予防に務めながら職務を全うしたと思います。本当にお疲れ様でした。

【ハートライフクリニック】

ハートライフクリニックでは2020年度はコロナの影響が直撃して、経営的に大打撃を受けました。特に2020年の4月と5月は糖尿病内科、一般内科、小児科というクリニックのすべての診療科がコロナ禍の影響を受けました。その影響は6月～9月まで続き、経営的にも非常に苦しい1年でした。

2021年度のクリニックでは、糖尿病内科と一般内科ではコロナの影響もほぼなくなり、1年を通して安定した患者数を維持できました。しかし小児科では前年度よりは改善したものの、まだまだコロナ禍が大きく影響していました。そんな中でも、糖尿病内科と一般内科の患者数が改善したことや、コロナワクチンの予防接種について、内科を中心に医師、看護師、外来クラーク、医事課など、すべてのスタッフが積極的に取り組んでくれた成果もあり、経営状況は改善傾向にあり、若干ですが黒字で1年を終えられております。

また、2021年度は糖尿病内科の看護師定数、医事課の定数の増員やクリニック正面玄関へのサーモ専属職員の採用も行いました。結果、職員の皆さんもその増員・新規採用に应运って下さり増収につなげることができています。

2022年度は更なる安定経営に向けて、職員配置を整え、職員の心身の健康に留意しながら運営していければと考えております。

最後に、ハートライフ病院での外来師長を経て、クリニック開院時から師長として尽力して下さった林広江さんが2022年3月末をもって定年し、現在は役職を外れて再雇用者として働いて下さっています。林元師長の長年のご努力に対して敬意を表してクリニックの総括としたいと思います。

【ハートライフ地域包括ケアセンター】

2021年度、ハートライフ地域包括ケアセンターは前年度に記録した過去最高収益を上回ることができました。これは第1に職員一人ひとりの努力の賜物です。慢性的な人員不足の中、職員の皆さんが最大限努力して下さった結果だと思っています。まさに『人財が宝』だと確信した1年でした。宮平センター長はじめ管理職の皆様とその他の職員の皆様、ケアセンターの経営にご理解下さった

理事の皆様、医療面を支えて下さった本院・クリニックの皆様、その他ケアセンターの運営にご協力下さったすべての皆様へこの場をお借りして感謝申し上げます。

ケアセンターの収益が向上した第2の要因は昨年に引き続き『コロナ禍』があげられます。感染予防のために外部サービスの利用制限を継続せざるを得ない状況であったため、必然的に『外部サービスに比べて安心・安全』な内部サービスの比重が高まった結果、ケアセンターの収益増につながっています。

2021年度、ケアセンターでの大きな出来事としては、開設前から当センターを支えて下さっていた比嘉藤子副センター長の定年退職があります。準備段階から実際の運営開始後まで、幅広く当センターを支えて下さいました。感謝の念に堪えません。

2022年度も当センターでは、地域社会の皆様にご貢献できるように、職員が誇りをもって働ける職場を目指して精進してまいりたいと思います。

【はーとらいふ保育園】

はーとらいふ保育園は、2021年度も新型コロナウイルス関連の理由で、通園中の保育園へ通えなかった職員のお子さんを対象とした『一時預かりサービス』を実施し、11件の利用がありました。利用数はそれほど多くはありませんでしたが、微力ながら医療現場の最前線で働く職員の後方支援になったと考えています。

また2021年度は金城久乃さんが新しい園長となった最初の1年でした。

これまで以上に多くの職員に利用してもらえる保育園となれるよう、『集団生活への体験保育』『入職復職される保護者の準備期間をサポートするための一時預かり』などの取り組みを行っています。

2022年度も職員の皆様とのお子様にとってより良い保育園、利用しやすい保育園となれるよう、金城久乃園長をはじめ、職員の皆様と努力していきたいと思います。

【人事課】

2021年度、人事課では法人事務副部長の比嘉康文さんのリーダーシップのもと、多くのことに新たに取り組んでおります。また、新しい仲間も増えました。

・欠員2名状態→欠員1名へ

・就業規則改定（2021年4月1日）→職員が働きやすい環境整備

ハラスメントの禁止（従来より詳細に内容変更）、リフレッシュ特別年休（新しく規定）

公益通報者の保護等、看護・介護・保育処遇改善手当、退職金制度改定→勤続年数に応じた配分変更（永年勤続者への考慮）

・産業保健業務

ストレスチェック 委託から自前へ

・各種補助金申請活用

・防疫（特別）手当の充実

・看護職の処遇改善

以上が主な出来事・取り組みです。

2022年度も働き方改革への対応を含め課題は山積みですが、課員一丸となって乗り越えていければと思います。

【財務経理課】

2021年度、財務・経理課での大きな出来事としては、長年にわたり当会の財務・経理課を事務副部長として支えていた比嘉靖さんが定年したことです（再雇用で勤務は継続中）。比嘉靖さんは数年前から法人事務局所属でしたが、主に財務・経理課関連の業務を担当していました。長年のご尽力に感謝致したいと思います。

2021年度、財務・経理課は、通常業務（現金出納、財務諸表作成など）、法人監査では大きな問題もなく無事に業務を遂行できております。また、前年度に課題にあげた法人規模拡大へ対応するための課員増員に関しましても、理事の皆様のご理解を得られ、ご承認いただいております。実際の採用はまだですが、近いうちに新しい仲間が財務経理課に加わることになると思います。

【経営企画室】

2021年度の経営企画室も事務副部長の安里竜さんを中心に、経営に寄与する重要な情報の発信・提案に加えて、法人のコロナ対策・コロナ関連の補助金においても中心的な役割を担っていました。当会がコロナ禍にも関わらず経営的に成り立っていたことについては様々な要因がありますが、経営企画室の働きが大きな力となっております。本当にお疲れ様でした。

【診療支援室】

診療支援室は医師事務作業補助係、秘書係（医局・役員室・看護部）、卒後臨床研修事務係で構成されています。

2021年度を各係で振り返ってみると、まず医師事務作業補助係の皆さんは、前年度から続くコロナ禍において、発熱外来をはじめ、通常外来でも医師の外来補助を担当して、診療現場を支えていました。大変お疲れ様でした。

卒後臨床研修事務係の方では、前年度に引き続き2021年度も、当院への初期研修の応募者が過去最高でした。これは、研修委員長の普天間光彦医師、副研修委員長の佐藤直行医師はじめ、医局の先生方、そして裏方として支えてくれた研修医担当事務の皆さんの力もあってのことだと思います。

秘書の皆さんは、コロナ禍で多忙な先生方を診療以外の面で支え、さらにこれまでより一歩踏み込んだ対応を心がけてもらうようにしました。副主任の高嶋さんを中心に見事に期待に応えてくれています。また看護部秘書においても、長年一人体制で看護部という大所帯を裏方として支えてきましたが、1名増員し業務の改善と拡大を図っています。

本課の診療支援室という名称の通り、今後も課長の比嘉須奈子さんを中心にスムーズに診療が行えるよう医療現場に対して適切な支援を継続してくれることを期待しています。

以上が法人事務局部長としての総括になります。

この原稿を記載している2022年5月下旬現在、コロナ禍はまだまだ収束する気配を見せておりません。法人の全職員が一丸となってこの未曾有の危機を乗り越えていければと思います。

病院担当

医事課

医事課 課長 宮城 淳

職員数

総数

43名

職種別

一般事務 43名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

1. 2022年4月に診療報酬改定が実施され、2025年に向けて当院の方向性の決定がますます重要となってくる。急性期一般入院料1（7対1入院料）を算定基本としていくために医事課として、社会保険中央審査会議論内容を把握しながら早期情報収集、情報提供、決定後保険請求の知識向上、医療法に基づいた請求を行う。
2. 昨年度は新型コロナ対応を手探りで開始し業務にかなりの支障が出ていたが、今年度は新型コロナ予防接種も開始され落ち着けば方向性も変化してくる。変化にすぐ対応できるよう情報収集しながら進めていく。
3. 看護必要度のⅠからⅡへの変更に向けて看護部とタイアップし精度並びに安定したデータ化を進める。
4. 落ち穂ひろいの継続。加算取得により増収となっている項目もあるので、算定継続と新たな項目の洗出しを行う。
5. 紹介・逆紹介の取り組みを他職種と協力し実績を上げる。外来については逆紹介推進の取り組み。
6. 5年後を見据えての人材育成。まずは人材の確保。業務改善を行い人材の安定化を図る。働きやすい職場環境を目指す。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
第1回 SSI ユーザー医事課交流	県医師会	2021年9月17日	宮城(医事)・宮城(電算)
みずほ銀行「中林梓」web セミナー	オンライン	2021年11月12日	宮城・新垣・伊集・田中(医事)
全日病「令和4年診療報酬改定説明会」	オンライン	2022年3月14日	宮城・新垣・伊集・田中・上原(医事)
MDV「令和4年診療報酬改定セミナー」	オンライン	2022年3月15日	宮城・新垣・伊集・田中(医事)

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
那覇日経ビジネス「企業体験型実習」1回目	2021年5月26日～6月1日	2名
那覇日経ビジネス「企業体験型実習」2回目	2021年6月14日～6月18日	2名
日経ビジネス(中部校)「インターンシップ」	2021年7月19日～8月14日	4名
那覇日経ビジネス「1年次病院見学」	2021年10月7日	6名

その他

名称	開催地	年月日	参加者
日経教育グループ「第1回教育課程編成委員会」	沖縄市	2021年10月13日	宮城
日経教育グループ「第2回教育課程編成委員会」	オンライン	2022年2月15日	宮城

管財課

管財課用度係

用度係 係長 諸見里 和也

職員数

総数

8名

職種別

一般事務 8名

運営方針

物品の安全・安定供給

- ・ 各現場へ必要物品の安定供給をする為に定数物品・注文物品等、発注から納品まで敏速に実行できる体制を構築する。
- ・ 使用後も廃棄処理時に有害物質を出さない、環境に優しい物品の採用。
- ・ 患者さん・職員に対し、安全に配慮した物品の採用。
- ・ 物品の標準化。標準化する事により、使用方法の統一が図れ、安全かつコスト削減にもつなげる。
- ・ 医療材料説明添付文書通り順守し管理する。

物品管理

- ・ 在庫管理・定数管理の強化。定期的に定数を見直し、適正な定数を目指す。
- ・ 年2回の、棚卸を実施。適正な在庫数を維持管理する。
- ・ SPDシステムのバージョンアップを図り、維持管理の強化。
- ・ 機器の不具合・故障等の場合、現場に出来るだけ支障の無い様に、速やかに対応する。
- ・ 災害拠点病院に適した維持管理。
- ・ 事務什器備品の資産管理。

グループウェアの整備

- ・ グループウェア整備に伴い、各種申請書、請求伝票連絡関係等の電子化の推進。
※電子申請を2019年10月より本院・事務部がトライアル開始。2020年4月本院・地域包括支援センター運用開始。各申請書は徐々に拡大予定。

係員の教育

- ・ 勉強会、県内外への研修、見学等の積極的な参加に努める。
- ・ 患者さんの安心・安全の為、医療従事者として出来る最善策を日々、研究実践する。

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

用度係活動実績

業務計画

1. 医療改定に伴う医療材料、日用品の見直し。
 - ・ 昨年度同様にコロナ禍の中で患者さんの安全、安心も勿論、全ての職員も守る！を念頭に感染防護品の選定や提案等を常に医師や看護師、医療技術者とディスカッションし感染予防に対し最善を尽くしてきました。
2. 係員の教育とスキルアップ。
 - ・ 取扱い材料がどの様な診療で使用されるかなどを紐づけて教育しました。
 - ・ 各業者対応や発注業務、納品書の入力業務を援助なしで対応出来る様に指導し、対応できるようになりました。
 - ・ 第2回 院内急変を減らす RSS 運用セミナー参加。2022年3月25日（金）19:00～21:00（諸見里係長）
3. 災害、感染症予防対策。
 - ・ Act Against COVID-19 院内発表 2021年11月12日（金）（新垣主任）
 ※①でもありますが、コロナ期で職員に対し感染症予防対策として防護ガウンやN95マスク、ニトリル手袋等の感染対策資材を現場へ安定供給出来ました。
4. 事務備品の資産管理の徹底。
 - ※④実践し管理シールにて運用出来ています。
5. 新規治療（医療事業）に対するサポートと提案。
 - ・ 今後も新規治療がある場合、取扱店や金額交渉、納期の確認など、臨機応変に対応出来る体制をとります。

収入計画

1. 購入材料引き率目標の設定
2. 新型コロナウイルス・インフルエンザによる各補助金の活用（今後も継続）

人員計画

1. 係員の心身のバランス（ワークライフバランス）の取れた職場の環境作り。
 - ・ 昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大を受け、国や県からコロナ補助金での医療材料や衛生材料、医療機器などの申請や、申請が承認された材料の臨時倉庫へ搬入、病棟への払い出し、また、コロナ病棟の整備等で残業時間が増え、来年度は院内物流管理システムの導入スケジュールリングや主要部署と委員会等でヒアリングしスムーズに開始できるように電子カルテ上の医療材料マスタ整理や処置行為への紐付を行います。
 - ・ 2022年2月より手術室1名派遣に伴い、機器や各資材の提案や勉強会、材料及び資産管理の膨大な作業がある為、人員1名の増員確保を希望しています。

設備計画

1. 医療材料、日用品の安心、安全、清潔をもって管理が出来る広い倉庫の確保。
 - ・ 現在の倉庫が狭く、廊下に陳列する環境を改善する。
 - ・ 災害拠点病院に係る医療材料の定着した場所の確保。
 - ・ ※現在 9 階ドック跡地を期間限定で利用中。倉庫は定着した場所の確保を来年度も継続していきたいです。
2. 院内物流管理システム導入
 - ・ 院内物流管理システムの導入 2020 年 3 月（理事会承認済）
 - ・ 導入予定日：2023 年 7 月頃

管財課施設管理係

施設管理係 係長 具志堅 徳明

職員数

総数

5名

職種別

施設技術者 5名

認定・資格

資格名	人数
第3種電気主任技術者	2
第1種電気工事士	2
第2種電気工事士	5
1級電気施工管理士	1
消防設備士特類・乙6・7類	1
消防設備士甲種1類～5類	2
自衛消防業務	3
1級ボイラー技士	1
2級ボイラー技士	4

資格名	人数
ボイラー整備士	1
危険物取扱者乙4類	5
2級管工事施工管理技士	1
2級土木施工管理技士	1
第2種冷凍機械責任者	2
エネルギー管理員	2

運営方針

安全管理と省エネに務める。

理念

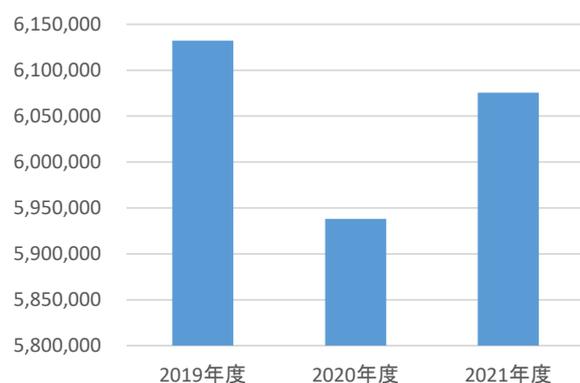
関係法令等を遵守し施設内を常に最良の状態に維持管理する。予防保全的業務を実施し、設備の耐用年数の延長を図り省エネルギーの達成に務める。

業務実績

ハートライフ病院

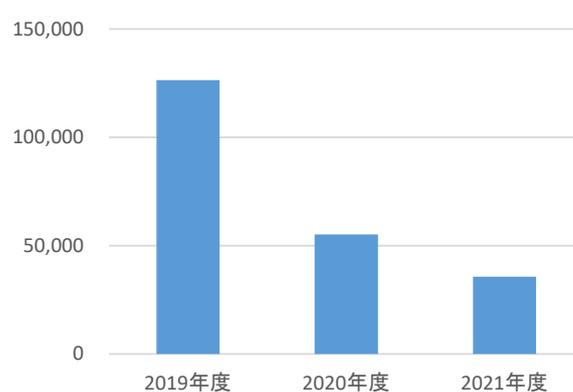
総電力量 (単位:kwh)

	2019年度	2020年度	2021年度
kwh	6,132,230	5,938,150	6,075,380
対前年比	2.0% 減	3.2% 減	2.3% 増



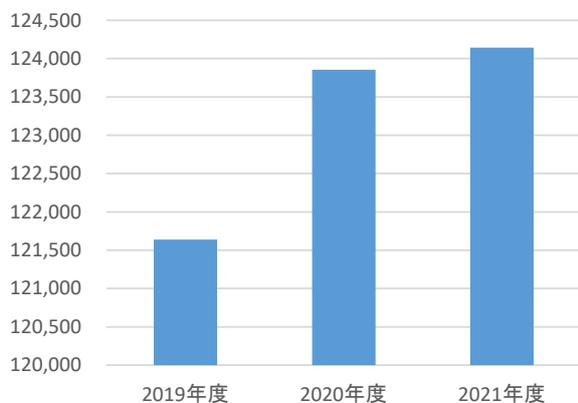
蓄熱電力量 (単位:kwh)

	2019年度	2020年度	2021年度
kwh	126,364	55,197	35,670
対前年比	65.0% 減	56.3% 減	35.3% 減



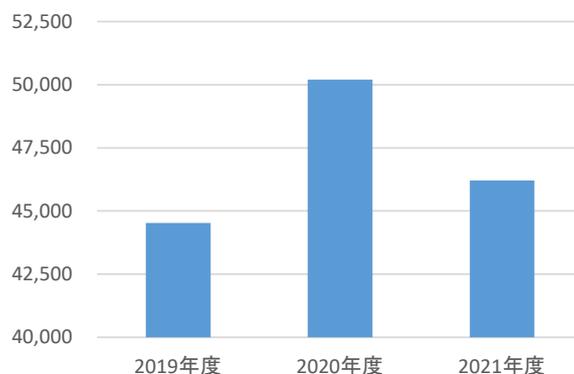
A 重油使用量 (ボイラ) (単位:ℓ)

	2019年度	2020年度	2021年度
ℓ	121,640	123,854	124,146
対前年比	11.5% 減	1.8% 増	0.2% 増



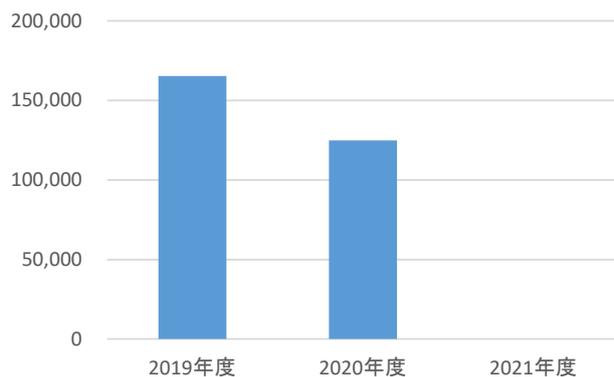
上水道使用量 (単位:m³)

	2019年度	2020年度	2021年度
m ³	44,523	50,204	46,209
対前年比	5.7% 減	12.8% 増	8.0% 減



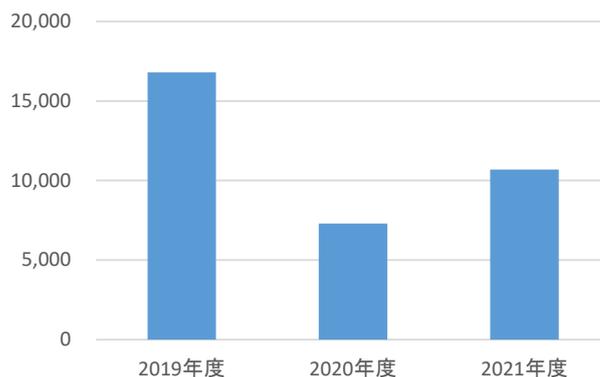
A 重油使用量 (常用発電機) (単位:ℓ)

	2019年度	2020年度	2021年度
ℓ	165,335	124,925	0
対前年比	48.8% 増	24.4% 減	100% 減



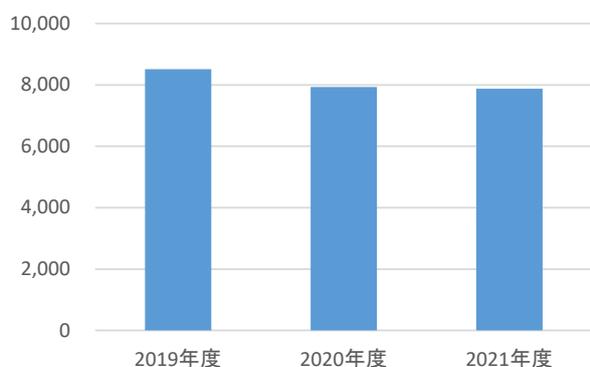
中水道使用量 (単位:m³)

	2019年度	2020年度	2021年度
m ³	16,806	7,301	10,687
対前年比	3.1% 減	56.6% 減	46.3% 増



LPG 使用量 (厨房) (単位:m³)

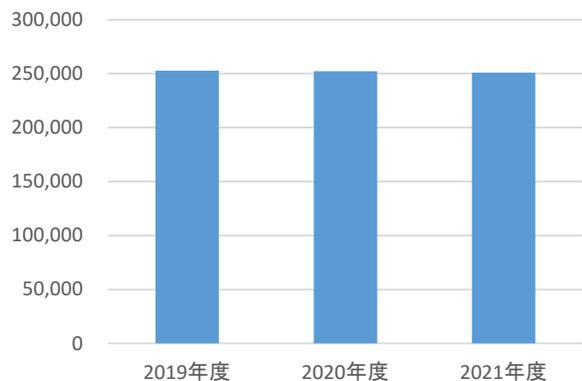
	2019年度	2020年度	2021年度
m ³	8,514	7,930	7,873
対前年比	4.3% 増	6.9% 減	0.7% 減



ハートライフクリニック

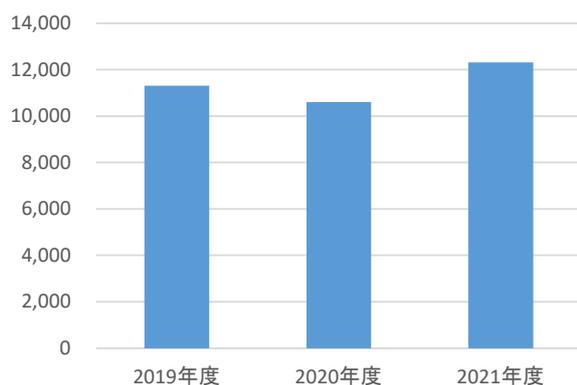
総電力量 (単位:kwh)

	2019年度	2020年度	2021年度
kwh	252,764	252,211	251,025
対前年比	11.6% 増	0.2% 減	0.4% 減



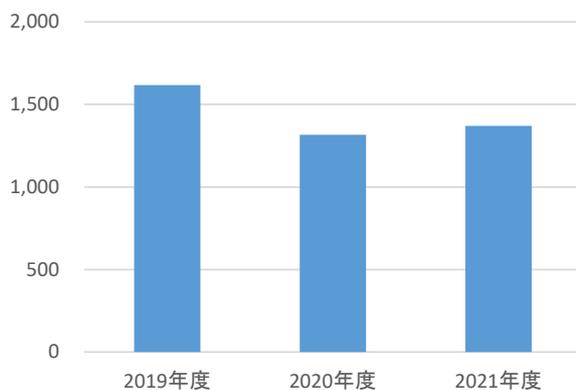
LPG 使用量 (単位:m³)

	2019年度	2020年度	2021年度
m³	11,314	10,605	12,316
対前年比	2.8% 増	6.3% 減	16.1% 増



上水道使用量 (単位:m³)

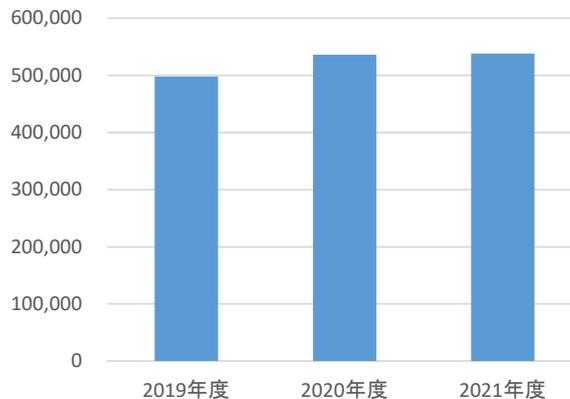
	2019年度	2020年度	2021年度
m³	1,616	1,316	1,370
対前年比	7.2% 増	18.6% 減	4.1% 増



ハートライフ地域包括ケアセンター

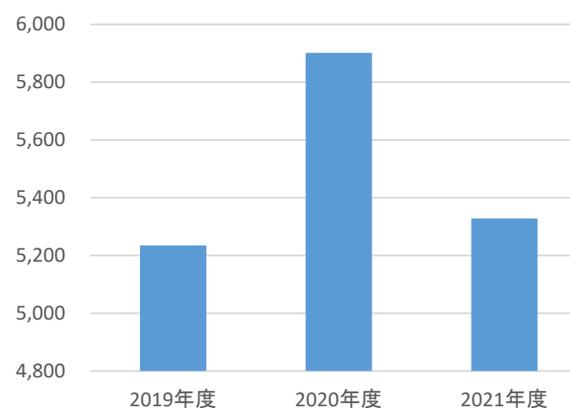
総電力量 (単位:kwh)

	2019年度	2020年度	2021年度
千kwh	497,719	535,867	538,166
対前年比	13.6% 増	7.7% 増	0.4% 増



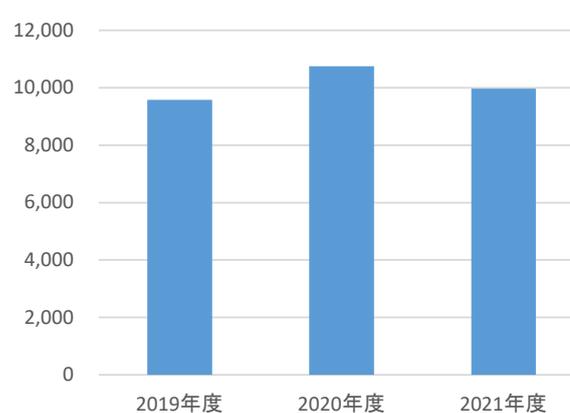
LPG 使用量 (単位:m³)

	2019年度	2020年度	2021年度
千kwh	5,234	5,901	5,328
対前年比	7.9% 増	12.7% 増	9.7% 減



上水道使用量 (単位:m³)

	2019年度	2020年度	2021年度
千kwh	9,580	10,751	9,967
対前年比	13.7% 増	12.2% 増	7.3% 減

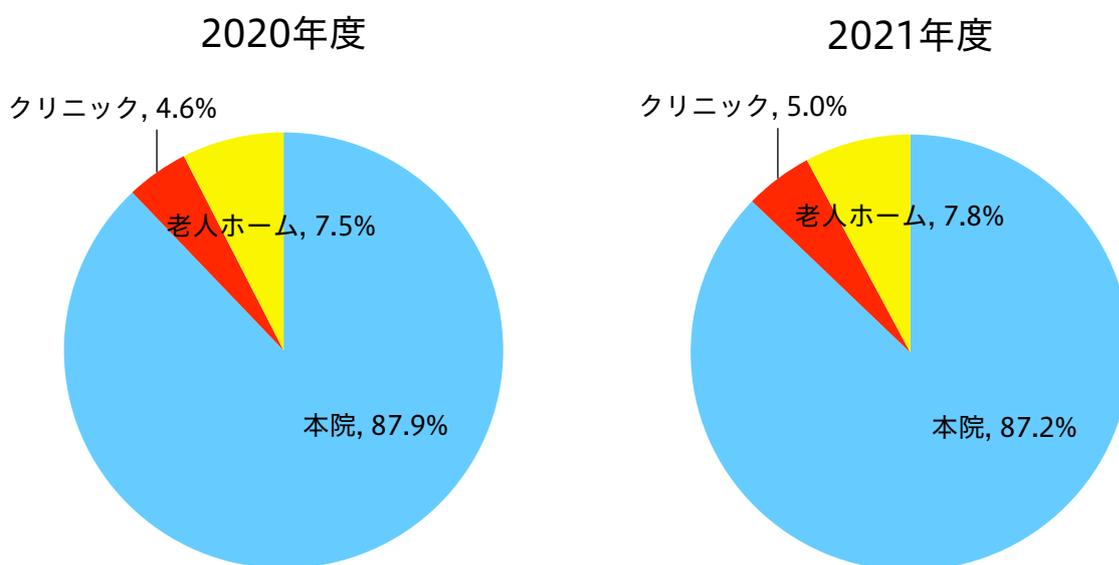


法人全体エネルギー原油換算量

	本院		クリニック		老人ホーム	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021
電力	1,527	1,563	65	65	138	138
LPG	22	21	29	33	16	14
A重油	251	116	-	-	-	-
合計	1,800	1,700	94	98	154	152
2020年度 法人合計			2022年度 法人合計			
			2,048		1,950	

令和3年度 エネルギー原油換算量 1,950KL 【前年度比 (4.8% 削減)】

法人各施設エネルギー使用量比率



令和3年度はかりゆし会において対前年度比、原油換算値が約4.8%減少しました。理由としては、ハートライフ病院の電力総受電の為、常用発電機の廃止による燃料消費量の減少が考えられます。
【省エネ法 事業者クラス分け評価制度にて4年連続Sクラス(省エネが優良な事業者)に評価されました】

活動実績

管財課 施設係 各設備点検業務状況

4月	窓ガラス、網戸清掃(本館)・本館1Fフロア洗浄ワックス清掃・エレベーター点検・ダムウェーター点検
	貯水槽清掃(ケアセンター)・浄化槽設備点検・第一種圧力容器性能検査・害虫防除作業(厨房)
	受変電設備定期点検(ケアセンター)
5月	簡易専用水道検査・エレベーター点検・ダムウェーター点検・東館、窓ガラス 網戸清掃
	消防設備法定点検・温水ボイラー点検・受変電設備定期点検(クリニック)・簡易専用水道検査(クリニック)
	簡易専用水道検査(ケアセンター)・BEMS定期点検(ケアセンター)
6月	エレベーター点検・エレベーター定期検査・ダムウェーター点検・害虫防除作業(本院)
	浄化槽第一原水バキューム清掃・空調フィルター清掃(東館)
	受変電設備定期点検(ケアセンター)・消防設備点検

7月	特殊建築設備点検・エレベーター点検・ダムウェーター点検・害虫防除作業(厨房)
	空調フィルター清掃(本館)・飲料水水質検査・非常用発電機年次点検(東館)
	第一種特定特定製品点検(本院、ケアセンター)・受変電設備年次点検(クリニック)
	特殊建築設備点検(ケアセンター)
8月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・1階フロアワックス作業(本館・西館)・液化酸素定期検査
	消防設備法定点検(クリニック)・受変電設備定期点検(ケアセンター)・BEMS定期点検(ケアセンター)
	第一種圧力容器性能検査
9月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・害虫防除作業(厨房)
	特定事業者排水検査・第一種圧力容器性能検査・ばい煙濃度測定
	受変電設備定期点検(クリニック)
10月	医療ガス設備保守点検・エレベーター点検・ダムウェーター点検・害虫防除作業(厨房)
	空調フィルター清掃(東館)・窓ガラス、網戸清掃(本館)・非常用発電機年次点検(本館)
	(クリニック) 窓ガラス、網戸清掃・受変電設備定期点検(ケアセンター)・BEMS定期点検(ケアセンター)
11月	ばい煙濃度測定・空調フィルター清掃(本館)・エレベーター点検
	ダムウェーター点検・消防設備法定点検・防火設備法定点検・上水道タンク清掃(本院・クリニック)
	窓ガラス、網戸清掃(本館・東館)
	受変電設備定期点検(クリニック)・簡易専用水道検査・BEMS定期点検(ケアセンター)
12月	防火・防災対象物点検・害虫防除作業(本院)・エレベーター点検・ダムウェーター点検
	受変電設備法定点検(本館・東館)・浄化槽水質検査・消防設備点検(ケアセンター)
1月	エレベーター点検・ダムウェーター点検・防火対象物、防災管理点検・害虫防除作業(厨房)
	OR⑦⑧⑩/ICU HEPAフィルター取替・受変電設備定期点検(クリニック)
	(老人ホーム) BEMS定期点検
2月	空調フィルター清掃(東館)・エレベーター点検・ダムウェーター点検・ばい煙濃度測定
	消防設備点検(クリニック)・非常用発電機年次点検(クリニック・ケアセンター)
	受変電設備年次点検(ケアセンター)・BEMS定期点検(ケアセンター)
3月	危険物設備地下タンク検査・本館非常用発電機年次点検・害虫防除作業(厨房)
	エレベーター定期検査・ダムウェーター定期検査・空調フィルター清掃(本館)・第一種圧力容器性能検査

※施設名表記の無いものはハートライフ病院

経営企画室

事務副部長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の3つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。経営企画室の配下に、IT・システム業務を行うための電算係と、内外への広報・広告を行うための広報係が包括され、業務の幅がとて広い特徴があります。

職員数

総数

9名

職種別

一般事務 9名

運営方針（2020年4月1日更新）

1. 新規事業への早期取組
 - a. 新規事業の経営企画面での関与
 - b. 診療体制の活性化
 - c. 研究体制の活性化（臨床倫理・治験体制の強化）
2. 診療支援・経営支援のための情報収集と分析
 - a. 診療実績と収支構造の把握と分析
 - ① DPC データの積極活用
 - ②原価計算・管理会計の導入
 - ③ベンチマーク
 - b. 診療マーケティング分析体制の構築
 - ①事業拡大に向けた広報・地域医療連携への活用
 - c. 医療制度改革の方向性の把握と分析
 - ①診療報酬改定
 - ②介護報酬改定
 - ③病床機能分化（病床機能報告制度・地域医療構想・地域包括ケア）
 - d. 上記取組の現場と経営層への積極的なフィードバック
3. 業務体制の強化
 - a. 経営感覚と現場感覚の両立
 - b. 配下部署の教育体制の強化

企画室の行動指針

1. 業務支援・経営支援のための情報収集・分析・提案
単に情報をつめるだけでなく、分析し、戦略構築と企画提案につなげる
2. 経営層と運営層への積極的なフィードバック
情報を視える化し、適時のフィードバックを通して、時機を見逃さない
3. 法人理念と事業計画を基軸にする
いかなる場合でも過去・現在・未来を俯瞰し、法人理念と事業計画に沿って今やるべきことを判断し、ニーズの掘り起こしとそれに答える企画提案を実現することで、顧客に貢献する
4. コスト意識を持つ
1円を積み上げる努力（現場の汗）、1円を使う責任（重み）を忘れない
5. 現場へ足を運び、現場力を身につけること
経営活動の力点・支点・作用点はいずれもすべて現場に存在するので、現場へと積極的に足を運び、現場のニーズや課題を引き出すコミュニケーションを怠らない
6. 企画室の顧客は「地域社会」と「法人（各施設、部署、職員、患者と利用者）」
患者さんや利用者、その家族、地域住民、連携機関、行政はもちろんのこと、法人内の各施設、部署、職員もすべて「顧客」として接する

学会発表・資格等

名称	開催地	開催時期
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	オンライン開催	2021年8月
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	大阪府	2022年2月

活動報告

名称	部門	開催時期
理事会事務局	共通	月1回定例
経営会議事務局	共通	月2回定例
運営委員会事務局	共通	月2回定例
事業継続計画マネジメント会議事務局	共通	通年
算定率向上ワーキンググループ（各種加算）	共通	月1回定例
臍帯血移植施設認定事務局	血液内科	通年
非血縁者間骨髄移植・採取施設認定事務局	血液内科	通年
非血縁者間造血幹細胞移植施設・診療科認定事務局	血液内科	通年
地域災害拠点病院設備整備事業事務局（補助事業）	共通	通年
新型コロナウイルス感染症災害対策本部事務局	共通	通年
新型コロナウイルス感染症ワクチン対策ワーキンググループ事務局	共通	通年
その他新型コロナウイルス関係の事務局（補助事業）	共通	通年

年度総括

コロナに始まり、コロナに終わる・・・2021年度はこの言葉がまさにしっくり来る年でした。

事業計画をどんなに練り上げても、コロナの流行で停滞しては再開を繰り返し、新規事業が思うように前進しない、そういう年度だったと感じます。

2021年9月には重症度、医療・看護必要度をⅠからⅡへ切り替えました。現場で実施した医療行為に漏れがないように看護部・事務部のコアメンバーでワーキンググループを作り、ようやく実を結んだ形です。看護師の負担軽減につながればと思います。

2022年4月からの診療報酬改定では、重症度、医療・看護必要度の改定も想定の範囲内に収まりそうで、まずは一安心です。昨今の医療制度改革は、①救急に力を入れなさい、②手術など侵襲性の高い医療サービスに力を入れなさい、③在院日数を短くしなさい、④働き方を整理しなさい、という4点が、急性期病院に対するメッセージの芯になっています。今回の改定もまさに、そういう取り組みに対して新たな加点がなされます。体制とプロセスの評価がバランス良く入っているイメージで、早く対応できるかどうか、今後急性期病院としての資質につながるのだろうと読んでいます。

さて、来年度中盤ごろに、経営企画室を手伝ってくれた粟盛信子さんが定年再雇用を終え、当院を卒業します。粟盛さんは看護師として当院ができた黎明期から長らく地域医療連携室やベッドコントロールをご担当され、当院の病床運営を長年支えてくれました。定年再雇用後はその知識を活かし、重症度、医療・看護必要度の集計や評価漏れ対策などを中心に経営企画室で活躍されています。一緒に仕事をしながら、ときたま出てくる病院の昔話が面白くて、興味深くて。この原稿を執筆している時点で、残り半年余しか一緒に仕事できないと、急に寂しさが湧いてきます。新天地でもご活躍されることを祈念します。

残念なこともありました。法人の設立時から当院を支えてくれた診療情報管理室の柳学さんが急逝されました。彼は正義漢あふれる人物で、これからも尊敬する先輩の一人です。私の医事経営の知識は、その多くが柳さんの背中から教わったことから広がったものです。いつだったか居酒屋で、那覇ハーリー大会に病院として出場した昔話をしていたときの笑顔が思い浮かべられます。

2022年下半年期からは、経営企画室が再度1人体制となります。短期的視点では経験豊富な中途採用で補充したいところですが、若手を育成する必要性も感じています。

電算係

係長 宮城 克己

認定・資格

認定・資格名	認定・資格名
第二種情報処理技術者	日本商工会議所簿記検定試験 2 級
システムアドミニストレータ	Cisco certified network associate
第一級陸上特殊無線技士	Cisco certified network professional(BSCI)
デジタル第一種工事担当者	Cisco certified network professional(BCMSN)
ソフトウェア開発技術者	Microsoft certified professional(70-270)
医療情報技師	電気工事士 2 種

運営方針

1. IT への理解力と応用力を身に着け、院内の IT 環境の充実に努める
2. 院内ネットワークの有効活用
3. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
4. スキルの向上
 - a) プログラミング、ドキュメント化技術の向上
 - b) 病院業務への理解を深め、業務効率の向上に努める

活動報告

ネットワーク障害対応	緩和ケア学会サポート
インターネットスポットのパスワード管理	IT 推進委員会の開催 (1 回/月)
電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新	財務統計処理
電子カルテ定期サービスパック適用	不要 IT 機器の廃棄
令和 3 年度医療改定、介護システム改定対応	IT 機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減
RDS を利用したおきなわ津梁ネットワーク閲覧	AI 問診システム導入
患者待ち時間調査結果集計	JED システム導入
クリニカルパス大会サポート	読影レポート作成システム (健診部門のみ)
オンライン資格確認システム構築	

年度総括

2021 年度は新型コロナウイルス感染症も収束せず、流行の波が何度も訪れる状況で発熱外来への端末設置対応や関連マスタ整備等、前年度から引き続きコロナ禍での勤務対応を行ってまいりました。

大きな出来事として、オンライン資格確認の環境準備、機器準備、設置を完了して現在稼働中です。

また AI 問診システム (Ubie) の導入を行い、現在内科のみでの稼働ですが、状況を見て他科への展開も予定しています。ほかにも読影レポート作成システムリプレイス (IReporter から EVReporter)、JED システムの導入作業を行いました。

次年度は電子カルテシステムのリプレイス、旧式化した電子カルテ端末の入替え等の作業を予定しています。また、前年度から引き続いての作業もあり、さらなるスキルアップと効率の良い対応・作業を心がけて業務を遂行していきたいと思っております。

広報係

係長 知念 政治

活動目的

広報専任担当者2名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンターの各種広報活動を行っております。中心業務は各施設の現状やPRポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関する規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。また、毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し作成業務にあたっております。

認定・資格

認定・資格名	人数
システムアドミニストレータ	1
サーティファイ webクリエイター能力検定試験 上級	1
サーティファイ Flashクリエイター能力認定試験 上級	1

認定・資格名	人数
ユニバーサルデザインコーディネーター	1
WEB解析士	1

主な報道・取材対応

区分	内容	掲載媒体	年月日
取材対応	ワクチン接種 中城スタイル	琉球新報 2021年5月12日掲載	2021年5月10日
取材対応	ワクチン接種 中城スタイル	QAB2021年6月8日放送 OTV2021年6月8日放送 NHK2021年6月10日放送	2021年6月7日
取材対応	西原で千人規模接種 ハートライフ病院が協力	沖縄タイムス 2021年6月20日掲載	2021年6月19日
取材対応	ハートライフ病院で県内初 沖縄セルラー健康アプリでの人間ドック・健診結果の閲覧サービスを導入	琉球新報・沖縄タイムス	2021年8月2日
取材対応	連載記事「令和新時代 医療への事務的アプローチ」(メディカル・データ・ビジョン株式会社)	月刊「医事業務」11月号	2021年9月14日

事務局運営

- ・ かりゆし会広報委員会
- ・ かりゆし会年報作成委員会
- ・ 広報誌 LIFE 製作委員会

研究業績

学会発表

	演題名	開催地	年月日	参加者
第71回日本病院学会「Think Quality」～医療の質・経営の質～	人材採用サイトのアクセス解析とCRO (Conversion Rate Optimization)	オンライン	2021年6月25日～7月30日	仲田尚正

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
コンプライアンス講習会「ソーシャルメディアの利用について」	当院	2021年4月1日	新入職員対象

セミナー・勉強会などへの参加

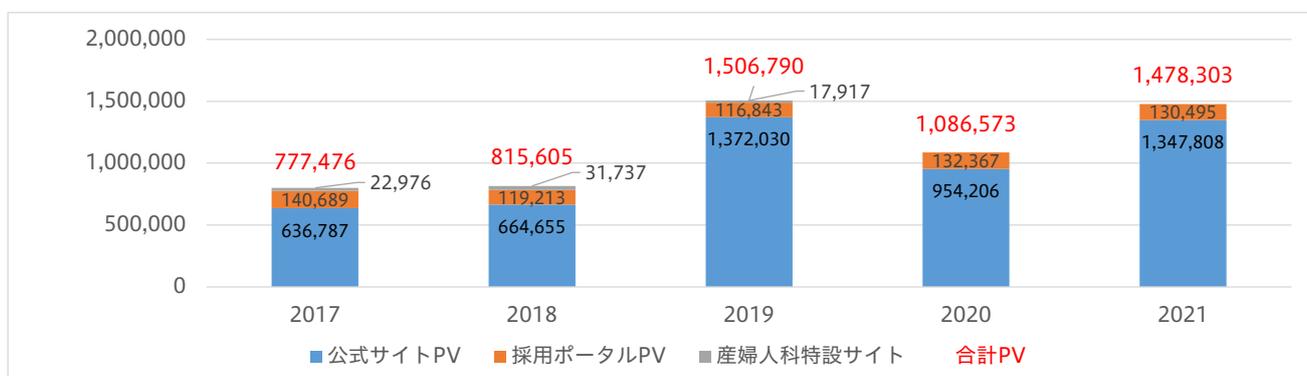
名称	開催地	年月日	参加者
WACA 北海道支部主催 Google マイビジネス活用講座& 2021年度ウェブ解析士フォローアップテスト対策講座	オンライン	2021年5月22日	仲田尚正
中小企業で大手に勝つ方法とは? 超効率化! 基礎から応用 リスティング広告からSNS 広告まで	オンライン	2021年6月5日	仲田尚正
Google データポータルによるレポート作成の教科書』出版記念セミナーDay1	オンライン	2021年6月9日	仲田尚正
Google データポータルによるレポート作成の教科書』出版記念セミナーDay2	オンライン	2021年6月20日	仲田尚正
表示スピードをコントロールしないと売上げが危ない! by WEB 表示スピード研究会	オンライン	2021年7月29日	仲田尚正
病院の多職種リーダー研修会-専門職から組織人へ-第1会合	オンライン	2022年2月25日	知念政治、仲田尚正
病院の多職種リーダー研修会-専門職から組織人へ-第2会合	オンライン	2022年3月11日	知念政治、仲田尚正
病院の多職種リーダー研修会-専門職から組織人へ-第3会合	オンライン	2022年3月25日	知念政治、仲田尚正

公式サイト統計

ページ閲覧数 (PV) 推移

※ 産婦人科特設サイトは 2017 年 9 月 1 日より公開しました

※ 2019 年 12 月 26 日に公式サイトリニューアルを実施し、産婦人科特設サイトを閉鎖しました



診療情報管理室

診療情報管理室主任 真栄平 久美子

職員数

総数

9名

職種別

診療情報管理士 8名（病歴担当5名、がん登録担当3名）

一般事務 1名（病歴担当1名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	8

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
【業務（収入）計画】業務全般に対する取組みの内容及び、展望について	●適切なDPCデータの作成 ・「部位不明・詳細不明コード」の使用割合10%未満の維持（目標3%未満） ・DPCデータの様式間の記載矛盾のあるデータの件数が全体の1%未満の維持 ・様式1の未コード化傷病名である傷病名の割合の2%未満の維持	100%	3項目の目標値をクリアすることが出来た
	●DPCの機能評価係数IIアップに向けて ・①保険診療指数、②効率性指数、③複雑性指数、④カバー率指数、⑤救急医療指数、⑥地域医療指数の各指数アップへ向けてデータの分析力を学ぶ ・副傷病名漏れへの対策（目標18%）	-	2020年度の伸び率が悪かった③複雑性係数と⑤救急医療係数の伸び率が他の係数に比べてよかった。②効率性指数、④カバー率指数が下がった。要因分析が課題。
	●分析ツールの活用の充実（MEDE-ARROWS、EVE、MedicalCode、SSIScope）	50%	コロナ禍にて分析ツールのWeb研修会等が開催されるようになったので、積極的に参加し活用の充実を図りたい。
	●病院指標の作成と公開他	100%	各診療科の部長等へ評価コメントを依頼し、期日までに自院ホームページへアップ、機能評価係数への評価が行なわれた。
	●診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成	50%	各部署や医師等から依頼された資料への対応はできたが、当部署からの積極的な発信が出来ていない。
	●診療録の監査（量的・質的）の実施の継続及び内容の充実を図る ●カルテ廃棄の作業（保管スペースの確保）	50% 0%	診療録委員会にて2ヵ月毎（偶数月）に診療録の監査を実施しているが、監査項目の見直し等の検討が必要。 死亡退院後11年経過した退院カルテの廃棄作業に今年度も手を付けられなかった。（※廃棄対象H14.01-H22.12DC分）
【要員計画】計画を執行する為に必要な要員	●人員は現状の9名を維持（病歴担当6名（診療情報管理士5名＋契約1名）、がん登録担当3名（診療情報管理士3名）	100%	令和03年度の退院患者総数が8,888名、コロナ感染の影響で伸び率が悪く、令和02年度比で109名増であった。退院患者2,000名に1名の診療情報管理担当者を配置すれば、診療録管理体制加算の基準はクリアするので、現状の人員を維持。
【教育研修計画】年間スケジュールの作成	●診療情報管理士による全職員向けのDPC勉強会の継続	50%	コロナ禍にて勉強会の開催は出来なかったが、WEBでの研修会や学会への参加・発表は出来た。
	●DPC夏期セミナー等への参加		
	●がん登録研修等への参加		
	●令和2年度「院内研究発表会」へ演題発表		
	●学会発表の継続		

項目	概要	達成率	評価
【設備計画】 機器の更新・新規購入、 修繕、備品	●特に予定なし	-	-

活動実績

研修・勉強会などへの参加

名称	日時	開催地	参加者
令和3年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会	2021年5月7日	オンライン	兼濱 亜紀
令和3年度 第1回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング Web会議	2021年5月19日	オンライン	宮平奈美子
MDV ユーザー会 EVE スクール「入門講座」	2021年5月14日	オンライン	大城 克枝
第71回 日本病院学会	2021年6月10日	オンライン	真栄平久美子
第71回 日本病院学会	2021年6月10日	オンライン	宮平奈美子
第10回 医療情報セミナー	2021年6月19日	オンライン	大城 克枝
日本診療情報管理士会 令和3年度 全国研修会	2021年7月17日	オンライン	真栄平久美子
第107回 診療情報管理士生涯教育研修会	2021年7月31日	オンライン	真栄平久美子
2021年度 院内がん登録中級認定者研修	2021年9月13日	オンライン	宮平奈美子、兼濱亜紀
第47回 日本診療情報管理学会学術大会	2021年9月16日	オンライン	真栄平久美子
令和3年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング Web会議	2021年11月17日	オンライン	宮平奈美子
DPC データ分析事例発表会	2021年11月18日	オンライン	柳学、真栄平久美子、我如古理咲子、大城克枝、田河美智代
院内がん登録実務中級認定者認定更新試験	2021年11月30日	那覇テストセンター	兼濱亜紀
NISSAY IT セミナー 診療報酬改定セミナー	2022年2月17日	オンライン	真栄平久美子、大城克枝、田河美智代
第110回 診療情報管理士生涯教育研修会	2022年2月19日	オンライン	真栄平久美子
琉大主催 院内がん登録研修会	2022年3月12日	オンライン	宮平奈美子、兼濱亜紀
診療報酬改定説明会：全日病	2022年3月15日	オンライン	宮平奈美子、真栄平久美子、我如古理咲子、兼濱亜紀、大城克枝、田河美智代

総務課

総務課課長 富里 等

職員数

総数

14 名

職種別

一般事務	5 名	司書	1 名
保安警備	1 名	屋外植栽管理	1 名
患者送迎サービス係	6 名		

運営方針

- ・ 事務処理の迅速化を図る
- ・ 各部署に対する支援強化を図る
- ・ 職場環境の整備に努める
- ・ ワークライフバランスの推進

活動実績

院内行事運営など

年月日	名称
2021年4月1日	入職式・新入職員オリエンテーション(1日目)
2021年8月22日	ハートライフ病院 開院 33 周年
2021年10月4日	患者満足度調査 外来部門、透析室、予防医学センター、内視鏡センター：10月4日～10月5日 入院部門：10月4日～10月9日
2022年1月4日	院内成人式
2022年1月13日	食堂とまご利用の職員へぜんざいを提供(無料サービス)
2022年1月19日	新職員駐車場(病院道向かい) 外周の樹木伐採

事務部 年度総括



事務部長
當銘 秀之

最初に 2021 年度を振り返りますと、2020 年度同様に新型コロナ禍に振り回された 1 年でした。4 月からの第 4 波、8 月にデルタ株の第 5 波、今年に入っ
ての第 6 波、そして未だに収束が見えない BA.2 株の第 7 波と立て続けに感染
流行の波がやってきました。第 4 波以降は、手術制限を何度か行いましたので、
医業収入減を危惧しておりましたが、職員皆さんの必死の頑張りによって医業
収入は事業計画より上回ることができました。また昨年度同様に国や県からの
協力金、補助金のおかげで当期利益も黒字となりました。

コロナ禍の中さまざまな対策、対応に尽力して頂きました皆さんには、心より
感謝申し上げます。

コロナ禍とは関連はありませんが、西館、本館は着々と老朽化が進んでいます。
竣工して西館は 40 年近く、本館は 30 数年が経過しています。経年劣化で至る
ところに問題が発見、散見されていますので、2020 年度からは大規模修繕委員
会を立ち上げ、予算を確保してさまざまな改修工事を行ってきました。これま
でに常用発電機の撤去、昇降機の改修、防水工事、空調設備の改修を行ってき
ました。更に、災害拠点病院として機能強化を図るために受水槽の増設、無停
電装置を手術室、ICU、HCU 等へ設置しました。今年度は更に非常用発電機の
改修を予定しています。今後も予算を確保した上で、老朽化した施設の改修お
よび環境整備を行う予定です。

さて、2022 年度は診療報酬改定の年です。この年度総括を執筆している時点
で改定内容は既に発表されていますが、急性期病院を継続・維持していく上で
はかなり厳しい内容になっています。また、医療の質やチーム医療の充実をこ
れまで以上に求められ、更に医師の働き方改革にも取り組む必要がある改定に
なっています。これらの問題解決に向けてこれまで以上に対応、対策を行って
いく所存です。

また、2022 年度は 2 年ぶりに事務部総合職 4 名（内 2 名は欠員補充）の採
用を行いました。9 月まで各部署で研修を行い 10 月以降に現場に配属する予定
です。彼らの成長する姿を見るのが非常に楽しみです。

2022 年度はコロナ禍の中、診療報酬改定があり、病院と職員にとって厳し
い年度が始まりました。事務部門としては様々な困難を例年通り「笑顔で親切」
のスローガンの下、職員一丸となって乗り切っていく所存です。最後に今年こ
そコロナ禍が終息することを願っております。

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	高良 誠	構成人数	23名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者を中心にした医療の質向上をはかる。 2) インシデント事象の情報を収集し、分析から対策の確立をはかる。		
今年度の主な活動内容	1) 医療事故防止対策の検討及び研究に関すること 2) 医療事故の原因調査に関すること 3) 事象対策に関すること 4) 事象防止のための提言に関すること 5) 事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6) リスクマネージャー養成に関すること		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会	開催日	年1回(不定期)
委員長名	島袋 泰	構成人数	25名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	野原 剛
活動目的	医療ガス(診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。 1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
今年度の主な活動内容	1. 医療ガス設備保守点検結果報告 2. ネーザルハイフロー複数台仕様時の酸素配管供給への影響について検証		
備考			

医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会	開催日	適宜
委員長名	秋元芳典	構成人数	11名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	病院で発生した医療事故、訴訟問題への迅速な対応を行う。		
今年度の主な活動内容	1) 医療事故発生の事実及び経過の確認に関すること 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会	開催日	不定期開催
委員長名	佐久川 廣	構成人数	22人
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
今年度の主な活動内容	・4月の新人オリエンテーションにて、委員会活動報告と廃棄物処理の説明を行う。 ・感染性や非感染性廃棄物の廃棄不備などを写真にて記録し、関係部署へ注意喚起を行う。 ・電子マニフェスト化の運用開始。		
備考			

院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会	開催日	毎月第3月曜日等
委員長名	普天間光彦	構成人数	14名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	城間克也
活動目的	ハートライフ病院の感染管理のため、院内感染に関する意思決定機関として関連事項の調査・審議を行う。		
今年度の主な活動内容	1) 院内感染対策委員会の開催 月1回定例開催で年度12回の開催 2) 委員会における調査・報告内容 ICT（感染制御チーム）報告 ①サーベイランス（耐性菌 / 抗酸菌 / インフルエンザウイルス / CD / 針刺し・切創の発生報告） ②手指衛生状況（アルコール製剤使用量、手指衛生遵守率） ③耐性菌アウトブレイク監視（MRSA） ④JANISサーベイランス事業（全入院部門） ⑤COVID-19関連（院内対応と状況、職員濃厚接触者状況など） AST（抗菌薬適正使用支援チーム）報告 ①抗菌薬使用状況（総使用量、指定抗菌薬、使用届出） ②AUD（抗菌薬使用密度） ③血液培養分離 ④菌血症・届出抗菌薬モニタリングの介入・フィードバック報告 ⑤血液培養の複数セット採取率と汚染率 ⑥JANISサーベイランス事業（検査部門）		
備考			

安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	13名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	富里 等、国吉葉子、嘉数百合
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職員のメンタル不調の予防 職場の安全確保・環境改善を図る		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年4月 春季職員健診実施（健診後事後措置実施 6月～） ・2021年4月 職場巡視（1～3部署 / 月） 通年 ・2021年5月 職員対象 新型コロナワクチン接種（2回目） ワクチン班と共同実施 ・2021年6月 新型コロナ患者対応 職員へのアンケート ・2021年9月 職員B型肝炎ワクチン接種（1回目） ・2021年10月 職員B型肝炎ワクチン接種（2回目） ・2021年10月 秋季職員健診（健診後事後措置実施 11月～） ・2021年11月 職員インフルエンザワクチン接種 ・2021年12月 職員対象 新型コロナワクチン接種（3回目） ワクチン班と共同実施 ・2022年2月 職員ストレスチェック ・2022年3月 職員満足度調査（WLB委員会・人事課と共同実施） 		
備考			

NST委員会

委員会名	NST委員会	開催日	毎月第2月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	43名
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	當眞結子
活動目的	1. 低栄養にある患者のアセスメントを多職種で行い、適切なアドバイスを行う 2. リンクナースの育成を行い、栄養サポートに対する質の向上を図る 3. NST活動活発化にむけてNST専門療法士の取得を目指す		
今年度の主な活動内容	1. 低栄養にある患者のアセスメントを多職種で行い適切なアドバイスを行った。年間加算取得は390件だった。 2. リンクナースの育成を行い、栄養サポートに対する質の向上を図った。症例検討会が、前年度の2回を上回り、今年度は4回実施できた。又医師による勉強会も開催した。 3. NST活動活発化にむけてNST専門療法士の候補2名を選出した。 4. 沖縄NSTフォーラムにて症例発表を行った。		
備考			

エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会	開催日	奇数月の第2金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	7名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、光熱費の削減に努める。 		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模災害や長期停電に備え、2回線受電工事を行った。 2. 手術室(7・8・10室)とICU、HCUの電源確保のため、UPS装置の設置を行った。 3. 全館空調機の老朽化のため、予算化を行い今年度から工事を開始する。 4. 配膳専用エレベーターの更新を行った。 		
備考			

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会	開催日	毎月第3火曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	真栄城 ゆかり
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理の充実・向上とその適正な運営(栄養管理、給食に関する問題点の改善及び対策) 		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・嗜好調査(年4回)の報告 ・食事変更、欠食等時間外オーダー件数報告 ・下膳方法の変更(エレベーター内にラック設置、時間設定等) ・院内約束食事箋の一部変更(蛋白食の備考追加) 		
備考			

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	10名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	兼濱 亜紀
活動目的	<p>がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん診療の提供の推進を図る。</p>		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. セカンドオピニオンの受け入れ、および他院への依頼 2. 緩和ケア病院への紹介 3. がん患者さんへの在宅退院支援 4. 沖縄県緩和ケア研修会の運営開催2022年2月19日(参加者12名) 5. がん対策推進企業アクションからの情報紙(ニューズレターvol.6~17)を正面玄関、各部署へ配布 6. 患者向けがんの小冊子(がん治療情報)を関連診療科に配布 7. 2019年症例の沖縄県院内がん登録集計報告書10冊を関係部署、および患者用として関連診療科外来へ配布 8. 沖縄県がん患者妊孕性温存療法研究促進事業について患者へ情報提供としてパンフレット等を設置 9. 2020年症例の全国がん登録、院内がん登録の提出(603件) 10. 国立がん研究センター主催の院内がん登録予後調査支援事業への参加 11. 国立がん研究センター主催の院内がん登録QI研究への参加 12. がん対策推進企業アクションセミナー・アンケート調査への参加 13. 協議会、研修会、セミナーへの参加(Web開催) <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県がん診療連携協議会傍聴参加2021年5月、8月、11月、2022年2月の計4回(兼濱・砂川・宮城・田中) ・緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキンググループ参加2021年5月、11月(宮平)、2022年2月(西原) 		
備考			

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会	開催日	毎月第1木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロトコルシステムの整備・改定 新規レジメン登録件数 15 件 ・ マニュアルの整備・改定（血管外漏出のフローチャート改訂） ・ 院内勉強会の開催（年 2 回：免疫チェックポイント阻害薬の有害事象、血管外漏出の勉強会） ・ 安全キャビネットの定期点検（フィルター交換等のメンテナンス） ・ 閉鎖式デバイスの導入・運用 無菌調製処理量の算定（2338 件 / 年） ・ 化学療法加算増加・がん患者指導料の算定増加への取り組み 外来化学療法加算（1392 件 / 年） ・ 免疫チェックポイント阻害薬に関する連携強化 		
備考			

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会	開催日	毎週水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	39名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	兼城 雅
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人工呼吸器からの離脱支援：ウィニング計画の立案と実施、コンサルテーション。 2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援。 3) 呼吸器関連デバイスの更新や運用検討。 4) 酸素療法や人工呼吸器使用に関する勉強会の定期的な開催。 5) 毎月第2水曜日にミーティングを行い意見交換やケアに関する情報収集を行う。 		
今年度の 主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 毎週水曜日に行う院内ラウンド【2021年度は年間 151 名に対してラウンド実施】 <ol style="list-style-type: none"> ①対象患者は人工呼吸器装着中で呼吸器から離脱を目標としている患者、もしくは離脱困難で長期間呼吸器管理が必要な患者や在宅人工呼吸器に移行する可能性のある患者への介入 ②病棟看護師やリハビリスタッフからの要請で酸素療法実施中の患者のデバイス選定やコンサルテーション 2) 人工呼吸器関連のデバイス変更や更新時の機器・デバイス選定への寄与 		
備考			

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会	開催日	年 2 回（5 月・10 月）
委員長名	仲地智俊（個人情報保護管理責任者）	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	仲地智俊
活動目的	社会医療法人かりゆし会において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当法人職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
今年度の 主な活動内容	1. 2021 年 4 月 新職員オリエンテーション 新職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明		
備考			

診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会	開催日	毎月第 4 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会毎月 1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会	開催日	年 2 回 (6 月・3 月)
委員長名	佐久川 廣	構成人数	46 名
事務局・担当部署	臨床研修センター	担当者名	古謝穂乃佳
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関して必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
今年度の主な活動内容	1. 2021 年度採用初期研修医第 18 期生 (7 名) の紹介 2. 2021 年度スケジュールの確認 3. 2020 年度採用初期研修医第 17 期生 (3 名) の修了判定 (院内委員:現地開催、院外委員:書面会議) 4. 令和 2 年度 (2020 年度) 初期臨床研修医募集要項の確認 5. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討		
備考			

大規模修繕委員会

委員会名	大規模修繕委員会	開催日	不定期開催
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・病院機能維持のため、大規模改修工事の中長期計画を策定し、計画的に修繕計画を実施する。 ・2021 年度の予算: 32,869 万円を理事会承認を得る。		
今年度の主な活動内容	1. 本館・西館の全館空調機更新工事の発注 2. 手術室・ICU・HCU の無停電装置設置工事完了。 3. 配膳用エレベーター (No. 3) のリニューアル工事完了。 4. 2 回線受電工事完了。		
備考			

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会	開催日	年 1 回 (8 月)
委員長名	佐久川 廣	構成人数	20 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城司・新垣りか
活動目的	ハートライフ病院が地域などからの要請に適切に対応し、地域における医療確保に必要な支援を行うために、必要な事項を審議する目的で地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	コロナウィルス感染状況を鑑みて開催していません。		
備考	年度に 1 回以上委員会を開催する。		

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会	開催日	毎月第2火曜日
委員長名	嘉川春生	構成人数	11名
事務局・担当部署	治験管理センター	担当者名	田中健嗣
活動目的	治験を行う為に必要な第3者機関(院長の諮問機関)として、「GCP、臨床研究法」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
今年度の主な活動内容	稼働治験数 :2 件		
備考			

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会	開催日	5・8・11・2月 第3金曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	12名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販される医薬品の中から、患者個々の病態や経済性に考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見ても合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった既存の薬剤の整理を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	<p>委員会の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用医薬品の採用 ・ 後発医薬品の採用方法 ・ 既採用医薬品の再評価の必要性 ・ 陳旧化した医薬品の取り扱い ・ 同種・同効薬の再評価 ・ 院内製剤の採否の決定 ・ 医薬品の適正な使用方法の協議 ・ 医薬品の副作用及び感染症の協議 ・ 在庫医薬品の適切な管理と運用 ・ 病院医薬品集・医薬品情報等について ・ 臨床試用医薬品の採否の決定 <p>その他の審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成委員の改訂 ・ CoVid19 対応薬剤の採用 ・ CoVid19 対応ワクチンの採用 ・ 供給不安定薬剤の供給体制の検討・対応 <p>2021年度審議実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用…29種・43規格 ・ 採用追加…6種・7規格 ・ 採用切り替え…22種・30規格 ・ 後発への切り替え…6種・9規格 ・ 採用条件変更・削除…2薬剤 ・ その他…2件 		
備考			

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会	開催日	奇数月第1金曜日
委員長名	阿嘉 裕之	構成人数	8名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 血液製剤使用状況の確認：製剤毎、医師毎の使用状況の集計を行い、大量使用症例は内容の検討を行いました。 廃棄血の発生状況を検討し対策をおこないました。 廃棄血増加に伴い、廃棄血、発生状況の検討を行いました。 ※廃棄血液金額：2020年度(772,962円)⇒2020年度(53,864円)で減少している。 輸血管理料-Ⅱ(110点)の申請を行いました。 ※血液製剤(アルブミン製剤を含む)の使用患者に月1回を限度として算定される。 輸血適正加算-Ⅱ(60点)はアルブミン製剤の使用量が基準値に満たず、申請できませんでした。 院内在庫の増量(A型赤血球製剤:0単位⇒4単位)と増量後の廃棄血に及ぼす影響の検証を行った。 2021年、輸血関連インシデントの発生状況と内容の検討を実施した。 		
備考	<ol style="list-style-type: none"> 2022年度：輸血管理料-Ⅱ加算は申請可能です。輸血適正加算-Ⅱは、FFP・アルブミンの使用量により加算申請出来ませんでした。 廃棄血金額を50万円以下に抑えることを年度目標としています。 		

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会	開催日	奇数月第1水曜日
委員長名	宮城 敬	構成人数	6名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	斎藤辰好
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので、疾病の診断・治療・予後を判断するための重要な情報を提供するものである。 質の高いデータを迅速に提供できるよう努力する事が大切である。 上記をサポートする事を目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会は基本年6回開催する。また必要に応じ臨時に開催する <ol style="list-style-type: none"> 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 検査精度管理、機器選定ならびに導入計画 検査項目や、正常値の検討 新規検査の導入や検査中止の検討 その他 		
備考			

倫理委員会

委員会名	倫理委員会	開催日	不定期
委員長名	秋元 芳典	構成人数	10名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院(以下、「病院」という。)の職員が行う医療行為および医学研究(以下、「医療行為等」という。)において、「ヘルシンキ宣言」(2000年エジンバラ修正、2002年ワシントン総会で注釈追加)を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 医療にかかる法律の順守に関する事項 患者の権利に関する事項 医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数：20件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 適切なコーディネーションを行う体制に関する事。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関する事。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関する事。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関する事。		
備考			

緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会	開催日	毎週第 4 月曜日
委員長名	花城直次	構成人数	32 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	宮城幸江、高宮里沙
活動目的	がん患者及び家族の治療や症状、生活や精神的不安など感じている苦痛に対して、医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、MSW、臨床心理師がチームとして協働し、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの面からケアを提案し、苦痛の軽減や療養の場所、生活を見据えて支援していく。		
今年度の主な活動内容	緩和ケアチームラウンド件数 88 件 / 年。身体症状への介入依頼が 8 割を超えていた。 転帰として、自宅退院 25 件、ホスピス 15 件、在宅サービス利用 7 件、死亡退院 24 件であった。 1. 緩和ケア診療加算取得とマニュアルの見直し 2. 緩和ケア診療加算 (390 点) 年間目標 50 件→18 件 / 年 個別栄養食事管理加算 (70 点) 8 件 / 年 3. 多職種の見点で症例検討を実施し、他職種や他病棟におけるケアや知識を共有する。 実施件数 5 件 4. 看護師 1 年目へ緩和ケア研修の実施、COVID-19 罹患者へ緩和ケアに関する症例検討会の実施 5. がん性疼痛緩和指導管理料 (200 点) 目標件数 200 件 / 年→295 件		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会	開催日	毎月第 4 月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7 名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	伊集 準
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
今年度の主な活動内容	1) 保険診療に関する事 2) 請求漏れ、査定減の対策に関する事 3) 保険請求事務等の改善に関する事 4) レセプト作成、点検に関する事		
備考			

IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会	開催日	毎月第 3 水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	17 名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	宮城克己
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム (機器) の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
今年度の主な活動内容	①医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの導入・運用方法の検討と管理 ②グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 ③上記①②に係るネットワークの検討 ④ IT 導入に伴うセキュリティ管理 ⑤ IT 機器購入の検討 ⑥各部門システムの導入、運用検討、保守等の管理 ⑦職員の IT 知識の向上		
備考			

クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会	開催日	毎月第3月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	36名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	高橋慎二
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
今年度の 主な活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会	開催日	毎月第2金曜日
委員長名	銘苅 正	構成人数	21名
事務局・担当部署	ER-Aide	担当者名	森元 一晟
活動目的	救急総合診療部の体制（人材確保を含む）を整える。 問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
今年度の 主な活動内容	・救急搬送患者、時間外救急患者の受入れに関する流れや問題点、救急総合診療部に関わるすべての職種のワークライフバランスを考えながら、話し合いをもち、解決策を考え、活動目的を達成する。 ・救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に関しては、救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後議事録は、翌月の運営委員会で報告する。		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に1回以上（第1金曜日）、救急総合診療部委員会は毎月（第2金曜日）1回開催とする。		

投書対策委員会・患者満足度向上委員会

委員会名	投書対策委員会・患者満足度向上委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	富里 等
活動目的	患者さん等からのご意見を収集し、医療サービス向上に繋げること。		
今年度の 主な活動内容	患者さん等に対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上に努めた。 患者さん等からのご意見に対応。 患者満足度調査実施。 快適な療養環境に努めた。		
備考			

医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会	開催日	不定期
委員長名	末吉 健次	構成人数	7名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松 晋也
活動目的	院内で使用される医療機器に係る安全管理体制を図る		
今年度の 主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守管理 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集 医療機器を安全に使用できるような運用を検討する		
備考			

医療機器安全管理分科会

委員会名	医療機器安全管理分科会	開催日	不定期
委員長名	仲松 晋也	構成人数	9名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松 晋也
活動目的	院内で使用される医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的な方策などについて指針を示すことにより、適切な医療機器安全管理を推進、安全な医療の提供に資することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録の整理 医療機器の知識・情報の収集		
備考			

透析機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会	開催日	3ヶ月毎、第2月曜日
委員長名	内里 司	構成人数	5名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里 司
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
今年度の主な活動内容	(1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関すること。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関すること。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関すること。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関すること。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関すること。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。 (7) その他、透析液に関すること。		
備考	透析機器安全管理委員会会議は3ヶ月毎に1度実施する。有事の際は臨時会議を実施する。		

広報委員会

委員会名	広報委員会	開催日	5月、8月、11月、2月の第2水曜日
委員長名	渡慶次 学	構成人数	7名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
活動目的	1) 各施設の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外にPRする。 2) 各施設の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 各施設における掲示物などに関して、規定を作成する。		
今年度の主な活動内容	企画室広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し他職種で検討を行う。法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供。		
備考			

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会	開催日	不定期
委員長名	嘉川春生	構成人数	15名
事務局・担当部署	経営企画室広報係	担当者名	仲田尚正
活動目的	かりゆし会年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
今年度の主な活動内容	1. 2020年度かりゆし会年報の企画およびデータ収集、編集、製本(全298ページ)。 2. 2021年度年報の企画		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会	開催日	不定期
委員長名	鳥袋泰	構成人数	38名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	東恩納小百合
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。 手術スケジュールの調整に関する事、安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、器機の保守点検、新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。 議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
今年度の主な活動内容	【2021年6月17日】 1. 手術制限に伴い延期となった患者の術前検査について検討を行った		
備考			

台風対策委員会

委員会名	台風対策委員会	開催日	必要時(原則13時開催)
委員長名	西原 実	構成人数	16名(医局・看護部・医療技術部・事務部)
事務局・担当部署	事務部 総務課	担当者名	吉川 忍・富里 等
活動目的	1. コンディション発令(台風対策)の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2. コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員の出勤時間などを決定する。		
今年度の主な活動内容	2021年度は台風による影響が無かったため活動実績はありません。		
備考			

ICU・HCU合同運営委員会

委員会名	ICU・HCU合同運営委員会	開催日	不定期
委員長名	鳥袋 泰	構成人数	21名
事務局・担当部署	ICU	担当者名	内間幸人
活動目的	診療科間、多職種の連携を密にし、より効率的なICU運営、HCU運営を目指す。 重症患者(救急・術後・外傷)診療の質の向上に向けた教育と業務の効率化を図る。		
今年度の主な活動内容	SOFAスコア(ICU)入力の運用について 院内BLS・ICLS講習会の運営(教育班) HCUの陰圧・個室化工事期間中のベッドコントロールについて		
備考			

図書委員会

委員会名	図書委員会	開催日	年2回(5月・10月)
委員長名	秋元 芳典	構成人数	5名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城映子
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営を図るため、必要な事項等を審議検討することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署購入図書・雑誌検討 ・文献データベース利用検討 ・廃棄資料検討 ・文献複写依頼 ・蔵書点検 ・所蔵目録作成 ・オンラインセミナー告知(「Up To Date」等) ・データベース導入(「今日の診療」) ・データベーストライアル(「医書.jp オールアクセス」) 		
備考			

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会	開催日	毎月第2月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6名
事務局・担当部署	法人事務局 人事課	担当者名	比嘉康文
活動目的	<p>3.医療の質、向上に寄与するための人材確保</p> <p>4.各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し、経営に寄与する。</p> <p>5.職員の採用(増員・補充・異動・その他)は人事検討委員会を通して検討する。承認後は理事会調整会議にて再審議し、増員等新規に関しては理事会の承認を得る。</p> <p>6.昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案する。</p> <p>7.業務委託の検討</p>		
今年度の主な活動内容	<p>2021(令和3)年度の人事検討委員会開催数15回。承認された事案は理事会調整会議及び理事会で審議され決定される。主な審議内容は、①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う補充④給与表・資格手当の見直しなどがある。</p> <p>2021年度は、かりゆし会全体で182名を採用した。(ハートライフ病院156名、ハートライフクリニック6名、地域包括ケアセンター11名、保育事業3名、附随附帯業務6名)</p> <p><定数増・処遇改善></p> <p>看護部[看護師7名・歯科衛生士1名・発熱外来体制2名・秘書1名]</p> <p>医療技術部[放射線技師1名・理学療法士3名・作業療法士2名・言語聴覚士1名・検査技師1名(C19検査対応者)・管理栄養士1名・栄養科事務1名・]</p> <p>事務部[事務総合職2名※2022年-2024年・財務経理課1名]</p> <p>クリニック[糖尿病内科Ns1名・外来クラーク1名・医事課1名]</p> <p>病棟保育士手当新設・メディカルクラーク診療情報管理士資格保有者手当新設</p>		
備考			

教育・研修管理委員会

委員会名	教育・研修管理委員会	開催日	不定期
委員長名	釜野 武志	構成人数	12名
事務局・担当部署	看護部/事務局	担当者名	比嘉康文
活動目的	<p>医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携(ネットワーク)、IT等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化、向上に寄与する。</p> <p>全職員対象及び委員会・部門別の教育、研修を一括管理し、年間計画を作成し職員へ通知する。</p>		
今年度の主な活動内容	<p>8.全職員対象の講演会、研修会の実施状況確認、実績まとめ</p> <p>9.各部門の学生実習受け入れ状況の確認と実績取りまとめ</p>		
備考			

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会	開催日	不定期
委員長名	西原 実	構成人数	18名
事務局・担当部署	管財課用度係	担当者名	諸見里和也
活動目的	<p>①診療材料及び、医療消耗品に係る方針に関する事</p> <p>②診療材料の高額案件や、纏め買い等で高額となる申請に関する事</p> <p>③購買管理・在庫管理・使用管理に関する事</p> <p>④発注事務等の改善に関する事</p> <p>⑤診療材料に関する職員教育及び啓蒙に関する事</p> <p>新規治療に関わる医療材料の審議に関する事</p> <p>⑥全各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項</p>		
今年度の主な活動内容	<p>審議採用案件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オキシマイザーペンダント型 2. レオカーナ 3. 人工呼吸器 C1、C6 ディスポ回路 4. ディスポ SP02 センサー 5. 角膜移植用、真空トレパン・パンチ 6. 衛生材料各種 7. エアオプティクスブライト 8. メロリン 9. ストラタフィックス 10. 閉鎖式混合調整器具 11. ホッチキスリムバー変更 12. 皮膚ペンの変更 13. 透析キット内容変更 		
備考			

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会	開催日	毎月第4木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	富里 等
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進する		
今年度の 主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師および医療従事者の負担軽減推進 2. 医師当直明け午後勤務休日の推進 3. タイムレコーダ打刻徹底周知(実労働時間の把握) 4. 職員満足度調査(2022年3月実施)安全衛生委員会、人事課との共同 5. 36協定の遵守、特別条項の遵守 6. 年次有給休暇の管理(法定年5日取得) 7. 働き方改革関連への対応 		
備考			

患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会	開催日	毎週木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	7名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	桑江 高
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者と患者との円滑なコミュニケーションを図る 2. 患者等の不安に寄り添い、 3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する 		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週木曜日の委員会にて報告書及び投書にてあがってきた事案について検討・対策を行った。 ・ 2021年度は計45回の委員会を実施し、患者サポート案件62件について協議し対応・改善を図った ・ 医師への不審電話への対策及び職員への再発防止の周知を行った ・ コロナ対策として検温・面会ブース設置(継続) ・ サーモブースでの検温対策(継続) ・ 不当な対応を訴える患者などの対応について、医師や看護師長とカンファレンスを行い、対応に困った際には医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応をとった 		
備考			

QI委員会

委員会名	QI委員会	開催日	毎月第4金曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	11名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	<p>当院は2012年度より引き続き日本病院会主催の「QIプロジェクト2020」に参加しております。QI(Quality Indicator)とは「医療の質の指標」を意味しています。</p>		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ QIプロジェクト2020年度 41項目の臨床指標データの収集。 ・ 本誌の「医療の質 Quality Indicator(QI)」のページでデータをご覧いただけます。 		
備考			

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会	開催日	毎月第一金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	13名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。 ・ 年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。 		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度の物品購入委員会で審議し、理事会で承認を得た案件は66件で、総額約35,952万円の医療機器などを購入した。 		
備考			

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会	開催日	毎月第3金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	11名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	吉川 忍・富里 等
活動目的	災害発生時、来院する傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。火災発生時の初期消火・通報・避難誘導訓練の定期実施（2回/年度）		
今年度の主な活動内容	2021年4月 消火訓練（消火器の取扱い・消火用散水栓の取扱い） 2021年4月 C19 災害対策本部会議と情報共有・連携 *通年 2021年10月 総合防災訓練 2022年2月 災害対策訓練（机上訓練）		
備考			

無料健康講座委員会

委員会名	無料健康講座委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	4名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	金城 司
活動目的	地域に向けて医療に関する教育・啓蒙活動を行う。		
今年度の主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の介護施設とコロナウイルスに関する勉強会をオンライン（zoom）にて行った ・ インターネット環境がない自治会などでのオンライン講座開催のため、モバイルWi-Fiを導入。 ・ 現地開催ができない現況をふまえ、ホームページで健康に関する知識等を学べる動画を企画・作成準備。 		
備考			

施設基準検討委員会

委員会名	施設基準検討委員会	開催日	毎月第2木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	10名
事務局・担当部署	総務課 施設基準係	担当者名	佐和田 安彦
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療法で定める医療機関の職員配置、健康保険法等での規定に基づく基本診療料・特掲診療料等に対し、施設基準の提案・検討・申請を積極的に行う。 2. 他職種間の連携を図り、情報の共有・施設基準申請の促しを図っていき、医療機関の機能・設備・診療体制を定め、安全やサービス等の価値を高める。 		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入院基本料、特掲診療料等の施設基準状況の把握及び管理 2. 新規施設基準項目の届出検討 3. 算定率向上ワーキンググループ報告内容の共有 4. 令和4年度診療報酬改定新設施設基準の届出検討 5. 早期離床リハビリテーション加算届出（2021年8月算定開始） 6. 導入期加算2（人工腎臓）届出（2022年3月算定開始） 7. 腎代替療法実績加算届出（2022年3月算定開始） 8. 腎代替療法指導管理料届出（2022年4月運用開始） 9. 褥瘡ハイリスク患者ケア加算届出（2022年4月運用開始） 10. 厚労省病床機能報告の対応 		
備考			

広報誌 LIFE 制作委員会

委員会名	広報誌 LIFE 制作委員会	開催日	不定期
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	10名
事務局・担当部署	経営企画室広報係	担当者名	仲田尚正
活動目的	研修医および医師の採用、連携診療所等の連携強化を目的とした広報誌「LIFE」を発行する。		
今年度の主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第2号の発行 循環器内科特集 8ページ 700部発行 2. 第3号の発行 麻酔科特集 12ページ 700部発行 3. 第4号の発行 小児科特集 12ページ 700部発行 4. 第5号の企画・検討 5. LIFE 特設ページの開設 		
備考			

摂食嚥下委員会

委員会名	摂食嚥下委員会	開催日	毎月第2水曜日 毎週木曜日ラウンド
委員長名	赤澤 幸則	構成人数	31名
事務局・担当部署	リハビリテーション科	担当者名	大城 盛彦
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の誤嚥性肺炎防止 ・摂食機能療法加算取得 ・リンクナースを通して病棟での摂食嚥下に関する周知 		
今年度の 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日ラウンド実施 ・ラウンドでは耳鼻科医師、言語聴覚士、看護師、栄養士、歯科衛生士、薬剤師、多職種でラウンドを行い摂食嚥下障害のある患者の問題を明らかにし、誤嚥性肺炎、窒息などのリスクを各分野からのアドバイスを基に病棟のケアに活かせる様に努めています。 ・ミーティングでは摂食機能療法加算の状況の報告や、病棟看護師の食事介助、口腔ケアなどの日々のケアなどの問題点を確認し、そこをラウンドに反映させるような関わりをし看護師の質向上にも努めています。 		
備考			

褥瘡対策委員会

委員会名	褥瘡対策委員会	開催日	毎月第3水曜日
委員長名	東盛貴光 (2022年3月より立津 朝成)	構成人数	43名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	宮平 良太
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入院患者の褥瘡発生を予防する 2. 褥瘡発生(入院時に有する)患者に対して適切なケアを実施する 3. 褥瘡ケアに対する質の向上 4. スタッフへ褥瘡に関連した教育の実施 		
今年度の 主な活動内容	<p>毎週水曜日：褥瘡回診 形成外科医師、薬剤師、理学療法士、褥瘡専任看護師、病棟専任看護師にて回診を実施。 回診時、医師から看護師または患者自身へ処置の指導、理学療法士によるポジショニングなどの指導、薬剤師による薬物療法の評価を実施しチームで褥瘡予防に努めています。また、低栄養状態にある患者を対象に、管理栄養士やNSTチームと連携を行い、栄養管理方法について検討するなどチームでの活動にも力を入れています。</p>		
備考			

ポリファーマシー対策委員会

委員会名	ポリファーマシー対策委員会	開催日	2ヶ月に1回 第1金曜日
委員長名	佐藤 直行	構成人数	5名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	仲宗根 豊
活動目的	多種類の服薬を行っている患者の処方薬剤を総合的に評価・調整する。		
今年度の 主な活動内容	<p>入院時の持参薬より、対象者を抽出。多職種によるカンファレンスを実施し、処方内容の変更や中止を行った。 薬剤総合評価調整加算(100点)+薬剤調整加算(150点)→38件 薬剤総合評価調整加算(100点)のみ→37件 薬剤総合評価調整管理料(250点)→1件</p>		
備考			

病床利用率向上対策委員会

委員会名	病床利用率向上対策委員会	開催日	毎週火曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	60名
事務局・担当部署	医事課・入退院調整	担当者名	宮城淳・外間真紀子
活動目的	病床間及び関連部門との連絡調整を行い、病床の効率的運用について情報を共有する ・新規入院患者数 病床利用率の向上 ・DPC II期間での退院調整 ・診療報酬加算取得可能分野の算定率向上		
今年度の 主な活動内容	1 委員会における報告内容 ①病院全体の病床利用の推移 ②週次の診療科別実績（新規入院 病床利用） ③各病棟の DPC 入院期間Ⅲ患者の割合 ④重症度、医療・看護必要度の推移 2 活動内容 ①各部署の師長・各診療科部長・主治医間で情報共有し円滑な退院支援を行う ②紹介患者は断らない（病院全体での地域医療連携の推進及び充実） ③柔軟な病床管理（病院各部署のチームでベットコントロールを担う）		
備考			

新型コロナウイルス感染症災害対策本部会議

委員会名	新型コロナウイルス感染症災害対策本部会議	開催日	毎週金曜日
委員長名	西原 実	構成人数	24名
事務局・担当部署	経営企画室	担当者名	安里 竜
活動目的	当法人の新型コロナウイルス感染症への運営方針に関する意見調整、意思決定、予算管理に関すること		
今年度の 主な活動内容	1. 法人・病院全体の運営に関わる事項 2. 下部会議から上がってきた事項の審議 3. 予算管理		
備考			

新型コロナウイルス感染症連絡会議

委員会名	新型コロナウイルス感染症連絡会議	開催日	毎週月曜・水曜・金曜
委員長名	三戸 正人	構成人数	32名
事務局・担当部署	感染対策室	担当者名	城間 克也
活動目的	当法人の新型コロナウイルス感染症への診療方針に関する情報共有、意見調整、意思決定に関すること		
今年度の 主な活動内容	1. C19 診療に関する事項の共有 2. 班間の課題のすり合わせ		
備考			

ハートライフクリニック 2021年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2021

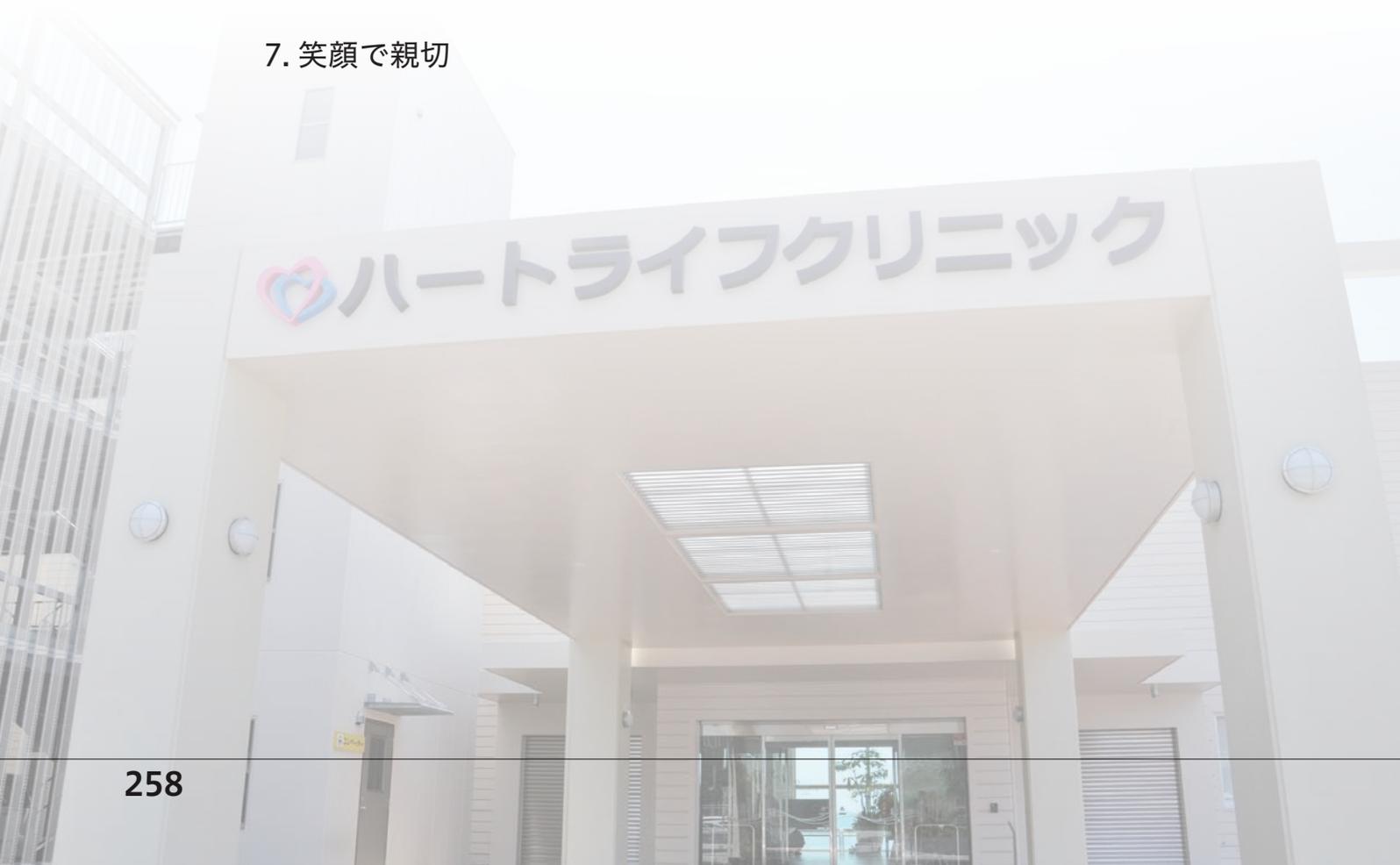


理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニック

年報発刊によせての挨拶



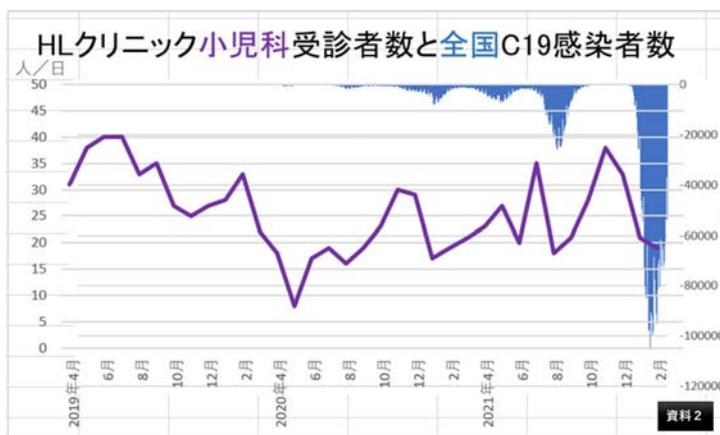
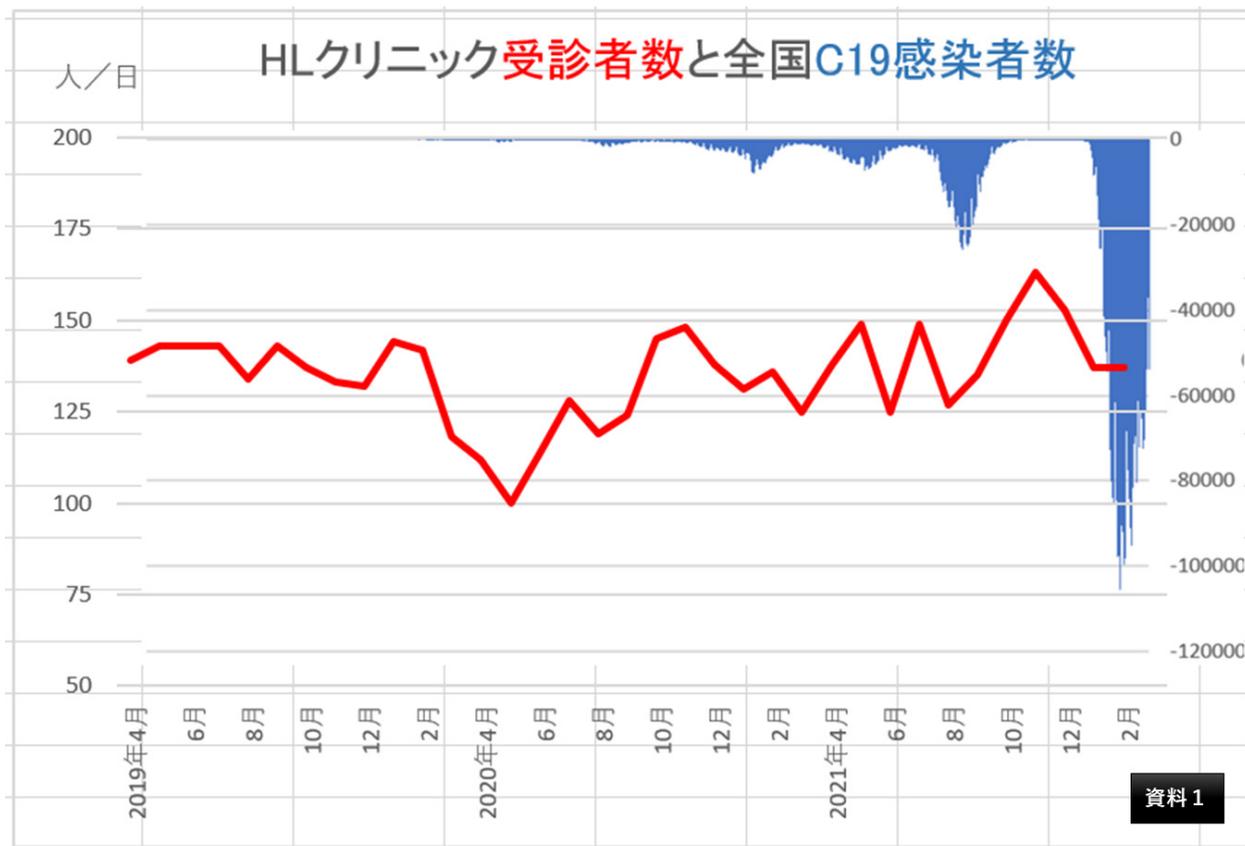
2021年度の年報を発刊するにあたりハートライフクリニックの現状を報告いたします。

COVID-19感染が日本に波及して2年目となりました。2020年に比べて発症数は増えたり減ったりと波打ちながらも増加してきました。特に県内では年度末から高い発症率を維持する事態となっています。ハートライフクリニックでは昨年同様に受診控えは認めますが、診療科によって異なった状況が見受けられました（次ページ参照）。小児科では昨年に比べて受診者数は増加してCOVID-19以前の状況に戻つつありますが、全国が発症者数が増加する時期には受診者数の落ち込みが見られました。内科でも同じような反応はありますが小児科ほどの大きな変動にはなりません。糖尿病内科では発症患者数の影響は見られず患者数全体が増加していました。以上のCOVID-19感染者数とハートライフクリニックの受診者数の関係から、慢性疾患で通院中の患者さまは通常通りの医療を受けられていて、急性疾患での受診控えが増えていることが推測されます。また、COVID-19感染が増えている時には子供さんも慢性疾患通院患者さんも含めて感染症に罹らないような防衛策や体調管理をしっかりとされることで受診数が減っていた可能性もあります。

ハートライフクリニックでは、全職員で感染に対する意識を高め施設内の感染防御を推し進めてきました。発熱で受診された患者さまには車での診察や隔離室での診察などご不便をおかけしましたが、COVID-19感染予防のため今しばらくご理解ご協力をお願い致します。

年報ではハートライフクリニックの各部署の活動を報告いたします。地域の皆様には健康的なクンチを持って頂けるハートライフクリニックを目指して頑張る所存です。これからも皆様のお力添えをお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニック
院長 山本 壽一



クリニック概要

(2021年4月1日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

所在地

〒903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話 (098) 882-0810 (代表)

FAX (098) 882-0820

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧

理事長 安里哲好

院長 山本壽一

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡

規模構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建

職員数

総数 63名

職種別

(2021年4月1日現在 / データ作成 人事課 喜舎場)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	5	クラーク	5	臨床心理士	1	その他	7
非常勤医師	16	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	12	臨床検査技師	3	理学療法士	1		
准看護師	1	放射線技師	1	一般事務	8		

指導医・専門医・認定医

(2021年3月31日時点 データ作成 企画室広報 仲田)

名称	人数
日本医師会認定産業医	2
日本呼吸器学会専門医	1
日本骨粗鬆症学会認定医	1
日本循環器学会専門医	1
日本糖尿病学会研修指導医	1
日本糖尿病学会専門医	6
日本透析医学会専門医	1

名称	人数
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	5
日本内科学会認定内科医	9
日本内分泌学会指導医	1
日本内分泌学会専門医	2
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	1

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 各指定難病医療機関
5. 各指定小児慢性特定疾病医療機関
6. 労災保険指定医療機関

診療体制

標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

その他、専門外来など

- 禁煙外来

受付時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 7:45～11:30
 午後 13:00～16:30
 土曜日（内科/2020年4月まで診療）
 午前 7:45～11:30

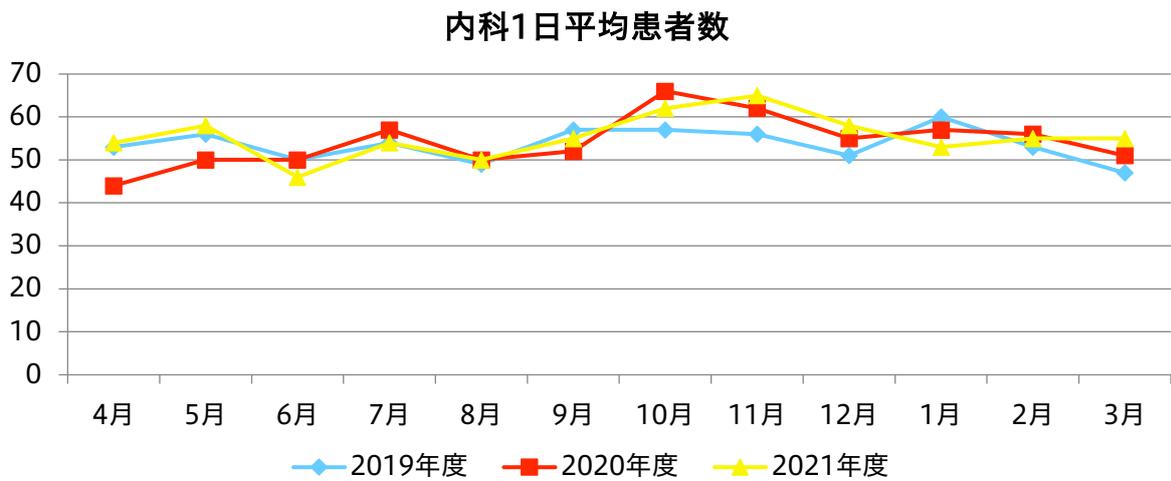
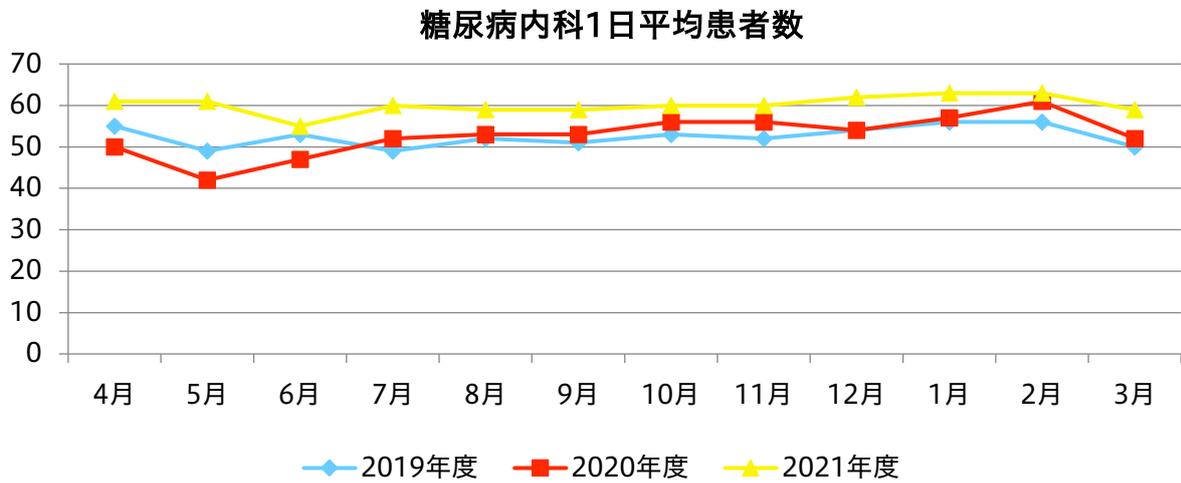
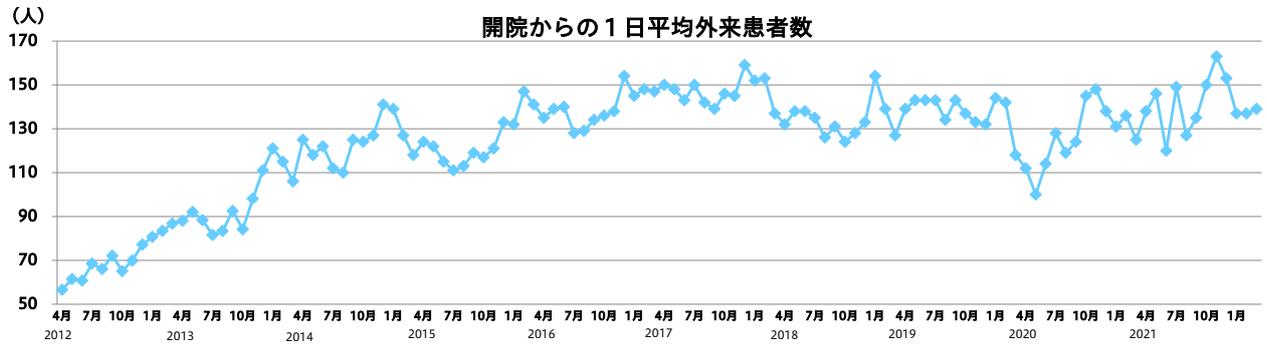
診療時間（診療科により異なります）

月曜日～金曜日 午前 9:00～12:00
 午後 14:00～17:30
 土曜日（内科/2020年4月まで診療）
 午前 9:00～12:00

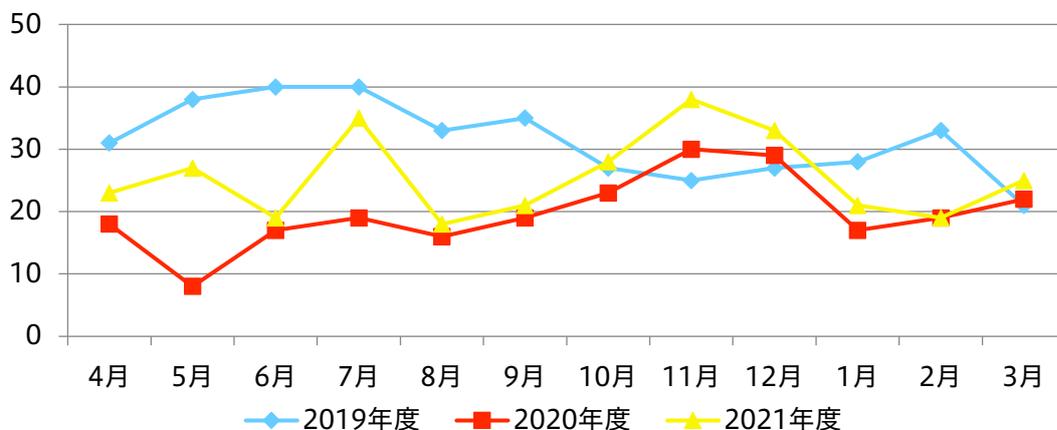
休診日

糖尿病内科/水曜日午後・土曜日・日曜日・祝祭日
 内科/土曜日午後・日曜日・祝祭日
 小児科/月曜日午後（予防接種）・水曜日午後（予防接種）・土曜日・日曜日・祝祭日

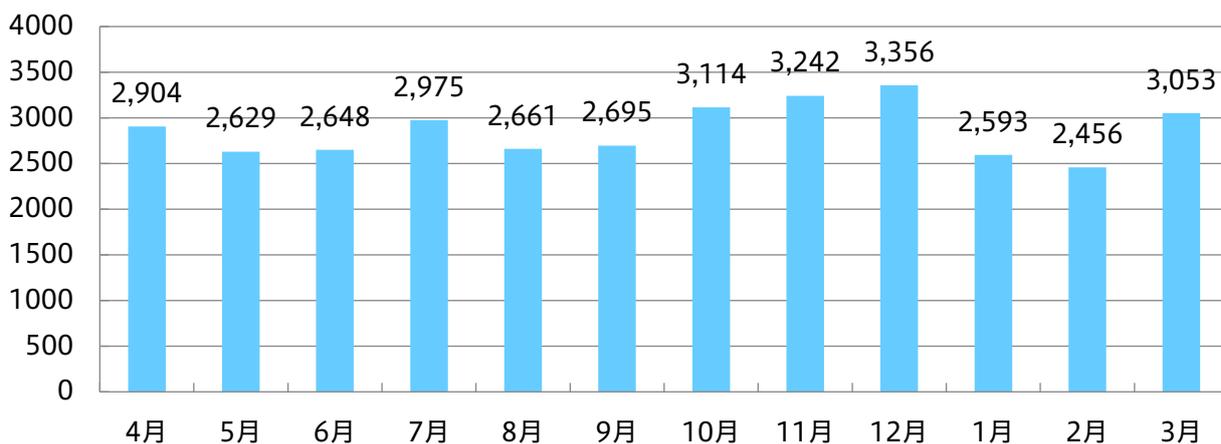
患者統計



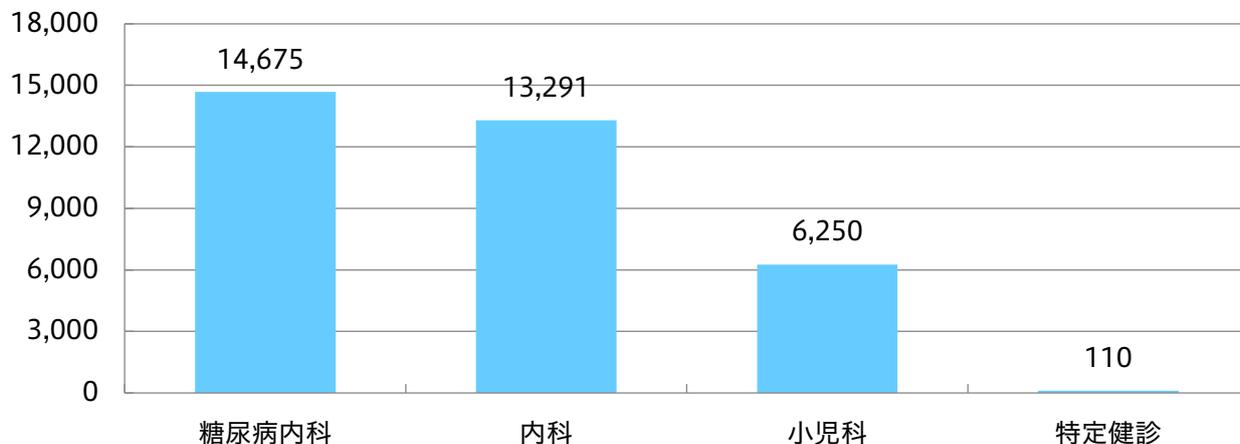
小児科1日平均患者数

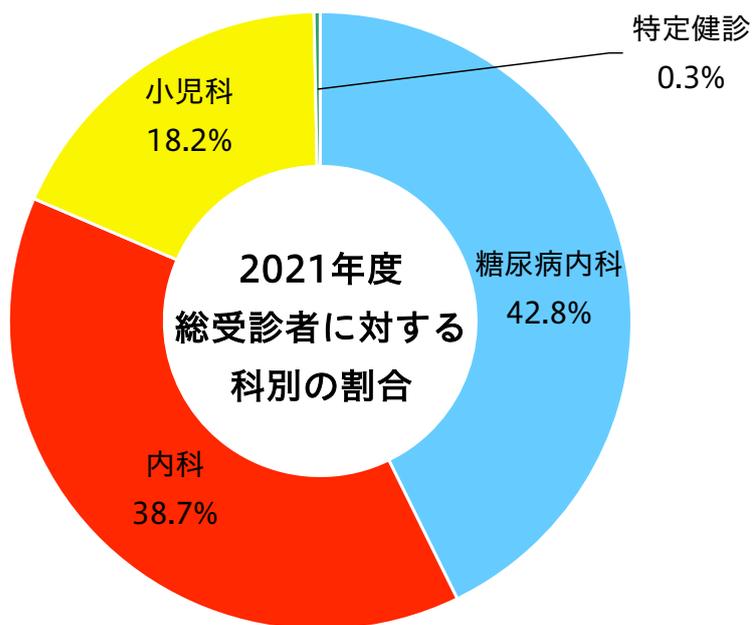


(人) 2021年度 ハートライフクリニック月別外来受診者数

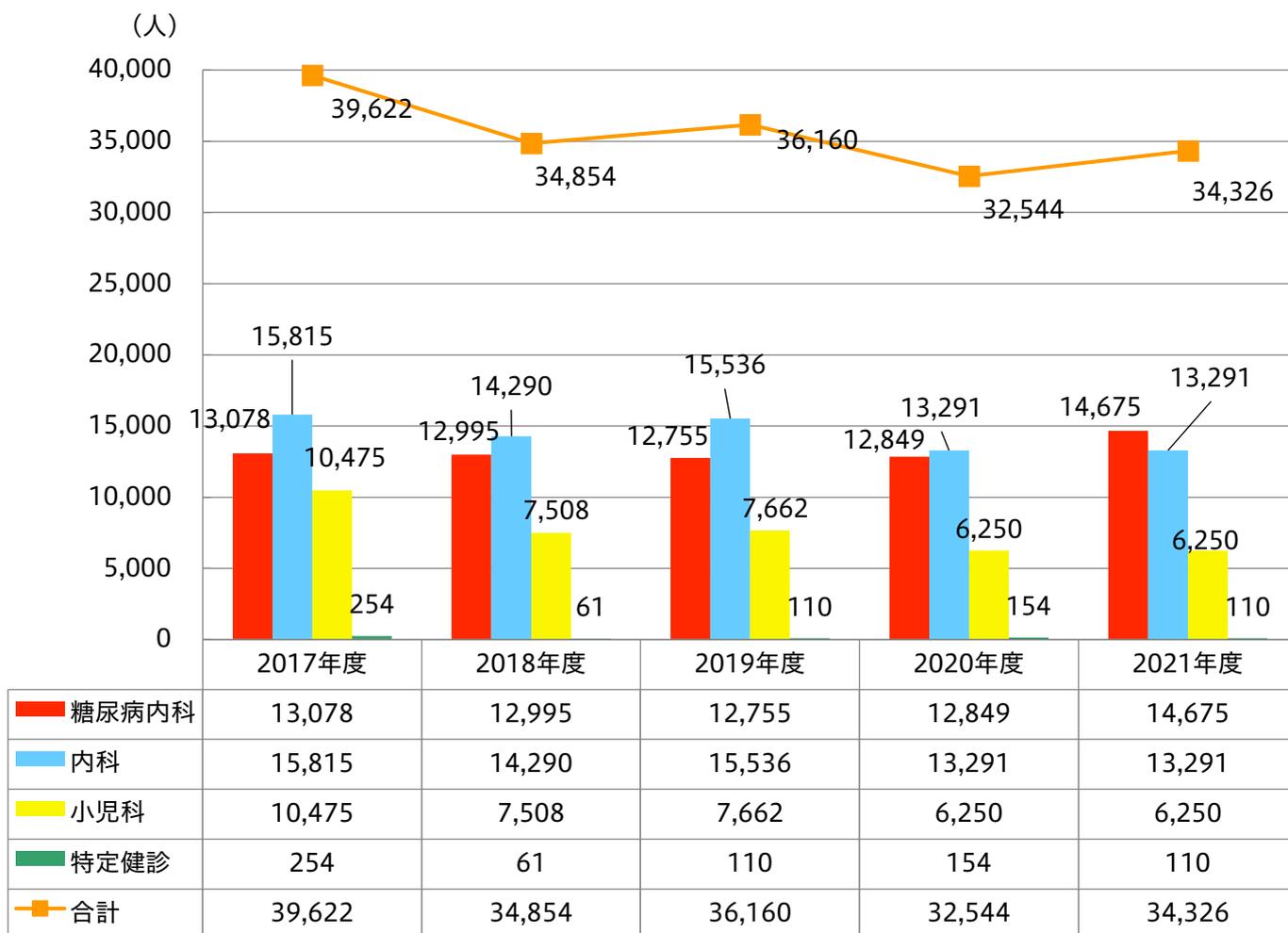


(人) 2021年度 科別受診者数

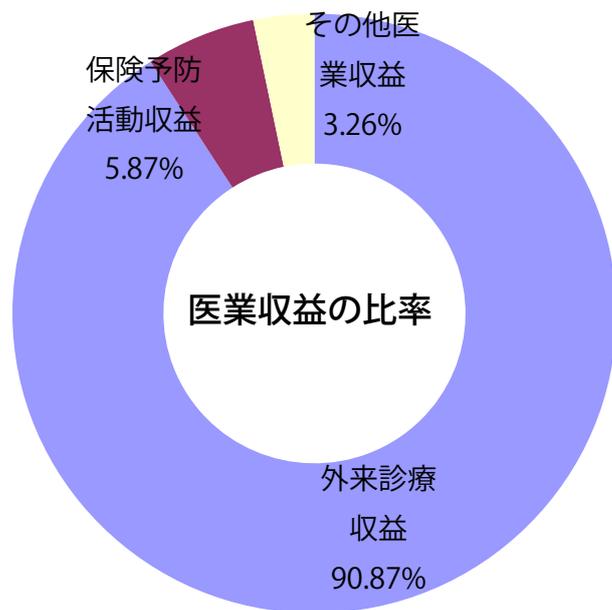




外来受診者数 年次推移 (2017年度～2021年度)



ハートライフクリニック財務情報



ハートライフクリニック 部門別業務実績

糖尿病内科

部門紹介

糖尿病内科医長 小原 正也

ハートライフクリニック糖尿病内科の役割は、患者様の生活習慣や価値観を尊重しながら、患者様が糖尿病と共により良い人生を目指して、治療が続けられるようにサポートすることです。

まず、糖尿病治療薬についてです。当科では1型糖尿病患者様へのニーズに沿ったインスリンポンプ療法として、血糖値に応じ自動でインスリン設定を調整してくれるオートモードを搭載したミニメド770Gシステムを追加しました。その他、治療薬では国際情勢などの影響で日本にオゼンピックやライゾデグ、CRH製剤などの供給が止まっていますが、新薬であるGLP1受容体作動薬の内服薬のリベルサスやミトコンドリア機能改善効果のツイミグが発売され、さらにSGLT2阻害薬の慢性心不全、慢性腎臓病の適応拡大があり治療幅は広がっております。

次に血糖測定方法では、リブレやデクスコム G6 といった持続血糖モニタリングシステムはスマートフォンアプリによって、患者様だけでなくご家族や医療者が供覧できるようになりました。そして、リブレは2型糖尿病でも月1個から2個へ拡大されました。また重症低血糖の方へ血糖上昇を安全に行えるバクスマー一点鼻薬が処方可能になりました。

糖尿病内科では、看護師、栄養士、理学療法士、健康運動指導士が糖尿病患者様の療養指導を行っております。新たに看護師が2人、クラークが1人加わり、日本糖尿病理学療法士の資格を持つスタッフ7名で下肢切断予防のためのフットケア、透析予防のためのチーム医療を各々が行き、加算がとれる施設として厚生労働省から認定されております。

コロナ以降、土曜日行っていた糖尿病教室が出来ませんでしたが、2022年4月にはZOOMで当院初のオンライン糖尿病教室を行いました。その他にも糖尿病患者会「ハッピーハート会」、1型糖尿病患者の交流会「ポパイの会」を定期的で開催しております。毎年11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、昨年度はインスリンの発見100周年記念をテーマとして、院内掲示や診療に役立てるノベルティを配布し啓発活動に協力しました。そして定期的に「ありんくりん本」という、糖尿病患者様にお役立て頂けるように糖尿病関連のトピックスを各スタッフから発刊しております。

職員数

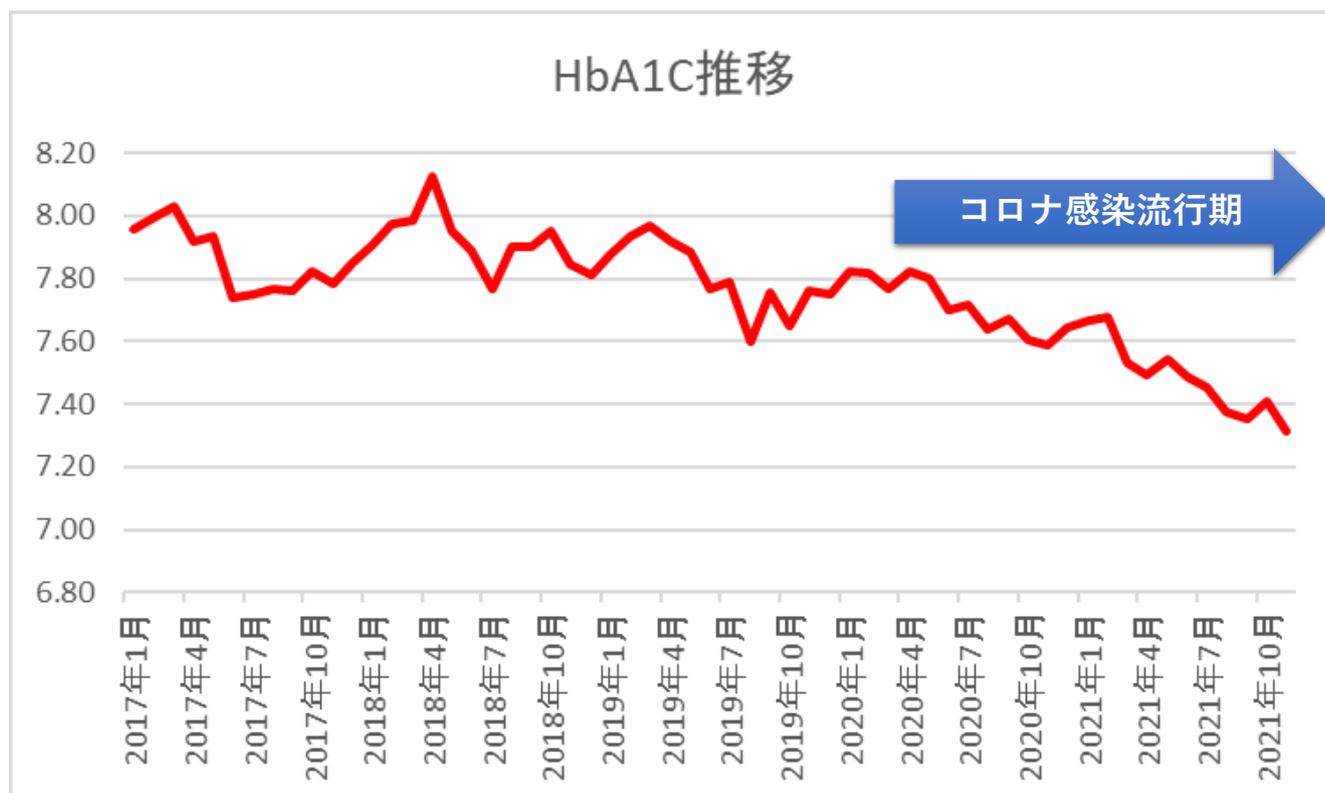
総数 22名

医師	7名 (常勤2名、非常勤5名)	臨床心理士	1名
看護師	6名	メディカルクラーク	6名
管理栄養士	2名	クラーク	2名
検査技師	1名		

認定・資格

名称	人数
日本糖尿病療養指導士	7

名称	人数
沖縄県地域糖尿病療養指導士	2



研究業績

学会発表

学会名	演題	開催地	発表年月日	発表者と研究者
第8回日本糖尿病医療学会	座長	オンライン	2021年10月9日(土) ～10月10日(日)	山本壽一
第8回日本糖尿病医療学会	座長	オンライン	2021年10月9日(土) ～10月10日(日)	西珠美
第59回糖尿病学会九州地方会	座長	オンライン	2021年11月19日(金)	山本壽一
第59回糖尿病学会九州地方会	COVID-19感染流行下における妊娠糖尿病患者への療養指導～栄養相談の役割～	オンライン	2021年11月19日(金)	新垣優子・只野みね子・久高恵・西珠美・長嶺敦司・仲里幸康・小原正也・山本壽一
第59回糖尿病学会九州地方会	沖縄県内の新型コロナウイルス感染状況による糖尿病患者の心理的影響	オンライン	2021年11月19日(金)	西珠美・新垣優子・長嶺敦司・只野みね子・高原早陽香・小原正也・山本壽一

活動実績

講演会

講演会	演題	開催地	発表年月日	発表者と研究者
中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会第2回勉強会	糖尿病外来における、体組成計を用いた運動評価の実際	web開催	2021年12月14日	小原正也
第1回沖縄県内分泌代謝内科カンファレンス	診断に難渋した甲状腺中毒の1症例	web開催	2022年1月18日	小原正也

患者教育活動

ハッピーハート会

ハッピーハート会では糖尿病患者様とご家族を対象に運動療法士・管理栄養士・医師・多職種で共同イベントを計画しています。座談会やレクレーション大会、食事療法など年に数回イベントを開催しております。スタッフ、患者様と交流を持つことと、健康の維持・増進を目的としています。しかし新型コロナウイルス感染拡大を受けて、密集を避けることを考慮し、2年程イベント等を控えています。

今回防災食（Ohana 食事券付き）、室内運動用グッズ（パンフレット付）を贈呈しました。また、糖尿病学会発行の月刊誌を各会員様へ毎月配布しております。次年度は、感染対策に配慮したイベントを企画・開催していきたいと思っております。



防災食・室内運動用グッズ

月刊誌さかえ

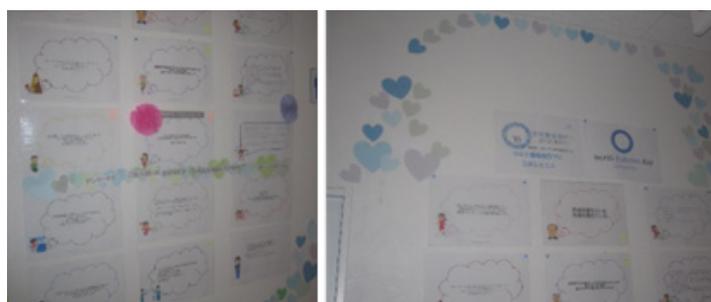
糖尿病月間

ハートライフクリニックではインスリンの発見者フレデリック・バンティング博士の誕生日に制定された11月14日の「世界糖尿病デー」と関連させて11月1日～30日を「糖尿病月間」とし来院者や地域の方々に向けて糖尿病に関する啓蒙活動を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため展示を中心とし、インスリン100周年を記念したインスリンの歴史を振り返る展示や『コロナ感染流行期に取り組んだこと』をテーマに患者様・職員へアンケートを行い、外来待合室や廊下へ展示しました。またオリジナルエコバックを配布しました。



インスリン 100 周年記念展示

オリジナルエコバック

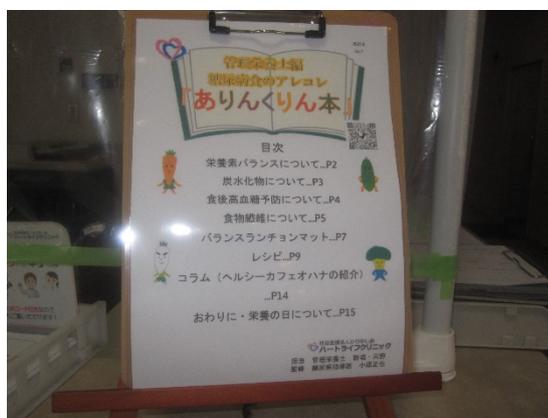


患者様アンケート展示内容

糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んだり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。2021年度も新型コロナのウイルス感染症の影響で糖尿病教室開催ができずありんくりん本と称してレクチャー本の作成発行となりました。

	発行日	ありんくりん本の内容・執筆者
2021年	6月1日	糖尿病内科医師より、皆様へのメッセージ 担当：医師（山本 / 小原）
	7月1日	看護師より、これだけは知ってほしい 担当：看護師（松堂 / 喜友名 / 島袋 / 玉那覇 / 屋我 / 久高）クラーク新垣
	8月1日	糖尿病食のあれこれ 担当：管理栄養士（新垣 / 只野）
	9月1日	糖尿病の運動療法について（初級編・すでに運動している方向け） ドクターリレーコラム 担当：健康運動指導士（長嶺 / 高原）医師（崎原）
	9月1日	シックディの自宅療養（スタッフ用）・体調がよくない日の救急 BOOK（患者様用） 担当：スタッフ一同
	10月1日	糖尿薬のあれこれ 担当：薬剤師（大関 / 仲村渠）
	12月1日	ここで良くする！糖尿病 ドクターリレーコラム 担当：臨床心理士（西）医師（山城）
2022年	1月4日	糖尿病とお口の関係・糖尿病の合併症・タバコと糖尿病 担当：歯科衛生士（幸喜）臨床検査技師（新垣）看護師（林師長 / 松堂 / 屋我）
	2月1日	知ろう！防ごう！認知症 担当：臨床心理士（西）協力（疾病運動予防施設 / リューザヘルシーカフェ / オハナ）



受付前にて案内チラシ表示・配布



待合室掲示板へ案内表示・配布



糖尿病週間イベント時に表示案内配布

心理相談室

ハートライフクリニック 2F の糖尿病内科には「心理相談室」があります。全国でもめずらしい糖尿病内科内の相談室です。常勤の臨床心理士 1 名が在籍しており、来院される方の「こころ」と「からだ」、「毎日の暮らし」をトータルでサポート出来るようにと開室しています。

◎支援内容◎

≪患者様向け≫

カウンセリング

糖尿病などの内科的疾患の話だけに限らず、心にひっかかっていることや日々の困りごとを、感染対策を十分に施しながら一定程度の時間を取ってお伺いしています。患者様ご本人のみならず、ご家族へのアドバイスや心理的サポートも行っています。(2020 年度実績 115 件、うち糖尿病内科:92 件、内科 21 件、小児科 2 件)

心理アセスメント

性格傾向や抑うつ感などを評価することで、具体的に療養計画につなげていくことができます。

認知機能アセスメント

認知機能の傾向を知ることで、患者様ご自身の得意・不得意を知って、より主体的に生活を送ること、家族が日常生活で支援できるポイントを知ること、医療スタッフの治療方針の検討を手助けします。主に MMSE、長谷川式簡易知能評価スケール、MoCA-J を用いていますが、患者様の主訴に応じて適切なアセスメントツールを選択するよう心がけています。(2020 年度実績 20 件)

外来教室

COVID-19 感染症拡大のため、例年通り実施できず。その代替りとして、クリニックに来院された方のセルフケア支援と正しい知識の普及を目的として、「ありんくりん本」が作成されており、その記事を執筆しました(4月、6月、9月、2月に発刊)。

糖尿病患者会(ハッピーハート会)

COVID-19 感染症拡大のため、例年通り実施できず。その代替りとして、患者会に所属する方々の家庭内でのセルフケアと感染症拡大によるストレス軽減を目的として、6月にヘルシーカフェ Ohana、運動施設 Ryuew-za と協同して「セルフケアキット」を配布しました。心理士は COVID-19 感染症が与える心理的影響とストレスコーピングに関する冊子を作成しました。

≪スタッフ向け≫

シェアリング

よりきめ細やかなケアのために、医療スタッフ間で患者様の情報を共有する会をコーディネートしています(週1回)。

カンファレンス

症例を通して、「からだ」と「こころ」両面からのケアを考えるためのカンファレンスをコーディネートしています(月1回)。

職員面談

かりゆし会で働く職員サポートを目的として、職員向けにメンタルヘルス相談を行っています。職員本人だけでなく、場合によっては所属部署の上司とも面談し、より多くの職員にとって働きやすい職場環境を整えられるようコンサルテーション業務も必要に応じて行っています(2020 年度実績 9 件、うちコンサルテーション 3 件)。

内科

内科 上地 華代子

部門紹介

内科では、高血圧や脂質異常症などの生活習慣病の治療、喘息、COPD等の呼吸器疾患、特定健診、予防接種業務他、健診からの紹介患者の2次精査および様々な症状の初診患者を多く受け入れ、診療しております。

循環器内科医・呼吸器内科医は常勤しており咳や胸痛、呼吸苦等対応可能です。消化器症状には腹部エコー他、本院と連携し内視鏡検査も積極的に行っております。午後を中心に禁煙外来も行っておりましたが、チャンピックスの供給停止、ニコチネルパッチの供給不安定の為、禁煙外来は現在休止中です。

また、2021年度は新型コロナウイルスのワクチン接種を行い、3,639名の接種を行いました。

職員数

総数 11名

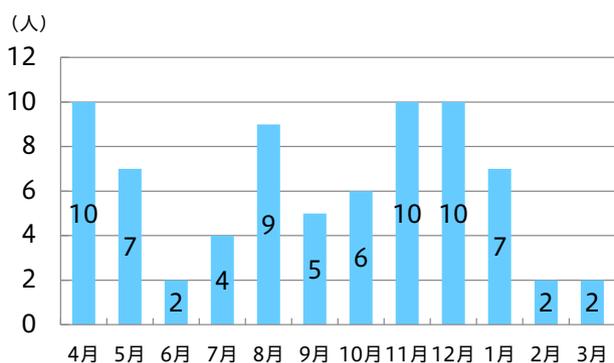
医師 4名（常勤2名 非常勤2名） クラーク 2名

看護師 4名

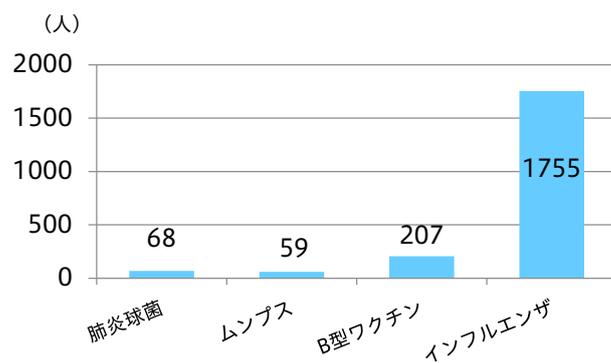
業務実績



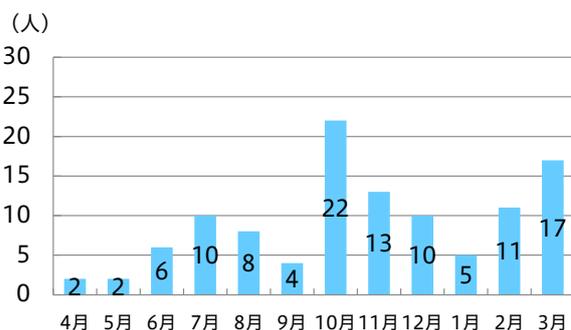
禁煙外来受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



特定健診受診者数



禁煙外来実績

本管理料を算定した患者数 (期間：2020年4月～2021年3月)	① 18名
①のうち、当該期間後の6月末日までに12週間にわたる計5回の禁煙治療を終了した者	② 6名
②のうち、禁煙に成功した者	③ 5名
5回の指導を最後まで行わずに治療を中止した者(①ー②)のうち、中止時に禁煙していた者	④ 3名
ニコチン依存症管理料の初回の治療の年間の算定回数 (前年4月1日から当年3月末日までの1年間)	⑤ 18名
ニコチン依存症管理料の年間の延べ算定回数 (前年4月1日から当年3月末日までの1年間における初回から5回目までの治療を含む)	⑥ 63回
喫煙を止めたものの割合 = (③+④) / ①	44%
治療の平均継続回数 = ⑥ / ⑤	3.5回

小児科

小児科 川満 豊

部門紹介

小児科では小児一般外来を行っております。ハートライフクリニックの医師と主に琉球大学附属病院小児科医局から派遣していただいている非常勤医師で診療にあたっています。月、水曜日の午後、予防接種も行っております。

当クリニックの小児科内は、プレイルームを広めにとっており、お子さんが安心して怖がらずに来院できるように工夫しています。

対応が困難な検査や入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

業務実績



附属施設

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA 長嶺 敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しており、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

2020年度に引き続き、2021年度も新型コロナウイルス感染予防対策のため、当施設は休館となりました。業務内容を変更し、当クリニック糖尿病内科患者さまへの体組成測定の実施と運動指導、運動・健康情報誌「リューザニュース」、糖尿病療養教育冊子「ありんくりん」、かりゆし会広報誌「あすなろ」への掲載、YouTubeへ動画配信など運動療法の啓蒙活動を積極的に行いました。

職員数

総数 2名

理学療法士 1名

健康運動指導士 1名

資格・認定

理学療法士

日本糖尿病療養指導士

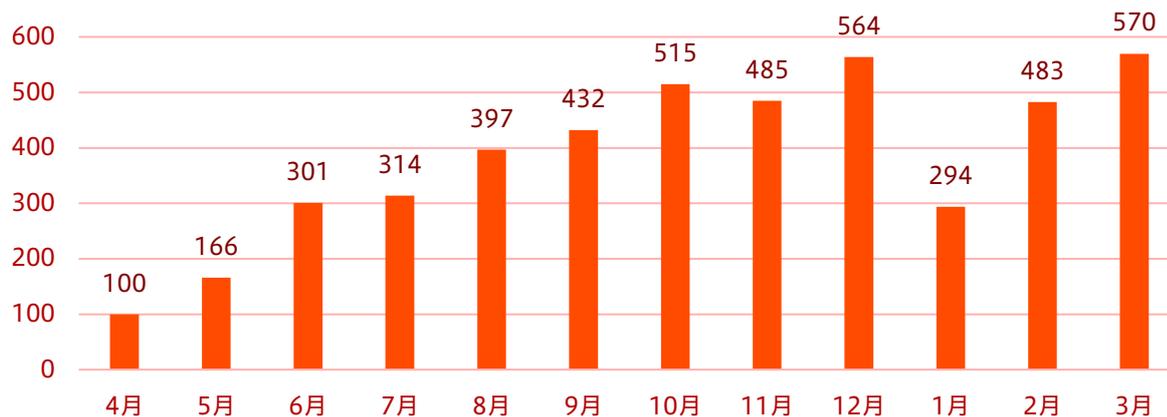
沖縄県地域糖尿病療養指導士

健康運動指導士

健康管理士

業務実績

体組成計測定件数



活動実績

学会発表

学会名	演題	開催地	発表年月日	発表者と研究者
第 59 回日本糖尿病九州地方会	高齢 2 型糖尿病患者における COVID-19 感染流行期での在宅運動	那覇市	2021 年 11 月 19 日	高原早陽香
第 40 回日本臨床運動療学会学術会	CEPA セッション「私達ができる with コロナ 運動指導の創意工夫」	オンライン	2021 年 9 月 11 日	長嶺敦司

講演会発表

名称	開催地	年月日	講師
糖尿病の運動療法	医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院	2021 年 11 月 16 日、 12 月 2 日、12 月 15 日	長嶺 敦司
中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会第 2 回勉強会 「体組成計の紹介」 「糖尿病外来における、体組成計を用いた運動評価の実際とヤグマイ運動療法」	オンライン	2021 年 12 月 14 日	長嶺 敦司

研究報告

名称	研究課題	研究・発表期間	担当
令和 2 年度健康・体力づくり事業財団健康運動指導研究助成	高齢 2 型糖尿病患者に対するヘアゴムを使用したレジスタンス運動効果の検証	研究期間：2020 年 5 月 1 日～2021 年 10 月 31 日 発表期間：WEB 発表 2021 年 11 月～2022 年 5 月 31 日まで配信	長嶺 敦司

情報誌関連 (QR コードよりコンテンツを閲覧できます)

リュウザニュース

テーマ	発行月	担当
災害を無事乗り切るために	4 月	高原早陽香
今より 10 分多く体を動かそう！プラステン運動	6 月	高原早陽香
実は 20 代から始まっていた？サルコペニア	8 月	高原早陽香
食べ物や素材の効果的な時間について	10 月	高原早陽香
健康二次被害を防ごう！適度な運動で健康二次被害を予防しよう（まき割り体操）	12 月	高原早陽香
むくみはどうして起こるの？	2 月	高原早陽香



ありんくりん

テーマ	発行月	担当
糖尿病の運動療法について(初級編)	9月	高原早陽香、長嶺 敦司
糖尿病の運動療法について(仕事・中級編)	9月	高原早陽香、長嶺 敦司



広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
早すぎる進化のスピードに追いついてない心と体 ~文明病とは~	No.105 春号	長嶺 敦司
日頃、体は動かしてますか? 1000歩=10分のプラス10を意識してみよう!	No.106 夏号	長嶺 敦司
食べ物や素材の効果的な時間について	No.107 秋号	長嶺 敦司
高齢2型糖尿病患者に対するヘアゴムを使用したレジスタンス運動効果の検証	No.108 新年号	長嶺 敦司



ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 管理栄養士 新垣 優子

部門紹介

クリニック内に健康管理のサポートを目的とした管理栄養士が運営するヘルシーカフェ・オハナが併設されています。利用者層は、主に外来受診患者とその家族、職員になっています。カフェでは、ヘルシーランチや日替わりバランス弁当などを提供しています。

沖縄の文化的特徴として肉料理や揚げ物が振る舞われる行事が多く、糖質、脂質、塩分の過剰摂取が繰り返されます。そこで、カフェから揚げ物や脂質、塩分を控えた料理を提供することで食習慣の改善を促しています。

2020年度に引き続き、2021年度もコロナの影響でテイクアウトのみの営業を行っており、ランチ弁当、サンドイッチやおにぎりなど手軽に食べられる商品を販売しています。また、ハートライフ病院 産婦人科で出産された方へ、ランチテイクアウトコースの提供も継続しています。新たに12月クリスマス、2月節分、3月ひな祭りにイベント食を開始し、多くのスタッフや一般のお客様に提供することが出来ました。

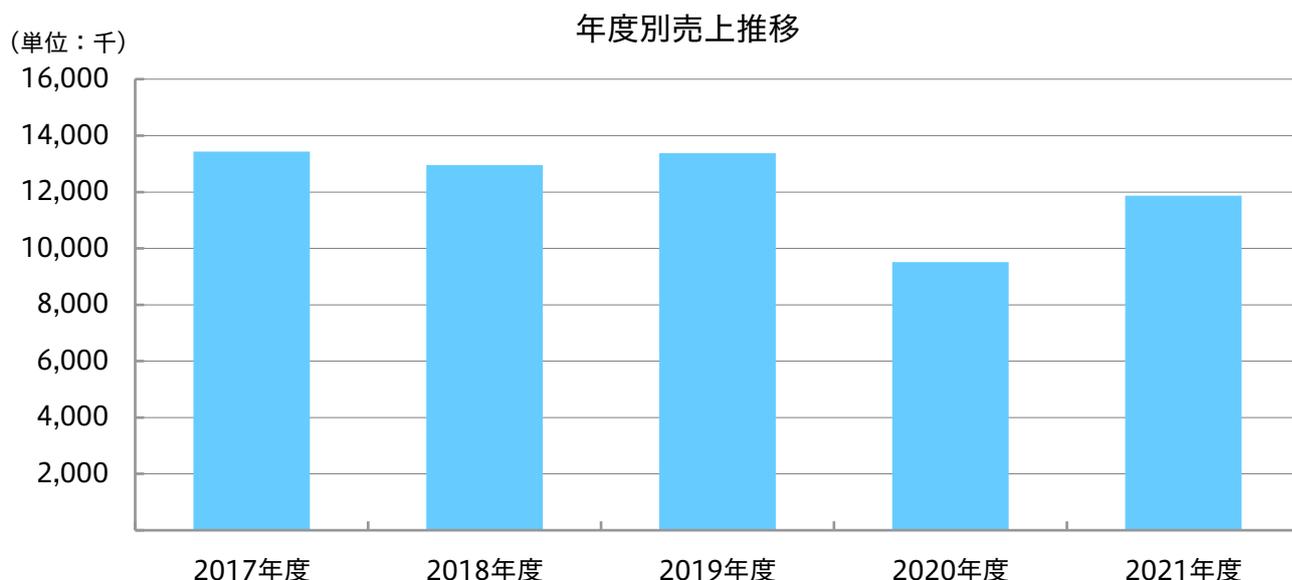
職員数

総数 4名

調理師 1名

調理補助 3名

業務実績





クリスマス (パン格拉タン)

ohanaの
クリスマスメニュー予約受付中!

クリスマスケーキは、お祝い感あふれる一品です。お祝い感あふれる一品です。お祝い感あふれる一品です。

クリスマスケーキ (12人用)	1,800円
クリスマスケーキ (8人用)	1,400円
クリスマスケーキ (6人用)	1,000円

【予約期間】
12月21日(火)～24日(木) 9時～18時
12月24日(金) 9時～18時

受付は 12月21日(火)11時 まで

ご予約は098-882-0087



ひな祭り (ちらし・おでん)

ひな祭り
満足ランチ
980円 セット

ひな祭り
3月3日
ひな祭り

ひな祭りランチセット 980円

ひな祭りおでん 500円

ご予約は098-882-0087



節分 (恵方巻、鶏汁)

恵方巻
お祝い感あふれる一品です。

恵方巻ランチセット

お祝い感あふれる一品です。

780円

ご予約は098-882-0087

ハートライフ地域包括ケアセンター 2021年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2021



理念

わたしたちは、心と心をつなぐ信頼される医療と介護をめざします

運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3. 利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさと温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。



年報発刊によせての挨拶



1. はじめに

当センターは、2015年7月の開所から7年目を迎えました。

2020年からの新型コロナウイルスの流行・蔓延への対策として、職員が法人の感染防止対策を遵守しているのはもちろん、入居者様にはご面会や外出を制限させていただくなど、ご不便をおかけしておりますが、お陰様で2022年3月末時点ではクラスター発生もなく、新型コロナウイルスの被害は最小限にとどめることが出来ております。これもひとえに入居者様、ご家族様、職員、関係各位の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。引き続き感染防止対策に努めて参ります。

入居者様の3回のコロナワクチン接種におきましては、ハートライフクリニックと連携し無事終了する事ができ、ご家族様からも感謝のお言葉を多数頂く等、職員が丸となり実施出来たことに達成感がありました。改めて医療に強い当法人の運営する高齢者施設の強みが発揮できたと思います。

2021年度の平均入居者数は97名でした。各種介護サービスの提供も滞りなく行えたのですが、ヘルパー事業に於いては1割強の減少がみられました。その要因としては、コロナ禍で外出禁止の日々という事もあり、懸念事項であった入居者の活動性の低下や認知症悪化対策として極力デイサービス利用を重視したサービスプランを実施した結果と捉えております。但し、ケアプランには記載されない介護行為は増加しており、それに伴い職員の負担も増加しております。このことは、今後も良質な介護サービスを安定して提供する上で、解決すべき課題となっております。

訪問看護ステーションは職員の産育休による欠員がある中でしたが、入居者様に提供する医療サービスの面では質を低下させることもなく運営することができました。現場職員の頑張りには頭が下がる思いです。今年度、訪問看護ステーションでは理学療法士を採用し、訪問リハビリを開始してこれまで以上に入居者様のADL（日常生活動作）の維持向上に取り組みました。訪問看護・訪問リハビリは、いずれも需要が大きいため、今後は更に拡大すべきサービスと捉えております。

2021年度は、各部門が人員不足の中本当に頑張ってくれました。心から感謝致します。ご協力下さった理事長はじめ理事の先生方、人事課の皆様、ハートライフ病院、ハートライフクリニックはじめ法人職員の皆様には心から感謝致します。

2. 2021年度の目標と振り返り

A. 居住環境

①安全・安心な生活空間の提供

クラスター防止対策として、感染対策の徹底と、入居者及び職員の健康管理を徹底しました。

②サービスの質向上

PT 採用による訪問リハビリを実施 ADL の維持向上に繋がりました。

B. 職員が働きやすい職場環境

①離職率 20%以下の継続

21%と高い離職率となりました。次年度は対策について検討する必要があります。

②移乗用リフトの使用

90%の職員が習得。負担軽減及び腰痛対策に絶大な効果を発揮しました。

③ iPad 導入で、記録時間の短縮が可能になりました。

④残業時間低減

人員不足にて今後も継続課題

C. 利用者増（2021年度時点平均値）

①ケアセンター全体（有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護）の介護職員の確保は未だ目標には至っていません。

②住宅型有料老人ホーム：月平均入居者数 97 名以上の維持は実績 97.1 名となりました。

③デイサービス：1 日平均利用者数 58.5 名以上の達成は実績 57.4 名となりました。

④訪問看護：1 か月の延べ件数 694 件以上の達成は実績 697 件となりました。

④訪問介護：1 か月の延べ件数 450 件の達成→は実績 384 件となりました。

⑤ケアプランセンター：ケアマネージャー 1 人あたり 30 人の達成（管理者は 15 名）は人員不足により 30 名以上を担当しており昨年同様となりました。

4. 2022年度への展望

2021年度もコロナ対策として「コロナを持ち込まない」に、全力を注いだ1年でした。産休やコロナ休（濃厚接触や罹患）で人員不足の中、当センターとしての全体の数値目標は達成しました。

医療・介護・福祉に於いてどの現場も同様ですが、介護職の人員不足と業務負担増は既知の事実であり社会的な問題です。職員の高齢化も深刻な課題です。これまで処遇改善加算の見直し、また負担軽減として夜勤仮眠時間の調整、リフト導入、介護助手職員採用による雑務移譲など細かな業務調整等を行って参りましたが、2022年度はかねてから切望していたオムツの変更を検討しています。導入が実現すれば入居者様の生活環境の向上はもちろん、介護職員の負担軽減も図られると予測しています。

入居者様へ良質なサービスを安定して提供するためには、経営の安定化とそのための新たな事業展開は必須であると考えております。また、それを実現するためには利用して下さる皆様や介護サービスの担い手である職員の皆様から「選ばれる高齢者施設・有料老人ホーム」である事が理想といえます。

今後も、入居者様・ご家族様に満足して頂ける良質なサービスを提供し続けるために、働きやすい職場環境を目指して、現場の声に耳を傾けることを忘れずにいたいと思います。

今後の当センターの運営に関しまして、関係各位の皆様のご理解とご協力、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフ地域包括ケアセンター
センター長 宮平 典子

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、5事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2. デイサービスはーとらいふ
3. ヘルパーステーションはーとらいふ
4. 訪問看護ステーションはーとらいふ
5. ケアプランセンターはーとらいふ

所在地

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

連絡先

電話 (098)944-3300 (代表)

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/care/>

管理者一覧

理 事 長	安里 哲好
センター長	宮平 典子
事 務 長	仲地 智俊

職員数

総数

76名

内訳

センター長	1名
事務長（法人事務局部長）	1名
事務係長	1名

●有料老人ホーム

看護師	11名（訪問看護兼務）
介護職員	28名（訪問介護兼務）
相談員	2名

●デイサービス

看護師	8名
介護職員	18名
柔道整復師	3名
相談員	1名

●訪問看護

看護師	14名
理学療法士	1名

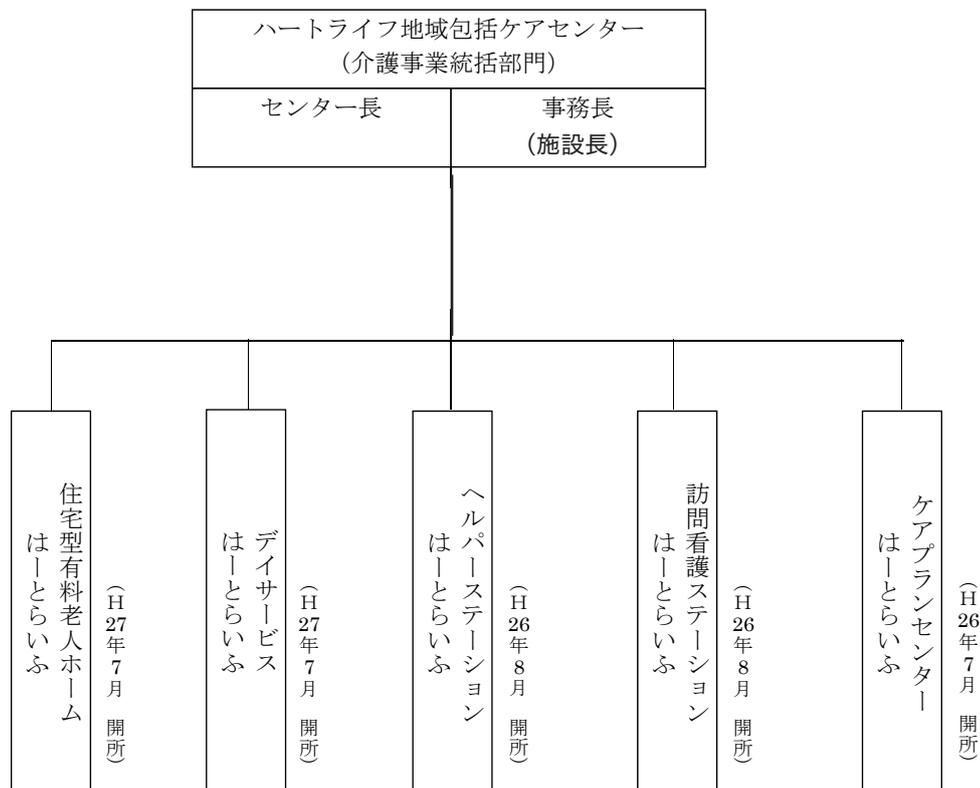
●訪問介護

介護職員	4名
------	----

●ケアプランセンター

ケアマネージャー	4名
----------	----

組織図



2021年度 利用者実績

住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規入居者数	1	2	4	3	3	3	3	0	1	0	1	2	23	1.9
短期入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末入居者数	95	94	95	97	98	97	100	99	99	98	98	96	1166	97.2
退去者数	1	3	3	1	2	4	0	1	1	1	1	4	22	1.8
内：死亡者数	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (2)	16(9)	1.3 (0.8)
看取者数	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	6	0.5
入院者数	143	117	131	116	156	201	145	136	120	178	142	105	1690	140.8
訪問診療利用者数	18	18	17	19	19	21	18	19	19	19	19	19	225	18.8
平均介護度	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2

※死亡者数の () は入院先で亡くなった方。

デイサービス はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	2	4	3	1	2	3	2	1	0	0	2	22	1.8
利用実人数	91	87	94	92	93	93	95	97	97	94	92	95	1120	93.3
利用延べ人数	1,270	1,322	1,465	1,567	1,494	1,485	1,545	1,555	1,609	1,428	1,426	1,584	17,750	1479.2
稼働日数	24日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	27日	24日	24日	27日		26日
一日平均数	52.9	50.8	56.3	58.0	57.5	57.1	59.4	59.8	59.6	59.5	59.4	58.7	57.4	57.4
平均介護度	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3

ヘルパーステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	14	3	4	3	4	11	4	3	4	29	0	2	81	6.8
利用実人数	64	56	38	39	37	38	27	33	32	64	27	27	482	40.2
延べ人数	521	444	424	427	366	321	330	323	369	390	334	368	4,617	384.8
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		30日
一日平均数	17.4	14.3	14.1	13.8	11.8	10.7	10.6	10.8	11.9	12.6	11.9	11.9	12.7	12.7
平均介護度	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3

訪問看護ステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	3	4	4	1	4	4	2	2	1	1	3	32	2.7
利用実人数	96	95	98	98	99	105	103	105	104	103	103	105	1214	101.2
延べ人数	556	559	604	676	669	719	731	783	796	730	718	826	8,367	697.3
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		30日
一日平均数	18.5	18.0	20.1	21.8	21.6	24.0	23.6	26.1	25.7	23.5	25.6	26.6	22.9	22.9
平均介護度	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2

ケアプランセンター はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	0	1	5	2	3	1	3	2	4	3	1	4	29	2.4
利用実人数	111	113	113	112	117	116	116	116	116	111	109	113	1363	113.6

はーとらいふ保育園 2021年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2021



理念

私たちは心と心をつなぐ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な

心身共にすこやかな成長を保育方針とします

保育目標

よくあそぶ子

好奇心豊かな子

表現豊かな子

年報発刊によせての挨拶



社会医療法人かりゆし会は一とらいふ保育園は、2017年に設立し、2022年4月で6年目を迎えます。

はとらいふ保育園をご利用くださった方、またご利用いただいておりますの方々、当園に携わる各部署の方々のお力添えがあり、今日に至っております。皆様のご協力とご理解に心より厚く感謝申し上げます。

2020年の年明けより、新型コロナウイルス感染症に惑わされ保育園行事等も思うように開催できておりません。そんな中でも、園児は元気よく健やかに園生活を過ごしております。

今年度も新型コロナウイルス感染対策に取り組み、幼い子どもを感染から守っていきます。保育園内では、玄関へのAI機能搭載体表面温度計測カメラシステムの設置や、園児が安心して遊べるよう頻繁にすべての玩具・階段手すり、園児が触れるすべての物の清拭、消毒の徹底に努めております。引き続き、保育室の換気をした上で空気清浄機の稼働、園児への手洗いの励行を継続し、感染対策予防に関する研修への参加を行ってまいります。

新型コロナウイルス感染症により休園された他の保育園へ通うお子さんの一時預かりも継続して行っており、昨年も多くの方にご利用をいただきました。当法人で働く職員の方のお子さんを一時的にもお預かりすることで、微力ながらも貢献できる結果となれば幸いです。また、『一時預かり保育』に関しましては、入職・復職される職員のお子さんを入園前に慣らし保育として1～2ヶ月前より受け入れをし、保護者もお子さんもゆとりを持って環境に慣れるよう配慮しました。

2022年度は、他園に入園希望の職員のお子さんでも、集団生活を体験しスムーズに入園生活が迎えられるように『体験入園』を取り入れていきます。ご利用される方々のニーズに対応していけるよう、全職員で提案、計画をしていこうと思っております。

また、中城村内在住の方の『地域枠』を設けており、1歳児2名の受け入れも致しました。中城村子ども課へ当園のパンフレットも設置させていただいております。

開園以来、毎年行っていた『親子うんどう会』も新型コロナウイルス感染症による影響で自粛せざるを得ず、残念ではありますが、職員一同の要望により園庭にて『ミニミニうんどう会』を開催しました。日頃の保育の中でのうんどう遊びやお遊戯、リズム遊び、体操など園児のみの参加となりましたが、小さな体を精一杯、伸び伸びと動かし楽しむ姿が見られました。園庭の整備も日頃から意識し、畑にラディッシュやお芋、大根、ネギなどを植え水やりをするなど食育に関する体験も取り入れました。収穫をする日を待ち望みながらお世話をし、畑の食物の成長にも興味津々でした。2022年度も『子どもと一緒に楽しむ保育』を実践し、色々な体験をし楽しく過ごせる保育園をつくってまいります。

社会医療法人かりゆし会は一とらいふ保育園 園長 **金城 久乃**

施設概要

当園は、社会医療法人かりゆし会の職員のお子さまを対象に、お預かりする保育園（企業主導型保育事業）です。育児中のかりゆし会職員が「仕事と育児の両立と充実」を提供できるように平成29年4月に設立しました。

組織概要

施設名

はーとらいふ保育園

所在地

〒901-2417 沖縄県中頭郡中城村字伊集 159 番地

連絡先

電話 098-987-6543

FAX 098-987-6544

管理者一覧

理事長 安里哲好

園長 金城久乃

職員数

総数

職種別

園長 1名

保育補助 2名

保育士 8名

事務（連携推進担当） 1名

理念

私たちは心と心をつなぐ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

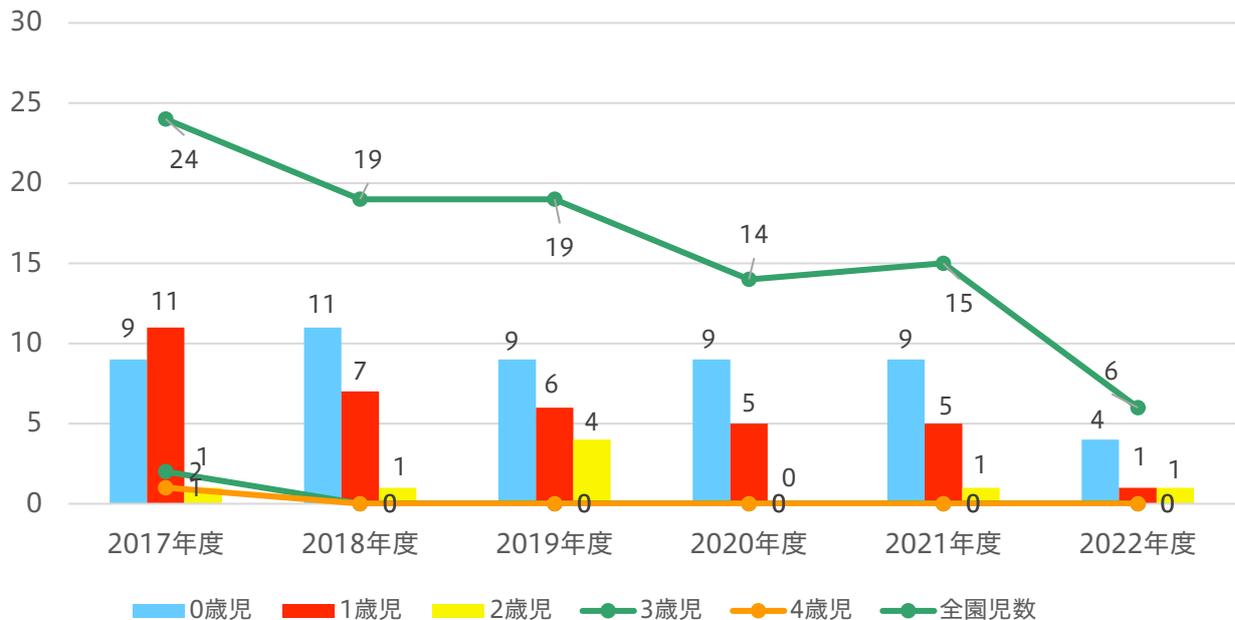
保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な心身共にすこやかな成長を保育方針とします。

1. 発達段階を踏まえた保育
2. 家庭と連携を密にしていく保育
3. あそびの中で自主性・社会性を発揮できる保育
4. 人と人の触れ合いを深める保育

保育目標

- ・ よくあそぶ子
- ・ 好奇心豊かな子
- ・ 表現豊かな子

園児在籍数（年度別）



園行事・活動

4月	新年度 / ネギの植え付け
5月	内科健診 / ひまわりの種まき
6月	尿検査 / 歯科健診
7月	七夕 / 水あそび
8月	水あそび
9月	うどんあそび / カフェ ohana の手作りおやつ提供開始
10月	ハロウィンパーティー / 尿検査
11月	内科健診 / 歯科健診 / ミニミニうどん会
12月	クリスマス会 / 記念撮影 / 総合避難訓練
1月	正月あそび
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り / お芋ほり / 年度保育修了

毎月行事 誕生会・避難訓練・身体測定

研修・勉強会実施報告

名称	場所	日時	参加者
AED 使用方法 / 救急蘇生法研修会 指導者 作業療法士 大見謝勝人氏	ハートライフ病院	4 月	園全職員
保育施設に求められる新型コロナ感染対策について 沖縄県立中部病院 感染症内科 高山医師	オンライン	6 月	金城久乃
保育所における安全管理の徹底について 厚生労働省子ども家庭局保育課資料参考	はーとらいふ保育園	8 月	(園全職員)
企業主導型保育事業施設長研修 施設長オンライン会議	オンライン	10 月	金城久乃
企業主導型保育事業 保育安全研修	オンライン	10 月	(前田美恵)
企業主導型保育事業 保育士キャリアアップ マネジメント研修	オンライン	11 月	嘉数綾乃 / 玉城奈々
保育施設における乳幼児の事故と予防について 中部徳洲会病院副院長 小児科部長 新里勇二医師	オンライン	12 月	金城久乃
企業主導型保育事業 保育士キャリアアップ 乳児保育研修	オンライン	12 月	前田美恵
企業主導型保育事業 子育て支援員研修 e ラーニング及び園外研修	オンライン	12 月	外間奈都

2021 年度立入調査 / 監査実施報告

名称	日時
児童育成協会監査部による 企業主導型保育事業オフサイト監査	12 月
沖縄県子育て支援課 立入調査	12 月
児童育成協会財務監査 立入調査	1 月

2022 年度の計画

1. 感染対策の強化
2. 安全環境整備
3. 園児絵本、パネルシアターの充実
4. 職員の連携
5. 働きやすい環境整備
6. 五感を使った体験を通しての保育（畑・食育）
7. 一時預かりの受け入れ
 - ・新型コロナ感染症により休園となった他園の園児の受け入れ
 - ・入職、復職前の一時預かり保育（慣らし保育）
 - ・集団生活前の体験保育
8. 園だより、園生活の写真の掲示
9. カフェ ohana のおやつ提供（お誕生会、その他）
10. ミニミニ運動あそび / 近隣遠足

新型コロナウイルスへの対応

企画室広報係係長 知念 政治

2019年11月22日に原因不明のウイルス性肺炎が中国湖北省武漢市で初めて確認され、2020年1月16日に国内でも初めて中国湖北省武漢市に滞在歴のある肺炎患者が報告されました。同年2月には沖縄県で初の感染が確認され感染が徐々に拡大していきました。

優先接種対象であった医療従事者への接種完了後、ハートライフ病院新型コロナウイルス災害対策本部ではワクチン班を編成し地域住民や職員家族がワクチンを積極的に接種できる体制を構築し、所在地の中城村だけでなく周辺市町村の住民接種を加速させることで重症化リスクを低減し、救急診療の継続と病棟運用に支障が出ない様に取り組みを行いました。



新型コロナウイルス災害対策本部会議の様子

ワクチン接種への取り組み

年月	病院内での動き	病院外での動き
2021年3月	病院・クリニック職員へ1回目を開始。	
2021年4月	接種対象に委託業者、保育園職員を追加。	
2021年5月	接種対象に近隣医療従事者・消防職員を追加。 中城村高齢者(65歳以上)への1回目接種を開始。	中城村住民接種会場への医療従事者派遣を開始。 中部地区の村外住民接種会場へ医療従事者派遣を開始。
2021年6月	接種対象に基礎疾患保有者を追加。 中城村民高齢者(65歳以上)への1回目接種を完了。 入院による接種機会喪失を避けるため、要望のある入院患者への接種を開始。	隣接町村など当院診療圏内の接種率向上を目指す「攻めのワクチン接種」活動を開始し、西原町・与那原町で大規模集団接種を実施。
2021年7月	中城村民(64歳以下)への1回目接種を開始。	
2021年8月	中城村民高齢者(65歳以上)への2回目接種を完了。 近隣医療従事者・消防職員への2回目接種を完了。	大規模接種会場への医療従事者派遣を開始。
2021年9月	中城村民高齢者(64歳以下)への2回目接種を完了。 職員家族・知人、近隣の一般企業を対象に職域接種1回目を実施し878名が接種。	
2021年10月	職員家族・知人、近隣の一般企業を対象に職域接種2回目を実施し850名が接種。	
2021年11月～ 2022年3月	職員への3回目接種を開始。 入院による接種機会喪失を避けるため、要望のある入院患者への接種を継続。	中城村民住民接種会場および要請のあった接種会場への医療従事者派遣を継続中。

当院が関わった接種回数：17,429回

(2021年5月～2021年10月。以降、各役場の集計報告負担を軽減するため、当院向けに報告を受けておりません)

■中城村民向け接種

毎週月～水曜日と金曜日午後に病院内での個別接種を実施。毎週木曜日は中城村吉の浦会館での集団接種に職員を派遣しました。



■中城村役場←→病院間送迎の様子



■受付の様子

■職域接種

一般外来のない日曜日に外来エリア全体を使った職域接種を実施。日曜日の午前中に最大1,000名まで対応できる体制で、会場での感染対策のため入場人数をコントロールしながら850名を超える方に接種を行いました。

2021年7月7日作成
2021年8月20日更新
ワクチン班:知念

職域接種 実施時の人員配置と会場設営

- 接種人数 1,000名
- 接種時間 午前9時～13時00分
- 接種速度 毎時240名(60名/15分)
- 観察エリア座席数
 - 15分観察 78席
 - 30分観察 30席
 - 合計 108席

- 会場設営 8時～
- 薬剤充填 8時～
- 会場撤去 13時～

- 職員配置
 - ①入館/事務 2名(予約票B/C読取・記入サポート)
 - ②受付/事務 4名(予診票・本人確認)
 - ③問診/医師 5名(急変対応含む)
 - ④接種/看護師 12名
 - ⑤観察
 - 看護師 4名(急変対応含む)
 - ERエイド 1名(急変対応含む)
 - 医技部 3名
 - ⑥記録/事務 6名
 - 調剤/薬剤師 3名(調剤業務・補充業務)
 - ★誘導係 3名
 - ワクチン班 4名(統括管理・来場管理・薬剤補充管理・誘導管理)
 - 合計 47名

- 会場設営備品
 - パイプ椅子 30台
 - パーテーション 20台
 - 長テーブル 17台
 - 小テーブル 6台
 - 事務椅子 24台



■ワクチン班

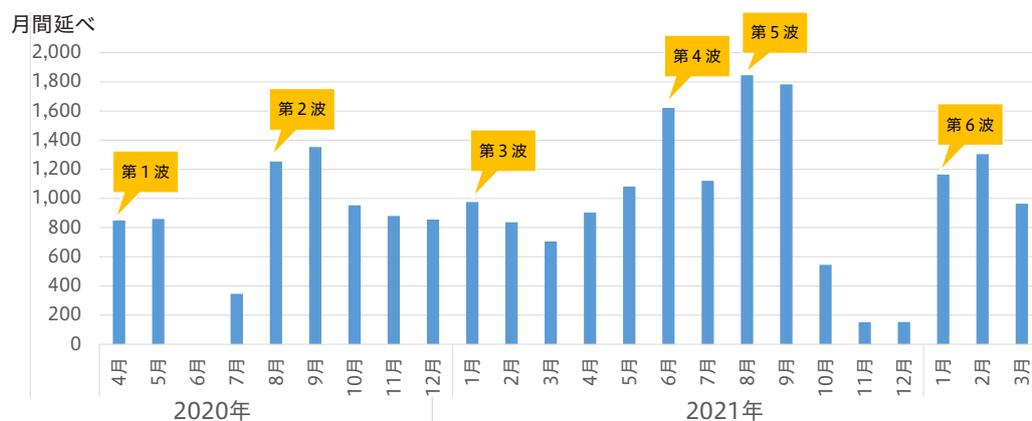


新型コロナワクチン接種の開始に合わせて編成されました。沖縄県や各市町村・医師会等とのワクチン調達調整や配送手続、外部の接種会場への派遣調整、院内接種会場での人員調整や会場統括を行いました。職域接種では厚生労働省との事務調整やワクチン調達、近隣事業所への接種呼び掛け・予約受付作業なども行いました。

左から
事務副部長 比嘉 靖、財務・経理課係長 大山朝史、
総務課係長 富里 等、広報係係長 知念政治

陽性患者用確保病床数

沖縄県の病床確保計画に基づき、新型コロナ陽性者用の病床確保を行いました。



医療機器増設・改修工事等

新型コロナ感染管理や感染防止対策のために、医療機器等の増設や各所の改修工事を行いました。

2020年度

発熱外来プレハブ設置、PCR 検査装置導入、人工呼吸器 4 台増設、簡易陰圧装置 4 台導入、ECMO1 台増設、クリニック 2 階トイレ通気口設置工事
 食堂とまと 換気用窓改造工事（網戸設置）
 クリニック 1 階 待合室換気用窓改造工事（網戸設置）
 クリニック内科入口ドア換気口取付け工事
 救急センターに陰圧室を 3 室設置

2021年度

CT 装置増設、PCR 検査装置増設、エコー増設、人工呼吸器 4 台増設、血液浄化装置を個室に増設、自律走行型 UV 照射除菌ロボット導入
 東 5 階 換気用窓改造工事（網戸設置）
 ICU 1 カ所・HCU2 カ所 陰圧装置・室圧計設置工事
 薬局ディープフリーザー電源工事

上記以外にも HEPA フィルターパーテーションの増設、各所に飛沫防止スクリーンやパーテーション設置、換気装置の増設等を行いました。

第5波までを総括する報告会を開催

新型コロナウイルス感染症の蔓延から第5波までの各部署の対応・取り組みを部署間で共有する報告会を2021年11月12日(金)に開催しました。感染防止対策のため、会場入場人数を制限しZOOMを併用したハイブリッド開催となりました。



We Act Against COVID-19

第5波までの当院の活動を総括する

Heart Life Hospital

1. 発熱外来として、こう頑張った

外来師長 山内 美咲

発熱外来立ち上げ!

- 2020年4月、コロナ流行の始まり
- 発熱者を病棟に入居させない
- 正堂玄関駐車場でプレハブ設置
- 車で待機、問診、診察、検査体制のしくみづくり

新たに取り組んだこと

- 発熱外来**
- 発熱担当として2名配置(交代制/日)
 - プレハブ内でのゾーニング
 - PPF着用でPCR検査
 - コロナ陽性患者、疑い患者の検査介助
- 一般外来**
- 入館前PCR検査の説明、受け渡し
 - 外来内でもゾーニング、HEPAフィルター設置
 - 待合室のソーシャルディスタンス

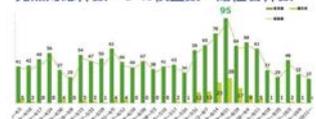
大変だったこと

- 雨の日も、風の日も、暑い日も
- 院内とプレハブ、各検査と動線の長さ
- 発熱担当医師との連携
- 患者の状況が悪化していく
- 保潔所や地域の受付けが少ない状況
- 体調や気持ちに配慮し交代で発熱担当
- 助手のメッセージャー業務

よかったこと!

- 医事課の発熱担当の協力(CTやトイレ案内)
- 外来クラーク、助手へのタスクソフト+環境清掃
- フロアマネージャーとAエリア職員の入館制限対策
- 外務部部長の入院と転院調整、状況把握
- 放射線科、細菌検査科、薬局と連携
- 看護部各師長、主任に職員の問診を依頼

発熱対応件数・C-19検査数・陽性者件数



成果

地域住民への発熱対応(中誤、西誤、宜野湾)
 総受診者数(職員、職員家族含む) 3293人
 (2020年4~3月 1875人、2021年4~10月 1418人)

乗り越える力

- とにかくやらなければと思った
- みんなが助けてくれた
- 自信がついた
- 患者の安全は守りたいと考えていた
- 正しい防護対策ができていた
(スタッフ感染者ゼロ)

今後の課題と提案

- 発熱患者の検査、診察にとても時間がかかる
- 老健施設入居者の受診
- 人材確保(求人中)
- 予約制が事前受付して受診
- 職員の発熱PCR検査受診方法の簡素化

There were many positive opinions from the staff, even though the situation had been difficult for a long time.
 At first we were scared and anxious. Still, we are proud that we had the power to face and deal with the problems in front of us.

2.救急外来は、こう乗り越えた

ER師長 屋宜結美

ER

救急センター
職員の家内があるまでは入室をお控え下さい

Emergency Room
Please do not enter the room until the staff will guide you.

沖縄県 新規感染者数

県コロナ依頼 陽性者受診者数

2020年11月~2021年8月 330名

救急外来として

- 救急車受け入れ・ドクターカー運行
- フォークリン受診者対応
- アンギオ業務
- 院内ドクターハート対応
- コロナ疑い、または陽性者対応

感染初療室_初期のころ

感染対応陰圧隔離室

感染対応・陰圧隔離室を担当しての不安
重症化して救急搬送
コロナかもしれないと不安になり受診
検査結果を聞き、死を考えただろう
これからホテル療養、自宅療養
大切な人にうつしてないかと心配
入院したら家族に会えなくなる

医療スタッフとして現場派遣

ワクチン接種スタッフ 県コロナ対策本部DMAT派遣

チームとして奮闘

ようやくピークアウト

シミュレーション教育再開
救急症例検討会再開

まとめ

- 正しい感染対策を取り、スタッフの安全も担保しながら、患者対応ができた
- 多職種で構成されるチームで乗り切った
- 一度も救急制限をすることなく、また積極的に
集団ワクチン接種へ出向することで、地域を守ることに繋がった
- 不安や恐怖を抱えている患者の看護ケアを実践し、看護経験が向上した
- WorkとLifeをうまく使い分けことが、今後のやりがいに繋がる！

ちゃんと助ける救急部

3-1. 入院病棟としての 苦労、苦悩と病棟の成長

7階病棟師長 仲里寛

県内感染者数と入院患者数

7階入院患者数

2020年度 72名
2021年度 105名(4月~10月)
7月21日 6床から8床へ

治療の変化

治療が目まぐるしく変化
ペルリリー
デキサメタゾン
ロナプリーブ
セブティ 薬剤師から随時説明
酸素療法、ネーザルハイフロー

腹臥位療法
「看護のちから」の見せ所
指導内容

- パンフレット
- 効果と必要性を説明
- 重症化しないために、自ら治療に参加

応援Nsとの業務分担

事前オリエンテーション、業務説明
入退院の増加・業務多忙
隔離スペースで十分な説明、対応が困難
7階NSと応援NSの業務を分ける

今後の課題

高齢女性 自宅からの入院
あれほど注意していたのに・・・
ポータブルトイレ移動時、転倒
隔離された環境で患者の安全をどう守れるか

コロナ患者様の対応の難しさ

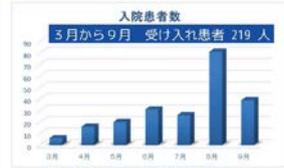
ゾーニング 陰圧化装置 Full PPE

フル装備の防護服はとても暑く、視界も悪く、マスクは苦しく、手袋は常に二重で動かしにくく、3、4時間もこの状態で患者対応することも頻繁にありました

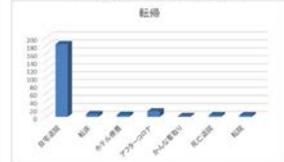
防護服は頭まですっぽり覆われ、聴診器が使えません。聴診ができず、痰が溜まってないかは胸に手を当て触診し、スクイージングをして排痰する技術も身についた。

3-2. 入院病棟としての 苦勞、苦惱と病棟の成長

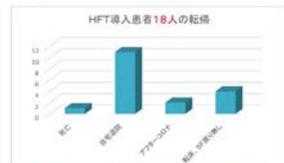
5階病棟師長 勝連しのぶ



3月27日 西 受け入れ開始
6月3日 500 受け入れ開始
8月3日 北 受け入れ開始
20日 病棟すべてがコロナ病棟



多くの患者が自宅退院出来た！



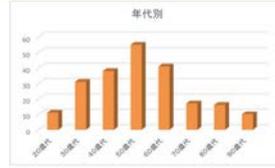
HFT導入した7人の患者がICU転床せず自宅退院出来た

コロナ入院病棟としての苦勞、苦惱

- 家族面会困難な状況での看取り
- PPE着用時はルート確保困難、暑さとの闘い
長距離での患者搬送・・・
- 退院は正午以降、入院受入までの時間が短い
- 転倒リスクのある高齢者への対応
(PPE着用まで転倒してしまう・・・)
- 急変対応、混乱した患者など看護師で対応するのは不安が強かった
- 日々更新される対応を把握することも大変
- 慣れない機器管理 HFT
- 退院許可が遅いと患者から受けるクレーム対応
- 早期退院時、家まで連れていくのが当然だろうと高倒された事も・・・
- 仕事を理由に早期退院希望が多く対応に難渋

コロナ入院病棟として 頑張った

- 看護師で、リモートで、500名越えで看取り・・・
- 病棟で HFT の管理が出来た
- 患者家族へ定期的に連絡し患者の声を聞いた
- 新人看護師のコロナ対応開始、全員で報告連絡相談を強化し頑張った
- 日々更新される対応を感染リンクナースを中心に部署マニュアル作成
- 部署内やCEへ依頼しHFT勉強会を行い患者対応が出来た
- 入院中の買い物など、看護補助者や保育士さんの協力



第6波が来たら・・・

- 自炊や売店だけでなく美味しい弁当が食べたい
- 早くお疲れ様会などがしたい
- 給付金が欲しい
- 精一杯頑張ります
- オリエンテーションを受け理解を深め
レッドゾーンに入ることが重要
- 対応出来るスタッフの調整をお願いします

コロナ入院病棟としての成長

- Covid-19陽性患者専用病棟になったことで
チームワーク強化
- PPE着用で聴診器などの使用困難な場合の対応
- 呼吸器疾患のアセスメント力
- HFTなど呼吸器疾患患者の看護力強化
- 入退院への意識向上
- 感染対策の意識向上
- 環境整備への意識向上
(退院後や普段の清掃で初めてのトイレ掃除)
- 全員で業務改善

他部署との連携

- 感染対策室城間主任の協力でコロナ病棟として対応出来た
- 4階・7階病棟との連携は心強かった
- 入院患者を待たさないようスムーズな受け入れ
(放射線技師の協力が大きかった)
- PPE の暑さ対策に用度課新垣さんが冷却スプレーを持ってきてくれたので頑張れた
- 入院時から退院を見届けた支援
(栄養士さんリモートで指導してくれた)
- リハビリの協力を得ながら自宅退院への支援
- 薬剤師もイローゾーンへ入り検査してくれました
- 入院中の買い物・お金の管理
★陽性者の現金は使用できないため
(財務の協力で助かりました)
- 外間副看護部長に指導を受け・・・
- その他多くの職員との協力で乗り越えられました

3-3. 入院病棟としての 苦勞、苦惱と病棟の成長

ICU病棟師長 内間 幸人

COVID-19 受け入れ実績

- 令和3年度 15件
- 令和2年度 5件
- 合計 20件



COVID-19 受け入れ内訳

- 気管挿管 10件
 - HFNCから気管挿管への移行例を含む
- HFNC 8件
- 体外式ペースメーカー 1件

コロナ入院病棟としての苦勞、苦惱

- 毎日COVID19担当看護師を決めていたが
 - 働かないように割り振りしないこと・・・
 - 微妙なバイタル・・・ICUに転床してくる？
 - ICU転床後、急変するのでは？
 - 挿管、吸引するとエアロゾルが発生・・・
 - 自分が感染しないか不安・・・
 - Full PPEで遠方の病院までの転院搬送・・・
 - 陽性患者担当後に、子供が発熱したら・・・

ICU入室時間の 8割は 夜勤帯

- 夜勤の看護師は 3名しかいない
 - 挿管となると介助に 2名が必要になる
 - 挿管時の筋弛緩は？BVMは？
 - 急変したらどう対応する？
 - 個室でFull PPE、患者さんと二人っきり・・・
 - 非コロナも重症だし、押し込められない
相勤者に迷惑をかけるなあ

コロナ入院病棟としての苦勞、苦惱 2

- 取り決めが多い
 - 挿管の手順、必要物品は・・・
 - 面会は・・・
 - 術前PCRは、いつ？ どの検査方法？
 - 廃棄物、リネンの取り扱いは？
 - 手順を間違えるとアウトブレイクの恐れ！
- 急な勤務変更、オンコール対応
 - 夜勤スタッフの増員
 - 日勤者が、日勤終了後6時間以上の勤務・・・
 - 夜間にICU入室決定、オンコール呼出・・・
 - 自宅にいても病院から呼出電話が・・・

コロナを対応しての成果

- 部署内での院内感染 ゼロ
- 関連部署との連携・協力体制
 - 緊急処置対応に 7F, 5F, ICUスタッフが応援に来て対応してくれ、とても助かった！
 - ベッド担当や管理当番も心強かった。
 - 業務の連携や調整がスムーズに出来た。



今後、第6波に向けて

- 取り決め事項の伝達・周知・実践
- 部署間連携のさらなる強化

3-3. 入院病棟としての 苦勞、苦惱と病棟の成長

HCU病棟師長 山城 敏裕

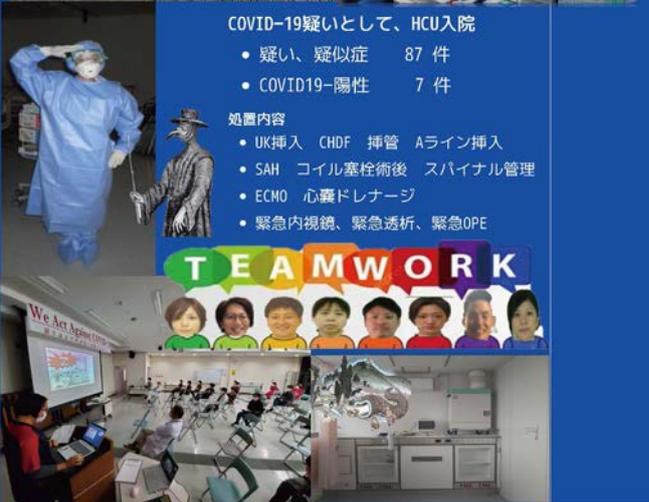


COVID-19疑いとして、HCU入院

- 疑い、疑似症 87件
- COVID19-陽性 7件

処置内容

- UK挿入 CHDF 挿管 Aライン挿入
- SAH コイル塞栓術後 スパイナル管理
- ECMO 心臓ドレナージ
- 緊急内視鏡、緊急透析、緊急OPE



3-4. 産婦人科におけるCOVID19への取り組みと課題

東4.5F 師長代行 我那覇 美帆

1. コロナ陽性産婦発生時対応

【取り組み】

- 分検入院時、陽性者がた場合のマニュアルを作成
- 分検進行にゆとりがある→指定医療機関へ搬送
- 分検が切迫している→当院で帝王切開
- 2種類のマニュアル→シミュレーションを繰り返した。
- 日々不安を感じながら業務。
- 2例の陽性経験

【課題】

- 疑陽性症例に対する対応

2. コロナ陽性産婦から生まれた新生児対応

- 新生児マニュアル→シミュレーションを繰り返した
- 2例の新生児ケアを経験した

①当院の予定帝王切開・術前検査で陽性

- 指定医療機関で帝王切開、新生児のみ受け入れ
- ②当院で陽性産婦発生・当院にて帝王切開
- 指定医療機関NICU病室にて当院でケアを行う

【課題】

- 母児分離に伴う愛着形成を促す関わり
- 感染対策室城間主任の協力でコロナ病棟として対応出来た

3. 陽性妊婦（22週未満）の健康観察・診察・入院対応（他院産婦を含む）

- 第5波は妊産婦も多く罹患した。
- 陽性妊婦の情報連携・速やかな診察体制が強化された。
- 陽性妊婦（妊婦22週未満）の健康観察・診察・入院を担当
- 産婦人科にて、1日1回電話にて体調確認を行う
- 診察が必要な場合は、ER内診察待機室にて診察を行った。

【課題】

- 夜間帯の診察対応

COVID-19対応で学んだこと

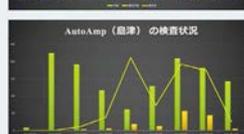
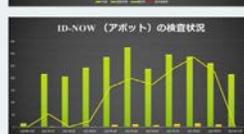
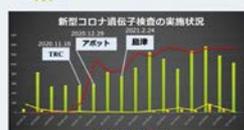
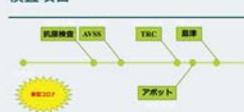
各種のマニュアル→シミュレーションが有効である
産婦人科領域は、特殊な部分も多く、県内の他施設との連携・情報交換が重要である
院内の他職種との連携が重要である



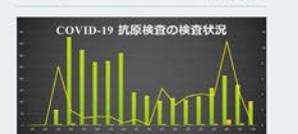
4. 細菌検査室が、COVID19を診断した

臨床検査科 細菌検査室 森山 武志

検査項目



検査項目	材料	所要時間
HyLite™-COVID19 Ag	鼻吸引液	8分
ID-NOW (アボット)	鼻吸引液	13分
TRCReady-80 (東ソー)	唾液・尿	45分~75分
AutoAmp (島津)	鼻吸引液	90~135分



TRC運用の補足

2020/11~2021/10 1200回
一日平均検査回数 3.4回/日
最近の一日平均検査回数 4.8回/日
検査率: MAX38分必要!
上記より、2時間以上の待機状態が発生!

まとめ

- 新型コロナウイルスパンデミック以降、順次検査体制の拡充を進めてきた。
- 運用面での不安もあったが、2021年11月現在、安定して運用がなされている。
- パンデミックの収束は不透明ではあるが、今後も継続して臨床支援を行っていきたい。

5. 放射線科でのコロナ対応

CTなくしては重症度判断はできなかった!

放射線科 石原 悟



ER前一般撮影室 発熱、救急対応
ポータブル撮影装置 救急・術中(兼用): 1台
ER前CT撮影室 発熱、救急対応
西館アンギオ室 コロナ疑いの緊急カテ
本館 3.0T-MRI室 換気の問題で本館の3T-MRIにて対応

入院総数 458人 (2020年4月~2021.10)



コロナ・発熱患者へのポータブル撮影



2021.4月より FFBを導入し、ナイロン袋を人数分確保対応

コロナ禍での課題点

発熱やコロナなど前情報があれば撮て対応できるが無症状の場合は困難となる。

放射線科での感染拡大防止策

- 全スタッフの毎朝の検温。
- 健康管理としてチェックシートに記載し全体の体調管理の徹底。(現在も継続)
- 患者ごとに触れる場所(撮影台・カセット・補助具など)と
- 投与の操作する機器を一患者毎アルコール消毒。一患者撮影後の手指消毒の徹底。
- 放射線科でクラスターが発生すると救急がストップする という意識をもって行動。

6. COVID19による材料対応報告

~災害時の物品管理~

管財課用度係 新垣 喜也

防護服を確保して、スタッフを感染のリスクから守らなければ

品名	数量	購入時期
セパレート	300着	2020.4.18
つなぎ型	300着	2020.4.18

品名	数量	購入時期
サーマルマスク	3,000枚(152箱)	2020年2月14日納品
N95マスク	40枚	130枚
手術用マスク	200枚(7日分)	6,500枚(7ヶ月分)
手紙のフック	160枚(8日分)	360枚(2週間分)
袖付きエプロン	600枚(4日分)	3,000枚(2週間分)
フェイスシールド	200枚(7日分)	450枚(2週間分)
プラスチック手袋	44,700枚(15日分)	336,000枚(1.4週間分)
ニトリル手袋	12,000枚(5日分)	38,000枚(2週間分)
アルコール綿	13,800枚(15日分)	81,200枚(1.7週間分)

在庫増加と保管場所の確保に難渋、災害拠点病院としての物資、保管場所の確保が必要と考えている。



用度係前廊下で収まらず 看護部会議室 旧新3階病棟 9階日人間ドックホールに大量の物資

マスクもガウンも使いまわしをさせることなく、のり越えられた要因

- 現場の理解・協力
- 国、地域、企業、個人からの支援
- 予算と場所の確保
- 課内での理解

7. 病棟管理を安全にしたのは臨床工学科だ

臨床工学科 仲松 晋也

1) バルス付き送信機が足りない

- ・ 機体予定のモニターを使用
- ・ 各部署に協力依頼
- ・ 補助金を利用した整備

2) 隔離病棟内でモニター監視がしたい

- ・ VITRACを導入、隔離ウィングへ

3) 不整脈波形の貼付、SpO2を電カルへ送信

- ・ 2021.11月からシステム再編し可能に

4) 導入したUVロボの運用支援

- ・ コロナウィルス 99.999%
- ・ 短い時間で大きな効果
- ・ 空気除菌でスタッフを守る
- ・ 騒音の安全
- ・ 換気しない分の滞在短縮(約 4,100 分短縮)
- ・ 換気込みダウンタイム 30分⇔8分 照射+清掃

全625回 5991分 照射

(内C室 216回 2049分、C室の照射は放射線科がメインで実施)

- ・ Cはマップを覚えさせプログラムし、カーテンを巻いて実際に照射したり、よく使う部屋へ説明

臨床工学科が担ったこと

- ・ 不足する機器の調達
- ・ 導入したUVロボの運用支援
- ・ SP02も、モニターできるように支援した。
- ・ 効果的に使えるように支援した。

職員の安全とC室の時間効率をUPさせた。

8. COVID-19と薬局業務

薬局 大関 秀和

新薬ラッシュ！！

- ・ アビガン錠 (ファビピラビル)
- ・ デカドロン錠・注射液
- ・ オルミエント錠 (パリシチニブ)
- ・ ベクループ点滴静注 (レムデシビル)
- ・ ロナプリーブ点滴静注 (カシリマブ・イムデビマブ)
- ・ ゼビュディ点滴静注 (ソトロビマブ)
- ・ コロナワクチン
 - ファイザーワクチン
 - モデルナワクチン



ラッシュに伴う業務

- ・ 特例承認のため同意書の取得が必要
 - 電子カルテの文書管理への登録
- ・ 国による買い上げ配布
 - Webシステムによる発注で、納品も時間差があった
- ・ 特殊な溶解方法のため、手順を作成した
 - ロナプリーブは1VLに2名分
 - ワクチンは超低温保管からの溶解・希釈
- ・ 他施設(近隣のクリニック)のワクチン配布
 - ワクチンに伴う接種用シリンジ、希釈用生食などの小分け

薬剤不足対応

- ・ 手指消毒用アルコールの不足
 - 一斗缶からの小分け
 - 酒造メーカーの高濃度アルコール
- ・ ヘパリンカルシウムなどの抗凝固薬の不足
 - 低分子ヘパリン(クレキサン注)による代替
 - 電子カルテ処方修正



今後について

- ・ ロナプリーブ点滴静注について
 - 濃厚接種者の予防的投与が認可された。
 - 投与経路が皮下へと変更されていく事が予想される。
- ・ ワクチン 3回目の追加接種
 - 2022年初旬より開始されることが濃厚
- ・ 内服薬の発売
 - ファイザー、塩野義製薬が発売準備中。

9. 受診調整・入院・転院調整は大変だった

副看護部長 外間真紀子・医療福祉相談室

受診・入院・転院調整のマインド

1. 時間内に1人で多くの患者を受け入れる (16時着)
2. 急変させない迅速な対応 院内連携 院外連携
3. 入院病棟の負担軽減

大変だったこと

1. 入院担当医師のスケジュール調整
2. M先生のスピード 熱意
3. F先生との無言のコミュニケーション
4. 県本部からの電話
 - 特に・・・DNAT M元氏からの重圧
1. 医療と介護の「理解の差」
2. 急な転院受け入れ依頼(隔離解除と同時に転院)
3. 入院時から関係部署とのこまめな連携が必要
4. 多職種連携(色々なパターンの想定が必要)
5. 本人と面談できない現状
 - (家族・ケアマネ側からの情報)

今後の課題・要望

現場実働の災害対策室の設置

医師別コロナ入院患者対応件数 (2020年1月～2021年9月)

1位 普天間先生 165人
2位 折田先生 31人
3位 宮城純先生 28人
4位 宮城敬先生 25人
5位 比嘉健介先生 19人
山田圭介先生 19人
三戸正人先生 19人

副院長退院先

7 永福
17 自宅
22 病院
6 施設

10. 入院患者はこう診療し、こう助けた

副院長、呼吸器内科部長 普天間 光彦

当院の入院件数 (最大は8月の113人)

- ・ 期間 : 2020年4月から2021年10月までの19ヵ月間
- ・ 入院総数 : 458名
- ・ 重症化・転院者数 : 26名 (5.6%)
- ・ 死亡退院 : 9名 (1.9%)

ただし、当院では軽症・無症状は入院していない

- ・ 沖繩の死亡率 (0.8%) 397人 / 50,288人
- ・ 日本の死亡率 (1.0%) 18,315人 / 1,724,172人

沖繩島の体制と当院の役割

- <重点医療機関> ICUを含む重症中心の入院加療。 興立病院、琉大病院、浦添総合病院
- <協力医療機関> 中等症患者(肺炎がある)、軽症でリスク(基礎疾患、高齢者等)がある方。⇔ハートライフ病院
- <ホテルまたは自宅療養> 無症状者や基礎疾患のない軽症患者

治療戦略と手応え

抗ウイルス薬	免疫コントロール	合併予防	全身管理
レムデシビル	デキサメタゾン	ヘパリン	積極的治療
アピガン	オルミエント	Nasal High flow	
ロナプリーブ (抗体カクテル)	アゾテムラ	人工呼吸器	
ゼビュディ (中和抗体)	ステロイドパルス	VV-ECMO	

- ・ 当初→アピガン、オルベスコ(吸入ステロイド)、フサン等
 - 効果の手応えなく、自然治癒を待つ。
- ・ 中等症にデキサメタゾン投与が有効
 - 手応えあり、重症化を防ぐ事ができた。
 - その後もレムデシビルやオルミエントなど武器が増えた。
- ・ 呼吸管理として顔臥位療法やNHFが有効。
 - 挿管回避できる患者が増えた。



予防と初期治療

- ・ ワクチンの効果あり
 - 65歳以上の入院患者が減った。
- ・ 折伏カクテル/中和抗体療法
 - 発症初期(7日以内)に投与すれば効果あり
- ・ 今後の期待
 - 内服薬が普及すれば入院患者をもっと減らせる!

みんなの力で乗り越えました(医師編)

- ・ 三戸先生が治療プロトコルを作成し標準治療を確立した。
- ・ 内科医全員で手分けして入院患者を担当した。
- ・ 外科の先生が発熱外来を当番制で担当した。
- ・ 全員でワクチンの集団接種に協力した。

11. 院内感染対策で、病院・施設を守った

感染対策管理室 城間 克也

2020.8 同時期に複数部署で院内発生 「地獄の8月」の始末

感染アプローチ

- 眼の保護 徹底
- 3密回避
- 換気の徹底

地域や沖縄県にも、貢献しています

沖縄県感染管理認定看護師会の会長として
2020.4 コロナ軽症者受入れ宿泊施設(ホテル) 立ち上げに県の要請で参加
クラスター施設へ専門科派遣(精神疾患、認知症、徘徊、多床室、資源の違い、感染教育の違い)
①若松病院 ②新垣病院 ③うるま記念病院 ④若松苑 などへ ICT・ICNとして派遣・活動

第6波と今後に向けて

- COVID-19の感染経路は変わらない
 - 標準予防策の徹底と有症者対応でのPPE徹底、引き続き3密回避と換気徹底
- 感染対策Update、実践・遵守のための整備
 - 国・県の方針、ガイドライン、最新の知見、発生状況を注視し、効果的かつ現場が実践可能な対策案の整備
- 実践現場の評価、現場課題へ積極的介入
 - “通常”に戻す、戻したい、これから“何が通常となるのか?”

12. 攻めのワクチンで、地域を守った

当院 医療従事者の実績

ワクチン班事務局 富里 等

個別接種・集団接種開始時期

個別接種実績 (個別接種合計 11,489回)

中城スタイル (当初、個別接種)

自治会長による予約日 意向調査 (個別・集団)
役所職員による予約票記載・体調等チェック
※密な連携
キャンセル発生時対応、ワクチン接種の調整等

与那原町集団接種

西原町集団接種

市町村名	期間	回数
中城村	2021年5月2日～2021年10月2日	5,916
西原町	2021年5月20日～2021年10月2日	5,651
与那原町	2021年6月13日～2021年8月8日	5,862
合計		17,429

新型コロナウイルスワクチン接種率

県内市町村・年代別接種率 県民10万人あたり

高齢者では新型コロナワクチン接種の遅れについて、要請段階の方針の改善をいまだに、取組の進捗を不安に感じている地域があることを受けて、県民10万人あたり接種率の遅れを改善するため、中城村、西原町、与那原町に巡回接種チームを派遣し、巡回接種を行っている。巡回接種は高齢者で取り、県内でも上記の接種率となっております。

13. 県庁、クラスター支援で、病院を守った



DMAT業務調整員 ER-Aide 森元 一晟

要支援

受診・入院調整班として

- 発症、検査日、検査機関、確定日
- 現在の体温、症状、SpO2
- 基礎疾患、身長、体重、BMI
- 電話口での印象

【受診先までの移動手段を確保、連絡・調整】

- 本人運転、家族、関係者運転
- 県庁車両、保健所車両
- 救急車

クラスター施設支援班

- 1) 本部立ち上げ
 - 本部長を他院職員から選定
 - 外部支援のため組織内編成
 - DMAT、ICT、ICN、近隣病院からの診療支援
- 2) 感染状況の把握と評価
 - 利用者総数、職員総数、陽性者、陰性者
 - 入院した人数、死亡者数
 - ワクチン接種率
- 3) 感染管理、医療提供体制の調整
 - 連携区診療科を調整
 - 日々の健康観察を徹底
 - 入院必要(酸素投与、輸液)となった患者さんを把握、搬送調整、優先原則
 - 適切なゾーニング維持を確保
- 4) 人的資源の調整
 - 現在働く事が可能な人数、盲段1日の勤務人数
 - 外泊支援などの応援人数から、患者数/現場スタッフの割合を調べ ② を維持する

まとめ

- 受診/入院調整班として、感染状況を把握、適切な医療機関へつなぎ、近隣住民を守った。
- クラスター支援班として、感染発生を抑え、病院に搬送される患者をへらし病院を守った。

14. C19災害対策本部会議の取組について



C19災害対策本部長・副院長 西原 実

沖縄県の新規陽性者数と流行度、当院の主なC19イベント

C19災害対策本部として決済した事項

非コロナ部門を含む法人運営への影響への個別対応

1. 感染対策・濃厚接触回避対策に関する啓蒙・周知
 - 食費・酒類等の制限、感染対策に関する自衛隊の啓蒙と人材派遣
2. 安全衛生費の決済
 - 心臓カテーテル室併設、宿泊施設の確保、労働管理(自費待機等)
3. 診療の制限と再開に関する決済
4. 診療材料等の備蓄に関する決済
5. C19ワクチン接種に関する決済
6. 予算の管理と決済(予算範囲内で経費を承認)
7. 上記に伴う情報収集と行政折衝(補助金等)

C19連絡会議決定事項の事後確認

- C19診療方針(発熱外来、入院、検査体制など)
- 受入病床の拡大・縮小計画
- 人員配置(医療従事者の人員配置)

まとめ

感染者の急増する中、県コロナ本部も機能不全に陥る中、病院機能不全に陥ることが避けられた救命センターを含めた救急病院が救急搬送を制限する中、救急医療を止める事なく続けることができた病院周辺地域で発生するコロナ感染者を積極的に治療することができた。

かりゆし会の1年

写真で振り返る かりゆし会の1年

2021年4月1日～2022年3月31日

2021年4月1日	入職式・新入職員オリエンテーション
2021年4月5日	中部地区医療従事者 新型コロナワクチン接種(4月～8月)
2021年4月7日	職員対象 新型コロナワクチン接種
2021年4月8日	//
2021年4月9日	//
2021年4月26日	職員・委託業者対象 新型コロナワクチン接種
2021年4月27日	//
2021年5月10日	近隣市町村住民 新型コロナワクチン接種(5月～10月)
2021年5月19日	職員・委託業者対象 新型コロナワクチン接種
2021年5月21日	//
2021年7月5日	院内献血
2021年8月3日	健診受診者向け 健診結果の閲覧サービス開始
2021年8月22日	ハートライフ病院 開院33周年
2021年9月9日	麻酔科相談役の久場 良也が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受彰
2021年9月12日	新型コロナワクチン 職域接種
2021年10月4日	患者満足度調査 外来部門、透析室、予防医学センター・、内視鏡センター:10月 入院部門:10月4日～10月9日
2021年10月10日	新型コロナワクチン 職域接種
2021年11月1日	かりゆし会理事長の安里哲好が日本医師会最高優功賞を受賞
2021年11月3日	保安業務を担当している糸数 秀一が危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章 警察功労を
2021年11月3日	元予防医学センター科長の川上 国男が令和3年秋の叙勲 瑞宝双光章 保健衛生功労
2021年12月16日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2021年12月17日	//
2021年12月22日	//
2021年12月24日	//
2022年1月4日	院内成人式
2022年1月7日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年1月20日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年1月21日	//
2022年2月10日	災害訓練(第一部 机上訓練、第二部 特別講演)
2022年2月10日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年3月18日	職員満足度調査(3/18～3/31)
2022年3月24日	職員対象 新型コロナワクチン接種(追加接種)
2022年3月24日	卒後臨床研修医第17期 研修修了式

2021年 社会医療法人かりゆし会 永年勤続者

勤続30年(1991年1月1日～12月31日入職者)

1. 赤 嶺 美智江	ハートライフ病院 透析室 / 看護師
2. 新 垣 千賀子	ハートライフ病院 外来 / 看護補助者
3. 金 城 義 乃	ハートライフ病院 5 階病棟 / 看護補助者
4. 久 場 徳 子	ハートライフ病院 栄養科 / 管理栄養士
5. 洲 鎌 正 子	ハートライフ病院 東館 ICU / 看護師
6. 知 花 幸 子	ハートライフ病院 内視鏡センター / 准看護師
7. 仲 里 幸 康	ハートライフクリニック 臨床検査科 / 臨床検査技師
8. 與 儀 緑	ハートライフ病院 看護部秘書係 / 事務

勤続20年(2001年1月1日～12月31日入職者)

1. 新 垣 千登勢	ハートライフ病院 放射線科 / 放射線技師
2. 上 原 さつき	ハートライフ病院 管財課 用度 / 事務
3. 上 原 千 晶	ハートライフ病院 透析室 / 看護師
4. 佐次田 桃 子	ハートライフ病院 透析室 / 看護師
5. 砂 川 紀 子	ハートライフ病院 予防医学センター / 看護師
6. 平 良 勇	ハートライフ病院 4 階病棟 / 看護師
7. 田 河 美智代	ハートライフ病院 診療情報管理室 / 診療情報管理士
8. 平屋敷 加 代	ハートライフ病院 東館 4・5 階病棟 / 助産師
9. 宮 城 杏 子	ハートライフ病院 6 階病棟 / 看護師
10. 山 城 直 美	ハートライフクリニック 外来 / クラーク

編集後記

2021年はコロナ禍で迎えた2年目の年でした。コロナに始まりコロナに終わった1年のような気がします。

どうにか開催にこぎつけた東京オリンピックは開会式から閉会式まで当初の日程を終えることができませんでした。しかしながら、オリンピックの余韻に浸るまもなくコロナは無情にも引いては打ち寄せる波のごとく何度も繰り返しやってきました。切り札として開始されたワクチン接種ですが、それに呼応するかの如く出現する変異株。まさにいたちごっこの様相を呈していました。コロナとのせめぎ合いはまだまだ収束する気配がありません。

この程、2021年度の年報が作成されました。報告のその行間にはスタッフの皆様の色んな思いが込められていると思います。コロナ禍の2021年、様々な業務で対応に追われた全スタッフの皆様本当にありがとうございました。感謝申し上げます。2021年度の年報の編集後記と致します。

年報作成委員会委員長 嘉川 春生

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	嘉川 春生 (泌尿器科部長)
委員	安谷屋 佳子 (看護部副部長)
	仲松 晋也 (臨床工学科副技士長)
	石新 紘也 (ハートライフ地域包括ケアセンター係長)
	知念 政治 (経営企画室広報係係長)
	仲松 泉 (メディカルクラーク係長)
	新垣 優子 (ヘルシーカフェ ohana 主任)
	我如古 理咲子 (診療情報管理室副主任)
	金城 美加 (メディカルクラーク副主任)
	内間 善一 (総務課)
	宮城 映子 (総務課図書係)
企画調整・編集	仲田 尚正 (経営企画室広報係副主任)

社会医療法人かりゆし会 年報
第 28 巻 2021 年度年報 2021 年 10 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <https://www.heartlife.or.jp/>